

根 室 市

市民意識調査報告書

令和 3 年 2 月

根 室 市

目 次

1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 調査の結果	1
3. 1 調査票の回収結果.....	1
3. 2 回答者の属性.....	1
3. 3 根室市の印象についての市民意識.....	6
3. 4 居住の満足度についての市民意識.....	8
3. 5 保健医療について.....	14
3. 6 少子化・子育て支援について	28
3. 7 高齢者支援について.....	37
3. 8 社会福祉全般について	49
3. 9 交通について.....	51
3. 10 生活環境について.....	59
3. 11 防災・減災対策について.....	70
3. 12 学校教育・社会教育について.....	74
3. 13 スポーツ・レクリエーション・文化について	83
3. 14 産業の振興について	89
3. 15 情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか）	94
3. 16 市民協働について（「誰もが何か1つを受け持つ」とした場合に参加する活動）	98
3. 17 市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法）	102
3. 18 男女共同参画について.....	105
3. 19 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度.....	107
4. 市民意識調査結果のまとめ.....	109
5. 総合計画における成果目標及び総合戦略におけるK P I の動向.....	113
6. 根室市創生総合戦略の評価.....	117
6. 1 基本目標別の政策評価の検討.....	117
6. 2 まとめ.....	139
資 料 編.....	141
資料 1. 市民意識調査自由回答.....	142
資料 2. 市民アンケート調査票.....	163

1. 調査の目的

根室市では、平成 26 年度に「第 9 期根室市総合計画」を、翌平成 27 年度には「根室市創生総合戦略」を策定し、将来のまちづくりの目標や将来像を定め、根室市の一層の発展と豊かで活力のある市民生活の実現を図るための施策を推進しているところである。

これらの計画を着実に推進していくためには、その進捗度合いや有効性を逐次確認し、必要に応じて見直しをしていくなど、実情に応じた対応が不可欠である。

本調査は、根室市民約 3,000 名を対象として根室市の住みよさや市政に関する意識調査を実施することにより、これまでの施策の進捗度合いや市民による有効性等の評価を確認し、今後の計画推進に資することを目的として平成 28 年度より毎年実施しているものである。

2. 調査の方法

本調査は、16 歳以上の市民を対象として、無作為に約 3,000 名を抽出し、第 9 期根室市総合計画の成果目標指標のうち市民意識に関する指標及び根室市創生総合戦略における市民意識に関する KPI (Key Performance Indicator: 重要業績評価指標; 事業の目標達成度合いを示す指標) に係る設問を中心としたアンケート調査を実施した。

なお、今年度調査は、選択項目の見直し、複数回答設問の単回答設問化、市の施策に対する認知度の設問追加等の修正を行った昨年度の調査票を基本とし、施策認知度に関する設問に関しては、新たな施策を勘案して入れ替え等を行っている。

ただし、各計画策定時からの満足度や達成度を示す指標の比較については、これまでの調査との継続性を確保し、その達成状況と課題について検討した。

3. 調査の結果

3. 1 調査票の回収結果

アンケート調査の回収数は 954 票であり、有効回収率は 31.3%であった。

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
3,048	956	954	31.3%

3. 2 回答者の属性

(1) 地区別構成

回答者数の構成は、市街地地区住民が、全体の 86.5%を占め、西部地区住民及び東部地区住民はそれぞれ、5.8%、6.8%であった。

令和2年度調査					
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
地区別件数	825	55	65	9	954
	86.5%	5.8%	6.8%	0.9%	100.0%

なお、市街地、西部地区、東部地区の区分は以下のとおりである。

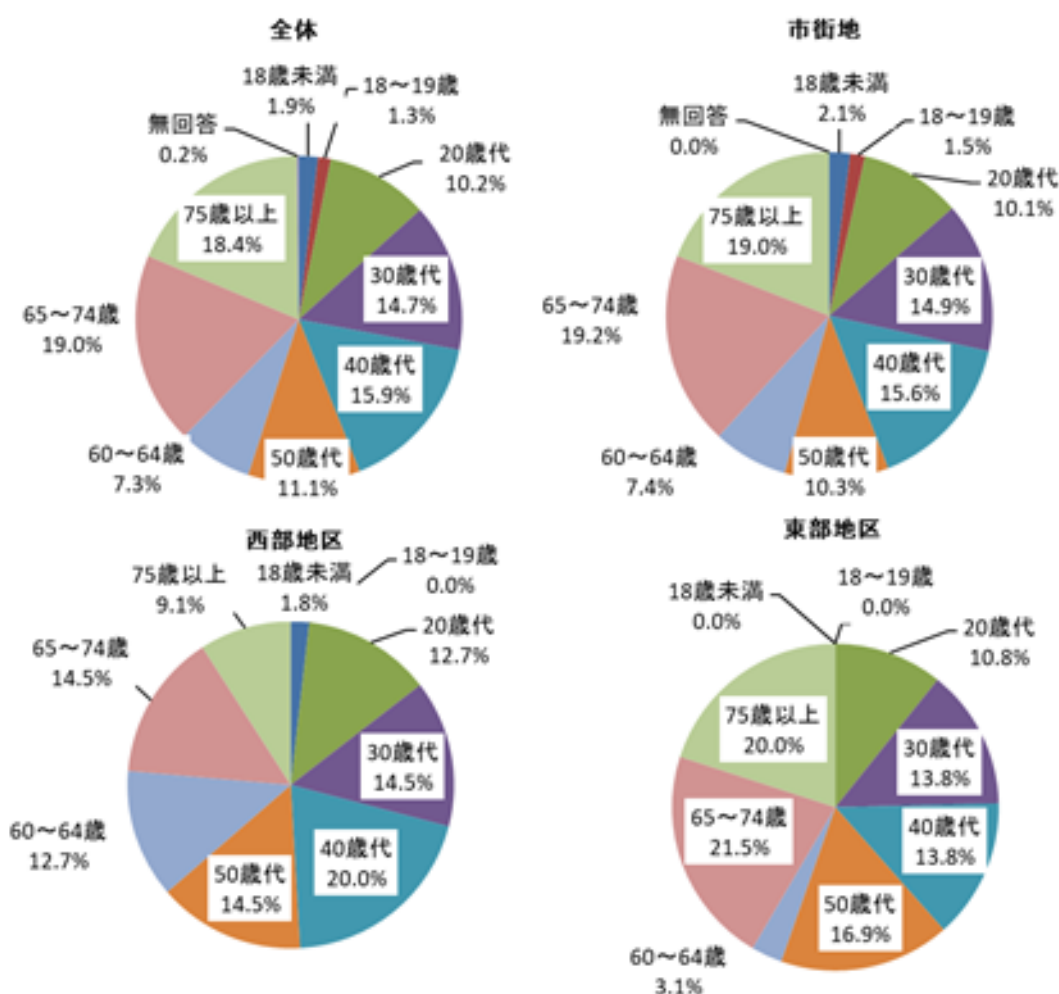
地区区分

地区	居住地区名
市街地	北浜町、琴平町、弁天町、駒場町、汐見町、海岸町、千島町、栄町、月見町、明治町、曙町、宝町、有磯町、朝日町、鳴海町、本町、花咲町、松ヶ枝町、弥栄町、幸町、大正町、常盤町、緑町、梅ヶ枝町、弥生町、清隆町、光和町、北斗町、平内町、岬町、定基町、松本町、敷島町、花園町、西浜町、月岡町、宝林町、昭和町、光洋町、桂木、花咲港
西部地区	穂香、幌茂尻、温根沼、東梅、酪陽、東和田、西和田、長節、浜松、昆布盛、落石東、落石西、別当賀、初田牛、東厚床、厚床、西厚床、明郷、湖南、川口、檜昔
東部地区	友知、双沖、齒舞、瑯瑤瑠、納沙布、温根元、豊里、牧の内

(2) 年齢別構成

回収票の年齢階層別構成をみると、今年度調査も各年齢階層から回答が得られている状況となっており、市街地地区及び東部地区では65～74歳が、西部地区では40歳代の割合がやや高い傾向がみられている。

前回調査と比較すると30歳代以下の割合がやや減少し、40～50歳代及び60歳以上の割合がやや増加しているものの、大きな変化はない。



	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
18歳未満	17	1	0	0	18
18～19歳	12	0	0	0	12
20歳代	83	7	7	0	97
30歳代	123	8	9	0	140
40歳代	129	11	9	3	152
50歳代	85	8	11	2	106
60～64歳	61	7	2	0	70
65～74歳	158	8	14	1	181
75歳以上	157	5	13	1	176
無回答	0	0	0	2	2
計	825	55	65	9	954

	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
18歳未満	2.1%	1.8%	0.0%	0.0%	1.9%
18～19歳	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
20歳代	10.1%	12.7%	10.8%	0.0%	10.2%
30歳代	14.9%	14.5%	13.8%	0.0%	14.7%
40歳代	15.6%	20.0%	13.8%	33.3%	15.9%
50歳代	10.3%	14.5%	16.9%	22.2%	11.1%
60～64歳	7.4%	12.7%	3.1%	0.0%	7.3%
65～74歳	19.2%	14.5%	21.5%	11.1%	19.0%
75歳以上	19.0%	9.1%	20.0%	11.1%	18.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.2%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

調査年度	回答者の年齢階層別構成の推移		
	30歳代以下	40～50歳代	60歳以上
令和2年度調査 (増減率(ポイント))	28.0% (-1.8)	27.0% (+0.2)	44.8% (+2.3)
令和元年度調査 (増減率(ポイント))	29.8% (+0.4)	26.8% (-2.8)	42.5% (+2.2)
平成30年度調査 (増減率(ポイント))	29.4% (-0.4)	29.7% (+2.4)	40.3% (-2.0)
平成29年度調査 (増減率(ポイント))	29.8% (-1.4)	27.3% (-3.4)	42.3% (+4.5)
平成28年度調査	31.2%	30.7%	37.9%

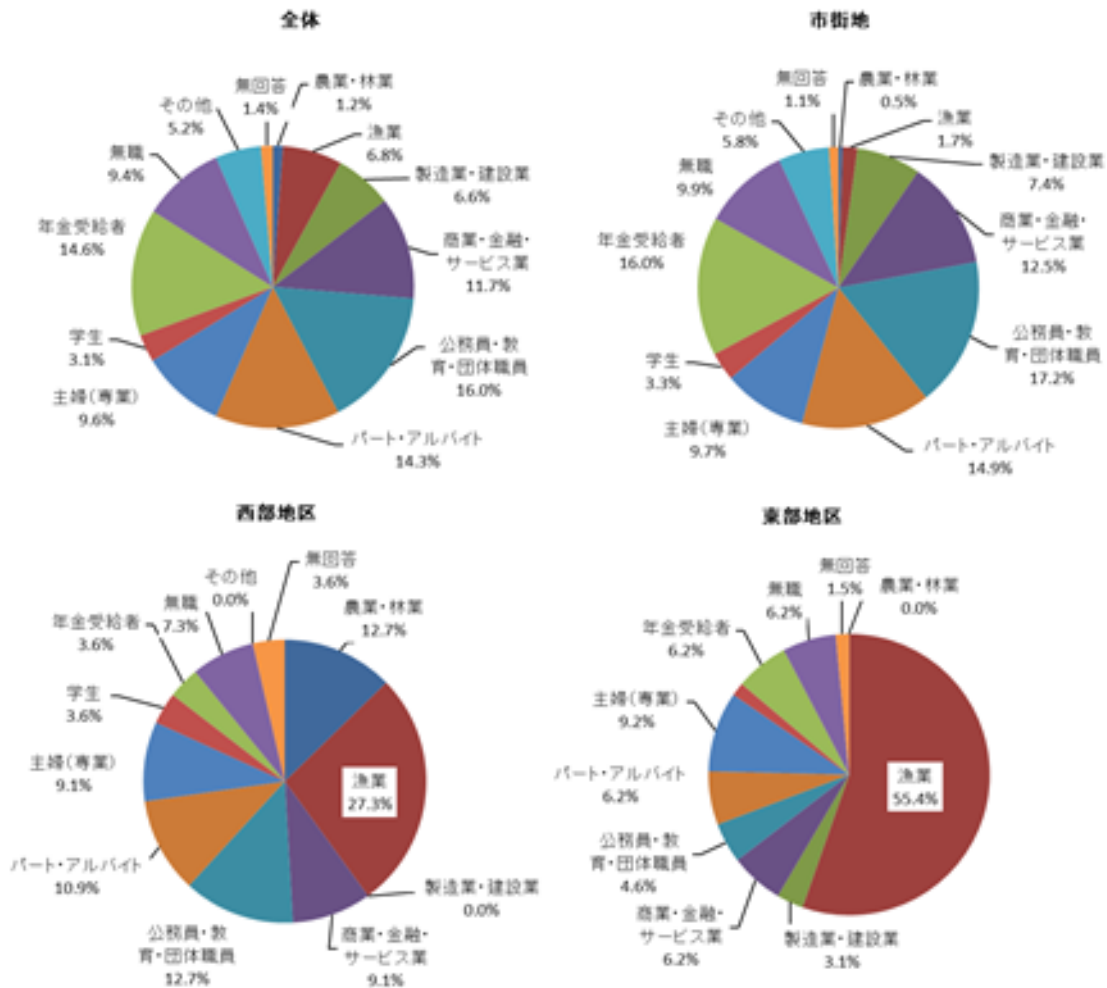
注：無回答を除く

(3) 職業別構成

職業別構成をみると、全体では公務員・教育・団体職員、年金受給者、パート・アルバイト、商業・金融サービス業、専業主婦の順で多くなっているが、地区別で差がみられている。

回答者の86.5%を占める市街地は、ほぼ全体と同様の構成であるが、西部地区では、漁業、農業・林業の構成が高く、特に、農業・林業の割合が高い。また、東部地区は漁業が55.4%と最も多くなっているなど、それぞれの地区で特徴がみられている。

このような地区別の職業構成の違いはこれまでの調査結果とほぼ同様となっている。

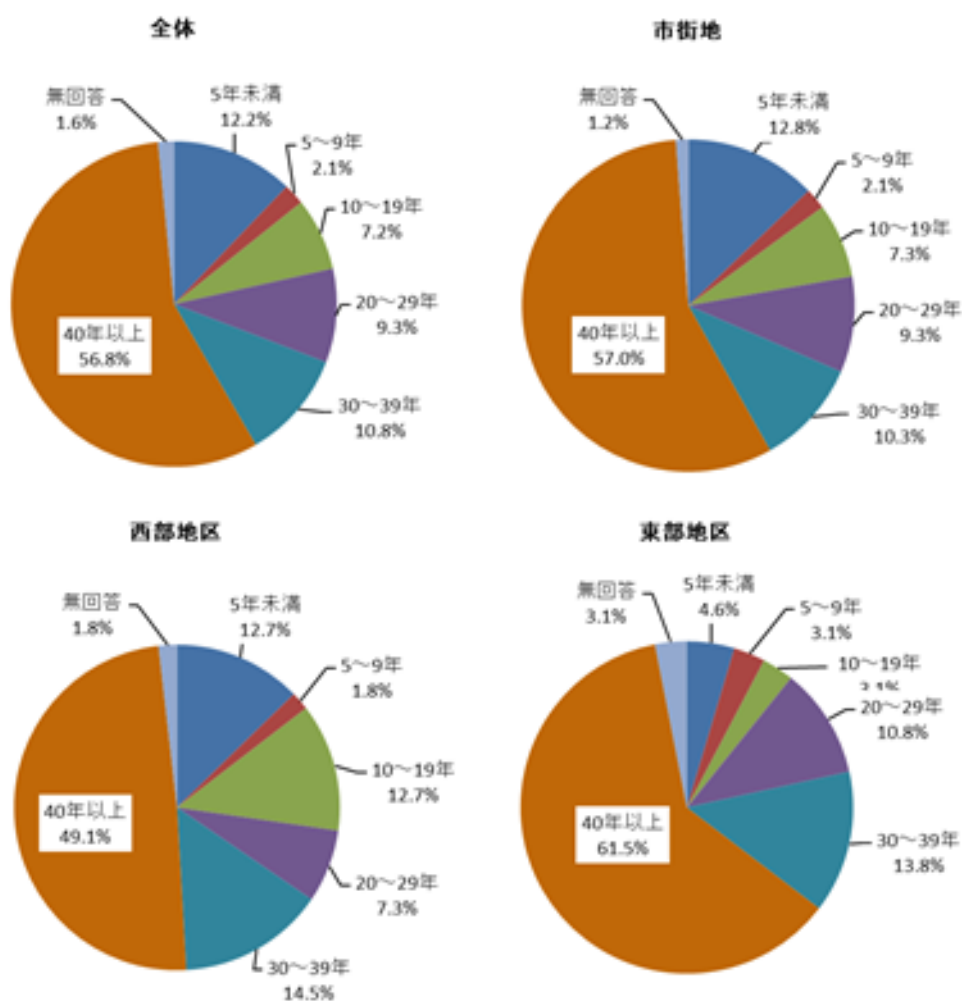


	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
農業・林業	4	7	0	0	11
漁業	14	15	36	0	65
製造業・建設業	61	0	2	0	63
商業・金融・サービス業	103	5	4	0	112
公務員・教育・団体職員	142	7	3	1	153
パート・アルバイト	123	6	4	3	136
主婦(専業)	80	5	6	1	92
学生	27	2	1	0	30
年金受給者	132	2	4	1	139
無職	82	4	4	0	90
その他	48	0	0	2	50
無回答	9	2	1	1	13
計	825	55	65	9	954

	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
農業・林業	0.5%	12.7%	0.0%	0.0%	1.2%
漁業	1.7%	27.3%	55.4%	0.0%	6.8%
製造業・建設業	7.4%	0.0%	3.1%	0.0%	6.6%
商業・金融・サービス業	12.5%	9.1%	6.2%	0.0%	11.7%
公務員・教育・団体職員	17.2%	12.7%	4.6%	11.1%	16.0%
パート・アルバイト	14.9%	10.9%	6.2%	33.3%	14.3%
主婦(専業)	9.7%	9.1%	9.2%	11.1%	9.6%
学生	3.3%	3.6%	1.5%	0.0%	3.1%
年金受給者	16.0%	3.6%	6.2%	11.1%	14.6%
無職	9.9%	7.3%	6.2%	0.0%	9.4%
その他	5.8%	0.0%	0.0%	22.2%	5.2%
無回答	1.1%	3.6%	1.5%	11.1%	1.4%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 居住年数

回答者の根室市での居住年数についてみると、これまでの調査結果と同様に、どの地区も40年以上居住している回答者の割合が最も高い。また、市街地と西部地区では5年未満の回答者の割合が東部地区よりもやや高い。



	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
5年未満	106	7	3	0	116
5～9年	17	1	2	0	20
10～19年	60	7	2	0	69
20～29年	77	4	7	1	89
30～39年	85	8	9	1	103
40年以上	470	27	40	5	542
無回答	10	1	2	2	15
計	825	55	65	9	954

	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
5年未満	12.8%	12.7%	4.6%	0.0%	12.2%
5～9年	2.1%	1.8%	3.1%	0.0%	2.1%
10～19年	7.3%	12.7%	3.1%	0.0%	7.2%
20～29年	9.3%	7.3%	10.8%	11.1%	9.3%
30～39年	10.3%	14.5%	13.8%	11.1%	10.8%
40年以上	57.0%	49.1%	61.5%	55.6%	56.8%
無回答	1.2%	1.8%	3.1%	22.2%	1.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3. 3 根室市の印象についての市民意識

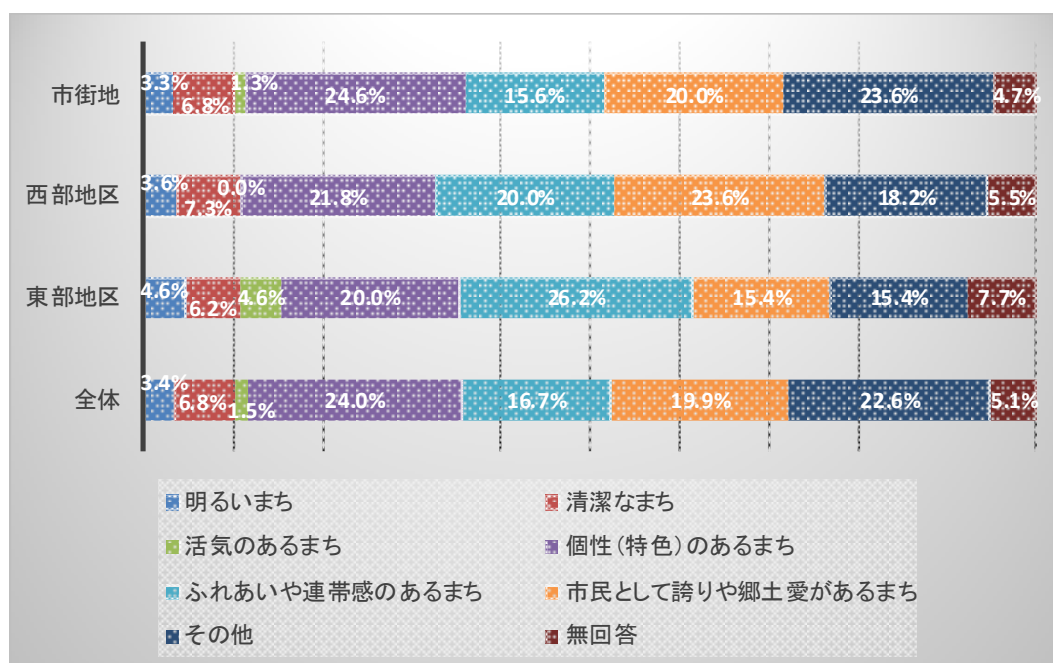
根室市のイメージとして最も回答割合が高かったのは、市民全体では「個性（特色）のあるまち」で、次いで「その他」、「市民として誇りや郷土愛があるまち」であった。

地区別では、市街地住民は、「個性（特色）のあるまち」が最も高く 24.6%となっており、次いで「その他」が 23.6%、「市民として誇りや郷土愛があるまち」が 20.0%となっている。

西部地区は「市民として誇りや郷土愛があるまち」が 23.6%で最も高く、次いで、「個性（特色）のあるまち」が 21.8%となっている。

東部地区は「ふれあいや連帯感のあるまち」が 26.2%で、次いで「個性（特色）のあるまち」が、20.0%となっている。

「その他」の内容としては、これまでの調査結果とほぼ同じで、「活気がない」「子育てがしにくい」「高齢化が進むまち」「人口が減少し寂しいまち」「閉鎖的なまち」「暗いまち」といったマイナスイメージをあげる回答が多かった。そのほかには、「自然が豊か」「漁業のまち」「ゆったりとして安全なまち」といったプラスイメージをあげる回答もみられている。



「その他」であげられているマイナスイメージを除く、プラスイメージについてみると「市民として誇りや郷土愛があるまち」の回答割合が高くなっており、概ね、過去調査と同様の結果となっている。

過去の調査結果（平成 28 年、29 年調査結果は得点換算）

	平成28年度調査得点				平成29年度調査得点			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	2.07	2.24	2.32	2.12	1.98	2.22	2.04	2.00
清潔なまち	2.40	2.36	2.31	2.39	2.35	2.48	2.02	2.33
活気のあるまち	1.72	1.91	1.89	1.76	1.56	1.83	1.53	1.58
個性(特色)のあるまち	2.45	2.47	2.70	2.48	2.47	2.52	1.84	2.42
ふれあいや連帯感のあるまち	2.73	2.74	2.81	2.74	2.48	2.52	2.40	2.47
市民として誇りや郷土愛があるまち	2.93	3.05	2.68	2.93	2.84	2.85	2.70	2.82

	平成30年度調査結果				令和元年度調査結果			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	4.2%	3.8%	3.8%	4.1%	3.5%	2.0%	5.2%	3.5%
清潔なまち	5.7%	0.0%	1.9%	5.1%	6.7%	4.0%	1.3%	6.1%
活気のあるまち	1.4%	1.9%	15.1%	2.3%	1.8%	2.0%	5.2%	2.3%
個性(特色)のあるまち	17.3%	35.8%	20.8%	18.9%	20.6%	16.0%	22.1%	20.3%
ふれあいや連帯感のあるまち	15.2%	9.4%	13.2%	14.5%	14.7%	18.0%	15.6%	14.7%
市民として誇りや郷土愛があるまち	21.6%	24.5%	17.0%	21.3%	23.2%	24.0%	11.7%	21.8%

	令和2年度調査結果			
	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	3.3%	3.6%	4.6%	3.4%
清潔なまち	6.8%	7.3%	6.2%	6.8%
活気のあるまち	1.3%	0.0%	4.6%	1.5%
個性(特色)のあるまち	24.6%	21.8%	20.0%	24.0%
ふれあいや連帯感のあるまち	15.6%	20.0%	26.2%	16.7%
市民として誇りや郷土愛があるまち	20.0%	23.6%	15.4%	19.9%

注：平成 28 年度及び 29 年度調査は、イメージごとに、そう思うかどうかを問う設問であったため、「そう思う」を 5 点、「やや思う」を 4 点、「さほど思わない」を 2 点、「思わない」を 1 点、「わからない」を 3 点として、平均得点を算出した。

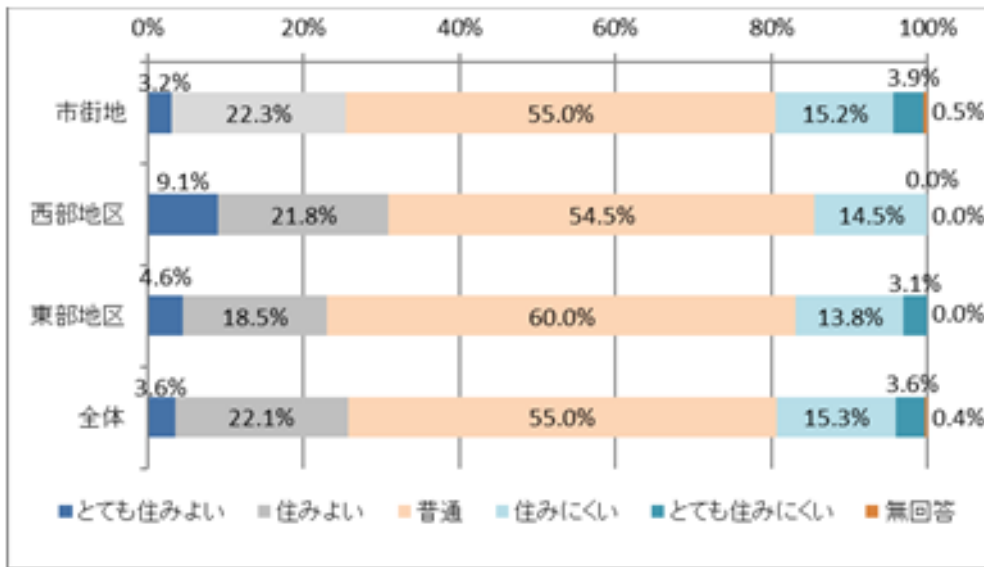
：黄色マーカーは、最も回答割合が高い数値を示す。

3. 4 居住の満足度についての市民意識

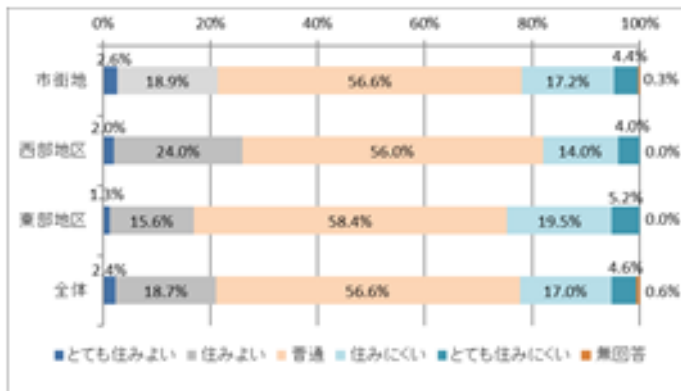
(1) 居住の満足度（住みやすいと思っているか）

根室市を住みよいまちと思っているかについてみると、市民全体では「とても住みよい」「住みよい」を合わせた割合は **25.7%** となっており、これまでの調査結果の中で最も高くなっている。地区別でも市街地及び西部地区は、これまでの調査で最も高くなった。

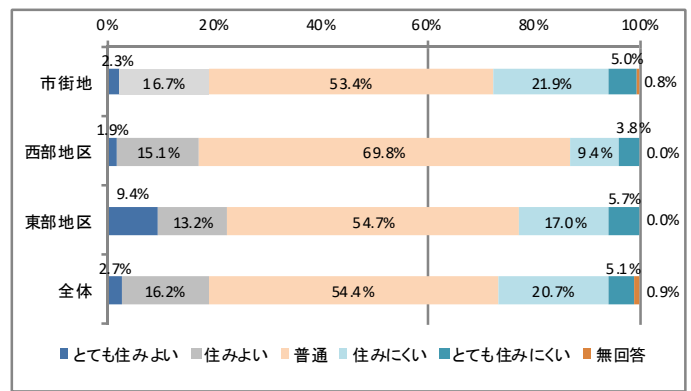
< 令和2年度調査 >



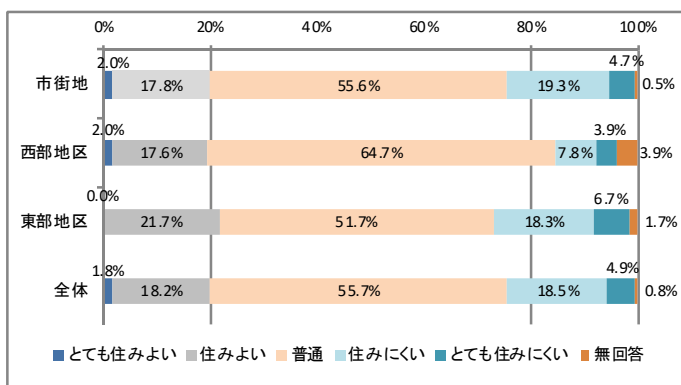
< 令和元年度調査 >



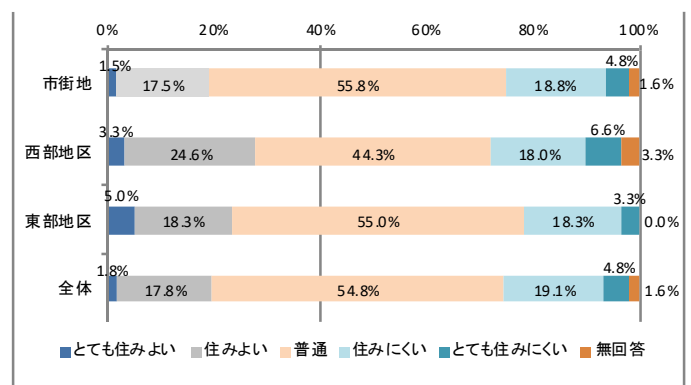
< 平成30年度調査 >



< 平成29年度調査 >



< 平成28年度調査 >

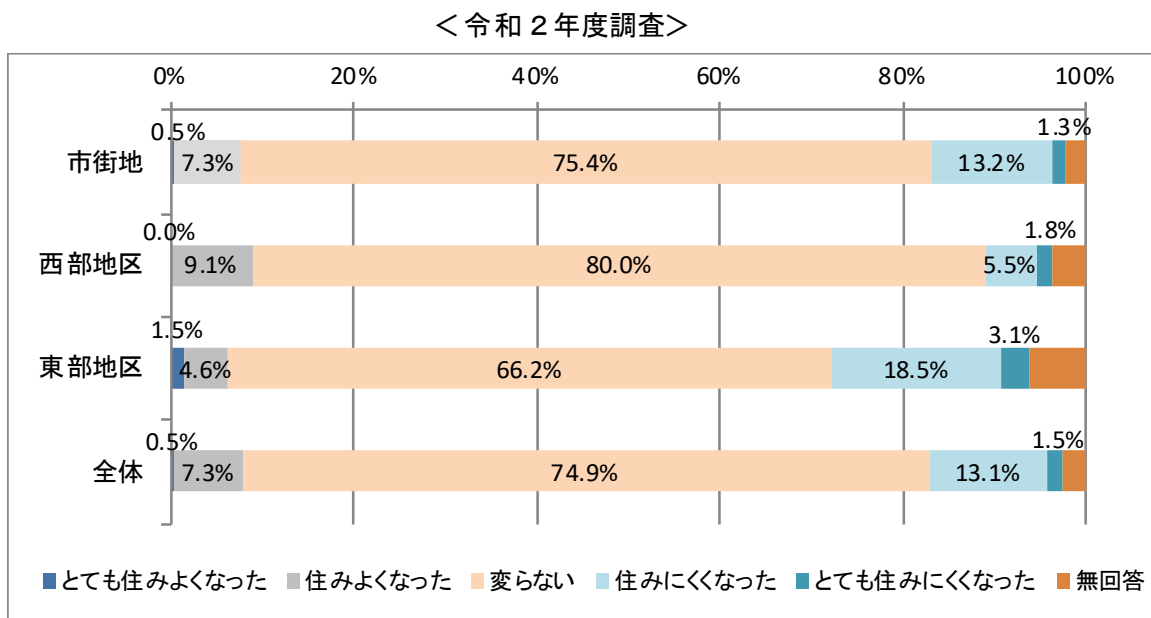


住みにくいとする回答の理由をみると、「医療体制が不安」、「交通の利便性が悪い」「賃貸住宅は古く、家賃が高い」「買い物の利便性が悪い」「娯楽がない」といった回答があり、特に、医療体制に対する不安を挙げる回答が多かった。

（２）住みよさの５年前との比較

平成 28 年度から実施している本調査は今回で 5 回目となる。そこで、本調査では、根室市の住みよさを 5 年前と比較してもらった。その結果、市民全体では「変わらない」が最も多く、74.9%を占めた。地区別でも同様の結果となっており、どの地区とも「変わらない」とする回答が最も多かった。

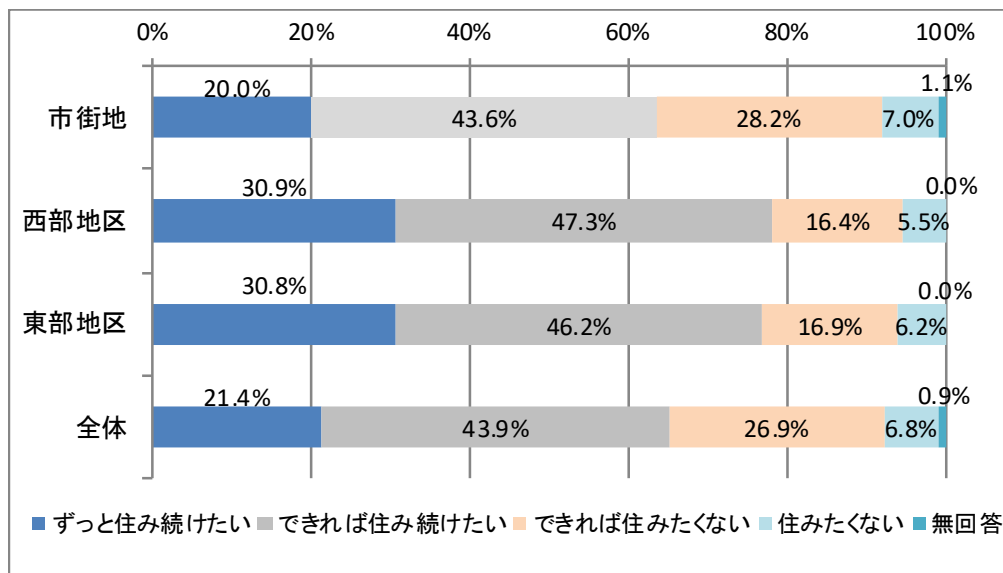
「とても住みよくなった」「住みよくなった」を合わせた割合は、市民全体で 7.8%となっており、「とても住みにくくなった」と「住みにくくなった」を合わせたマイナスの評価（市民全体で 14.6%）を下回った。



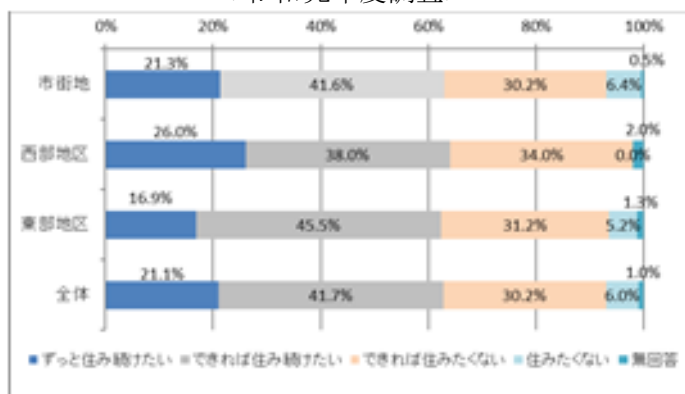
(3) 定住度について（根室に住み続けたいと思うか）

例年、根室市の住みやすさについては、否定的な回答が多いものの、住み続けたいかどうかについては、住み続けたいとの回答が多く、今年度調査においても市民全体で65.3%となっており、これまでの調査結果の中で最も高い割合となっている。

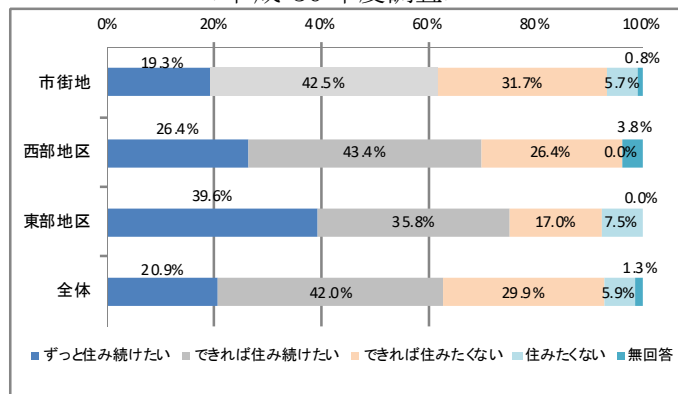
＜令和2年度調査＞



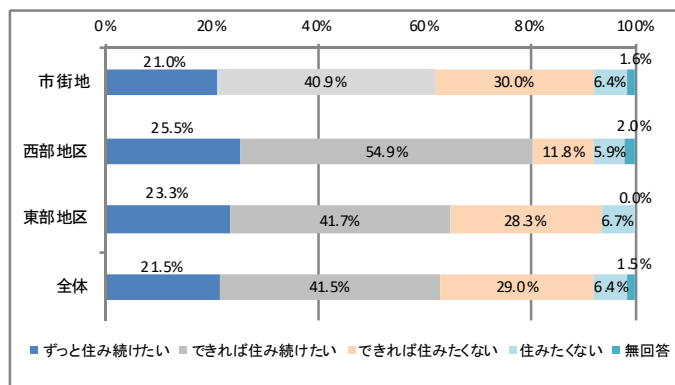
＜令和元年度調査＞



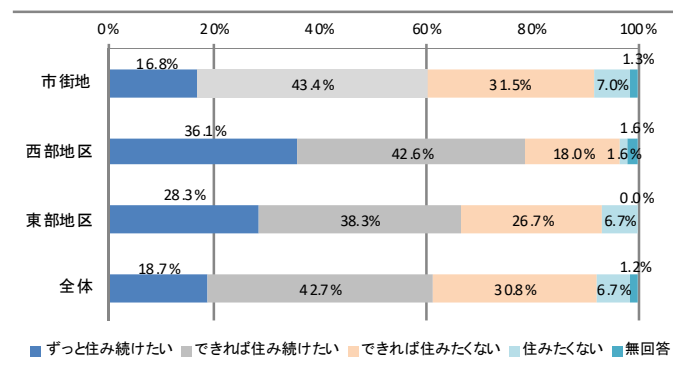
＜平成30年度調査＞



＜平成29年度調査＞



＜平成28年度調査＞

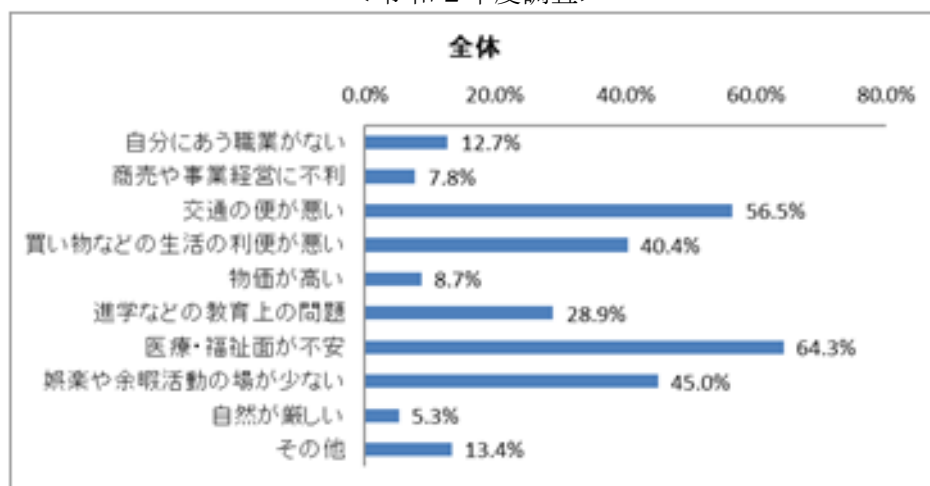


(3) 住み続けたくない理由

①市民全体

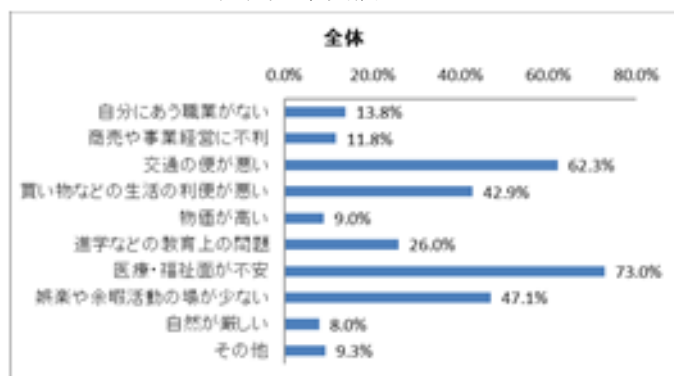
根室市に住み続けたくないとする住民割合は、これまでの調査結果に比してやや減少してはいるものの市民全体で40%近くになっており、前回までの調査結果とほぼ同程度となっている。この住み続けたくない理由をみると、「医療・福祉面が不安」とする回答割合が64.3%と最も多く、次いで「交通の便が悪い」、「娯楽や余暇活動の場が少ない」、「買い物などの生活の利便が悪い」の順となっており、これら4項目が上位にあげられている状況は、これまでの調査結果とほぼ同じ結果となっている。

＜令和2年度調査＞



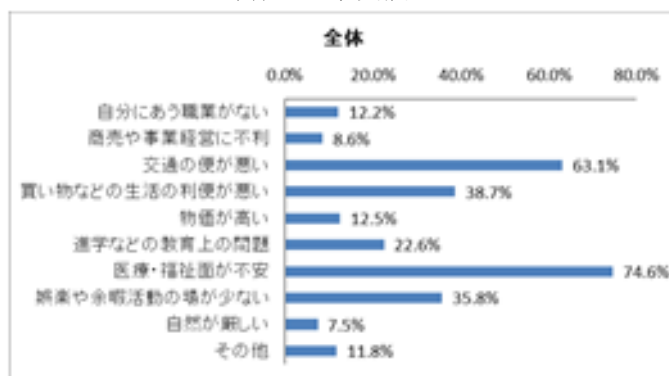
住み続けたくないとする回答数：全体 322（地区不明含む）

＜令和元年度調査＞



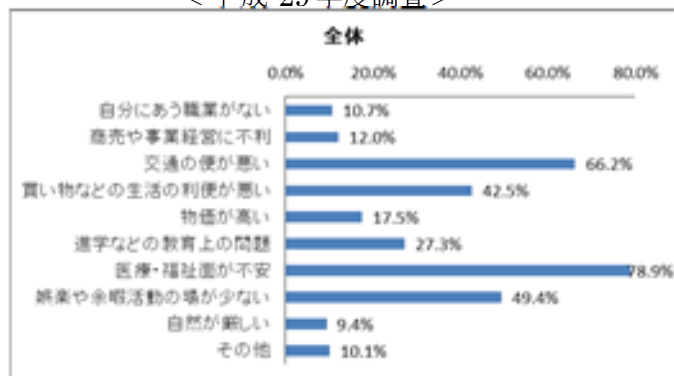
住み続けたくないとする回答数：全体 289（地区不明含む）

＜平成30年度調査＞



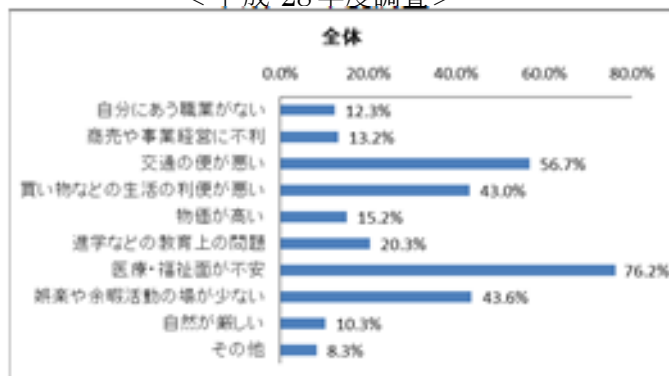
住み続けたくないとする回答数：全体 279（地区不明含む）

＜平成29年度調査＞



住み続けたくないとする回答数：全体 308（地区不明含む）

＜平成28年度調査＞



住み続けたくないとする回答数：全体 349（地区不明含む）

注：各年度の調査とも3つまでの選択を求めている

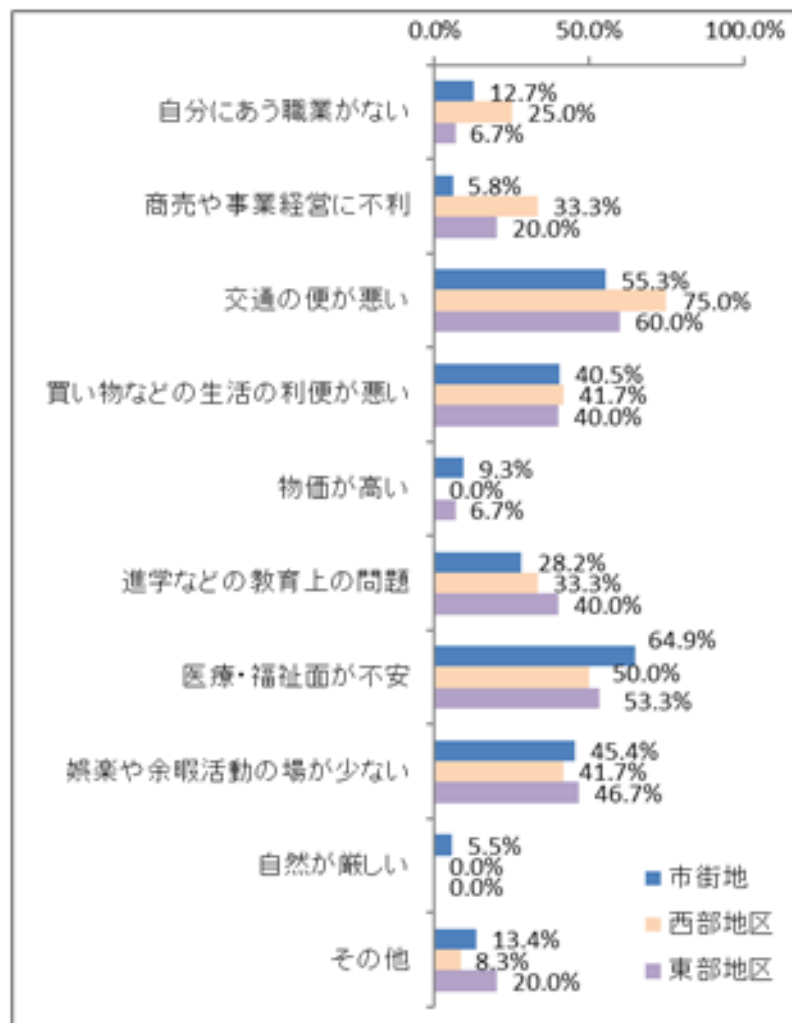
②地区別

地区別にみると、「医療・福祉面での不安」や「交通の便が悪い」は、前回までの調査結果と同様に、3地区とも高くなっている。

西部地区は「交通の便が悪い」と回答する割合は他地区に比して高くなっているが、今回の調査では、昨年と同様に「医療・福祉面での不安」を上回る回答率となっている。

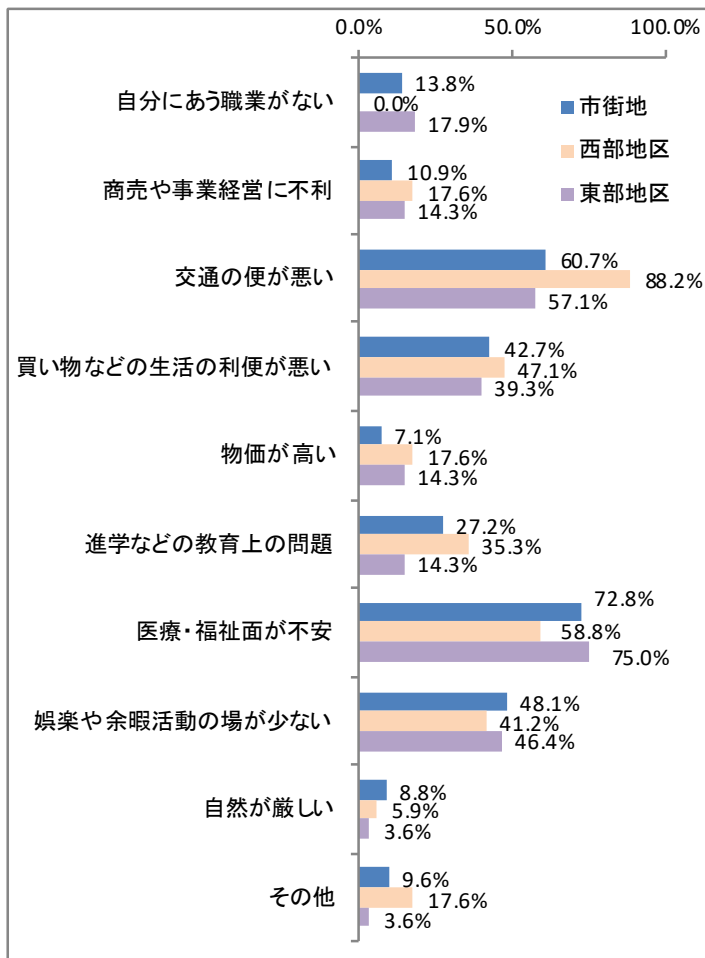
一方、「買い物等の生活利便性が悪い」や「娯楽や余暇活動の場が少ない」を住み続けたくないとする理由にあげる割合は、調査年度により変動がみられるものの、3地区とも上位にあげられている。

<令和2年度調査>



住み続けたくないと
する回答数
市街地 : 291 件
西部地区 : 12 件
東部地区 : 15 件

< 令和元年度調査 >



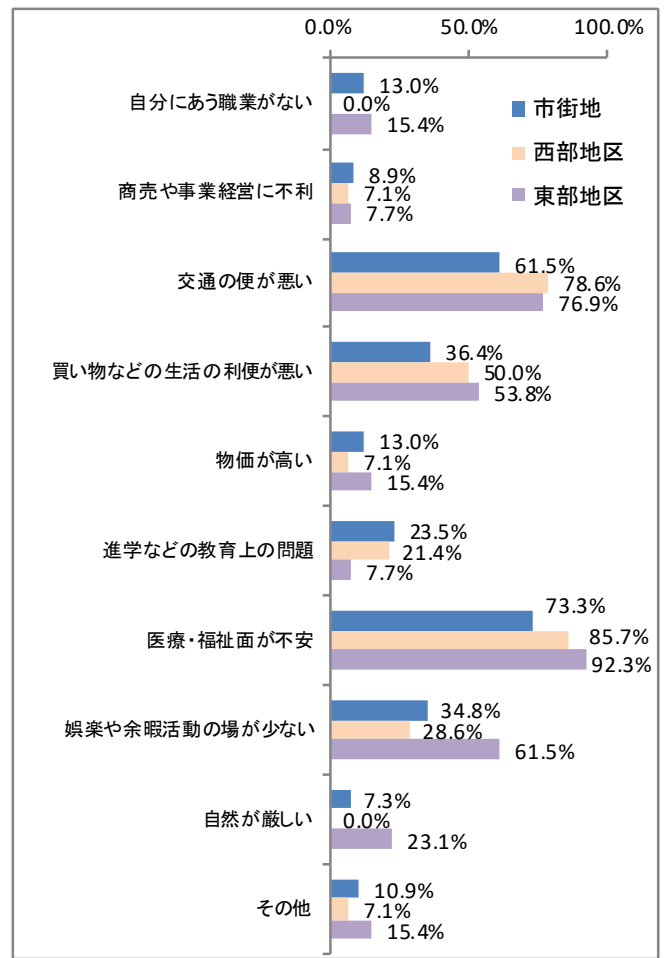
住み続けたくないと
する回答数

市街地 : 239 件

西部地区 : 17 件

東部地区 : 28 件

< 平成 30 年度調査 >



住み続けたくないと
する回答数

市街地 : 247 件

西部地区 : 14 件

東部地区 : 13 件

注 : 本設問は 3 つまでの選択を求めている

3. 5 保健医療について

(1) 現在の健康状態

現在の健康状態についてみると、「きわめて良好」「良好」を合わせた「良好」とする割合は、回答者全体で38.0%となっており、これに対して「悪い」及び「きわめて悪い」とする回答は11.8%となっている。

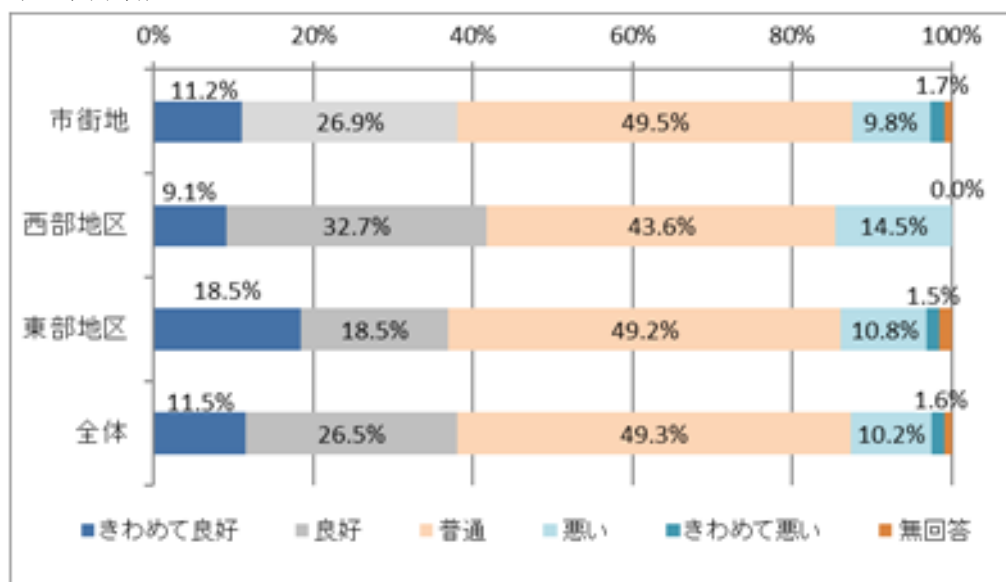
「良好」とする回答は、3地区ともほぼ4割近い割合となっている。

一方、60歳以上の回答者についてみると、「良好」の割合は3地区とも20%程度まで低下しているものの、「悪い」とする回答も20%程度に留まっている。

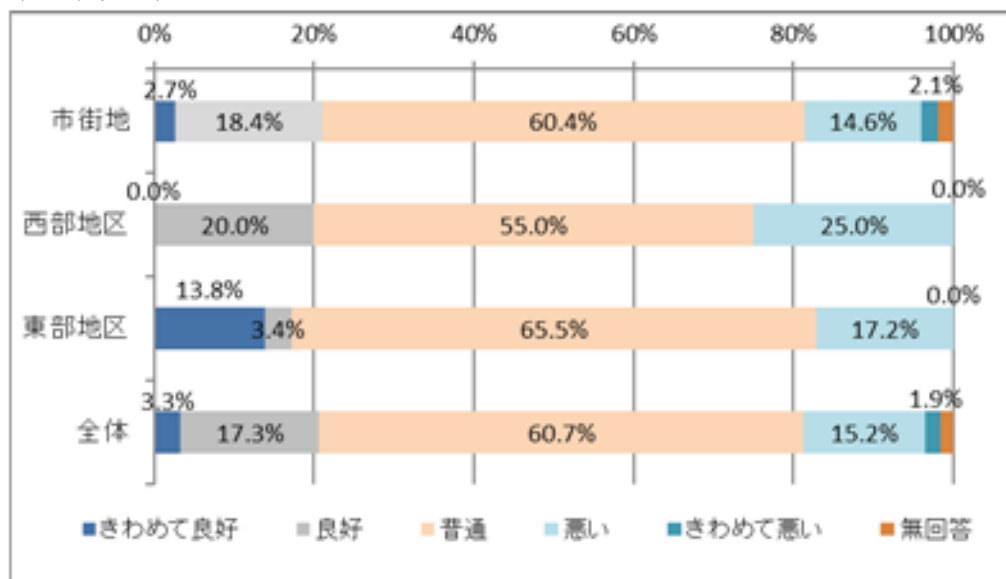
この結果は、これまでの調査とほぼ同様の結果となっている。

<令和2年度調査>

(全年齢層)

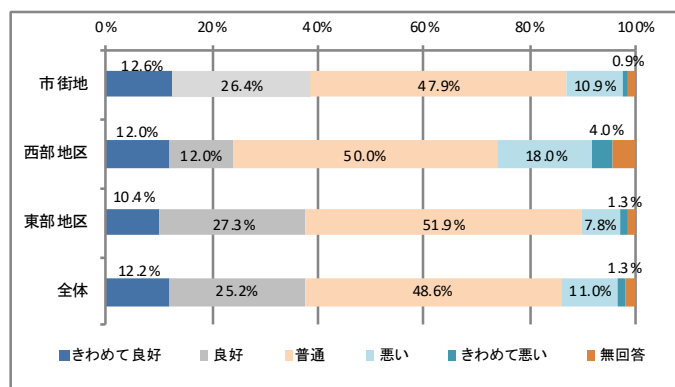


(60歳以上)



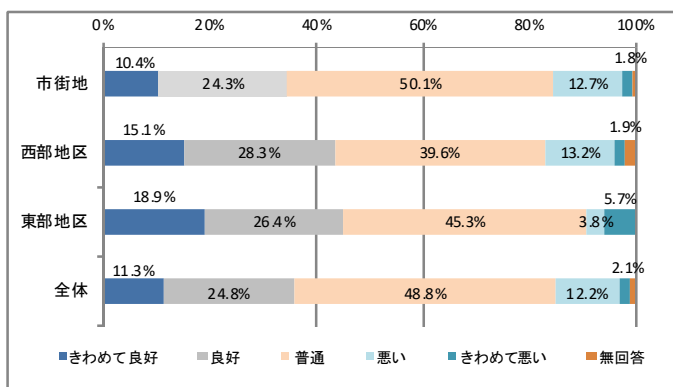
< 令和元年度調査 >

(全年齢層)

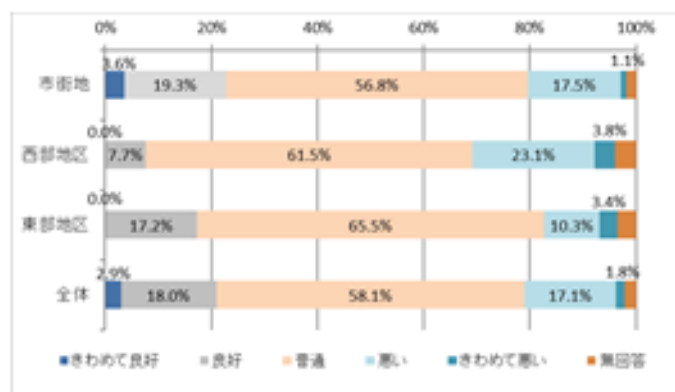


< 平成 30 年度調査 >

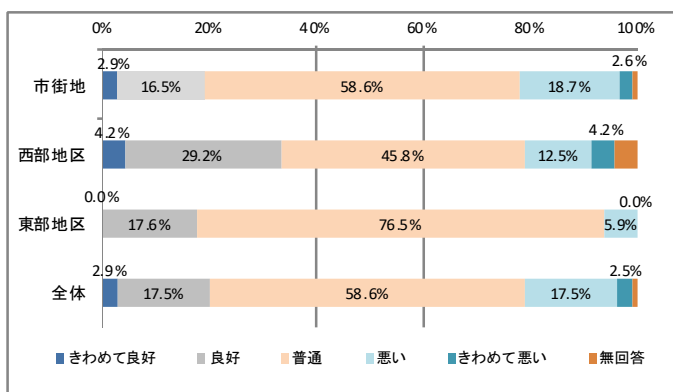
(全年齢層)



(60 歳以上)



(60 歳以上)



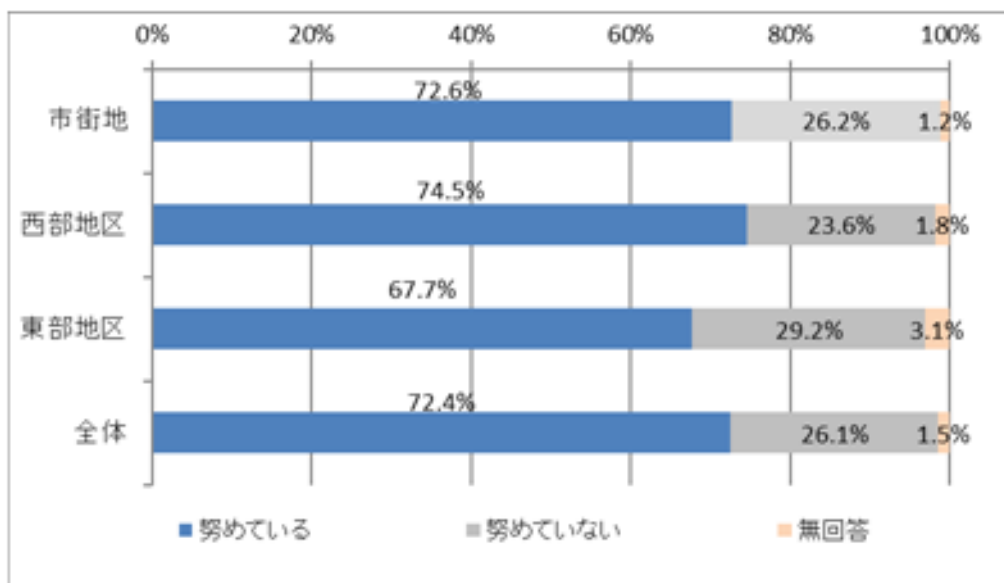
（２）健康管理

日常の健康管理の状況についてみると、回答者全体では 72.4% が、60 歳以上の回答者では 82.4% が「努めている」としているなど、健康管理への意識が高い状況が把握される。ただし、東部地区では 60 歳以上の回答者で「努めている」割合が例年と同様に低くなっている。

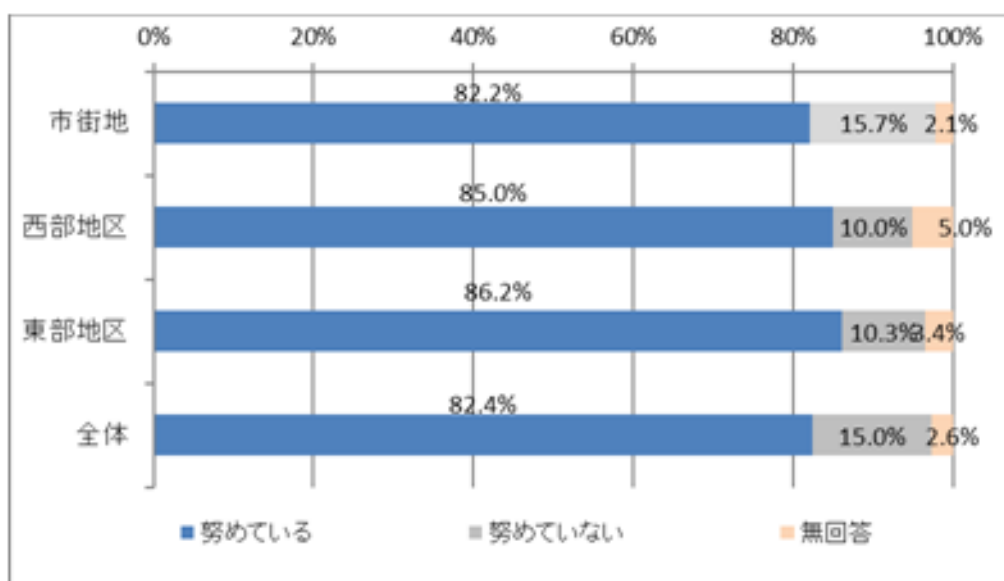
昨年度までの調査結果と比較すると、全年齢層、60 歳以上の回答者とも、健康管理に「努めている」とする割合は、ほぼ同水準を維持している。

＜令和 2 年度調査＞

（全年齢層）

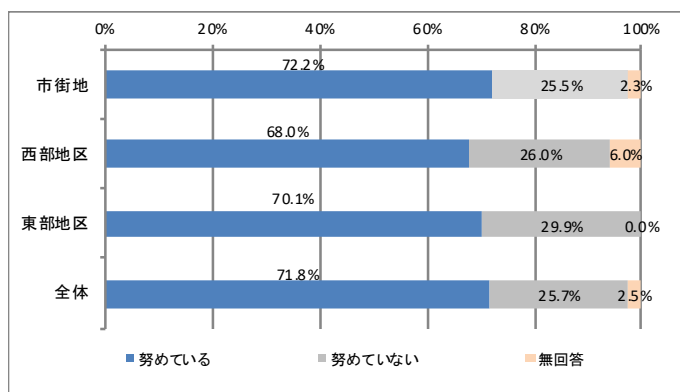


（60 歳以上）



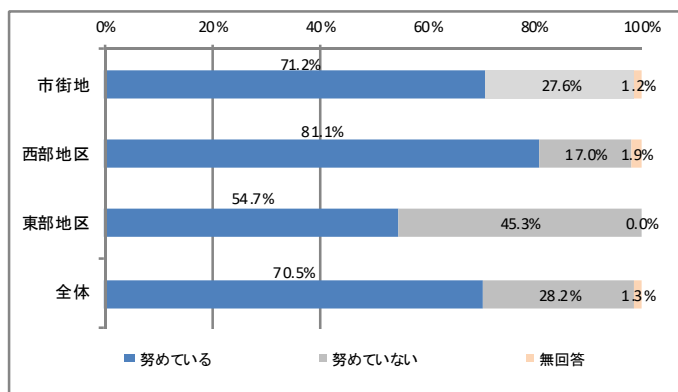
< 令和元年度調査 >

(全年齢層)

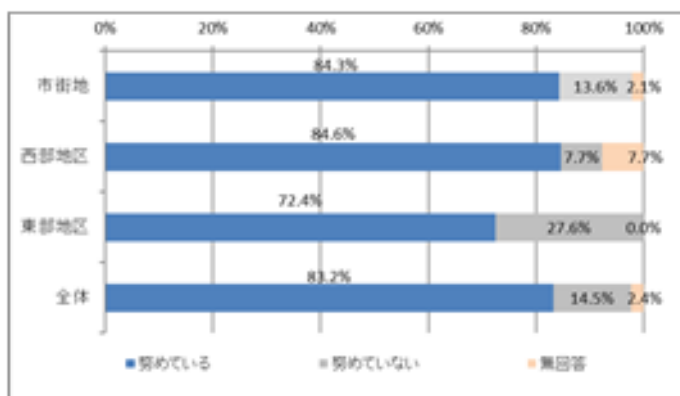


< 平成 30 年度調査 >

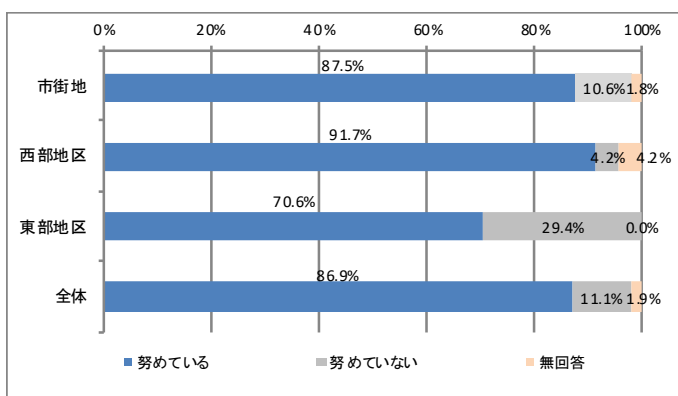
(全年齢層)



(60 歳以上)



(60 歳以上)



(3) 30分以上の運動の実施状況

1日30分以上の運動を行っている頻度についてみると、全年齢層では「ほとんどしていない」が最も多く38.5%となっている反面、週に1日以上（「毎日」「週に2日以上」「週に1日程度」の合計）運動している割合は、51.8%と半数を超えている。

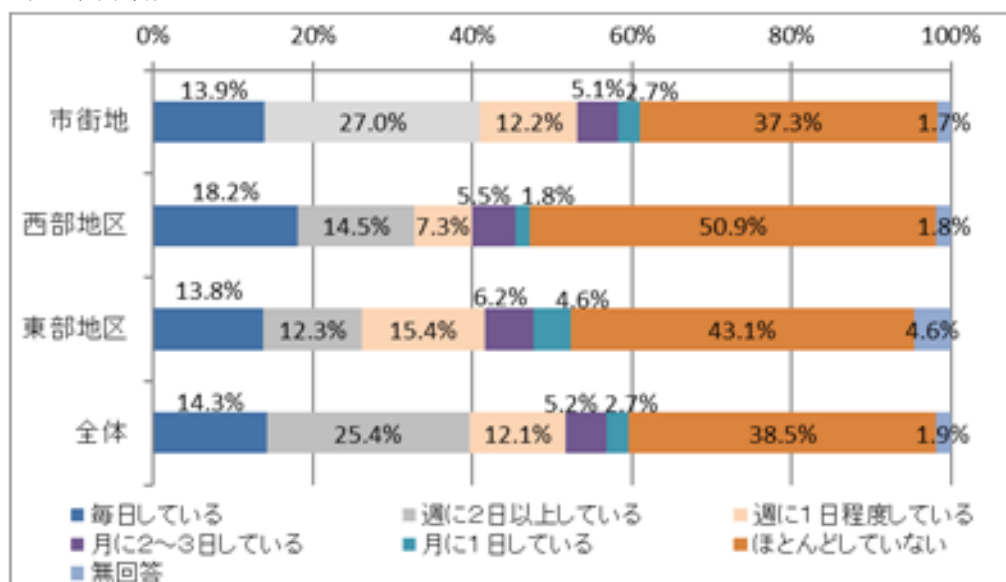
一方、60歳以上の回答者についてみると、「ほとんどしていない」が32.3%と最も多くなっており、週に1日以上運動している割合は57.4%と、市民全体よりも高い割合を示している。

地区別でみると、西部地区、東部地区とも実施している住民の割合が低くなっている。この2地区については、例年、変動が大きいもののサンプル数が少ないため評価には至らない。

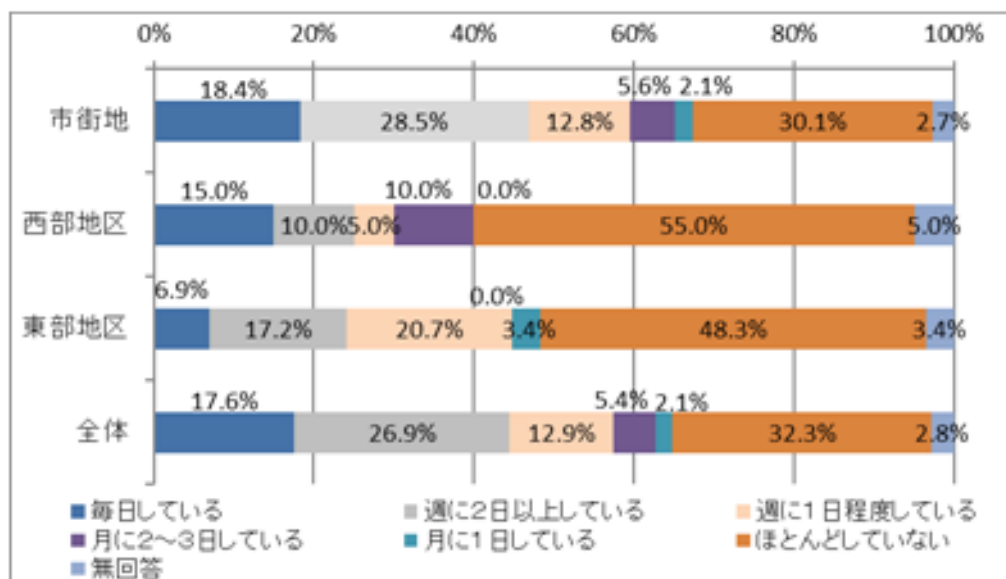
このように、サンプル数の都合によって地区別での変動がみられるものの、30分以上の運動を週1日以上実施している市民の割合は、ほぼこれまでの調査結果と同様となっている。

<令和2年度調査>

(全年齢層)

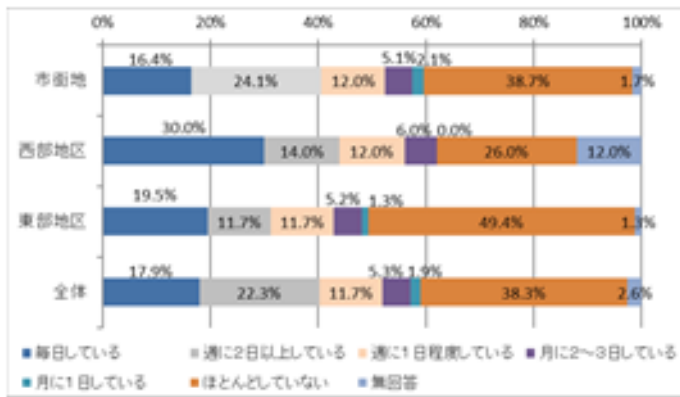


(60歳以上)



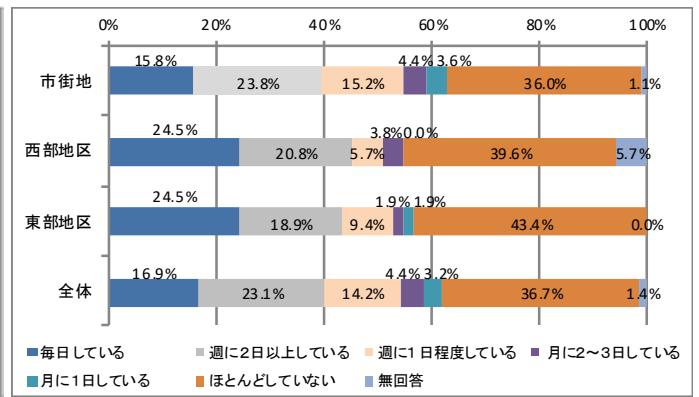
< 令和元年度調査 >

(全年齢層)

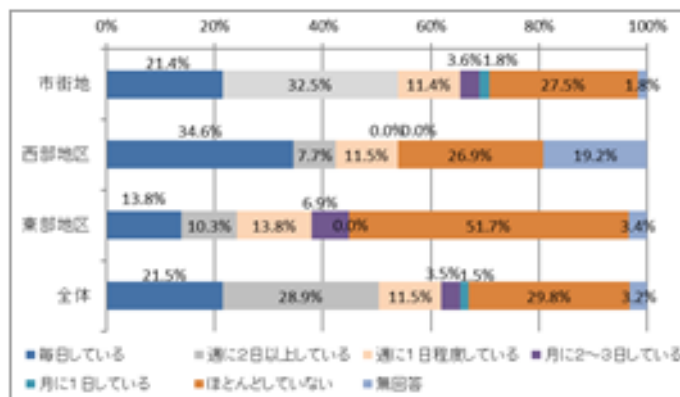


< 平成30年度調査 >

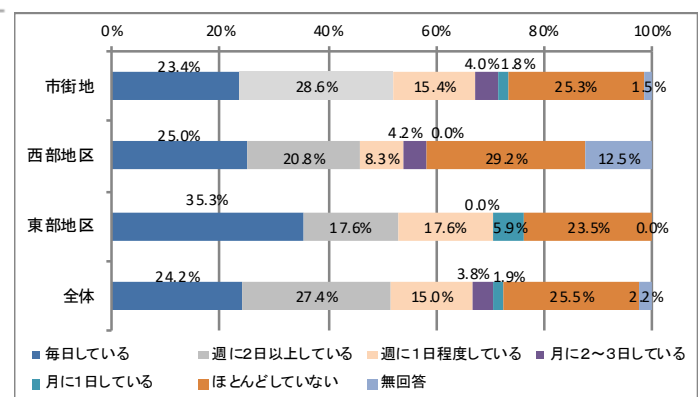
(全年齢層)



(60歳以上)



(60歳以上)



(4) 市立根室病院の分娩再開の認知度について

本設問は、平成 30 年度調査から追加した項目である。

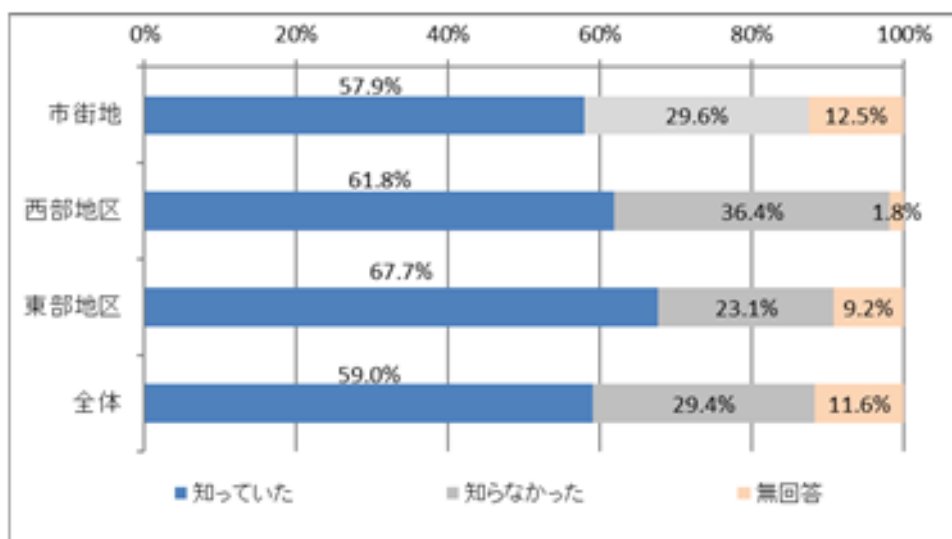
根室市では、平成 29 年 4 月 1 日から経産婦の方を対象に分娩を再開しているが、そうした状況を市民が認知しているかどうかについて調査した結果、59.0%の方が「知っていた」としており、平成 30 年度調査時から年々低下している。

年齢階層別でも総じて認知度が低くなっており、特に 20 歳代以下で低くなっており、50%以下となっている。

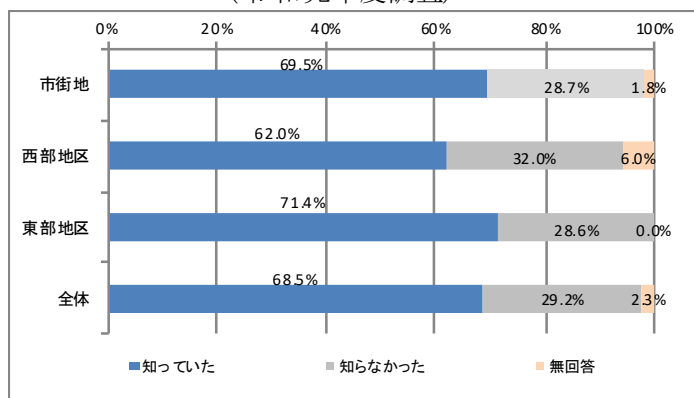
また、20 歳代～40 歳代の子育て世代の認知度をみても認知度は低下しており、周知を図るとともに分娩機能の充実を図ることが重要と考えられる。

市立根室病院の分娩再開の認知度

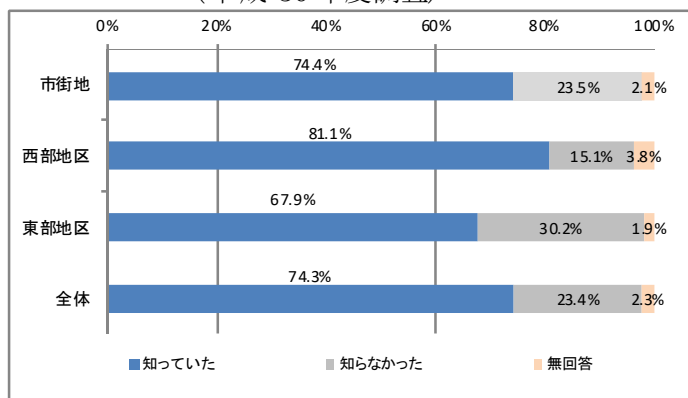
(令和 2 年度調査)



(令和元年度調査)



(平成 30 年度調査)



年齢階層別分娩開始の認知度

(令和2年度調査)

	年齢階層								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	8	43	99	98	62	252	1	563	240
知らなかった	16	49	35	46	30	104	0	280	130
無回答	6	5	6	8	14	71	1	111	19
計	30	97	140	152	106	427	2	954	389
	構成比								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	26.7%	44.3%	70.7%	64.5%	58.5%	59.0%	50.0%	59.0%	61.7%
知らなかった	53.3%	50.5%	25.0%	30.3%	28.3%	24.4%	0.0%	29.4%	33.4%
無回答	20.0%	5.2%	4.3%	5.3%	13.2%	16.6%	50.0%	11.6%	4.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(令和元年度調査)

	年齢階層								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	9	43	93	103	58	239	2	547	239
知らなかった	20	33	36	30	21	90	3	233	99
無回答	2	0	2	0	2	10	2	18	2
計	31	76	131	133	81	339	7	798	340
	構成比								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	29.0%	56.6%	71.0%	77.4%	71.6%	70.5%	28.6%	68.5%	70.3%
知らなかった	64.5%	43.4%	27.5%	22.6%	25.9%	26.5%	42.9%	29.2%	29.1%
無回答	6.5%	0.0%	1.5%	0.0%	2.5%	2.9%	28.6%	2.3%	0.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(平成30年度調査)

	年齢階層								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	12	58	94	99	78	236	2	579	251
知らなかった	15	21	27	27	24	67	1	182	75
無回答	1	0	1	1	2	11	2	18	2
計	28	79	122	127	104	314	5	779	328
	構成比								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	42.9%	73.4%	77.0%	78.0%	75.0%	75.2%	40.0%	74.3%	76.5%
知らなかった	53.6%	26.6%	22.1%	21.3%	23.1%	21.3%	20.0%	23.4%	22.9%
無回答	3.6%	0.0%	0.8%	0.8%	1.9%	3.5%	40.0%	2.3%	0.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(5) 施策に対する認知度

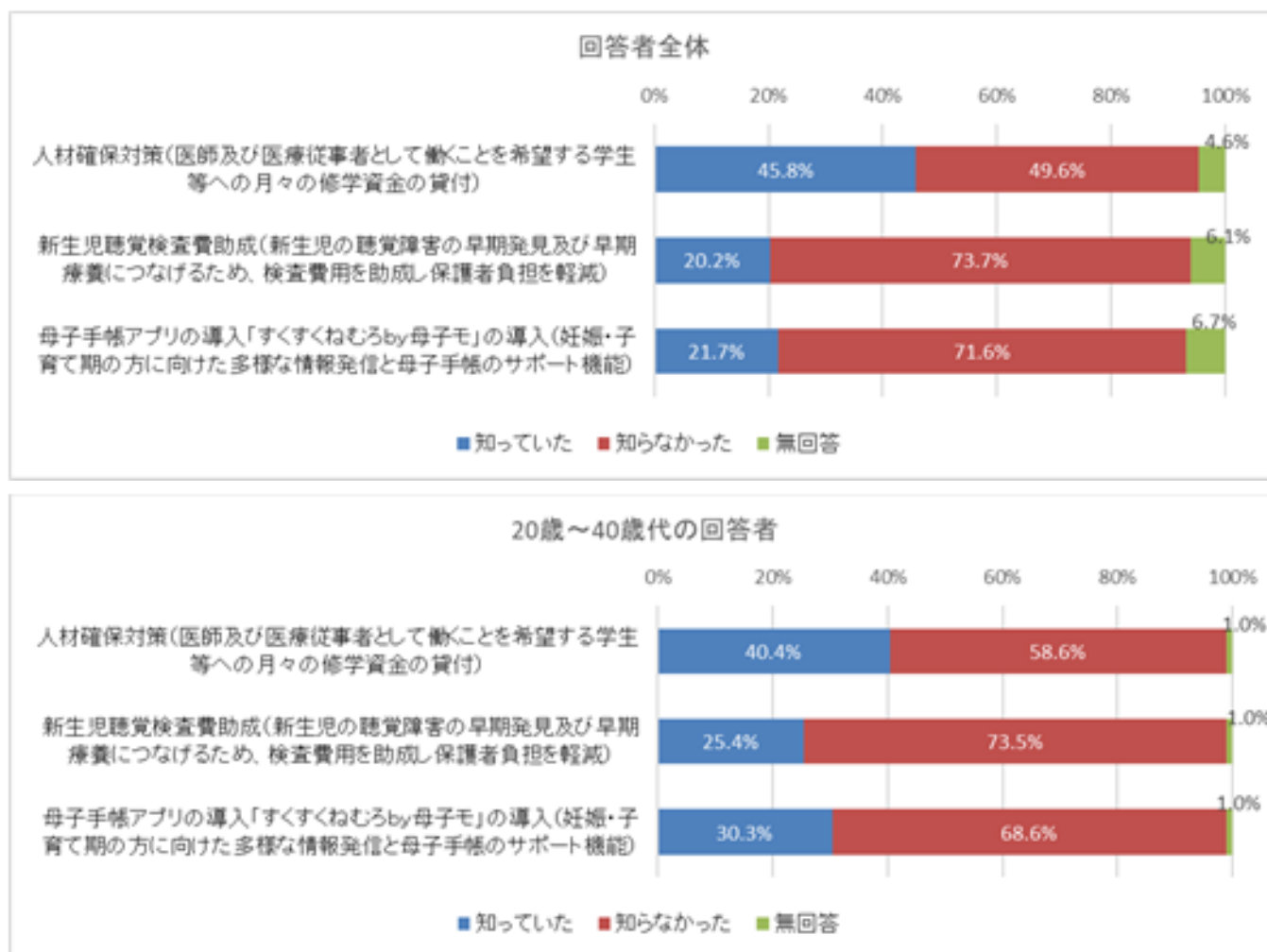
①市民全体

根室市で実施している保健医療に関する施策の認知度についてみると、市民全体の認知度は、人材確保対策については、45.8%が知っていたとしており、やや高くなっているが、新生児聴覚検査費助成、母子手帳アプリの導入に関しては、20%程度の認知度にとどまっている。

特に、人材確保対策については、昨年度調査でも認知度を聞いているが、その結果（48.2%）よりも認知度は低下している。

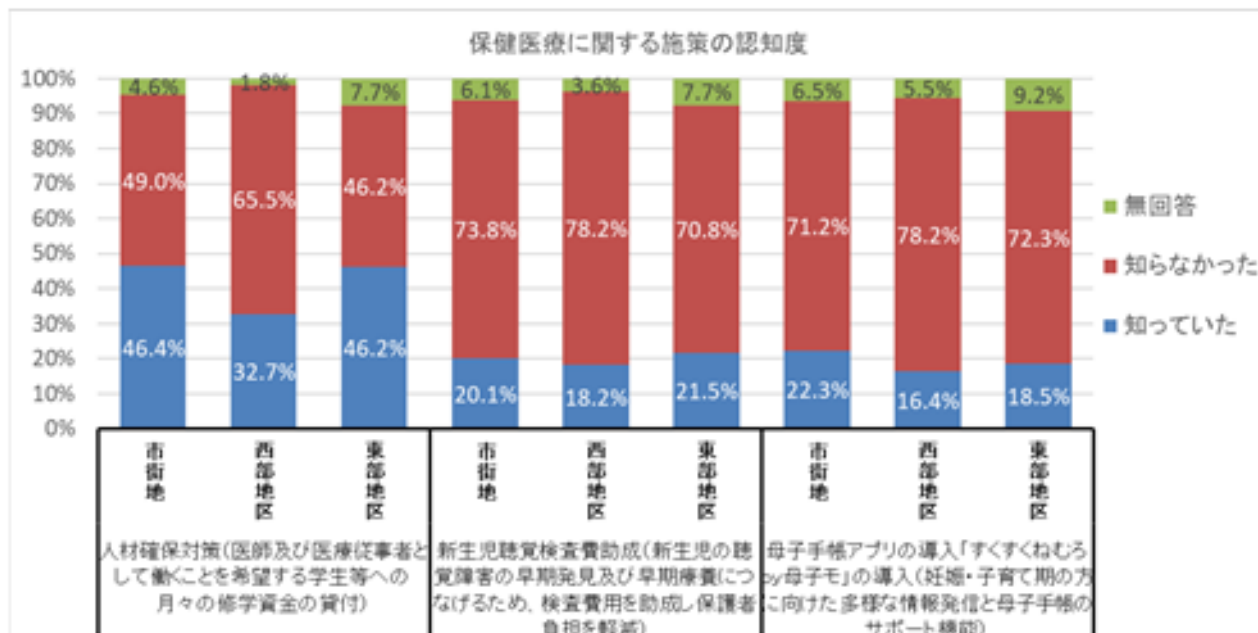
20歳～40歳代の子育て世代の認知度についてみると、新生児聴覚検査費助成、母子手帳アプリの導入に関しては、市民全体よりもやや認知度は高くなっているが、25～30%程度にすぎない。

保健医療に関する施策の認知度



② 地区別

保健医療関連施策の認知度を地区別にみると、それぞれの施策に対する認知度の地区別の特性は特にみられず、3つの施策のうち人材確保対策に対する認知度がやや高く、それ以外の施策に関しては3地区とも20%前後となっている。



(6) 根室市の医療環境の状況について

① 医療環境に対する満足度

市内の病院などの医療環境に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合は、10.6%となっており、令和元年度調査の結果よりもやや上昇している。

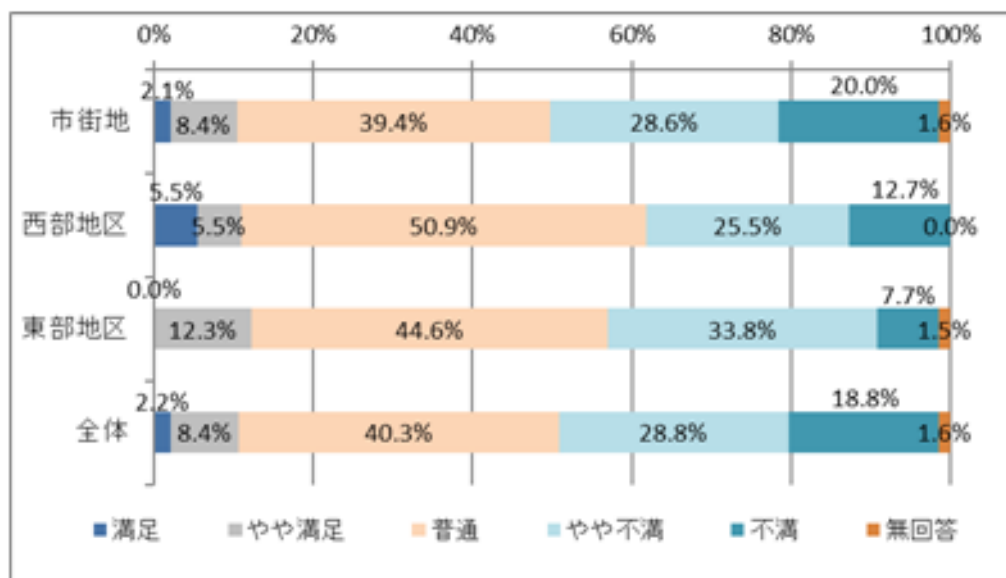
地域別も同様に、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で10.5%、西部地区及び東部地区で11.0%～12.3%となっており、3地区とも満足度が上昇している。

今回調査の結果とこれまでの調査結果を比較すると、市立病院での分娩が可能となった平成30年度調査以降、「普通」の回答割合が高くなっており（平成28年度調査で17.0%、平成29年度調査で21.9%）、普通以上の満足度を感じている住民が概ね50%を超えている。

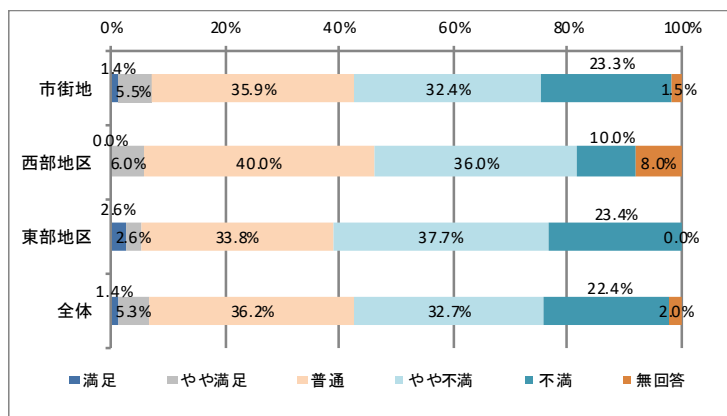
しかし、「不満」「やや不満」を合わせた「不満」とする回答割合は、令和元年度の約60%より低下し、50%弱となっているが、「満足」とする回答を大きく上回っており、不満意識が高い状況が続いていることから、さらなる医療環境の整備向上が不可欠といえよう。

根室市の医療環境に対する満足度

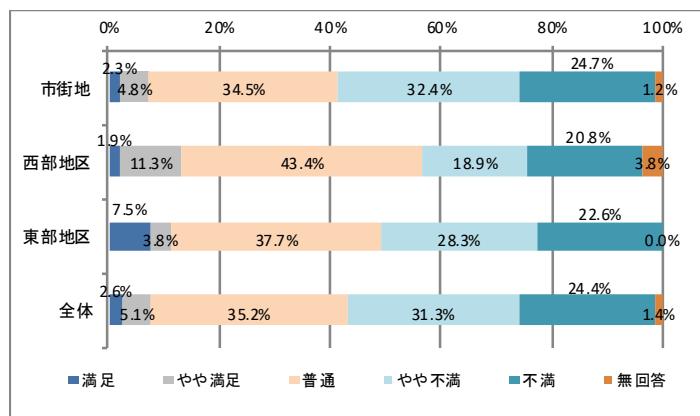
< 令和2年度調査 >



< 令和元年度調査 >



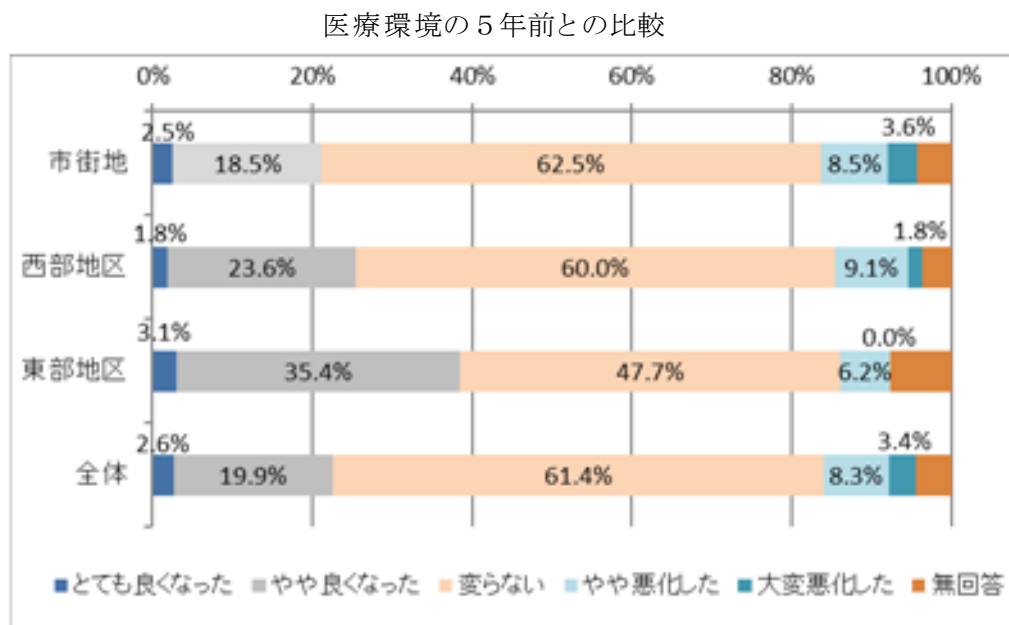
< 平成29年度調査 >



②医療環境の5年前との比較

本調査では、根室市の医療環境の状況を5年前と比較してもらった。その結果、市民全体では「変わらない」が最も多く、61.4%を占めた。地区別でも同様の結果となっており、どの地区とも「変わらない」とする回答が最も多かった。

しかし、「とても良くなった」「やや良くなった」を合わせた「良くなった」とする評価の割合は、市民全体で22.5%となっており、「大変悪化した」と「やや悪化した」を合わせたマイナスの評価（市民全体で11.7%）を上回った。



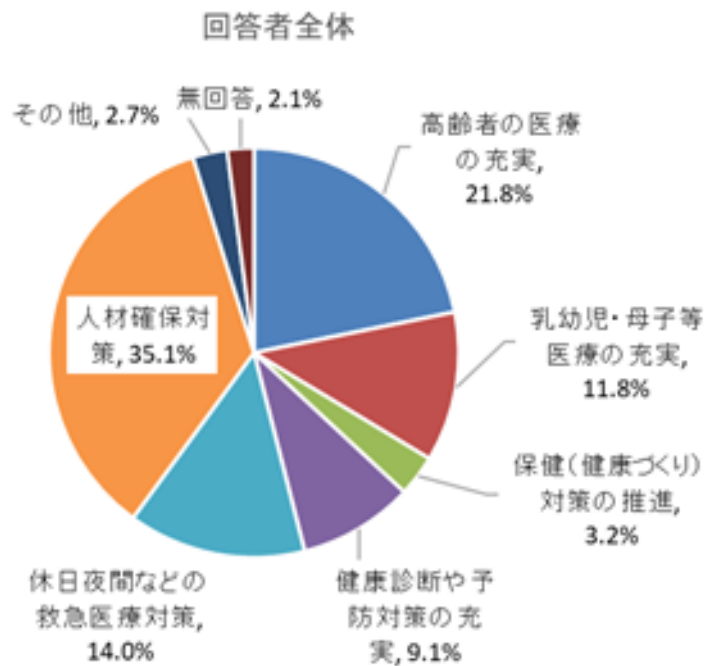
(7) 保健医療政策について

①市民全体

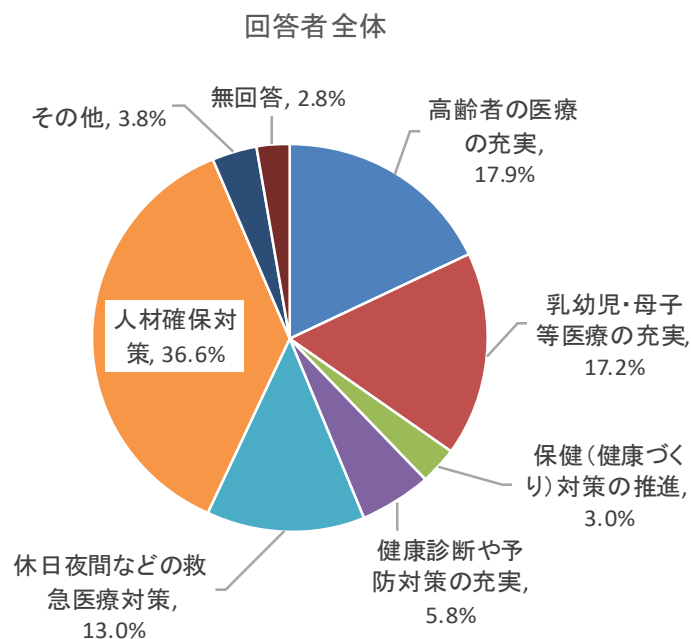
根室市の保健医療に関して、今後重点的に取り組むべきと考える政策を1つだけ回答してもらった結果、回答者全体では、「人材確保対策」が最も多く、35.1%を占めた。

これに次いで、「高齢者の医療の充実」、「休日夜間などの救急医療対策」、「乳幼児・母子等医療の充実」が続いており、昨年度調査では、「人材育成」の次に「乳幼児・母子等医療の充実」であったが、上位の項目は昨年度調査と同様の結果であった。

<令和2年度調査>



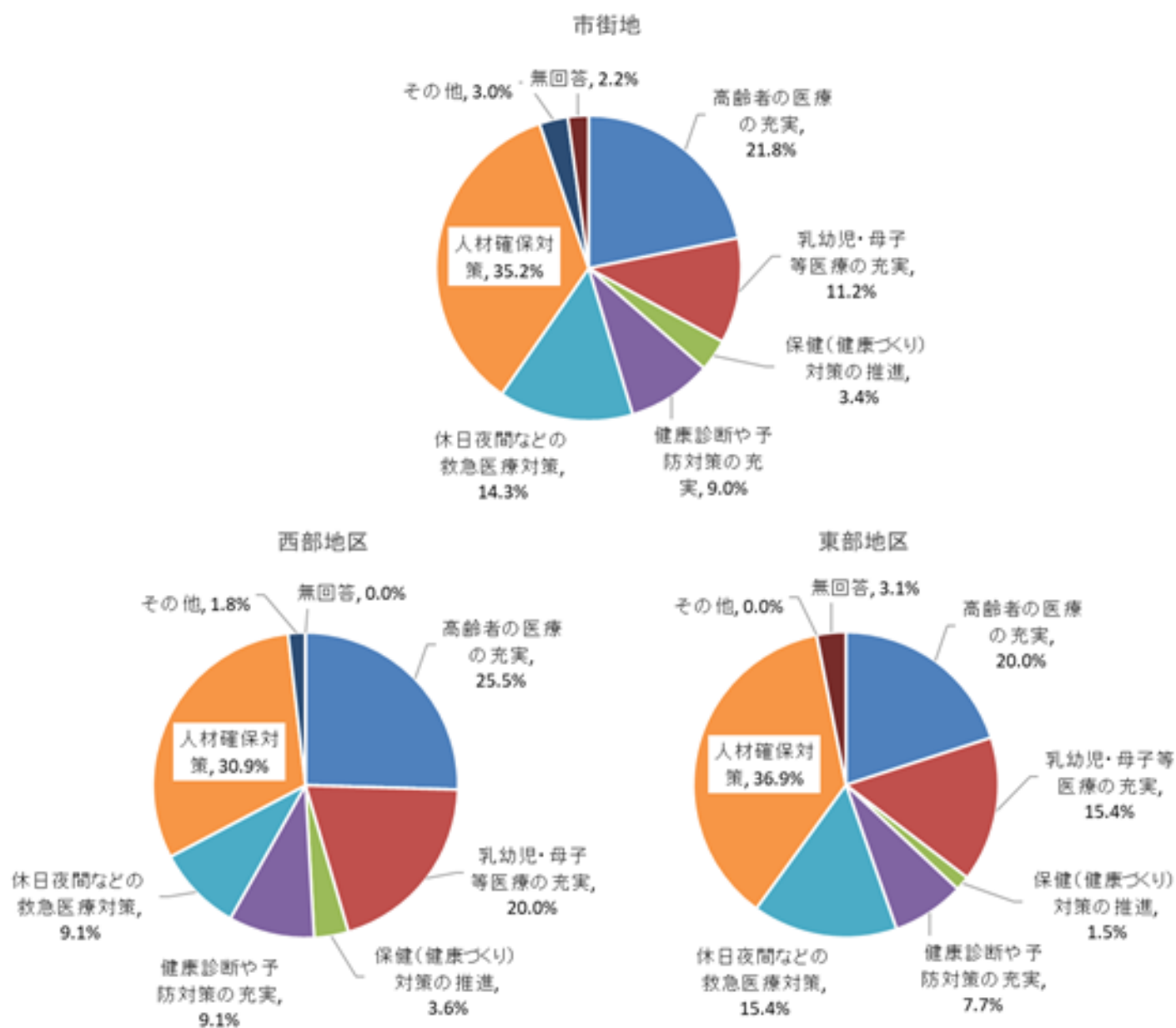
<令和元年度調査>



注：自由回答の内容を反映させ、令和元年度調査から「人材確保対策」の項目を追加した。

②地区別

地区別に重要と考える保健医療政策についてみると、3地区とも「人材確保対策」、「高齢者の医療の充実」、「乳幼児・母子等医療の充実」、「休日夜間などの救急医療対策」が上位に要望されており、昨年度調査とほぼ同様の結果となっている。



3. 6 少子化・子育て支援について

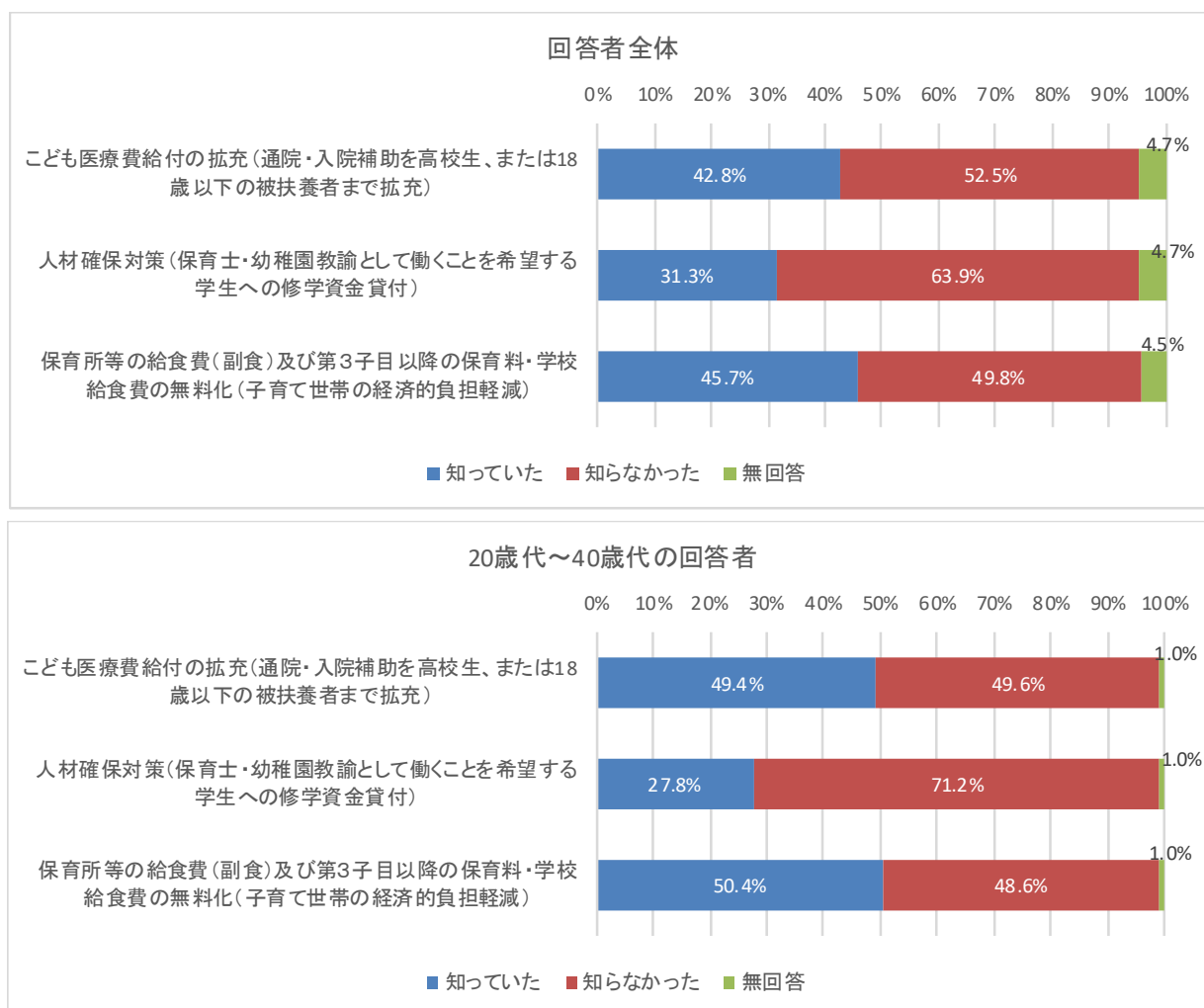
(1) 施策に対する認知度

①市民全体

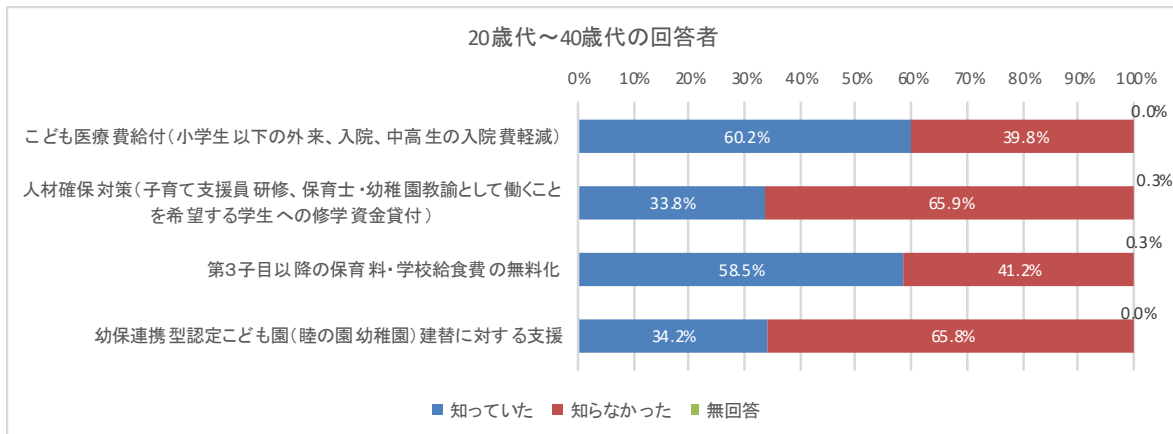
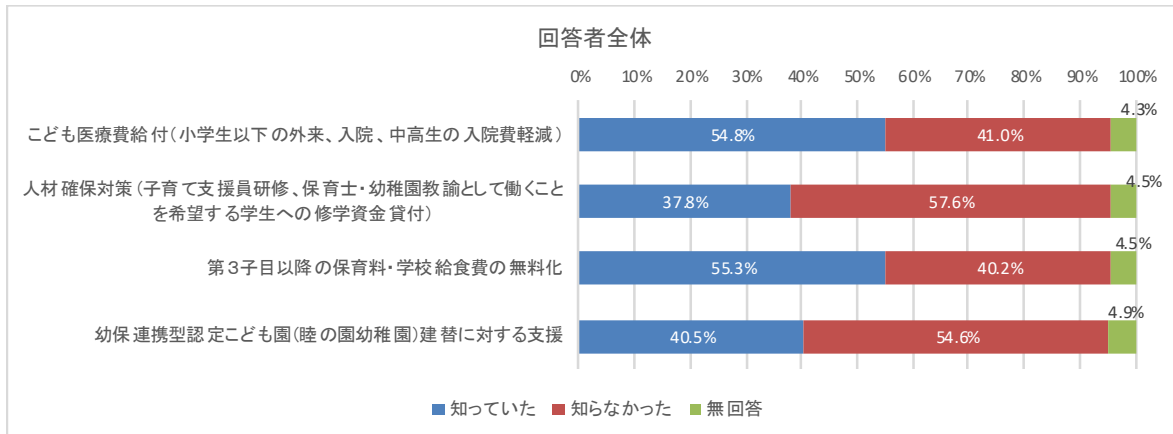
根室市で実施している「少子化対策」、「地域の子育て支援」に関する主要施策についての認知度をみると、回答者全体では、「こども医療費給付の拡充」、「保育所の給食費及び第3子目以降の保育料・学校給食費の無料化」への認知度が比較的高く、特に20歳代～40歳代の子育て世代での認知度が高い。

しかし、これまでの調査結果と比較すると、この3つの施策とも認知度は低下しており、子育て世代である20歳～40歳代でも10ポイント以上の低下がみられている。

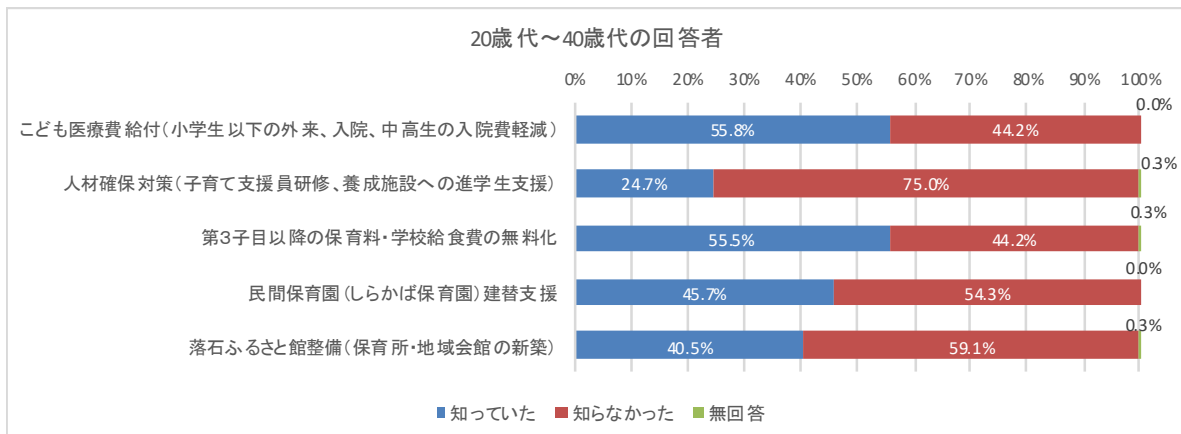
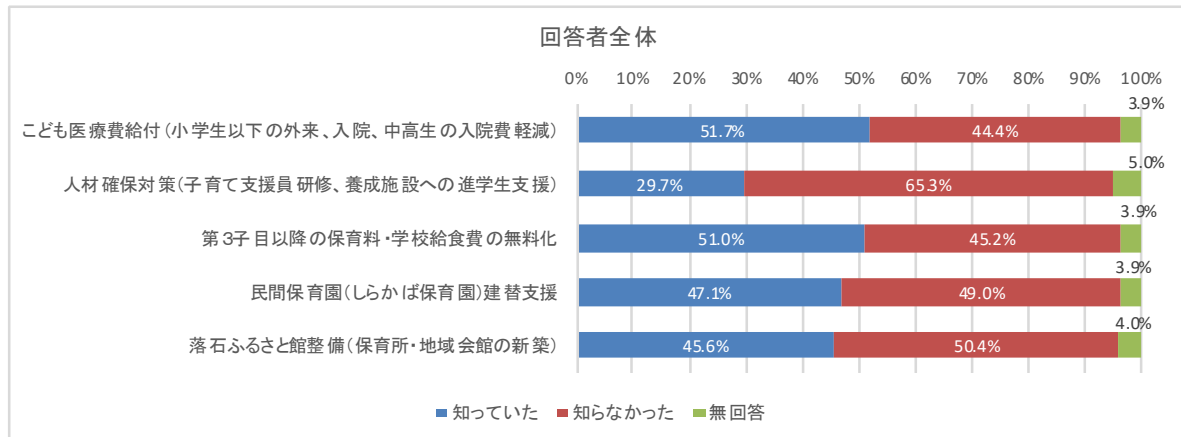
令和2年度調査結果



令和元年度調査結果



平成30年度調査結果

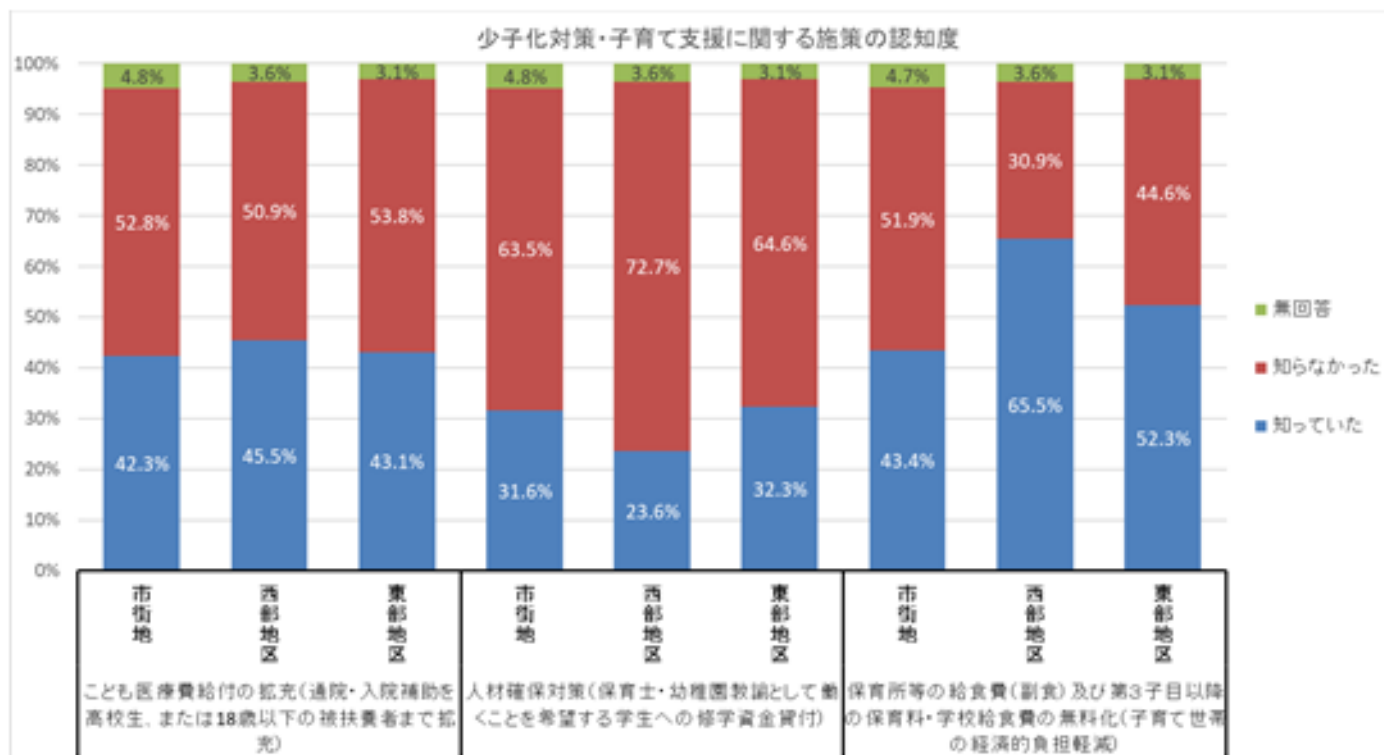


②地区別

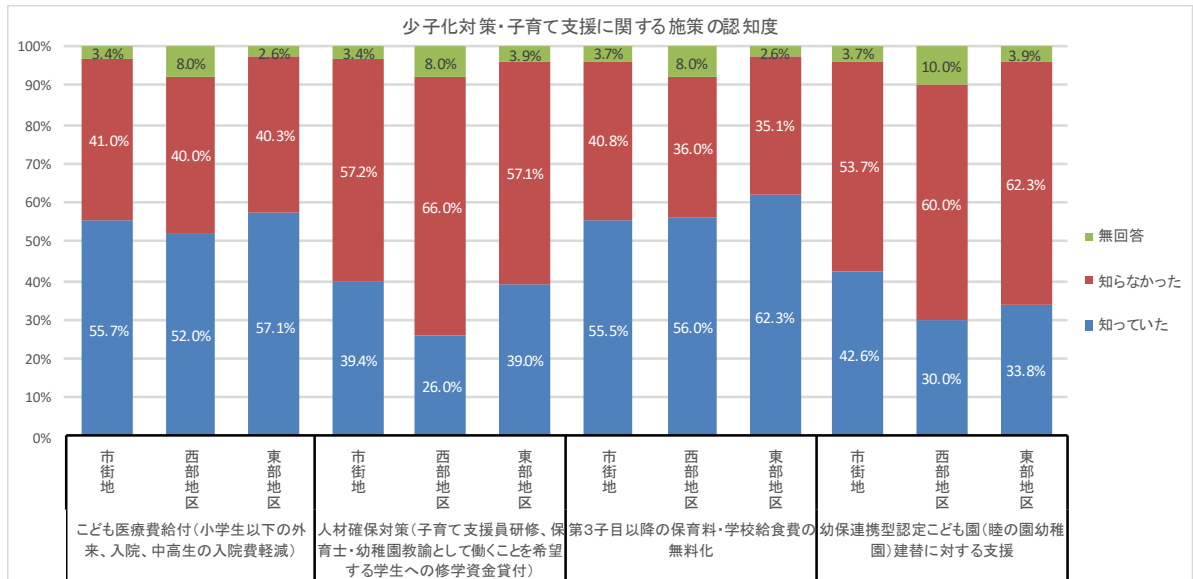
「少子化対策」、「地域の子育て支援」に関する主要施策の認知度を地区別でみると、3地区とも昨年度までの調査結果より認知度が低下している。

その中で、保育所の給食費及び第3子目以降の保育料・学校給食費の無料化」に対する認知度は市街地住民よりも西部地区、東部地区住民の方が高い傾向がみられている。

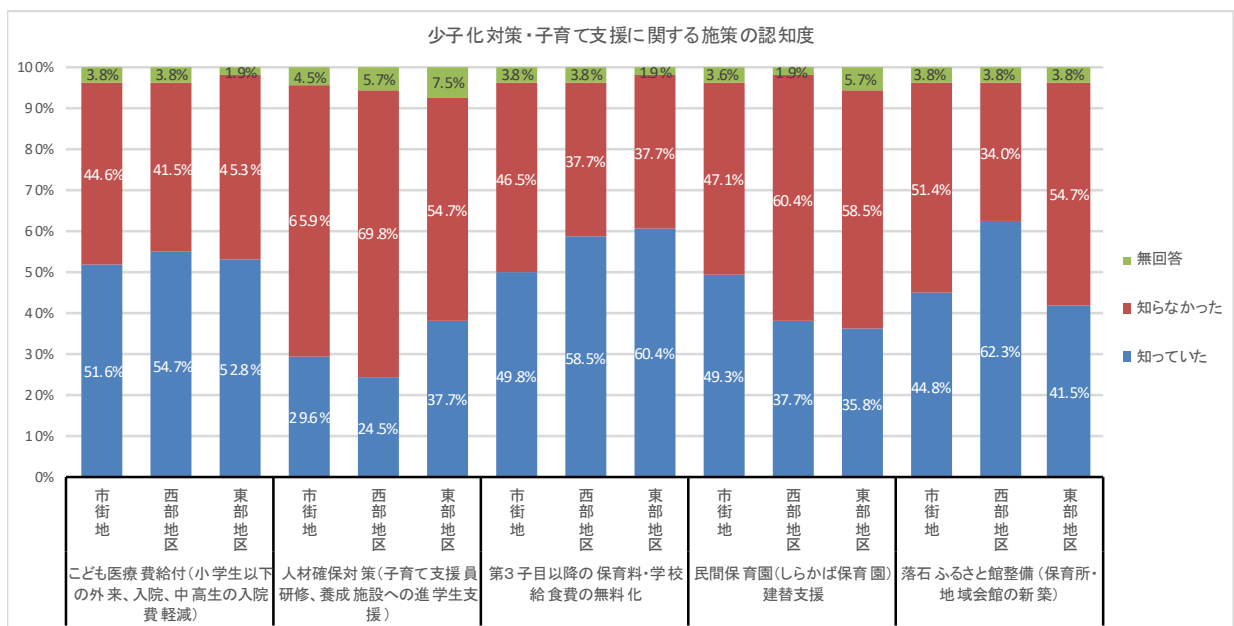
令和2年度の地区別認知度調査結果



令和元年度の地区別認知度調査結果



平成30年度の地区別認知度調査結果



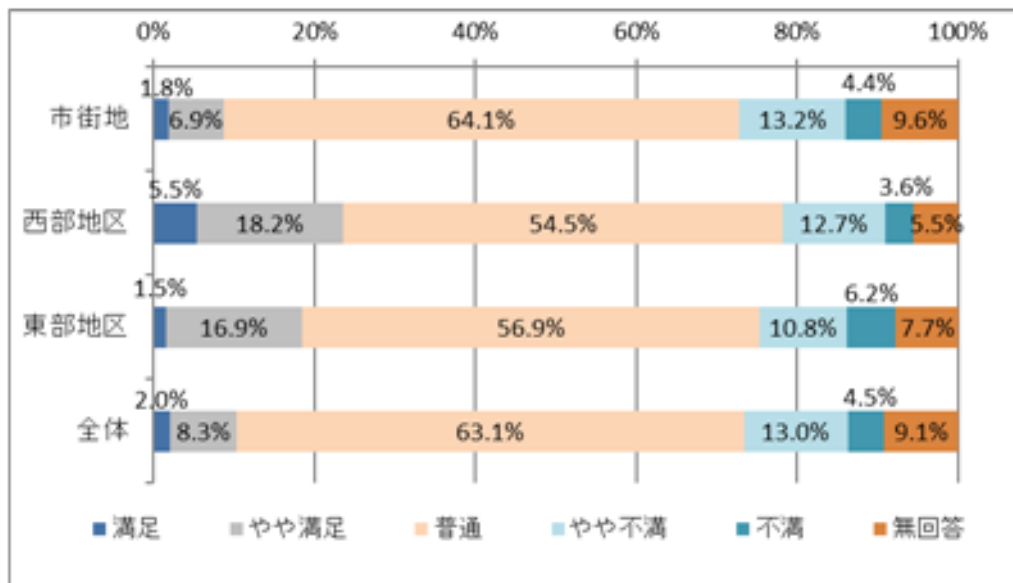
（２）乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度

乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合は、10.3%となっており、昨年度までの調査の結果を上回っている。

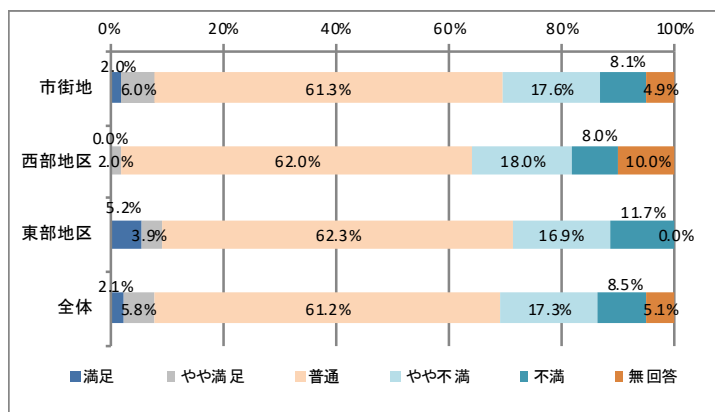
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は3地区とも増加しており、さらに、「不満」と「やや不満」を合わせた「不満」の割合も年々低下している傾向がみられる。

乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度

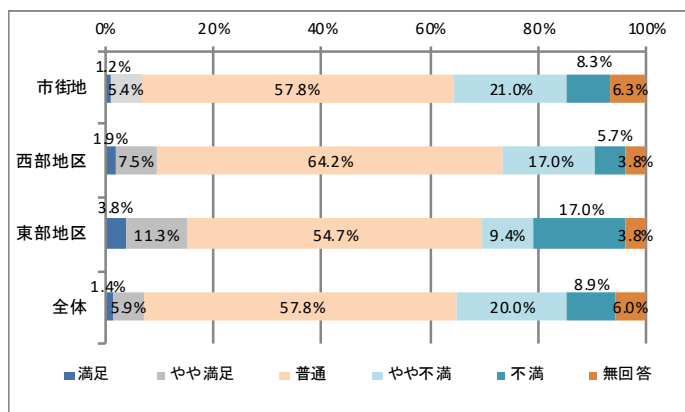
＜令和2年度調査＞



＜令和元年度調査＞



＜平成30年度調査＞



(3) 子育てのための環境や支援に対する満足度

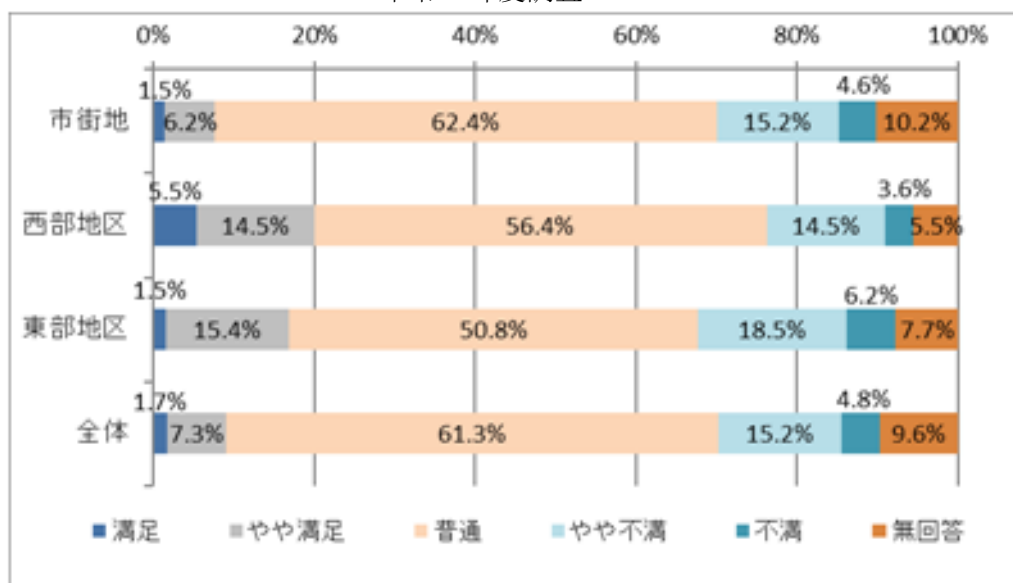
子育てのための環境や支援に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合は、9.0%となっており、平成30年度までの調査の結果よりもやや向上している。

地域別でみると、3地区とも昨年度までの調査結果と比して「満足」と「やや満足」を合わせた割合が増加している。

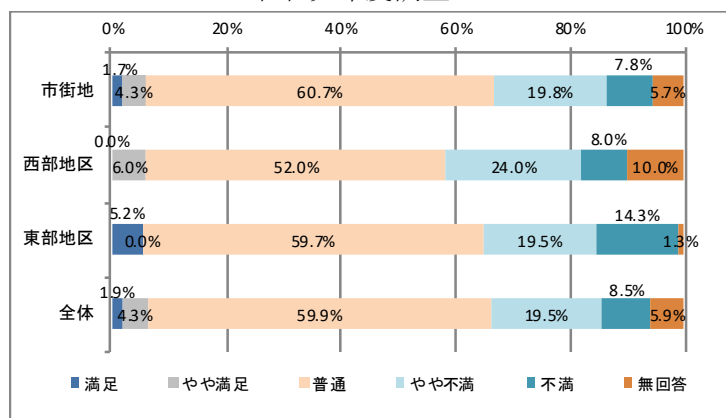
今回調査の結果と平成30年度の調査結果を比較すると、この項目でも「普通」の回答割合が高くなってきており、特に市街地でこの傾向が強く、市街地住民の子育てのための環境や支援に対する不満度合いも明らかに低下してきている。

子育てのための環境や支援に対する満足度

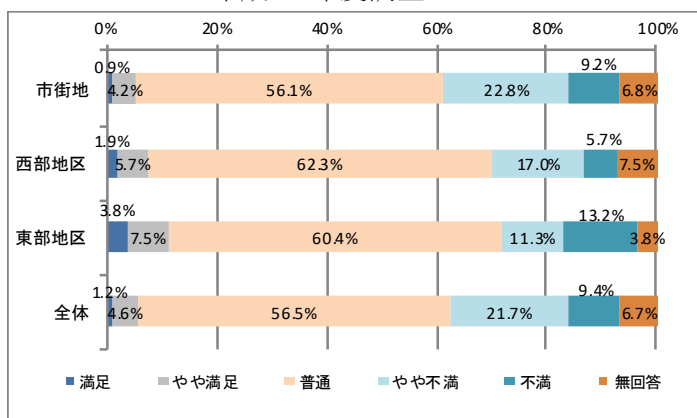
<令和2年度調査>



<令和元年度調査>



<平成29年度調査>



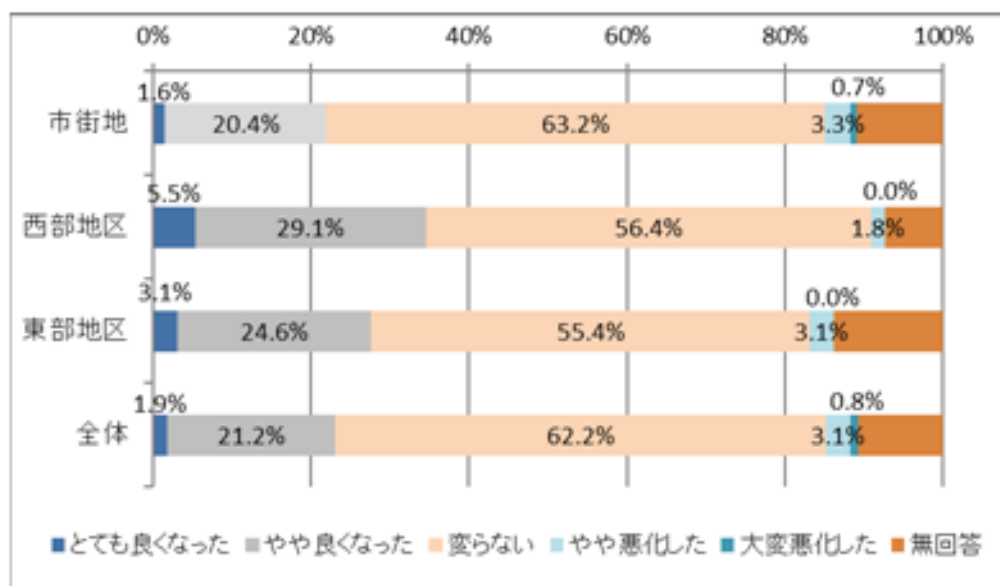
(4) 子育て環境の5年前との比較

根室市の子育て環境の状況を5年前と比較してもらった結果、市民全体では「変わらない」が最も多く、62.2%を占めた。地区別でも同様の結果となっており、どの地区とも「変わらない」とする回答が最も多かった。

しかし、「とても良くなった」と「やや良くなった」を合わせた回答割合は、23.1%となっており、「大変悪化した」「やや悪化した」を合わせたマイナス評価3.9%に比して、高評価となっている。

このように、子育て環境に対する市民の評価は満足度評価とともに、良好な評価が得られている。

子育て環境の5年前との比較



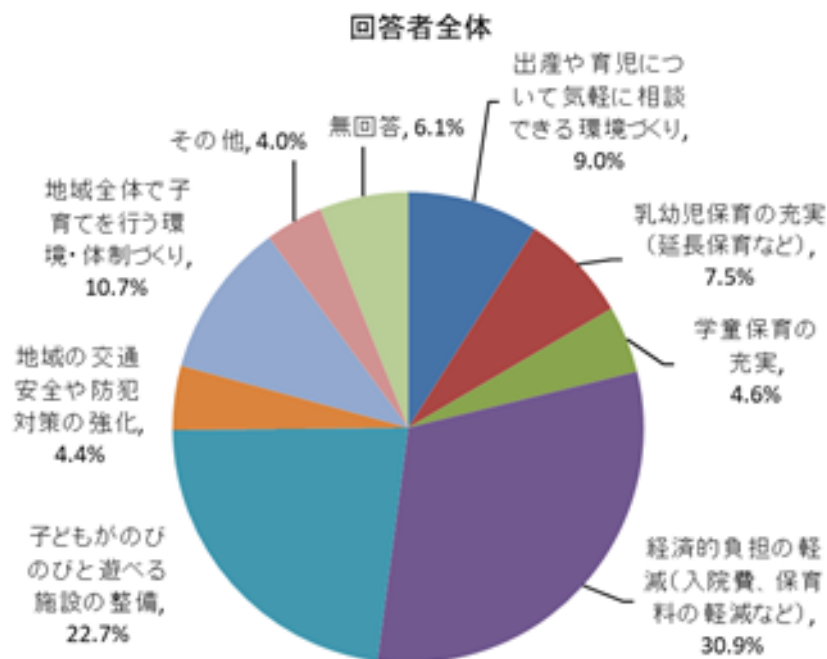
(5) 少子化・子育て支援策

①市民全体

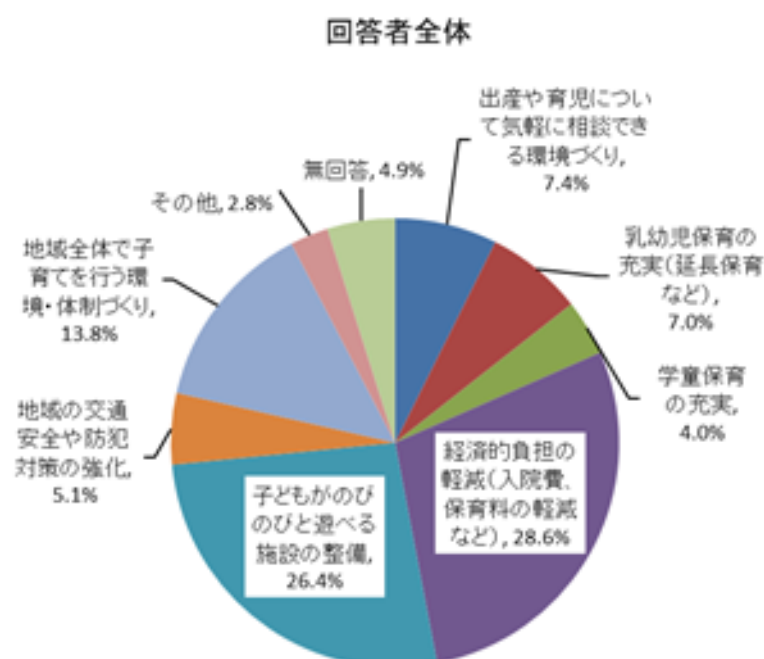
根室市の少子化・子育て支援に関して、今後重点的に取り組むべきと考える政策を1つだけ回答してもらった結果、回答者全体では、「経済的負担の軽減」が最も多く、30.9%を占めた。次いで、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」が22.7%、「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」が10.7%、「出産や育児について気軽に相談できる環境づくり」が9.0%の順であった。

この結果は、昨年度の調査とほぼ同様の結果であった。

<令和2年度調査>

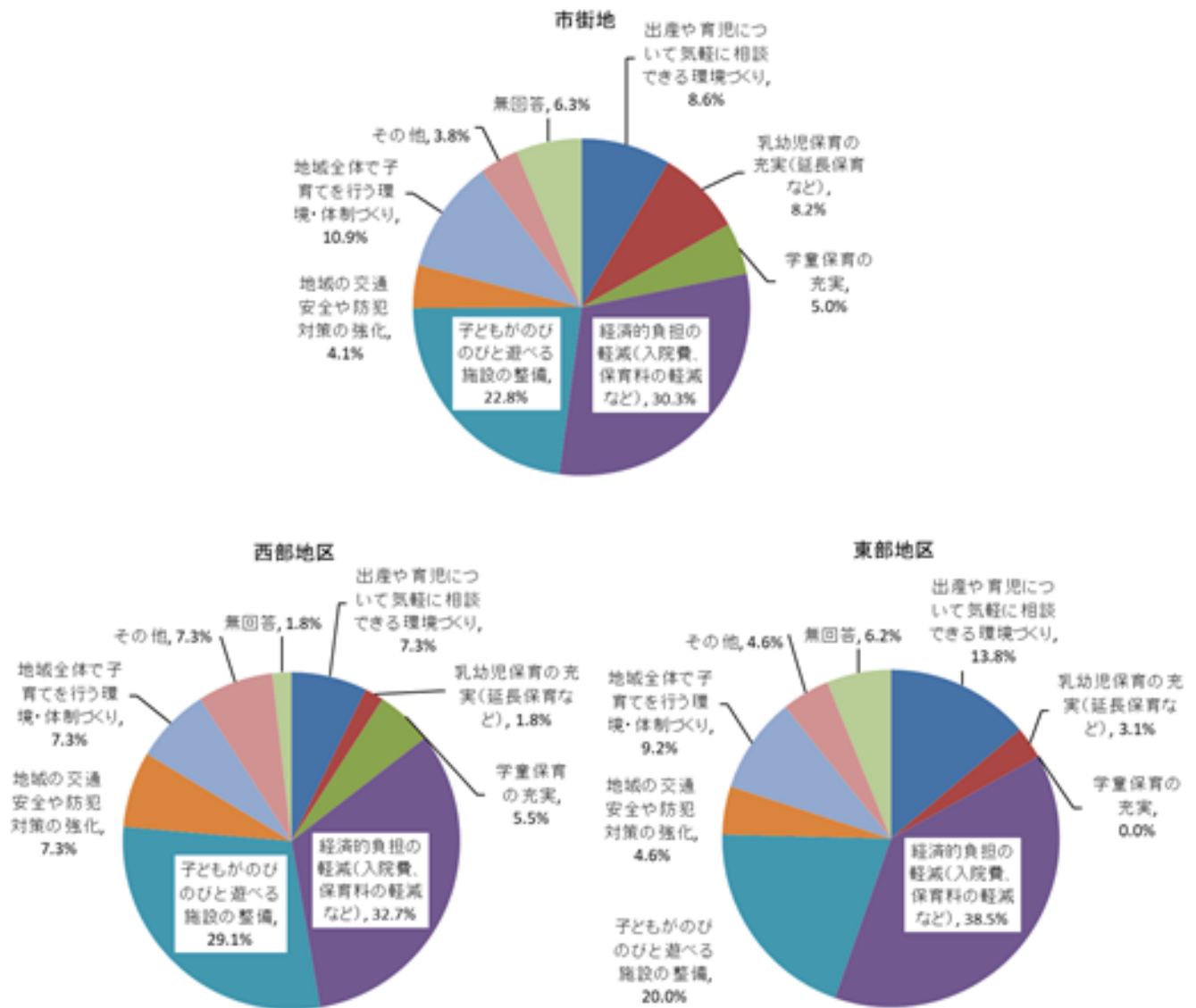


<令和元年度調査>



②地区別

3地区とも「経済的負担の軽減」、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」の順で高くなっている。市街地と西部地区では、これに次いで「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」に対する要望が高くなっている。東部地区では「出産や育児について気軽に相談できる環境づくり」が高くなっている。



3. 7 高齢者支援について

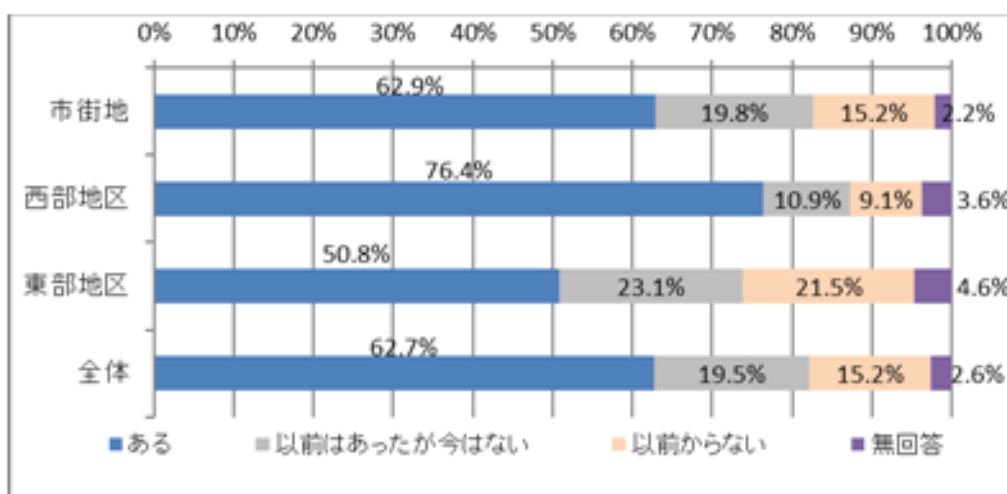
(1) 趣味・楽しみ、生きがいの有無

趣味・楽しみ、生きがいの有無を、回答者全体でみると **62.7%**が「ある」としており、令和元年度調査の結果と比較すると、西部地区で増加したものの市街地と東部地区で減少している。ただし、西部地区及び東部地区の回答数が市街地に比して極めて少ないことに留意する必要がある。

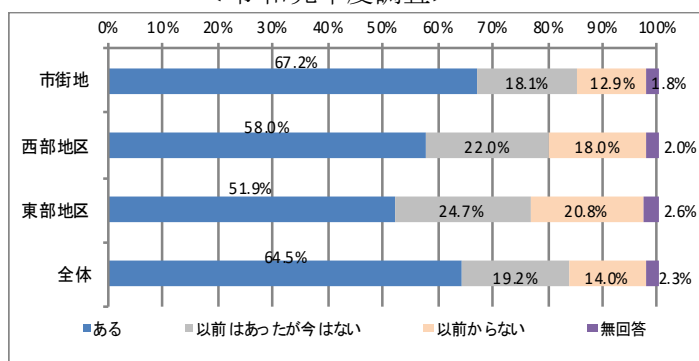
60歳以上の回答者に着目すると、回答者全体よりも「ある」の回答割合が低く、特に、市街地住民の「ある」とする回答割合が昨年度までの調査結果よりも大きく減少している。

市民全体の趣味・楽しみ・生きがいの有無

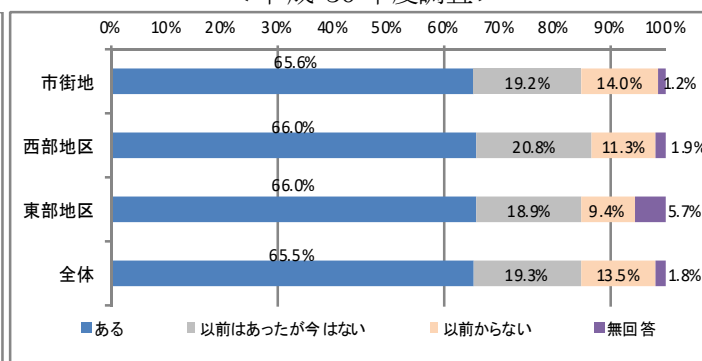
< 令和2年度調査 >



< 令和元年度調査 >

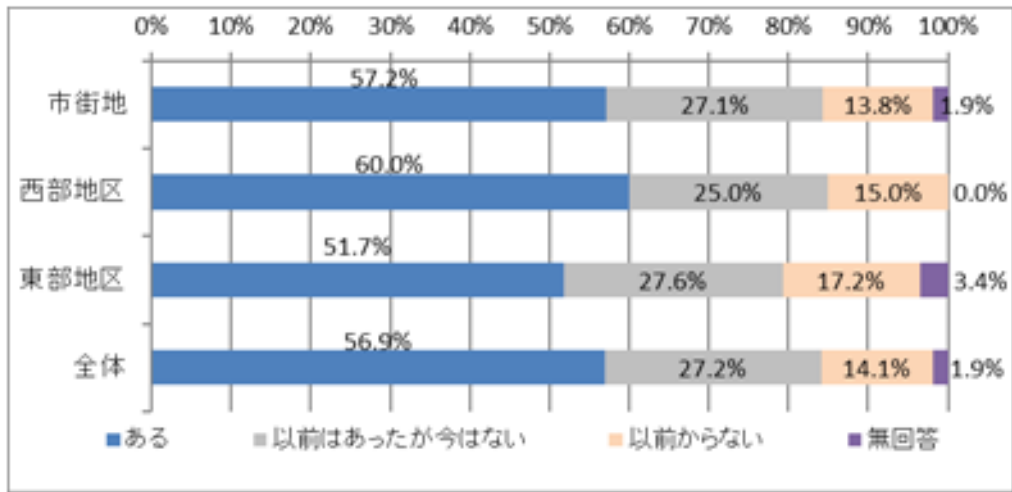


< 平成30年度調査 >

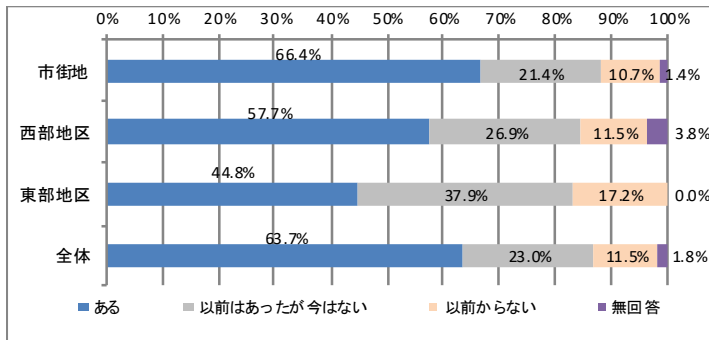


60 歳以上住民の趣味・楽しみ・生きがいの有無

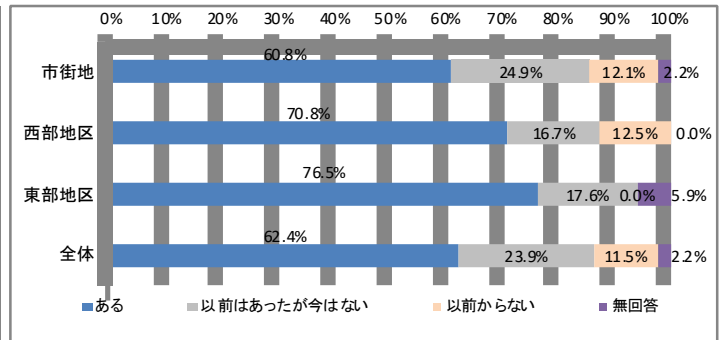
< 令和 2 年度調査 >



< 令和元年度調査 >



< 平成 30 年度調査 >



（２）町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

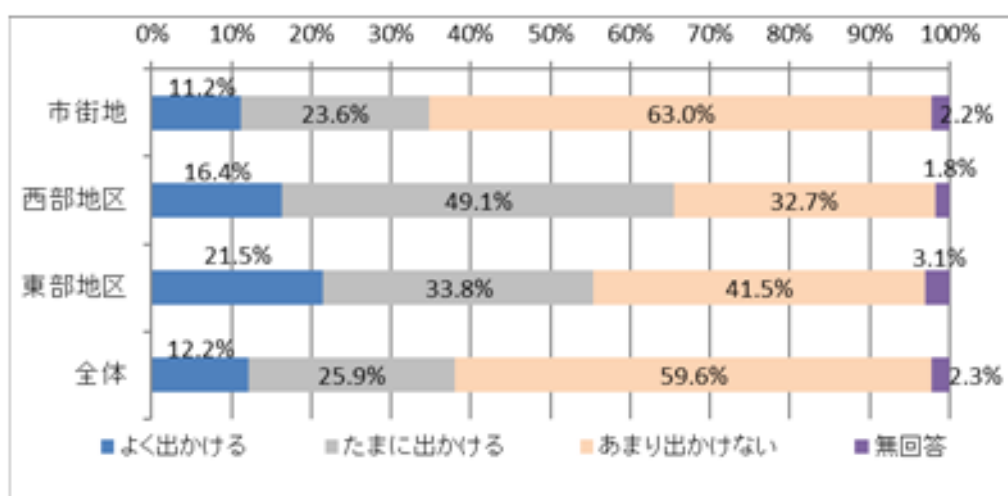
町会等の行事、サークル、地域イベントに出かけるかどうかについて、回答者全体でみると、「よく出かける」は、12.2%となっており、地区別では市街地で 11.2%、西部地区及び東部地区でそれぞれ 16.4%、21.5%となっており、「たまに出かける」を含めた「出かける」とする回答割合では、西部地区以外は昨年度調査結果より低下した。

60 歳以上の回答者に着目すると、昨年度調査の結果と同様に回答者全体よりも参加率は高く、特に西部地区及び東部地区で高くなっている。

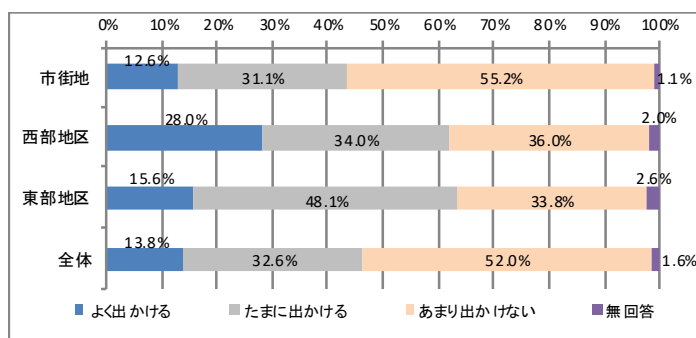
しかし、60 歳以上の市民においても参加率は、低下している。

市民全体の町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

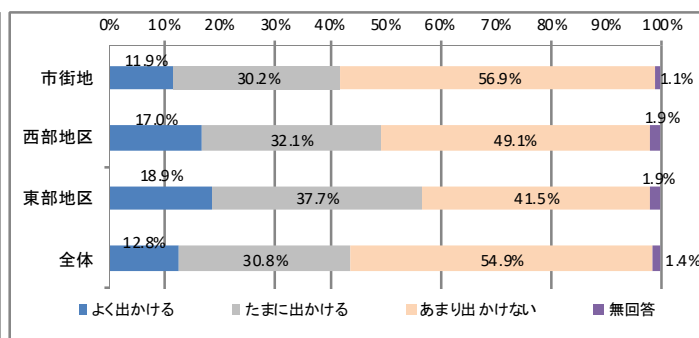
< 令和 2 年度調査 >



< 令和元年度調査 >

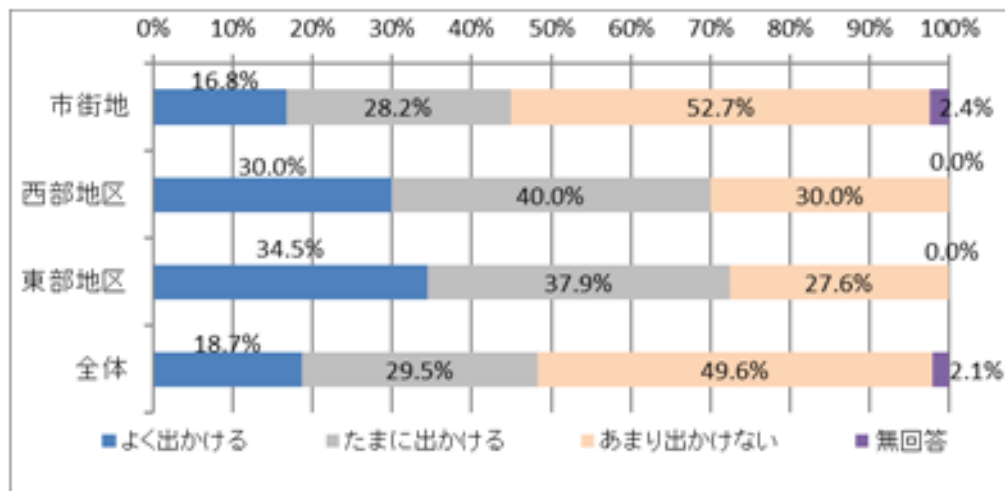


< 平成 30 年度調査 >

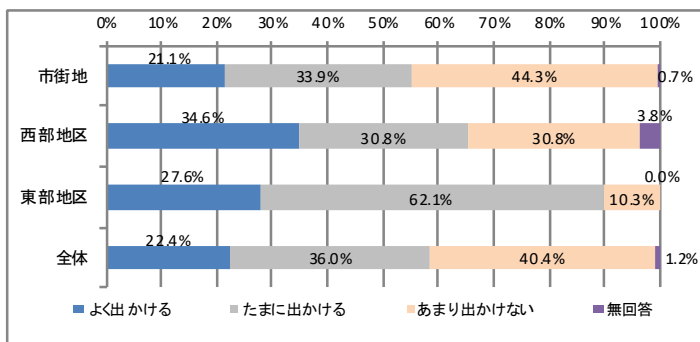


60 歳以上住民の町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

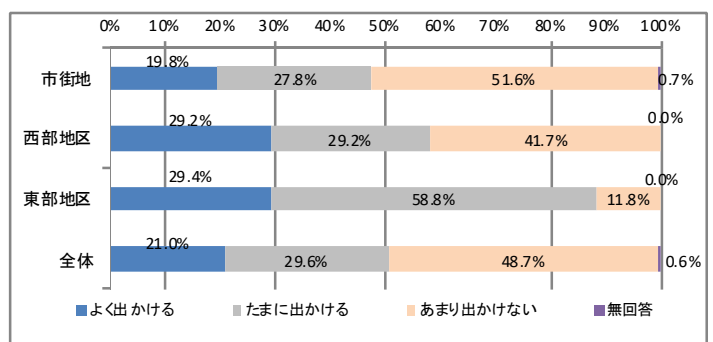
< 令和 2 年度調査 >



< 令和元年度調査 >



< 平成 30 年度調査 >



(3) 施策に対する認知度

①市民全体

根室市で実施している「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度をみると、市民全体では、「高齢者見守りボランティア事業」が 50.9%の認知度となっているが、「高齢者等緊急通報サービス事業」、「人材確保対策」に関しては30%以下の認知度に留まっている。

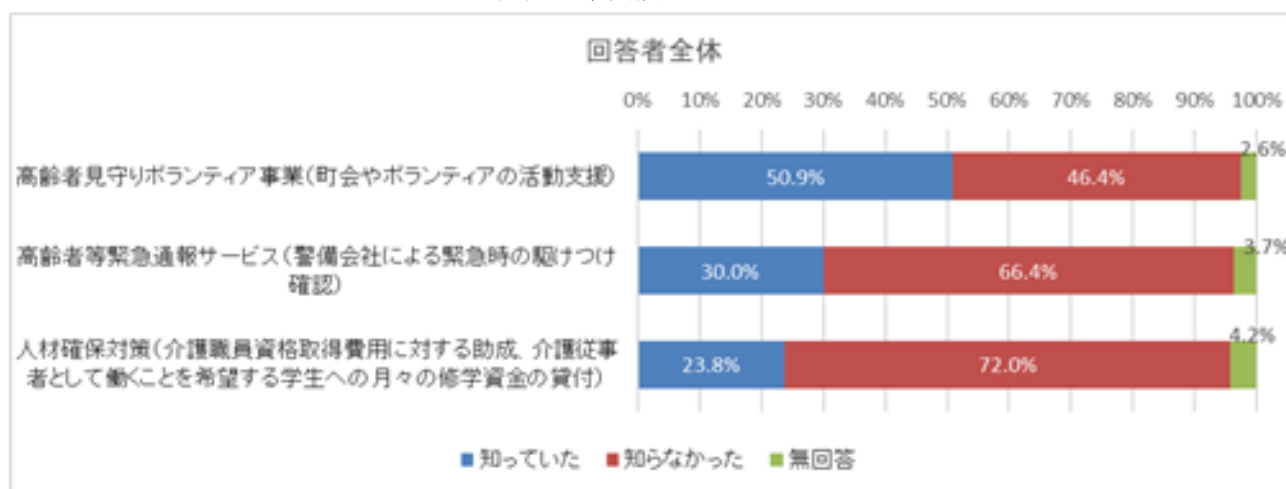
しかし、同じ施策を対象とした昨年度調査の結果と比較すると人材確保対策以外の施策については、やや認知度は高まっている。

一方、65 歳以上の回答者の認知度をみると、「高齢者見守りボランティア事業」が 38.4%、「高齢者等緊急通報サービス事業」が 24.1%の認知度となっており、回答者全体での認知度よりも低いことが把握された。

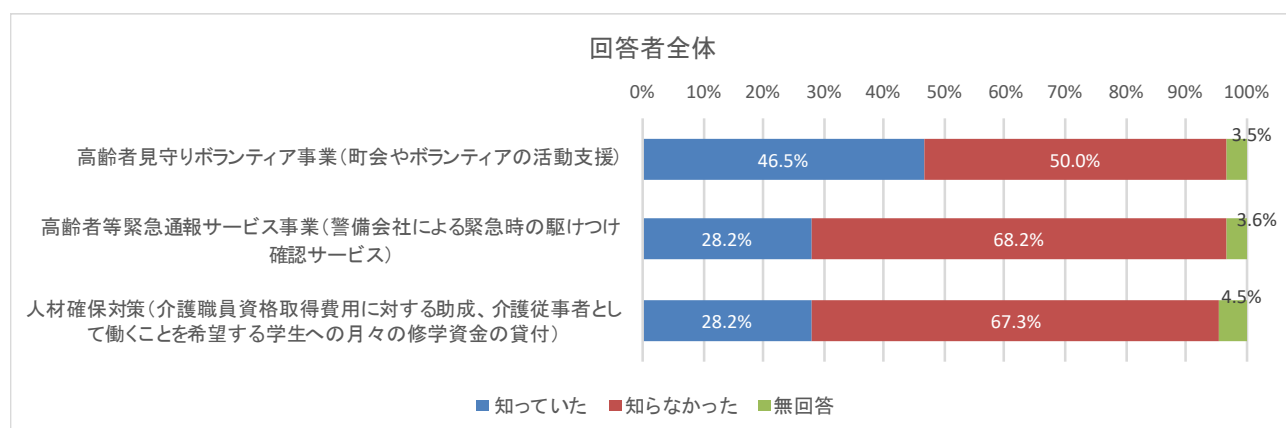
しかし、平成 30 年度調査の結果と比較すると、65 歳以上の住民の認知度も今回調査の方が低いことに加え、回答者全体の認知度よりも低くなっている。

市民全体における「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度

<令和2年度調査>

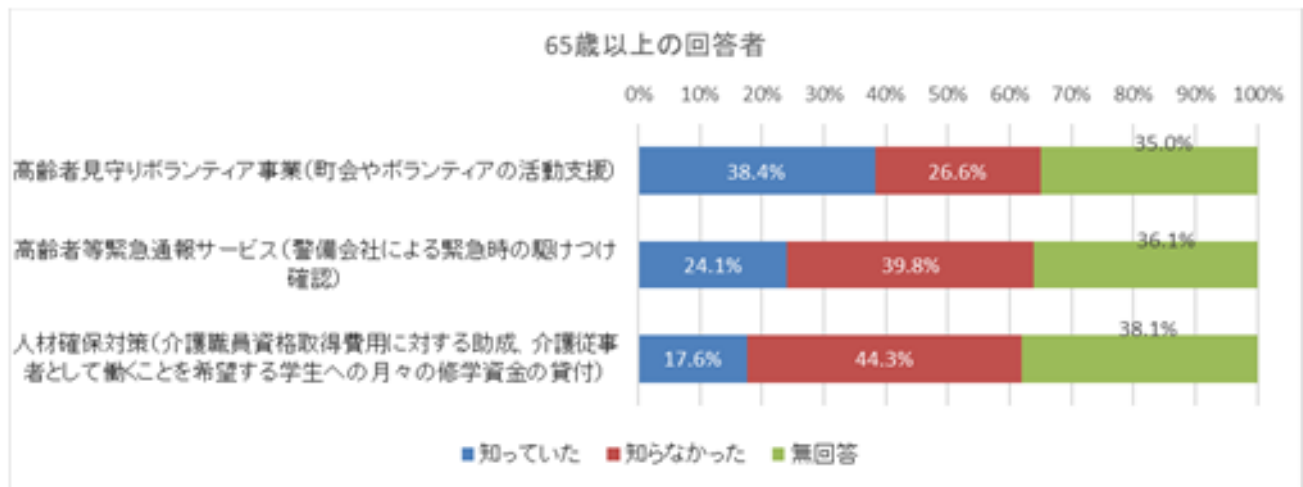


<令和元年度調査>

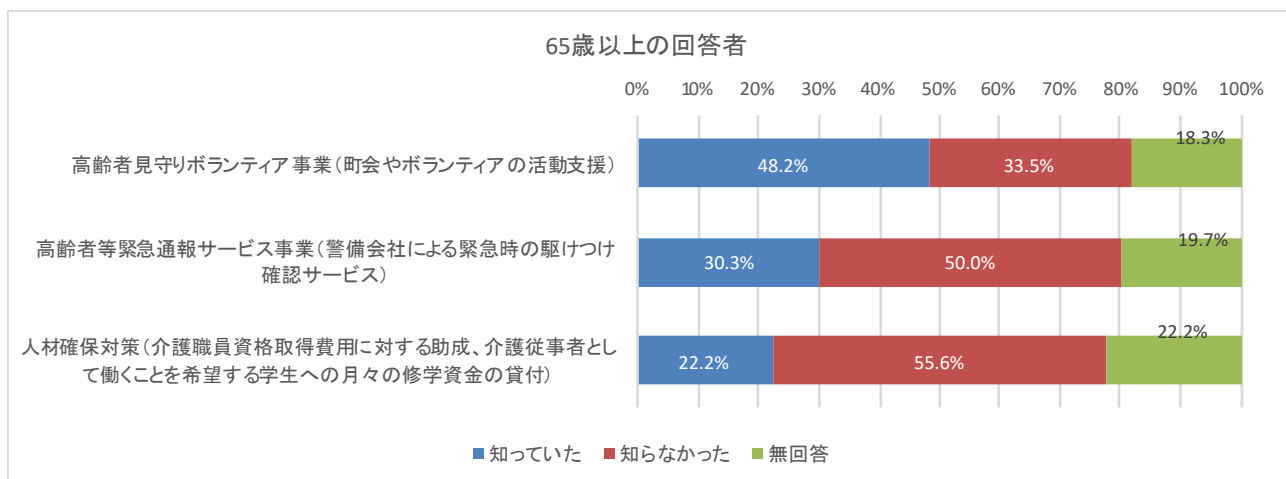


65 歳以上住民における「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度

< 令和 2 年度調査 >



< 令和元年度調査 >

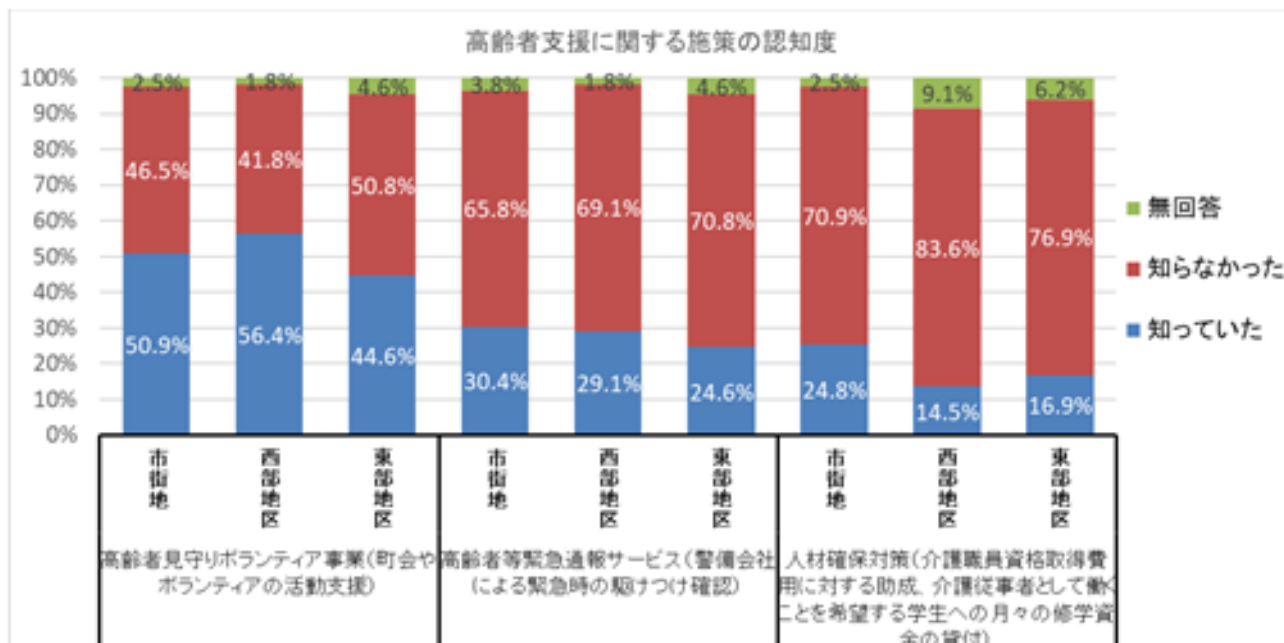


②地区別

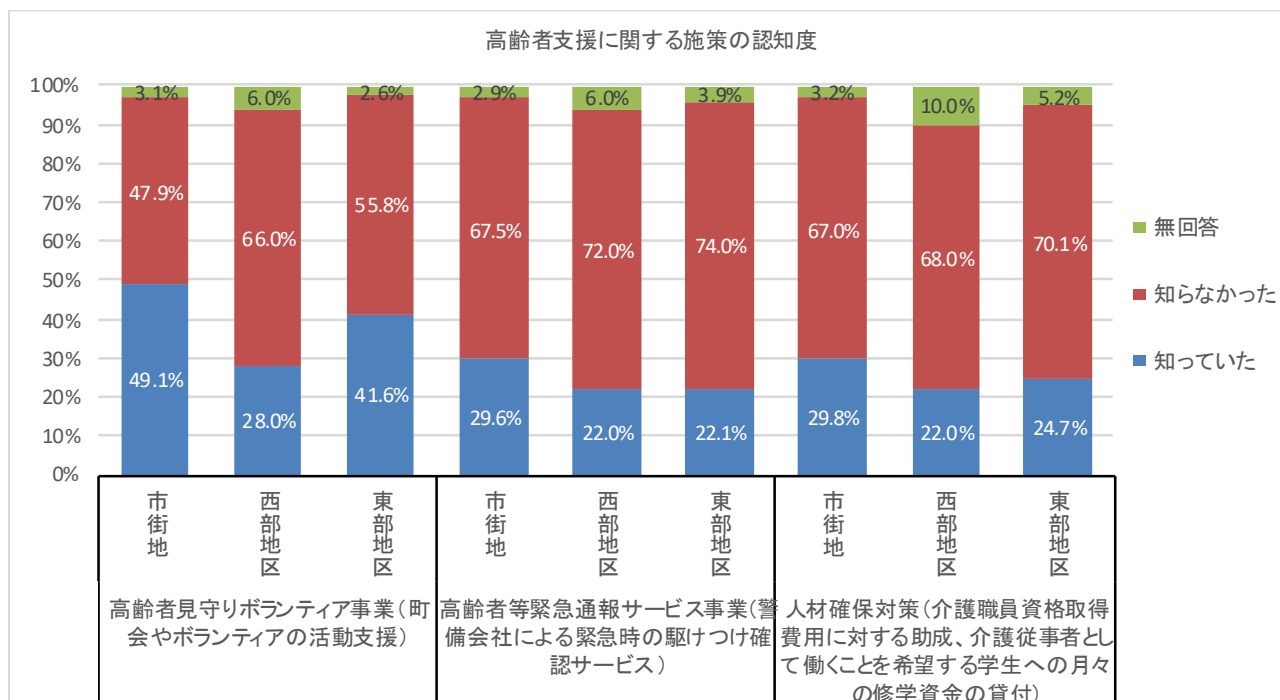
高齢者支援に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、いずれの地区も「高齢者見守りボランティア事業」が最も認知度が高く、44～56%となっている。

「高齢者等緊急通報サービス事業」に関しては、認知度は高くはないものの、昨年度よりも高まっている状況が把握された。

< 令和2年度調査 >



< 令和元年度調査 >



(4) 高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

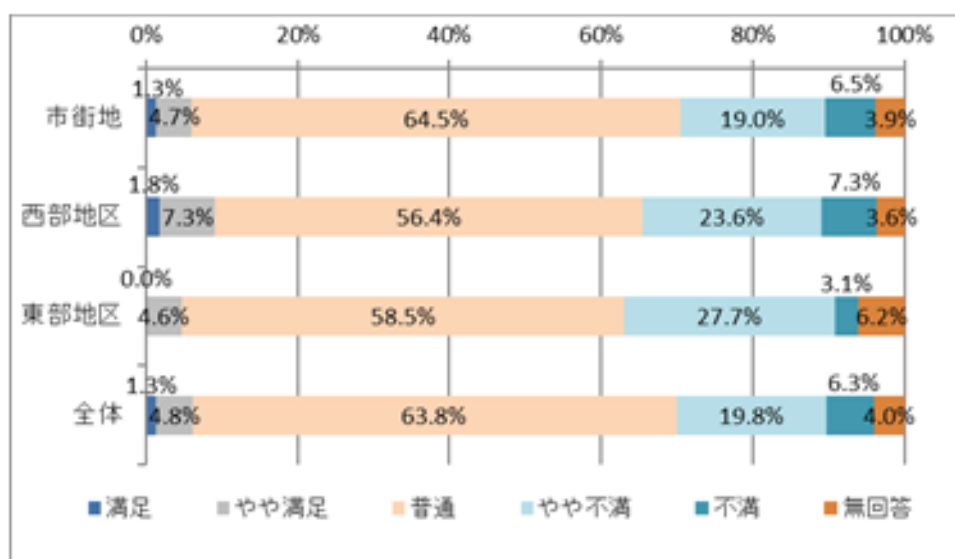
高齢者のための福祉施設の数や内容等の状況に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合は、6.1%となっており、昨年度までの調査の結果からやや低下している。

しかし、「不満」「やや不満」を合わせた「不満」とする評価がやや減少し、「普通」以上の満足度であるとする回答者の割合では、増加している。

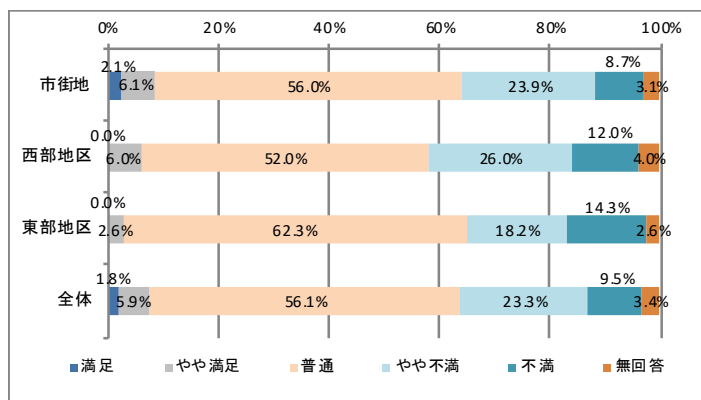
地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で6.1%程度と昨年度の結果よりは低下しているものの、平成30年度調査結果とほぼ同水準となっている。

高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

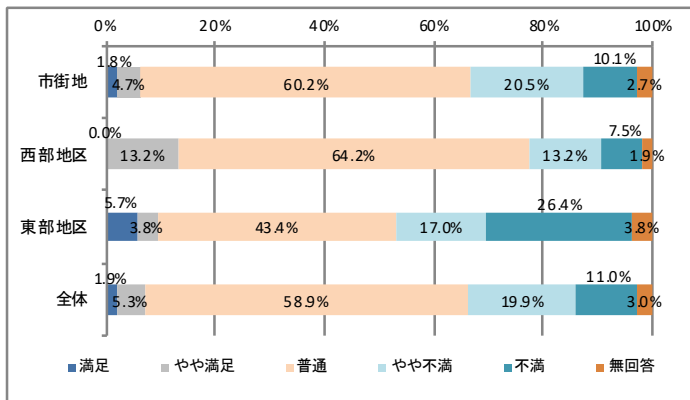
<令和元年度調査>



<令和元年度調査>



<平成30年度調査>



（５）高齢者のための福祉施制度の状況に対する満足度

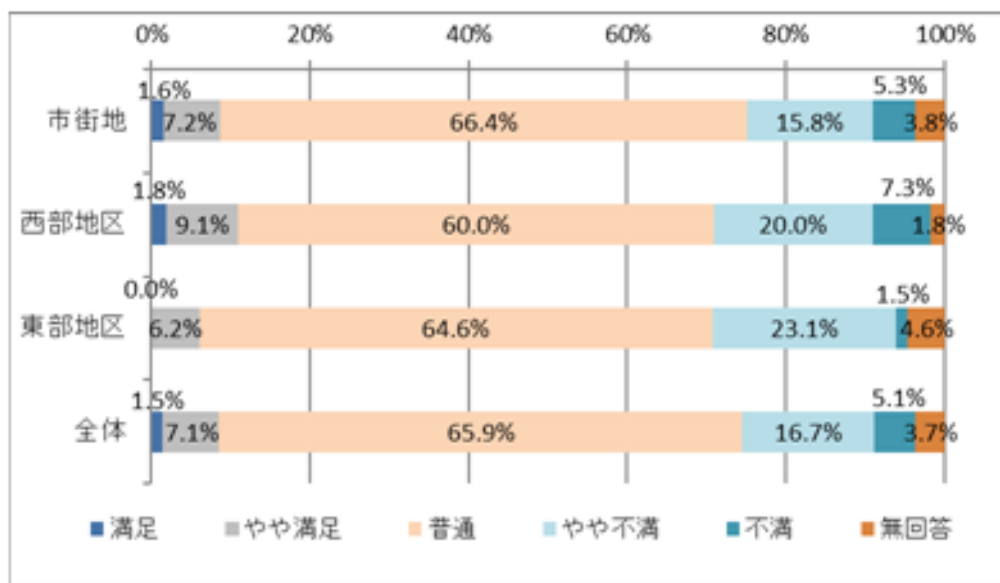
高齢者の健康や生活の安全・安心をサポートするための福祉制度の状況に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合は、8.6%となっており、昨年度調査の結果とほぼ同水準となっている。

地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で8.8%程度と昨年度調査結果とほぼ同水準となっている。

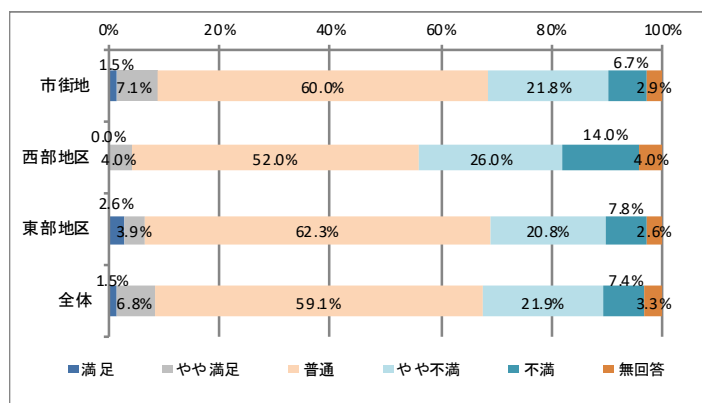
本設問でも「普通」の回答割合が66%前後と高くなっており、「普通」以上の満足度であるとする割合では昨年度調査の結果よりも上昇している。

高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

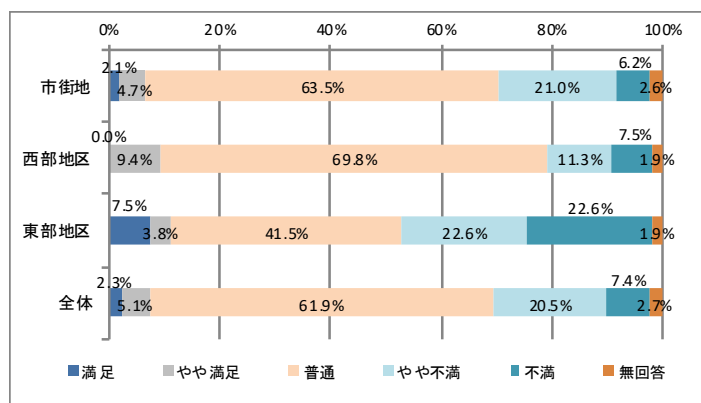
< 令和２年度調査 >



< 令和元年度調査 >



< 平成30年度調査 >

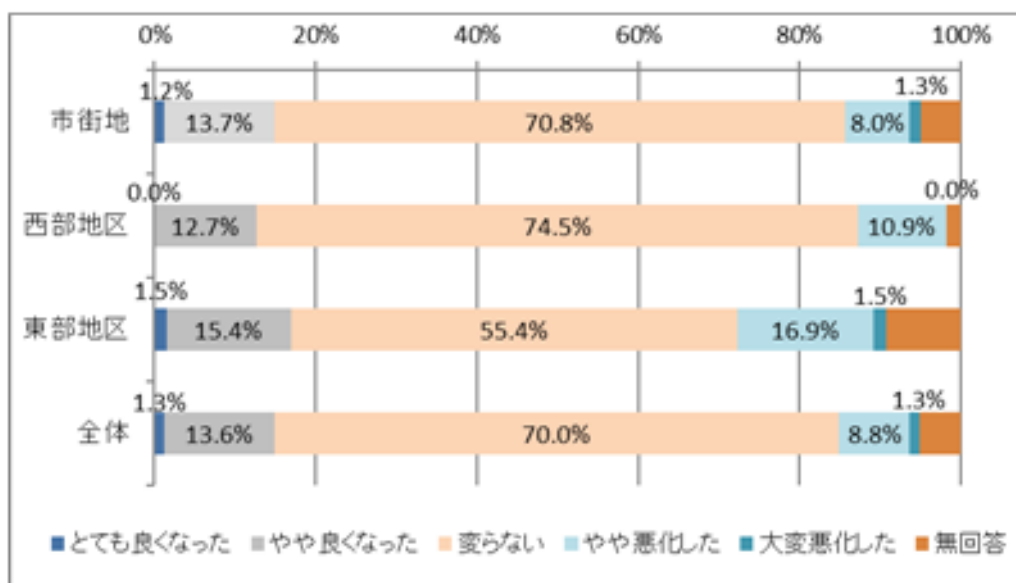


(6) 高齢者の生活環境の5年前との比較

高齢者の生活環境の状況を5年前と比較してもらった結果、市民全体では「変わらない」が最も多く、70.0%を占めた。地区別でも同様の結果となっており、どの地区とも「変わらない」とする回答が最も多かった。

「とても良くなった」と「やや良くなった」を合わせた割合は14.9%であり、「大変悪化した」と「やや悪化した」を合わせた割合（10.1%）よりやや高くなっており、総じて不満の評価は低い状況がうかがえる。

高齢者の生活環境の5年前との比較



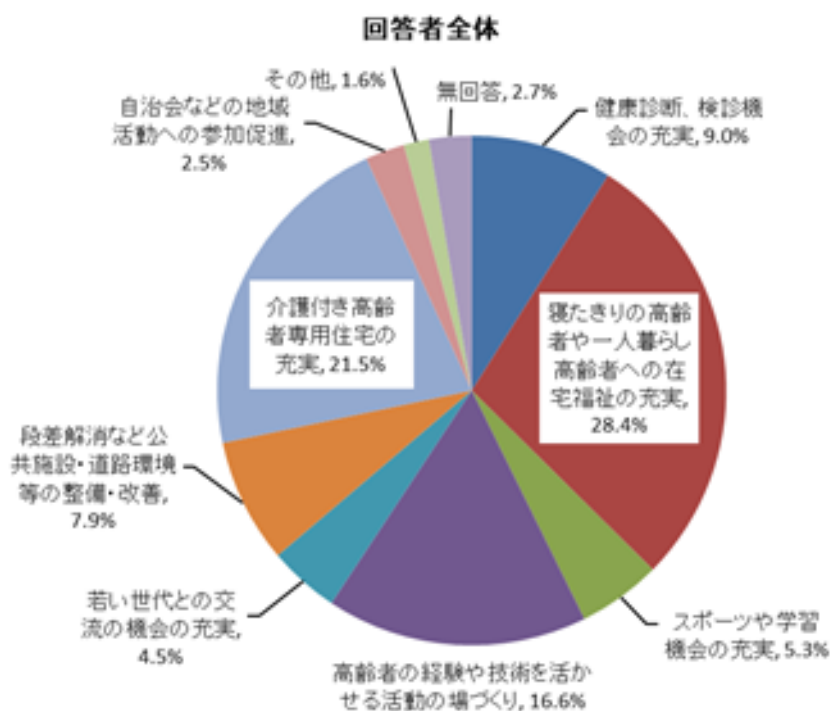
(7) 高齢者にとって重要と思う施策について

① 市民全体

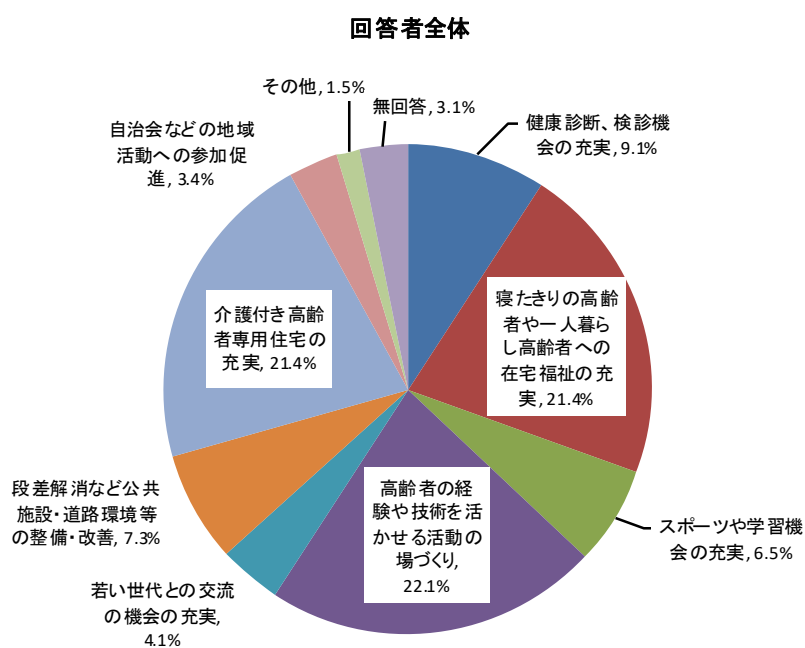
今後の高齢化に向けた支援施策として重要であるとする項目をみると、「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」が最も多く、次いで、「介護付き高齢者専用住宅の充実」、「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」となっている。

昨年度調査の結果と比較すると、順位は異なるが「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」、「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」、「介護付き高齢者専用住宅の充実」に対する要望が多い傾向は同様の結果であった。

< 令和元年度調査 >



< 平成 30 年度調査 >



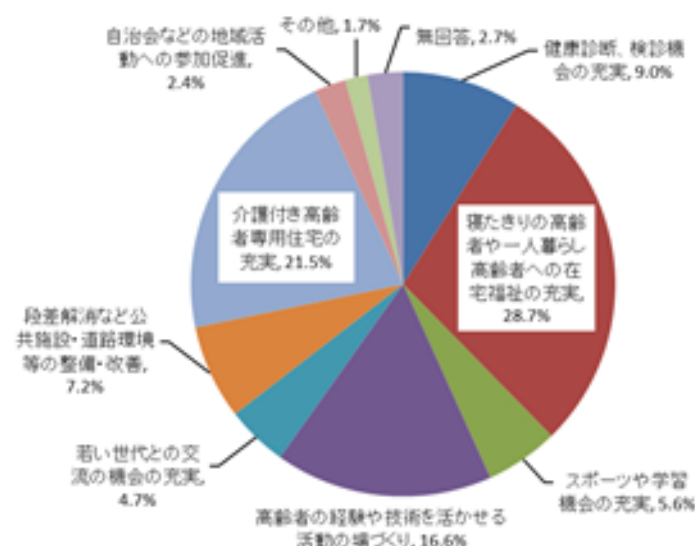
② 地区別

3 地区とも「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」に対する要望が最も高く、次いで、「介護付き高齢者専用住宅の充実」の順となっている。

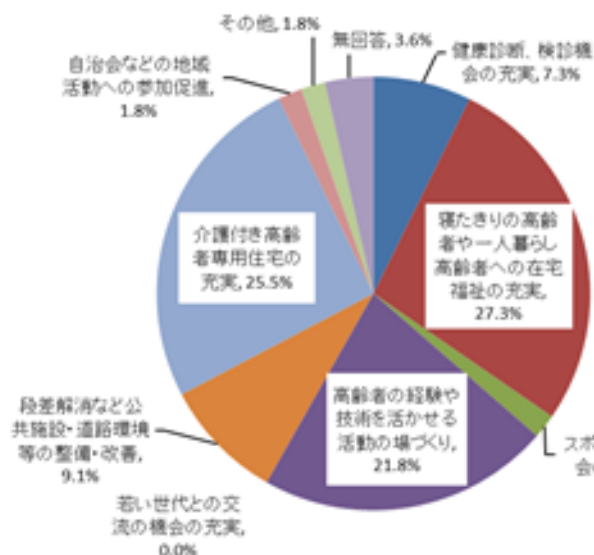
昨年度調査では「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」の割合が高かったが、今回調査では、3 地区とも 3 番目に高い割合となっている。

いずれにしても、これら 3 項目が重要視されているという状況が続いている。

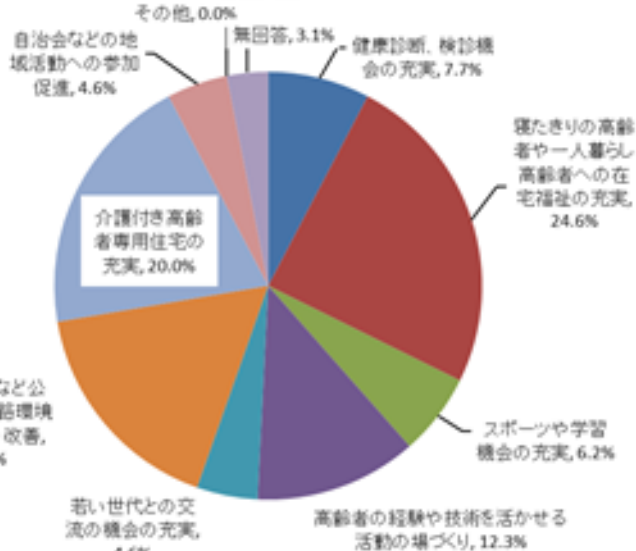
市街地



西部地区



東部地区

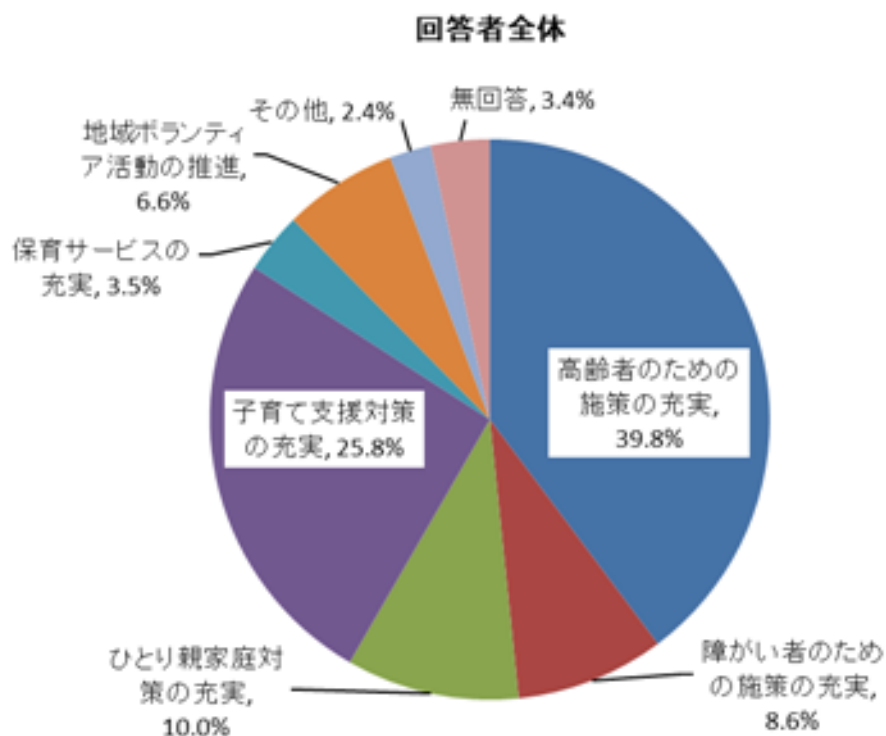


3. 8 社会福祉全般について

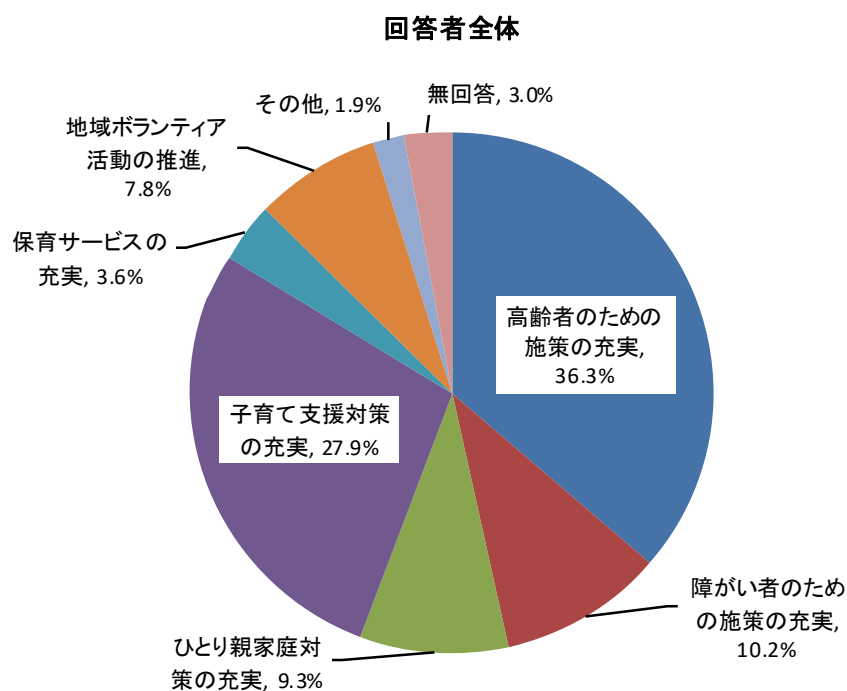
(1) 市民全体

社会福祉に関して重要と考えている項目についてみると、今回の調査結果は、昨年度調査とほぼ同様の結果となっており、「高齢者のための施策の充実」をあげる回答者の割合が最も高く、次いで、「子育て支援対策の充実」の順となっている。

＜令和2年度調査＞



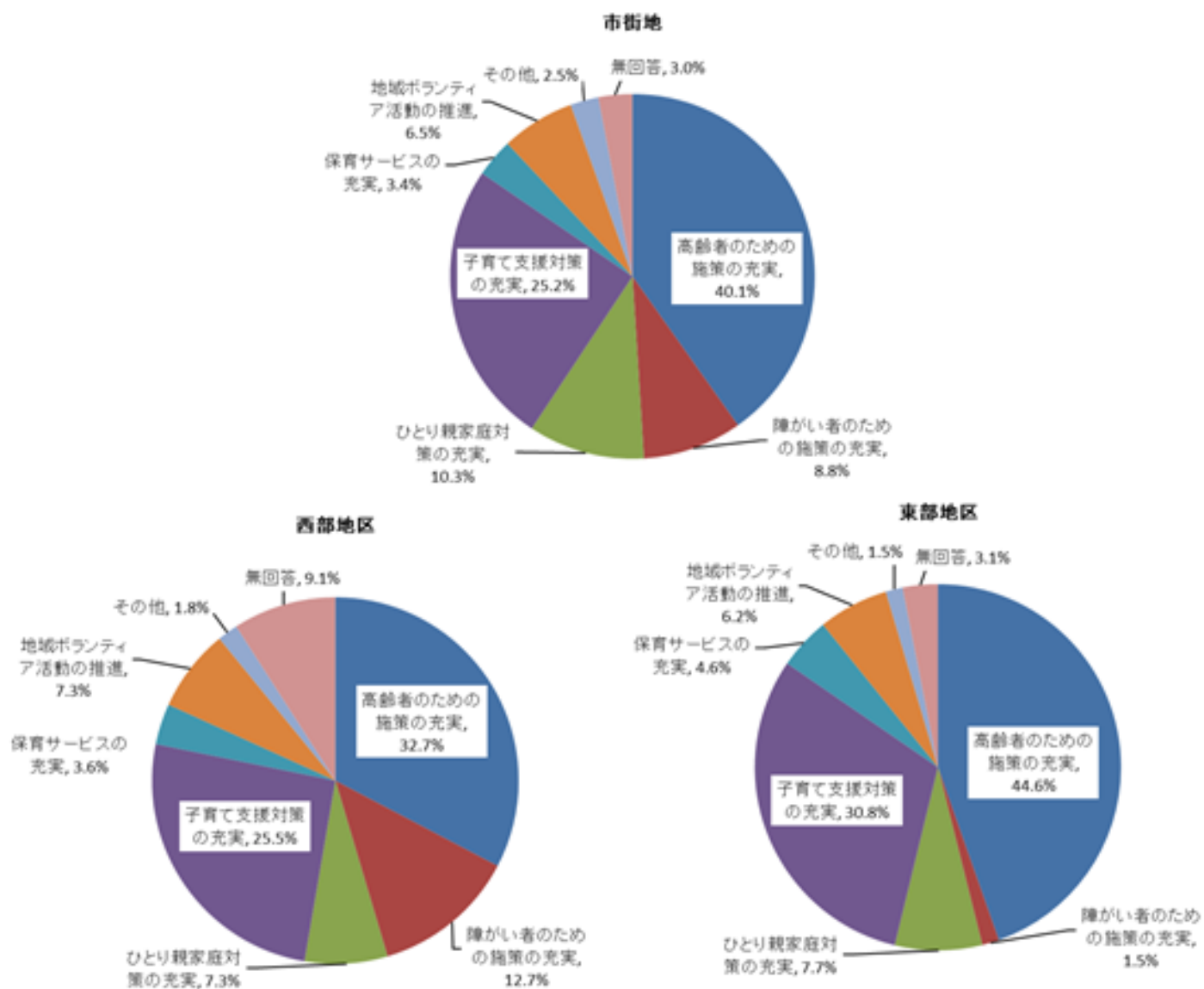
＜令和元年度調査＞



（２）地区別

３地区とも「高齢者のための施策の充実」が最も高く、次いで「子育て支援対策」の順となっている。これに次いで、「ひとり親家庭対策の充実」が高くなっている。

なお、最も回答数の多い市街地は、ここ数年同様の結果となっている。



3. 9 交通について

(1) 施策に対する認知度

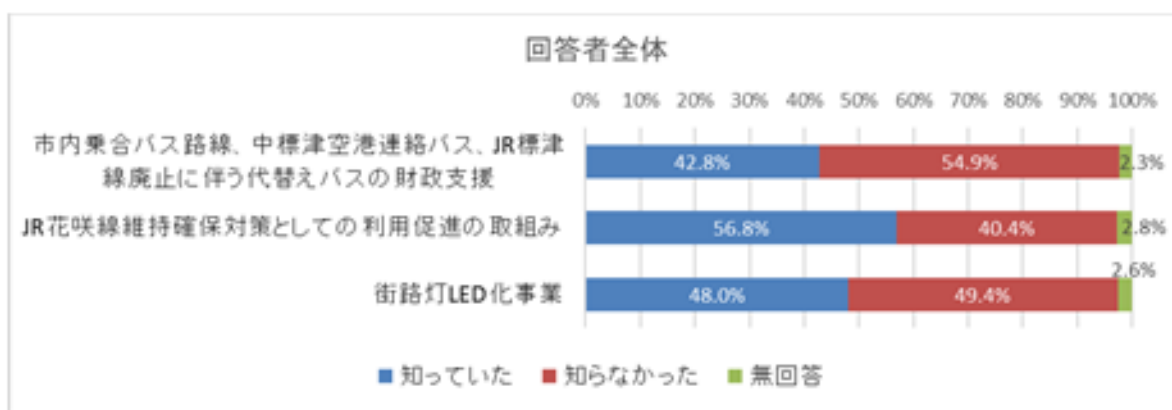
①市民全体

根室市で実施している交通に関する主要施策についての認知度をみると、「バスの財政支援」に関しては 42.8%の認知度にとどまっているが、「JR 花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み」に関しては 56.8%と比較的高い認知度であった。

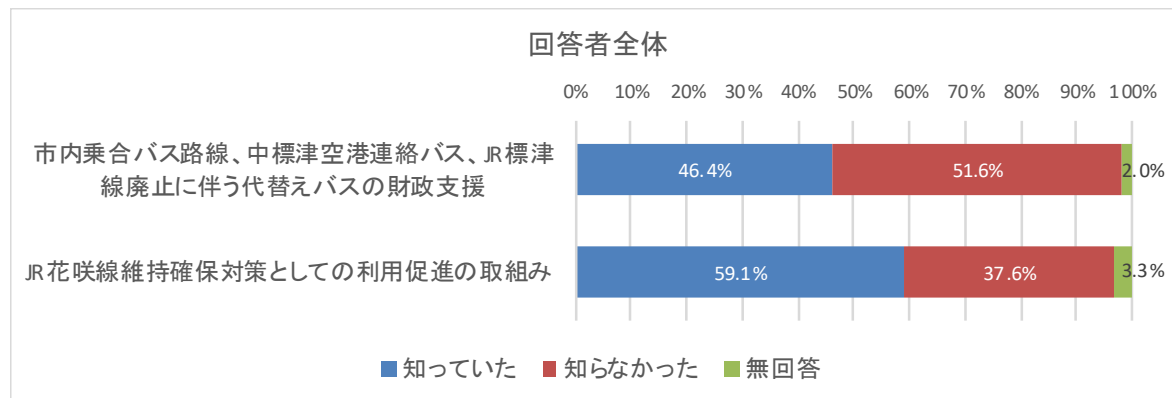
また、街路灯 LED 化事業については 48.0%の認知度となっていた。

昨年度調査では、バスの財政支援と JR 花咲線維持確保対策の 2 事業についての認知度を聞いたが、本年度調査の結果とほぼ同様の結果となっていた。

<令和 2 年度調査>



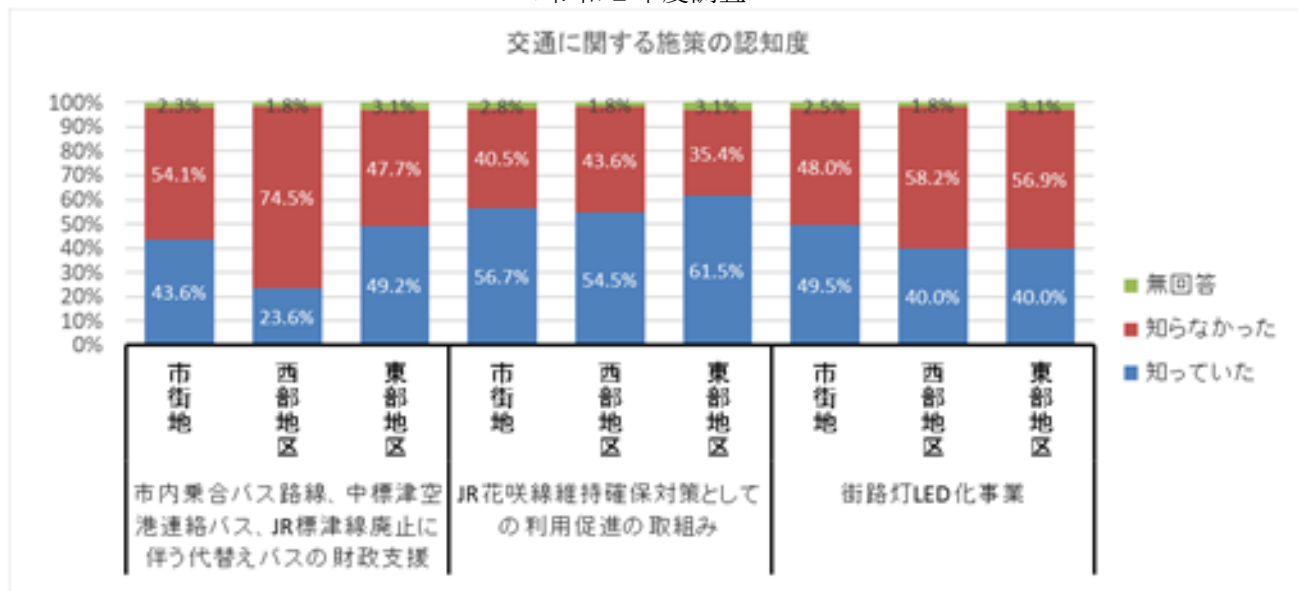
<令和元年度調査>



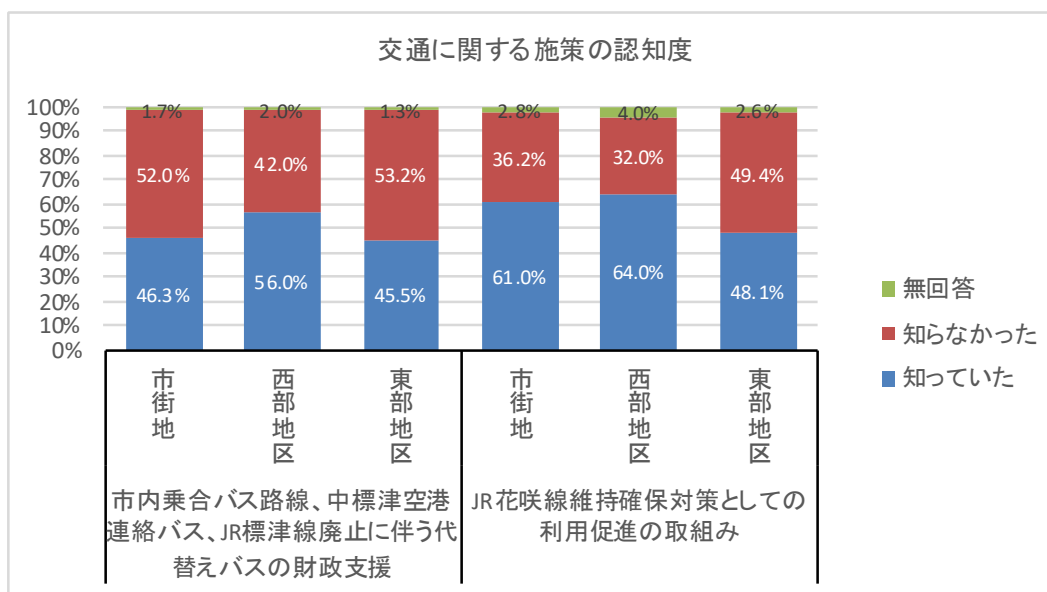
②地区別

交通に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、JR 花咲線維持確保対策に関しては、市街地、3 地区とも 5 割を超える認知度を示しているが、バスの財政支援と街路灯 LED 化事業については 5 割以下の認知度となっている。

< 令和 2 年度調査 >



< 令和元年度調査 >

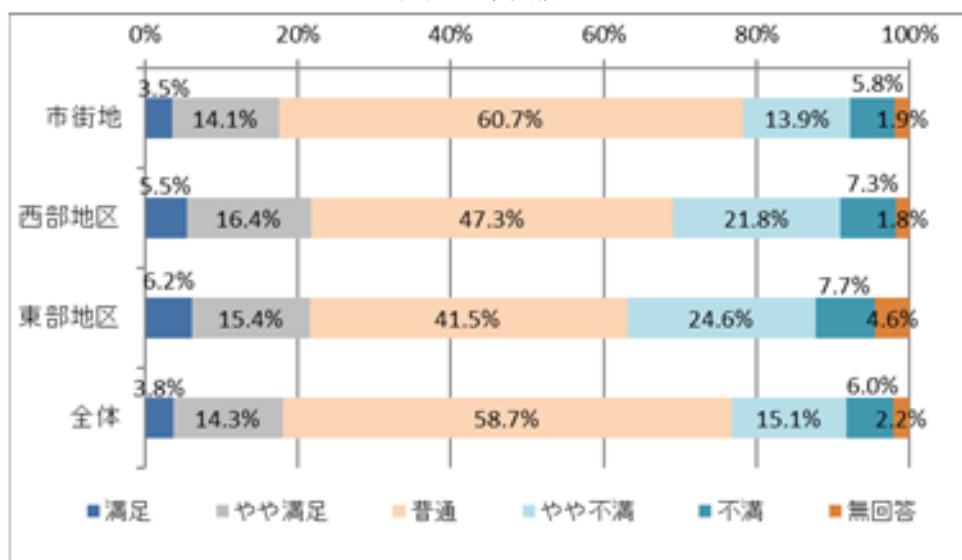


（２）市内の幹線道路の整備状況に対する満足度

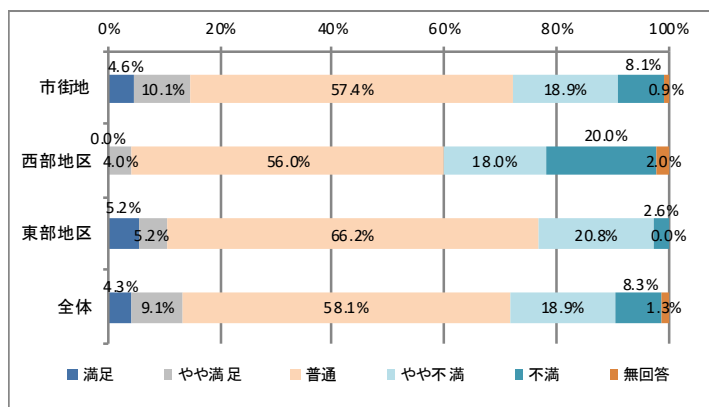
市内の幹線道路の整備状況に対する市民全体の満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は18.1%となっており、昨年度調査の結果よりも上昇している。

地域別でも、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、3地区とも昨年度調査結果よりも上回っており、20%前後が満足と評価している状況であった。昨年度の結果と比較すると、特に、市街地住民の不満意識の低下が要因と考えられる。

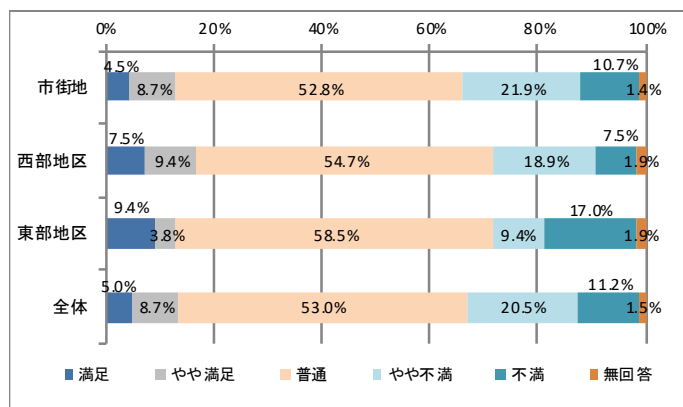
＜令和２年度調査＞



＜令和元年度調査＞



＜平成30年度調査＞



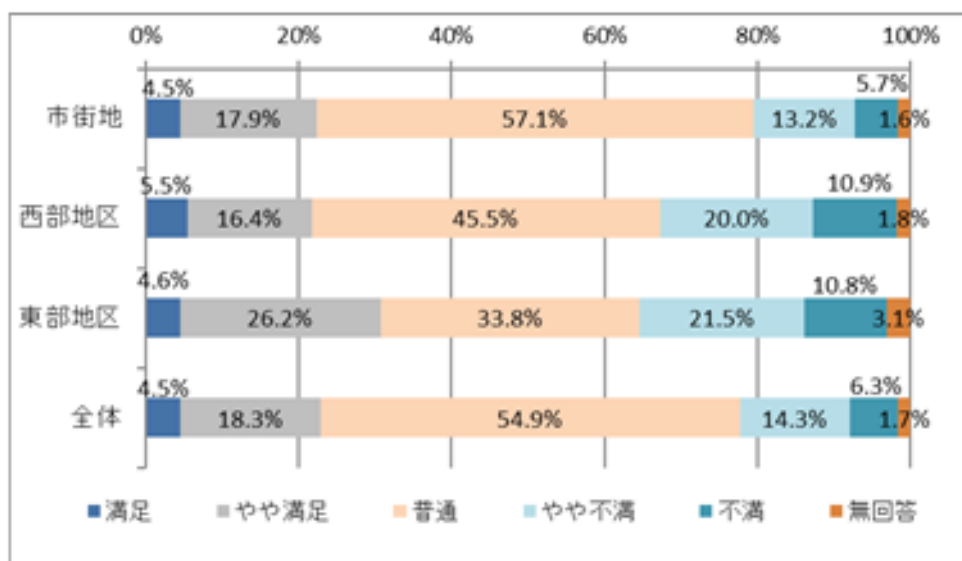
（３）市外へ通じる道路の整備状況に対する満足度

市外へ通じる道路の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は22.8%となっており、昨年度調査の結果よりも高まっている。

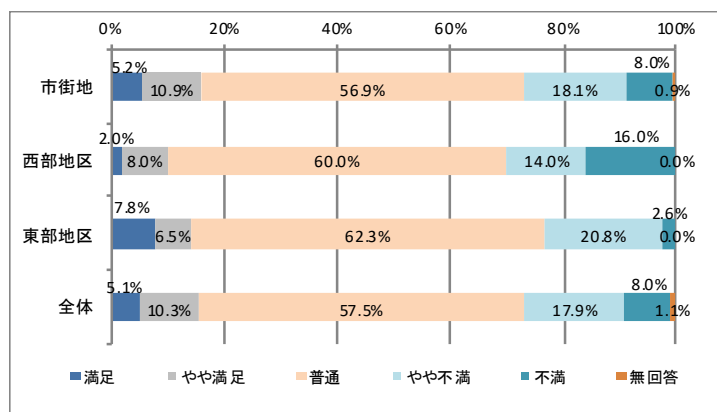
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、3地区とも20%を超えており、昨年度の評価を上回っている。

一方、西部地区と東部地区では、「不満」と「やや不満」を合わせた不満とする割合が30%を超えており、市街地郊外の道路整備に対する課題がうかがえる。

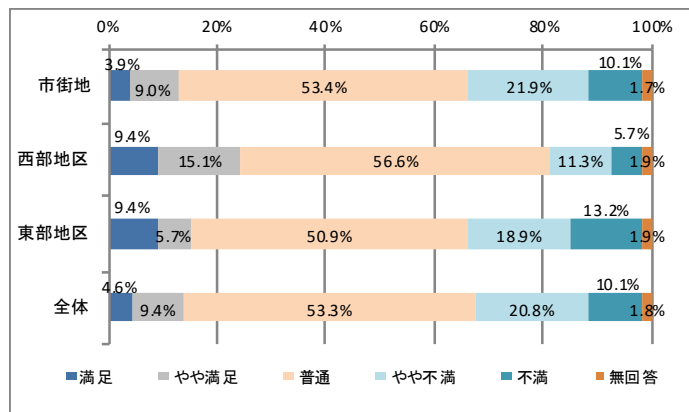
< 令和2年度調査 >



< 令和元年度調査 >



< 平成30年度調査 >



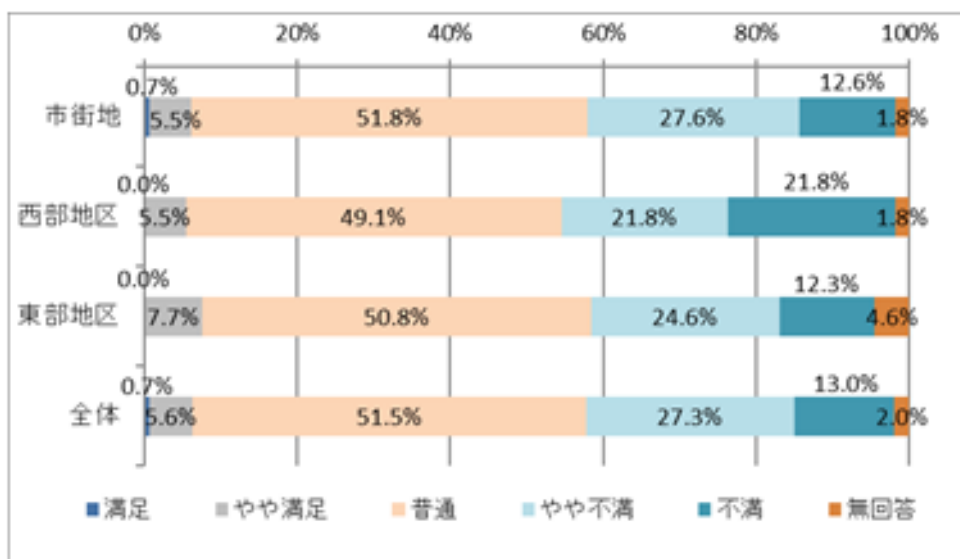
(4) 公共交通機関の利便性に対する満足度

公共交通機関の利便性に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は6.3%となっており、昨年度の調査結果より若干低下した。

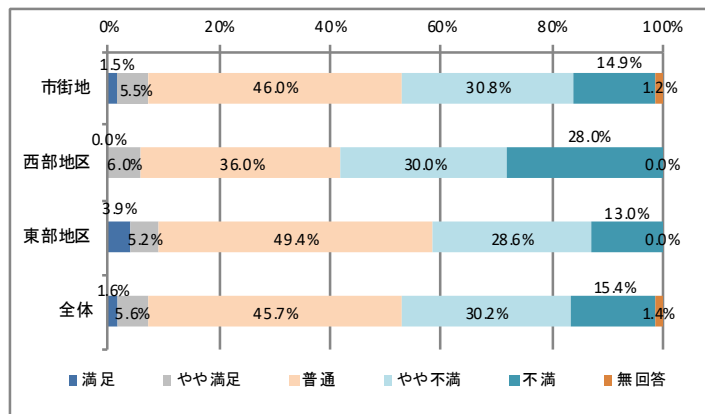
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は市街地で6.2%、西部地区で5.5%、東部地区で7.7%と3地区とも昨年度調査の結果よりも低下している。

しかし、「普通」以上の満足度であるとする割合は昨年度までの調査結果よりもさらに高くなっている。

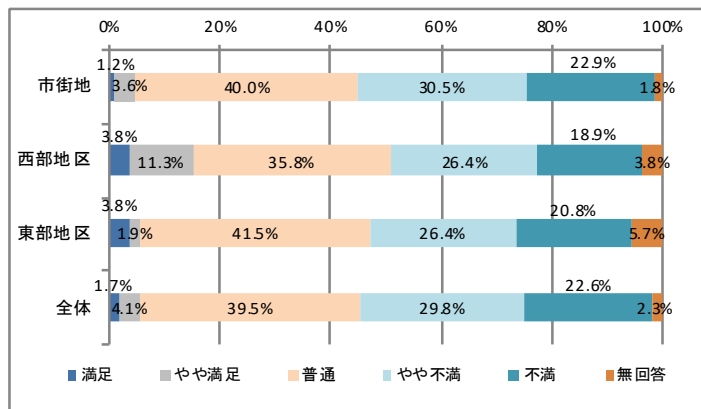
< 令和2年度調査 >



< 令和元年度調査 >



< 平成30年度調査 >



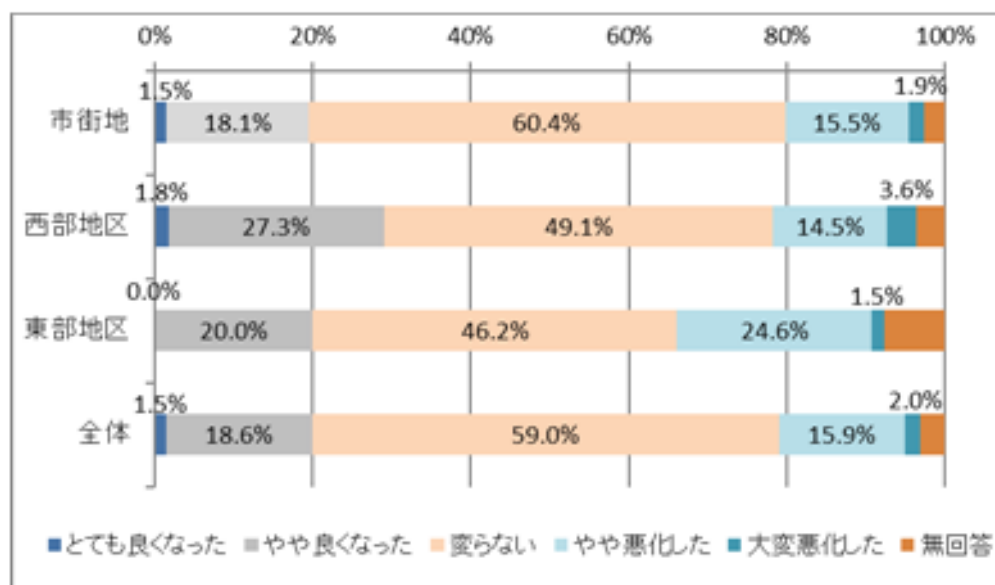
（５）交通状況の５年前との比較

根室市の交通状況を５年前と比較してもらった結果、市民全体では「変わらない」が最も多く、59.0%を占めた。地区別でも同様の結果となっており、３地区とも「変わらない」とする回答が最も多かった。

「とても良くなった」と「やや良くなった」を合わせた割合は 20.1%であり、「大変悪化した」と「やや悪化した」を合わせた割合（17.9%）よりやや高くなっている。

しかし、個別の項目でみてきたように市街地の道路は整備され満足度も高まってきている一方で、公共交通はじめ郊外の道路など都市間移動のための交通に対する不満も大きいことから、さらなる対策が重要と考えられる。

交通状況の５年前との比較

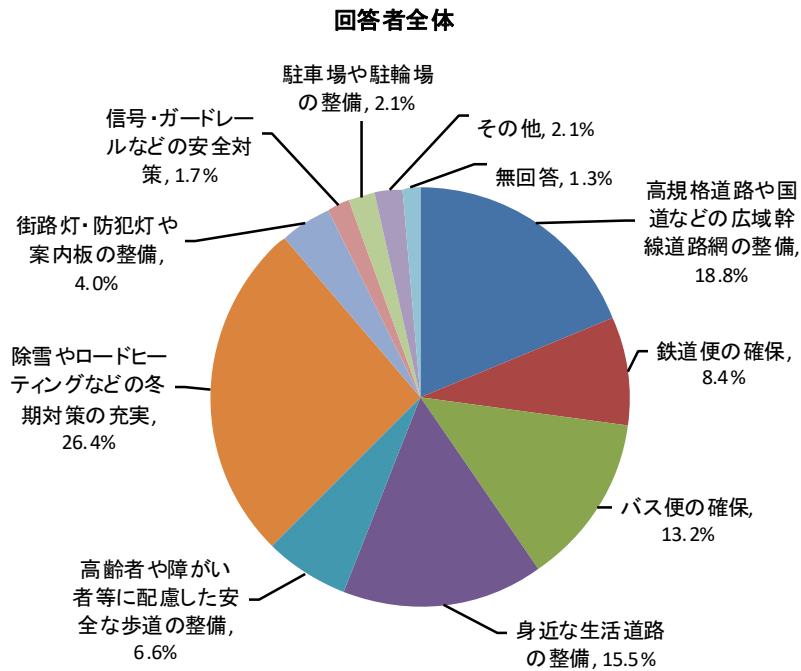


（６）交通に関する施策について

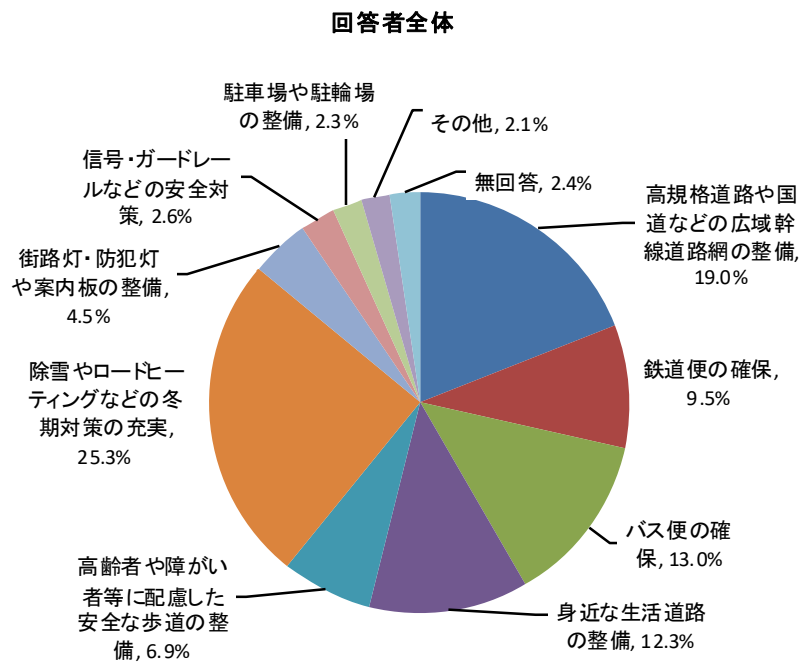
①市民全体

道路交通について今後重点的に取り組むべきと考える施策を１つ回答してもらった結果をみると、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」をあげる回答者の割合が最も高く、次いで、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網整備」、「身近な生活道路の整備」、「バス便の確保」、「鉄道便の確保」の順となっており、昨年度の調査結果とほぼ同様の結果となっている。

<令和２年度調査>



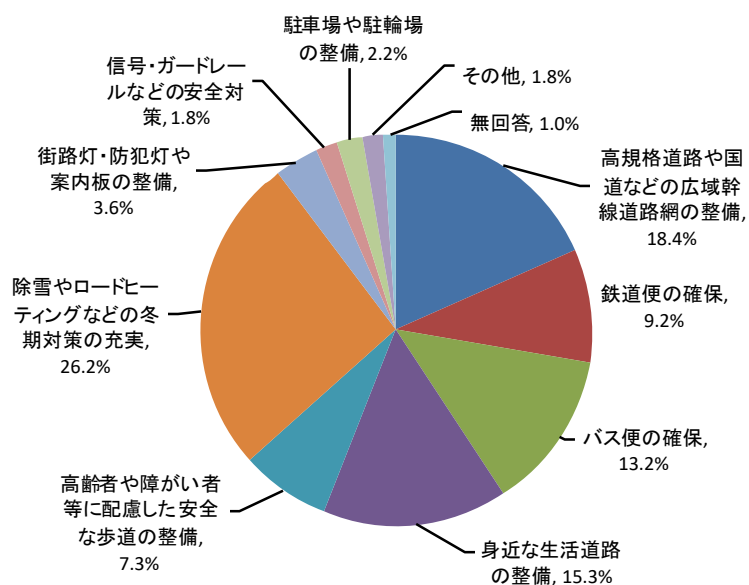
<令和元年度調査>



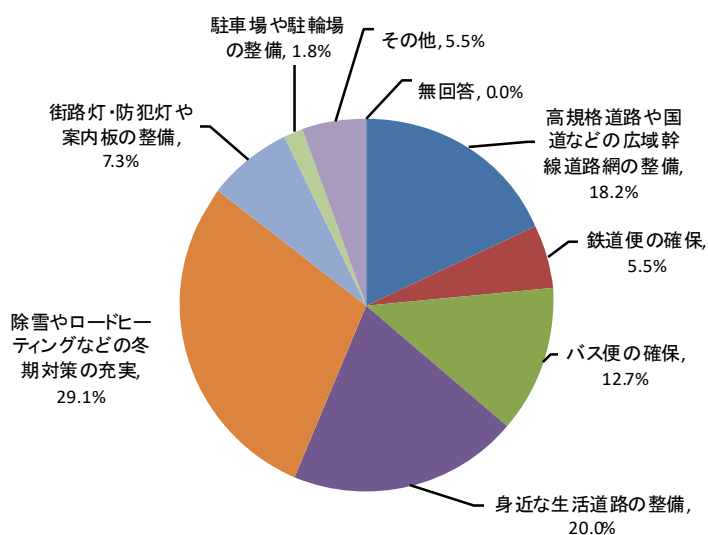
②地区別

3 地区とも「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」が最も多く、これに次いで、市街地及び東部地区では、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」、「身近な生活道路の整備」、「バス便の確保」の順となっており、西部地区では、「身近な生活道路の整備」、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」、「バス便の確保」の順となっている。

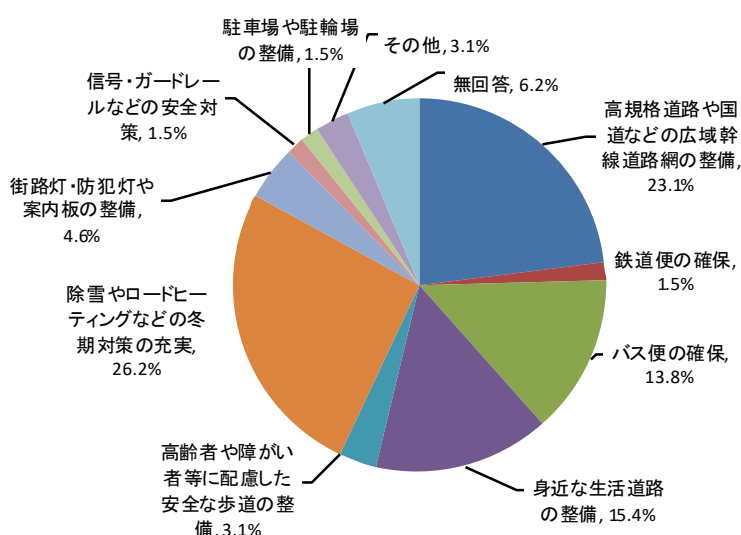
市街地



西部地区



東部地区



3. 10 生活環境について

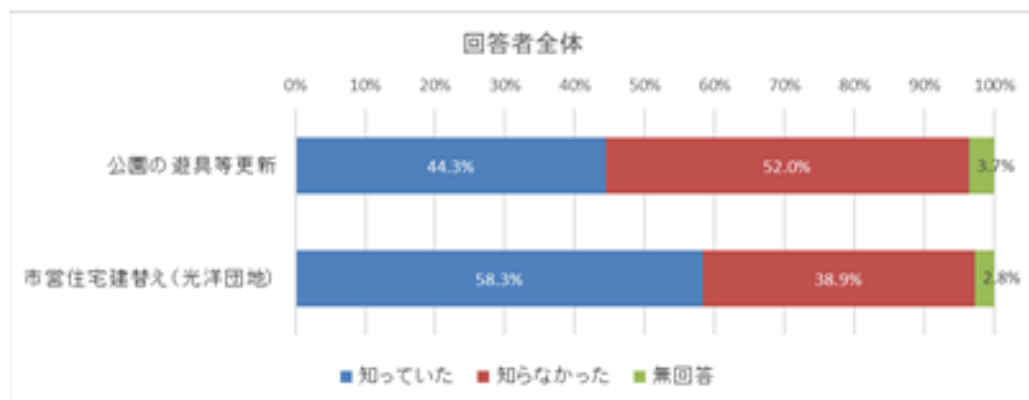
(1) 施策に対する認知度

①市民全体

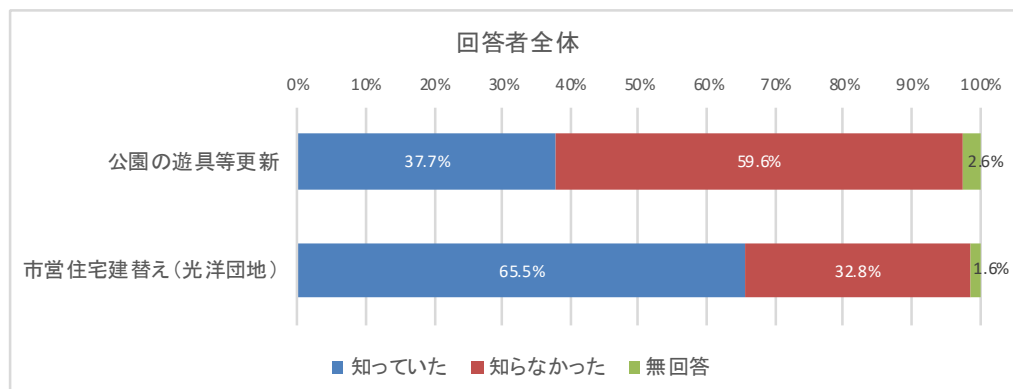
根室市で実施している生活環境に関する主要施策についての認知度をみると、回答者全体では、「市営住宅建替え（光洋団地）」で 58.3%と高い認知度となっているが、「公園の遊具等更新」に関しては 44.3%の認知度に留まっている。

同じ設問で調査を実施した昨年度の結果と比較すると、光洋団地の建替えに関してはやや低下しているものの、公園の遊具等更新に関する認知度は高まっている。

< 令和 2 年度調査 >



< 令和元年度調査 >



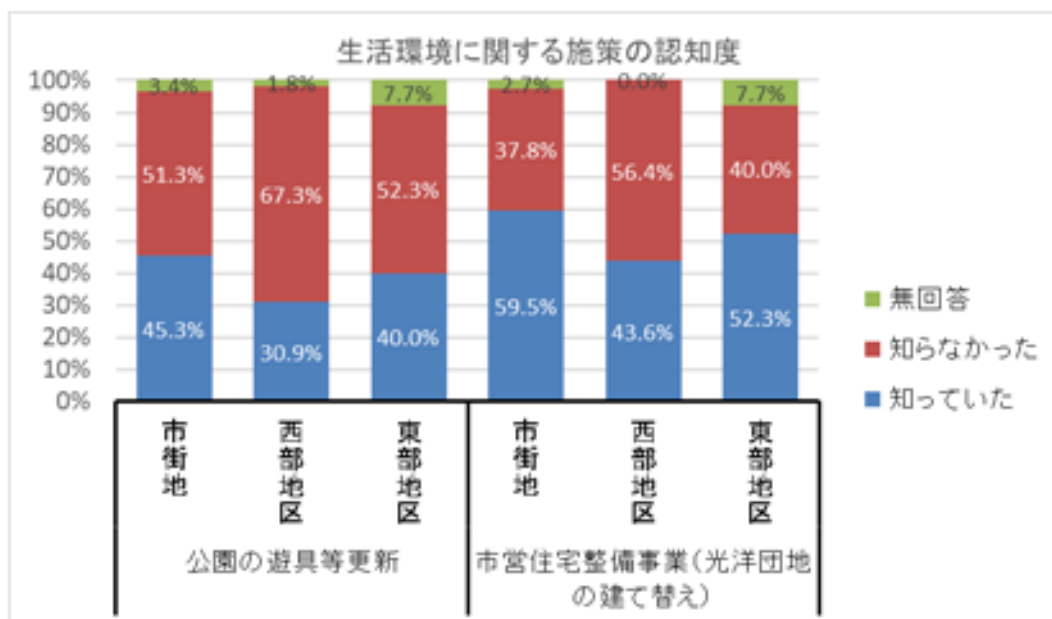
②地区別

生活環境に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、2事業とも西部地区でやや認知度が低いといった地区別での認知度の差異の傾向はほぼ昨年度調査の結果と同様の結果であった。

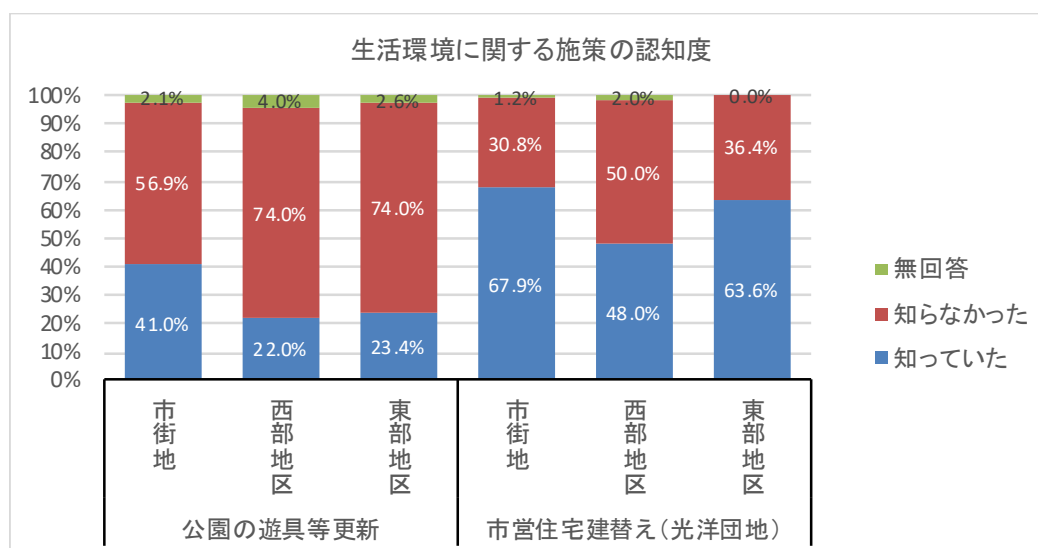
また、3地区とも「市営住宅建替え（光洋団地）」に関しては認知度が低下し、「公園の遊具等更新」に関しては認知度が上昇している。

このように、公園の遊具等更新に関しては市民全体の認知度が向上しており、関心の高まりがうかがえる。

<令和2年度調査>



<令和元年度調査>



（２）郊外の森林環境に対する満足度

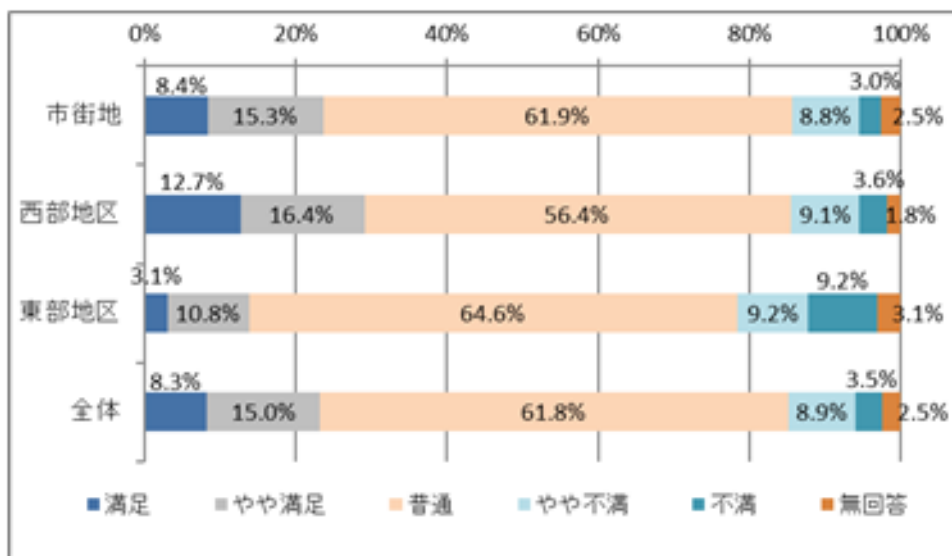
郊外の森林環境に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 23.3% となっており、昨年度の調査結果と同水準であった。

また、「普通」以上であるとする評価の割合も 85.1% とほぼ昨年度調査と同水準であった。

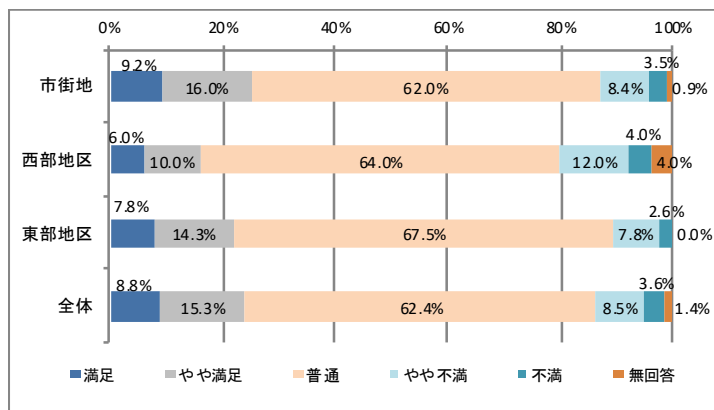
地域別でみると、市街地での評価が昨年度の調査結果よりも若干低くなっている。

西部地区および東部地区に関しては、変動が大きいサンプル数が少ないことに起因しているものと考えられる。

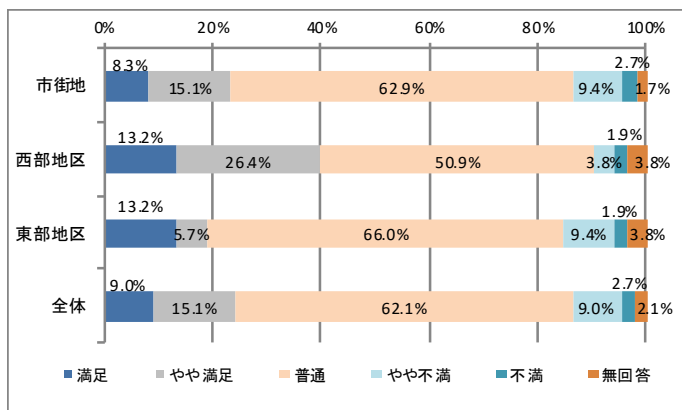
＜令和 2 年度調査＞



＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞

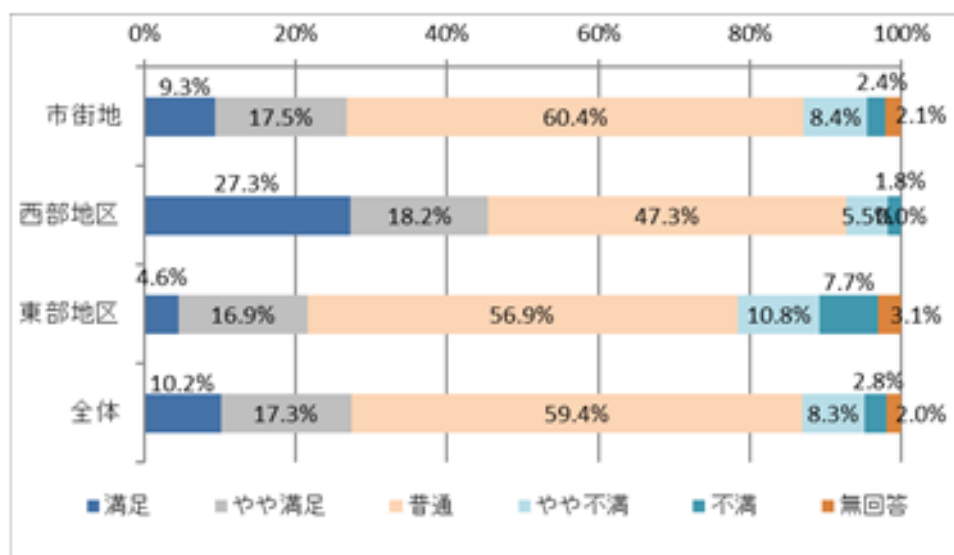


（３）住んでいる地域の緑の豊かさに対する満足度

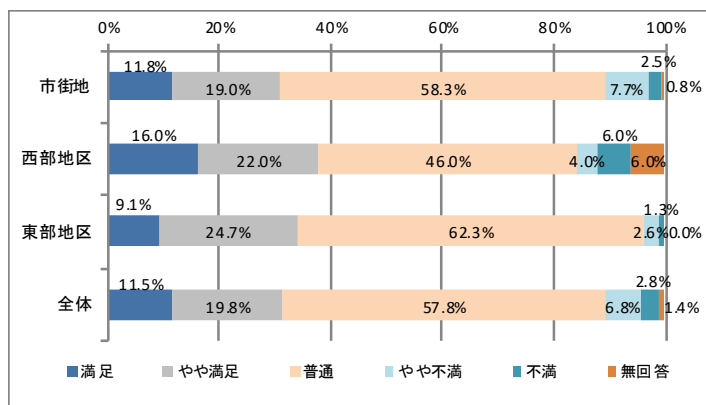
住んでいる地域の緑の豊かさに対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は27.5%となっており、昨年度調査の結果よりも低下したが、平成30年度の調査結果とほぼ同水準となっている。

しかし、郊外の森林環境に対する評価と同様に、「普通」以上の評価の割合でみると、ほぼ昨年度調査の結果と同水準となっている。

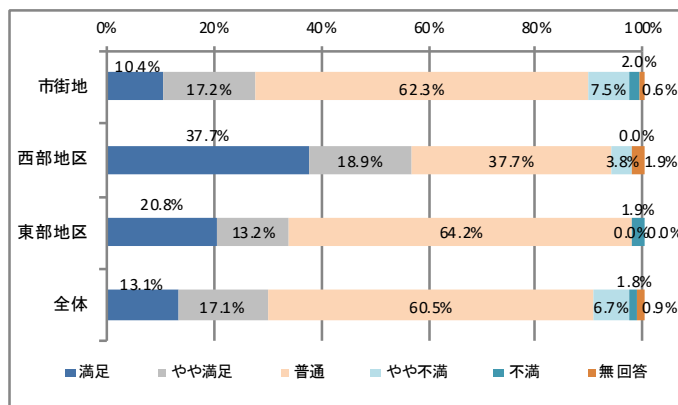
＜令和2年度調査＞



＜令和元年度調査＞



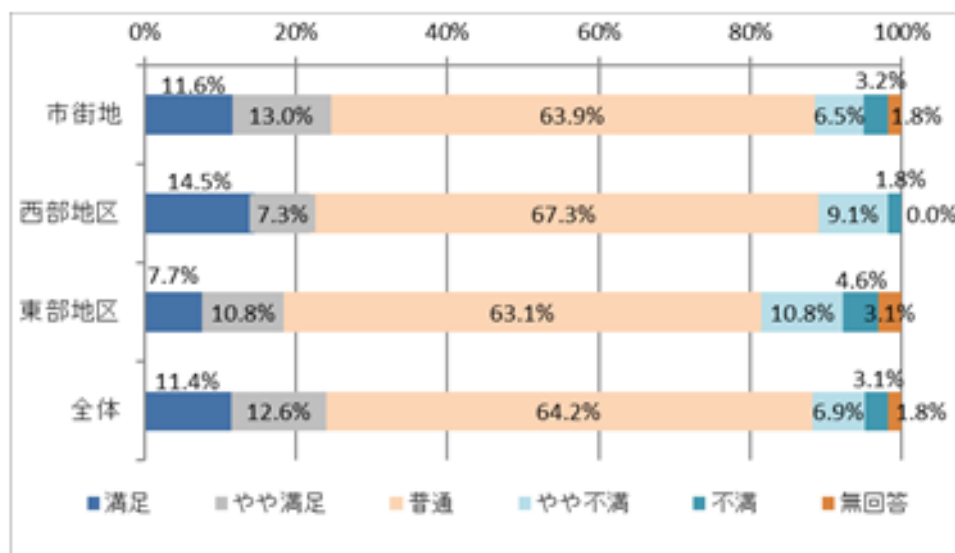
＜平成30年度調査＞



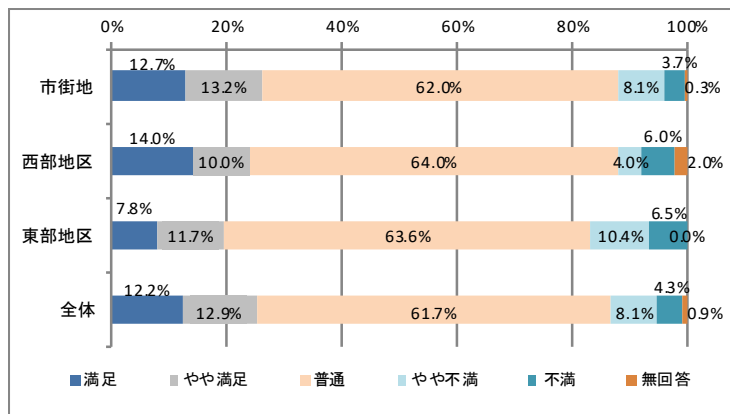
（４）上水道の整備状況に対する満足度

市内の上水道の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 24.0% となっており、昨年度の調査結果より若干低下した。しかし、平成 30 年度の結果よりも高くなっており、ここ数年はほぼ同水準で推移していると評価することが妥当と考えられる。

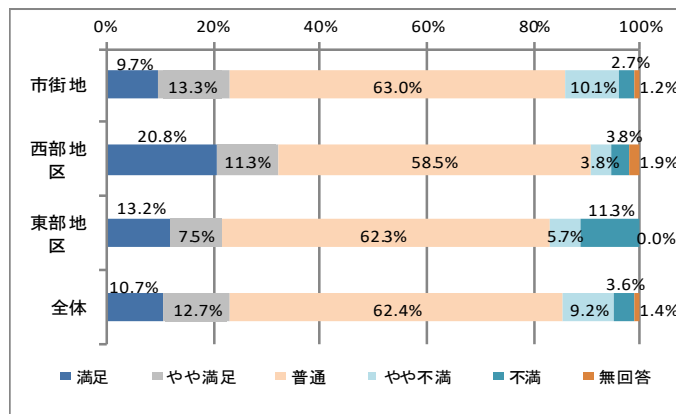
＜令和 2 年度調査＞



＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞

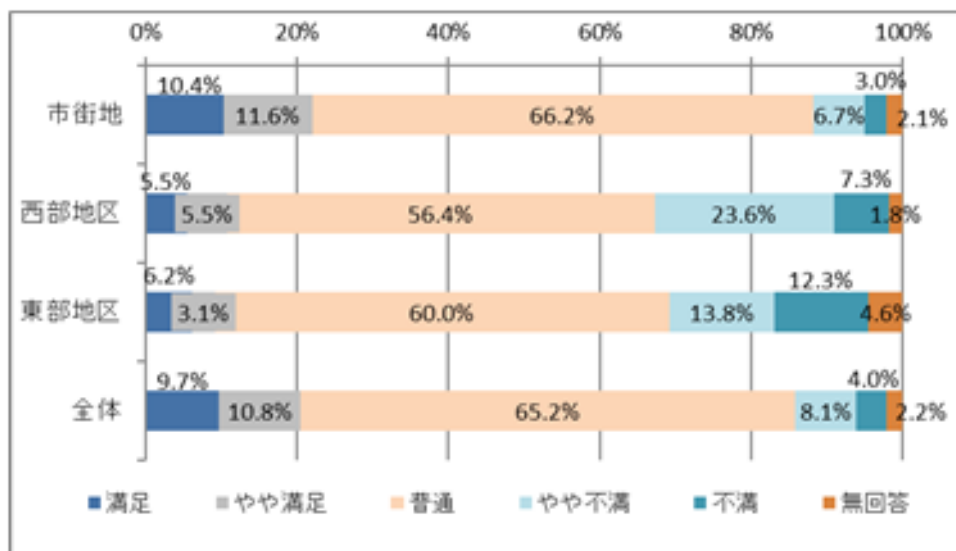


（５）下水道の整備状況に対する満足度

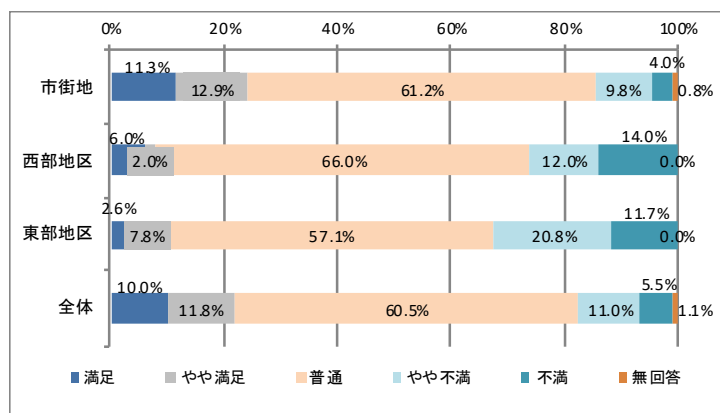
市内の下水道の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は20.5%となっており、昨年度までの結果とほぼ同水準であった。

また、「普通」以上とする評価もここ数年では3地区ともほぼ同水準となっている。

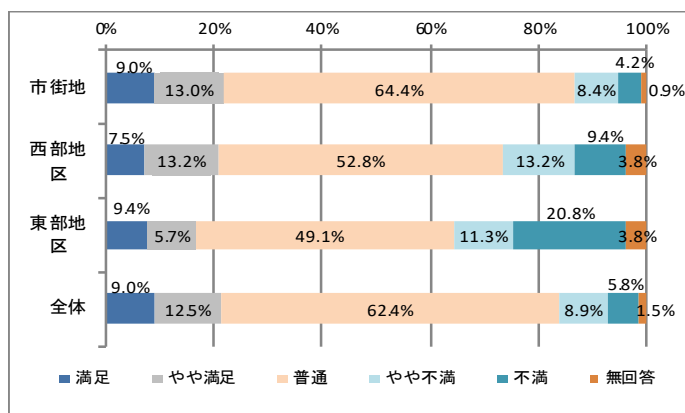
＜令和２年度調査＞



＜令和元年度調査＞



＜平成30年度調査＞



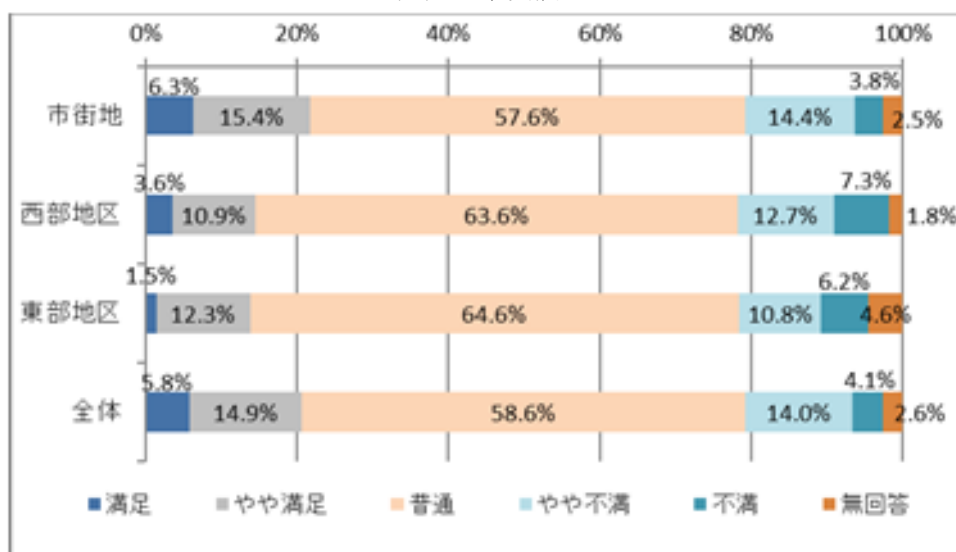
（６）公園や広場の利用のしやすさに対する満足度

市内の公園や広場の利用のしやすさに対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 20.7% となっており、平成 30 年度以降の結果でも明らかに満足度は向上している。特に市街地住民の満足とする評価は高まっている状況が把握される。

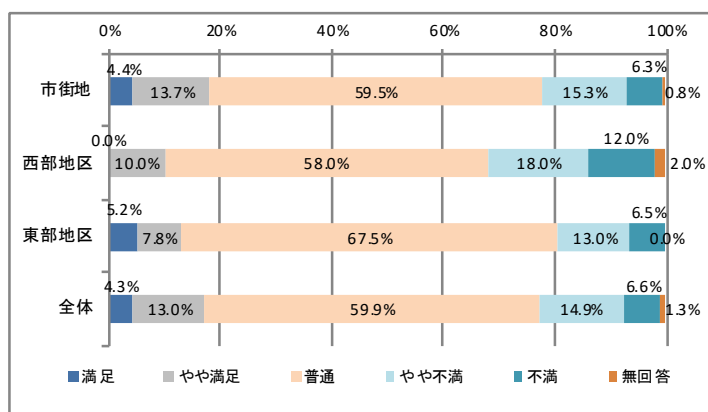
また、他の生活環境に対する評価と同様、「普通」以上とする評価の割合も増加してきており、満足度が高まってきている状況がうかがえる。

地区別でも 3 地区とも普通以上の評価が高まっている状況が把握される。

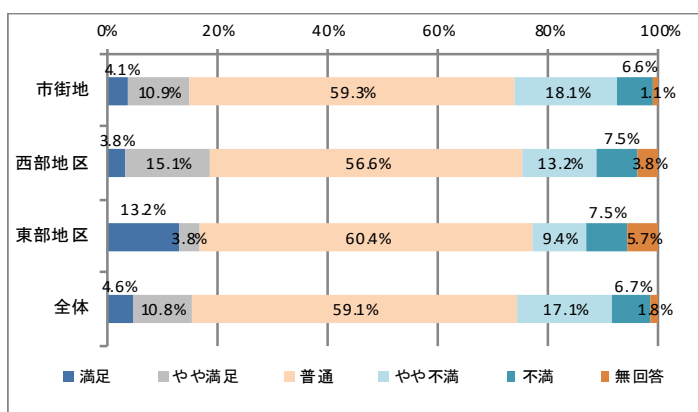
< 令和 2 年度調査 >



< 令和元年度調査 >



< 平成 30 年度調査 >

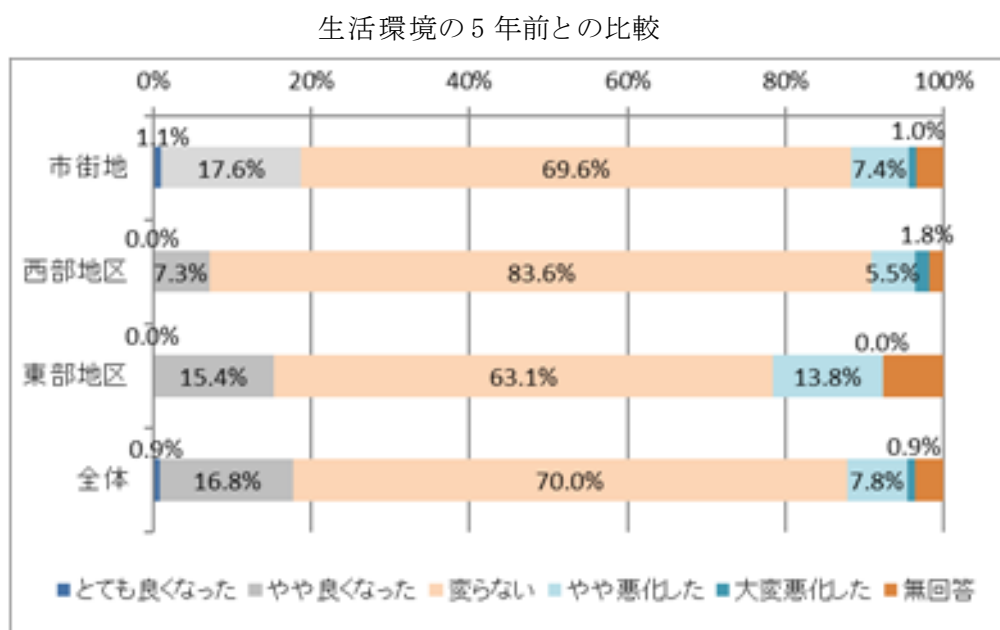


（７）生活環境の５年前との比較

根室市の自然、公園、上下水道等の生活環境の状況について５年前と比較してもらった結果、市民全体では「変わらない」が最も多く、70.0%を占めた。地区別でも同様の結果となっており、3地区とも「変わらない」とする回答が最も多かった。

一方、「とても良くなった」と「やや良くなった」を合わせた割合は17.7%であり、「大変悪化した」と「やや悪化した」を合わせた割合（8.4%）より高くなっている。

しかし、地区別で見ると、良くなったとの回答割合が悪くなったとの回答割合を上回っているのは、市街地住民のみで、西部地区と東部地区の住民の評価は悪くなったとする評価が若干上回っている。



（８）買い物の利便性に対する満足度

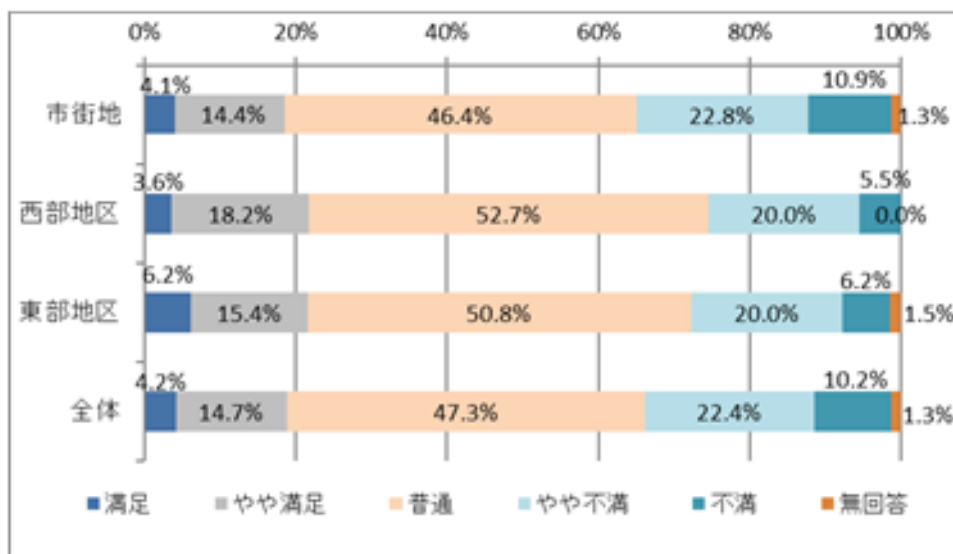
市内の買い物の利便性に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は18.9%となっており、昨年度の調査結果よりもやや向上している。

また、「普通」とする評価を加えた「普通」以上の評価の割合も66.7%と7割近くを占めている。

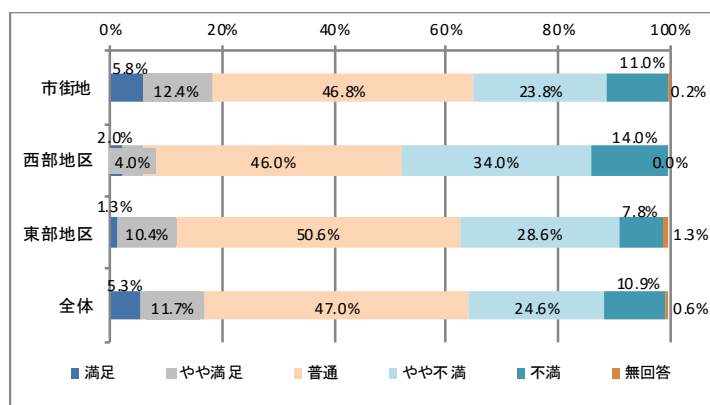
しかし、「不満」と「やや不満」を合わせた不満とする回答割合は32.6%となっており、満足評価を大きく上回っている。

また、この不満意識の高さは3地区とも同様となっている。

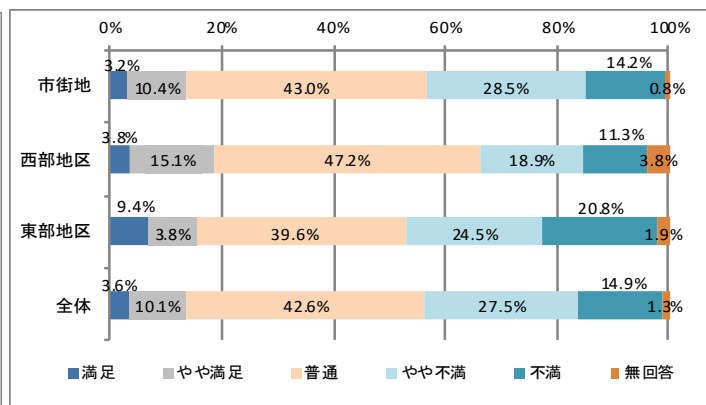
＜令和2年度調査＞



＜令和元年度調査＞



＜平成30年度調査＞



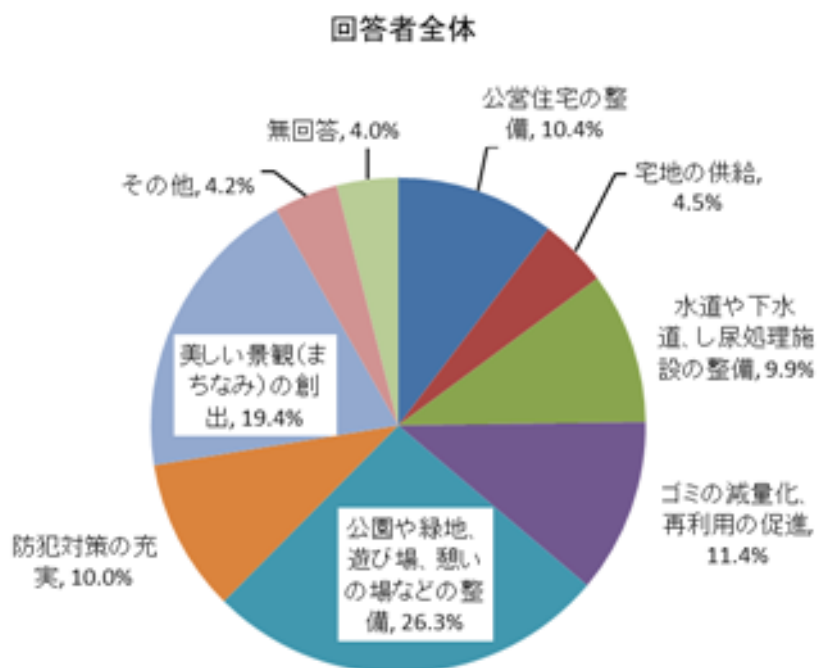
(9) 生活環境に関する施策について

①市民全体

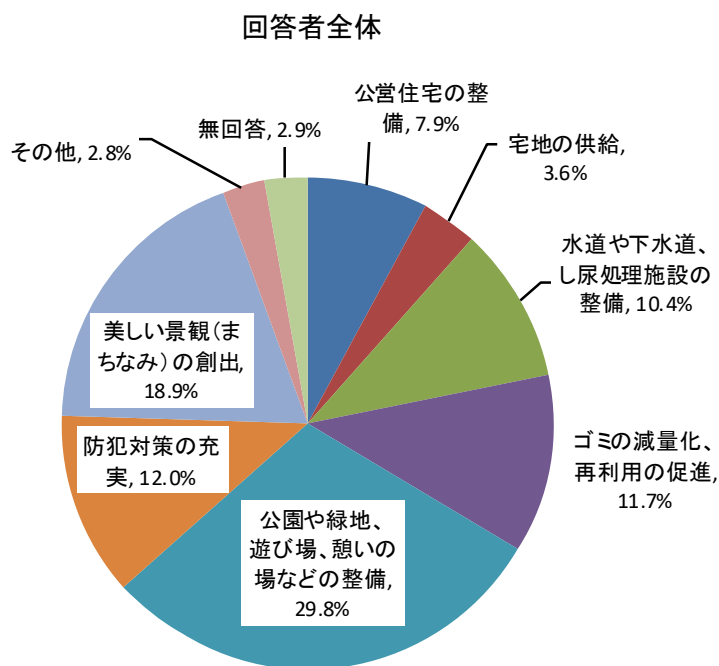
生活環境について、今後重点的に取り組むべきと考える施策を1つ回答してもらった結果、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」が最も多く、次いで、「美しい景観(まちなみ)の創出」、「ゴミの減量化、再利用の促進」、「公営住宅の整備」の順となっている。

昨年度の調査結果と比較すると、上位にあげられている項目は、ほぼ同じ結果となっている。

<令和2年度調査>

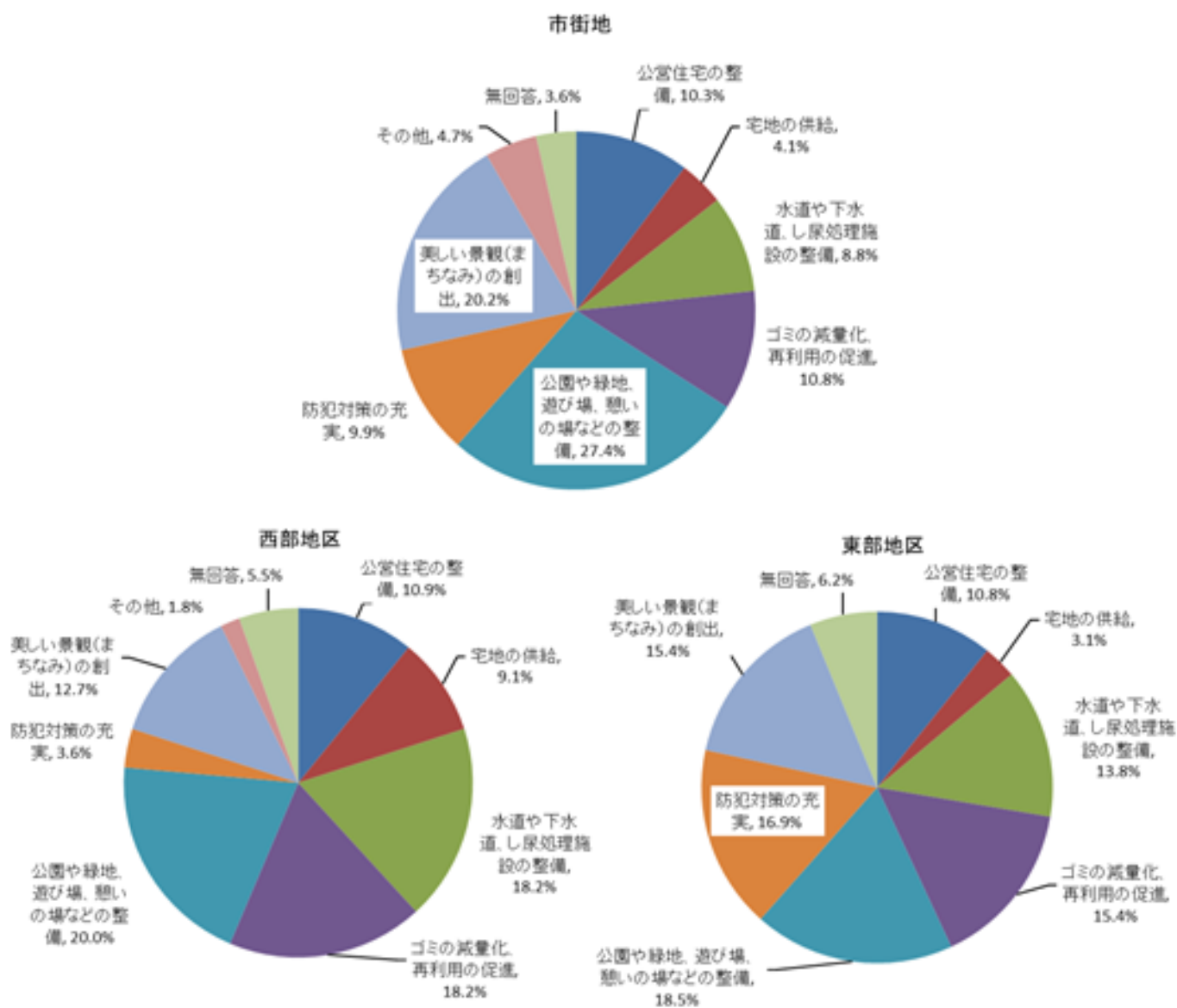


<令和元年度調査>



(2) 地区別

地区別でみると、上位にあげられている項目に違いがあり、市街地では「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」、「美しい環境（まちなみ）の創出」、「ゴミの減量化、再利用の促進」が、西部地区では、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」に次いで「ゴミの減量化、再利用の促進」、「水道や下水道、し尿処理施設の整備」が多く、東部地区では、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」に次いで「防犯対策の充実」が高くなっている。



3. 1 1 防災・減災対策について

(1) 施策に対する認知度

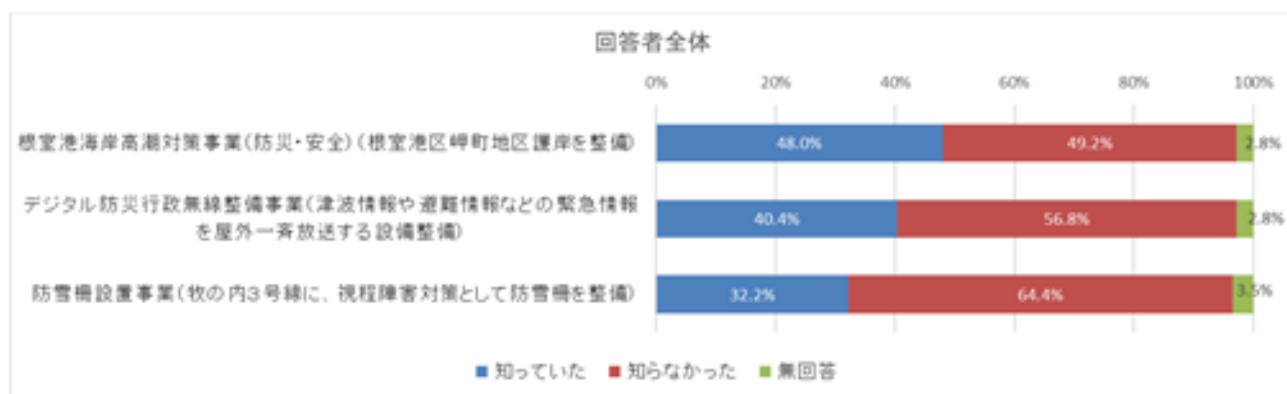
①市民全体

根室市で実施している防災・減災に関する主要施策のうち、「根室港海岸高潮対策事業」、「デジタル防災行政無線整備事業」及び「防雪柵設置事業」の3事業についての認知度を調査した。

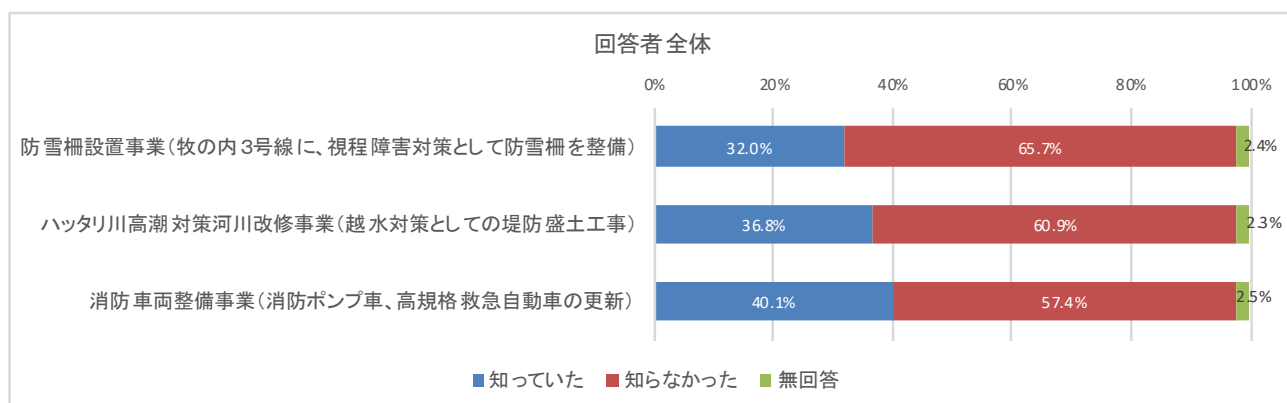
この結果、「根室港海岸高潮対策事業」は、48.0%が知っていたと回答しており、ほぼ半数の市民が知っている状況が把握された。「デジタル防災行政無線事業」については、40.4%と、やや知名度は低かった。

昨年度調査でも調査対象であった「防雪柵設置事業」については、ほぼ昨年度調査と同様の認知度となっていた。

<令和2年度調査>



<令和元年度調査>

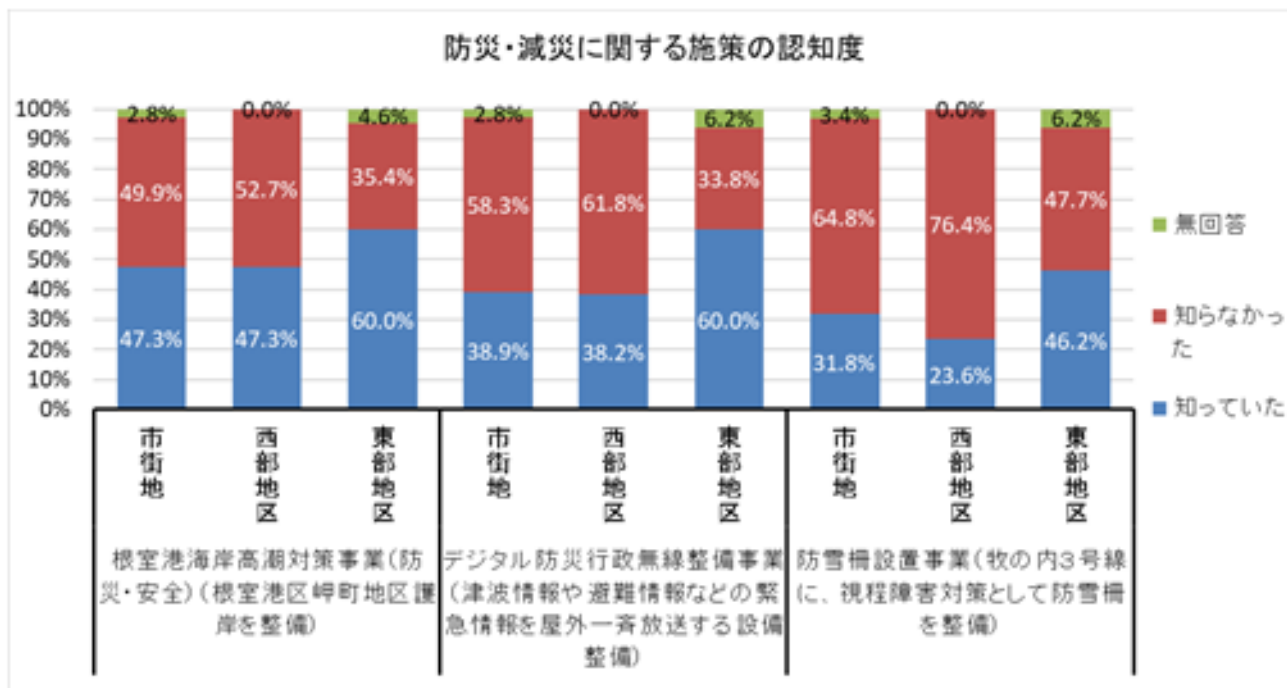


②地区別

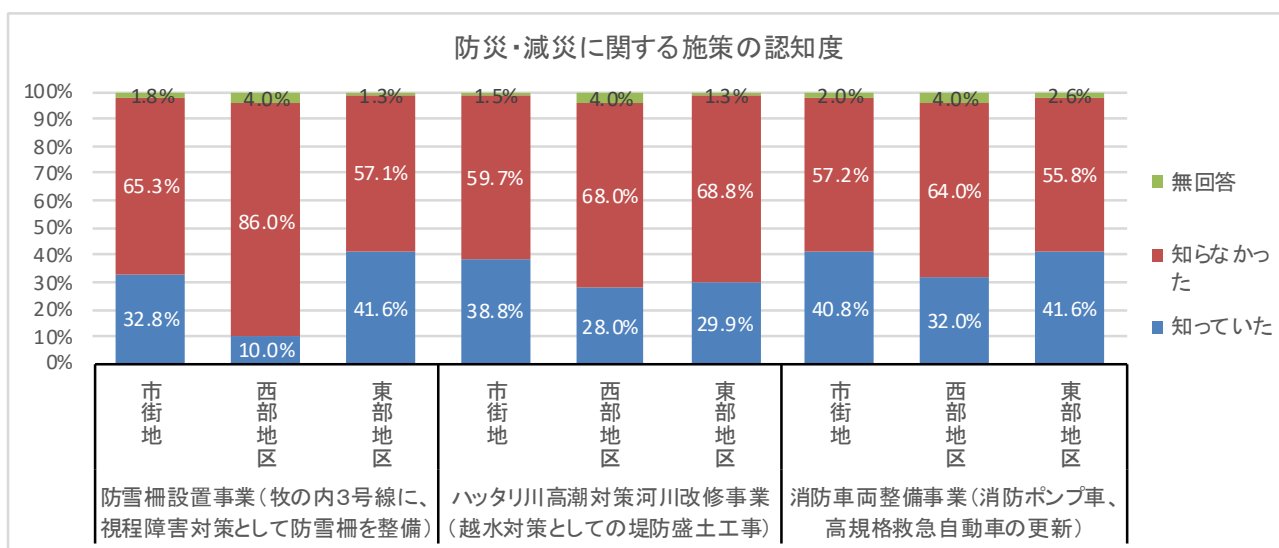
防災・減災に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、「根室港海岸高潮対策事業」、「デジタル防災行政無線整備事業」については、漁業者の多い東部地区の認知度がいずれも60%と高くなっていることが特徴的である。

ただし、「根室港海岸高潮対策事業」については、市街地、西部地区でも半数近い認知度となっている。

<令和2年度調査>



<令和元年度調査>



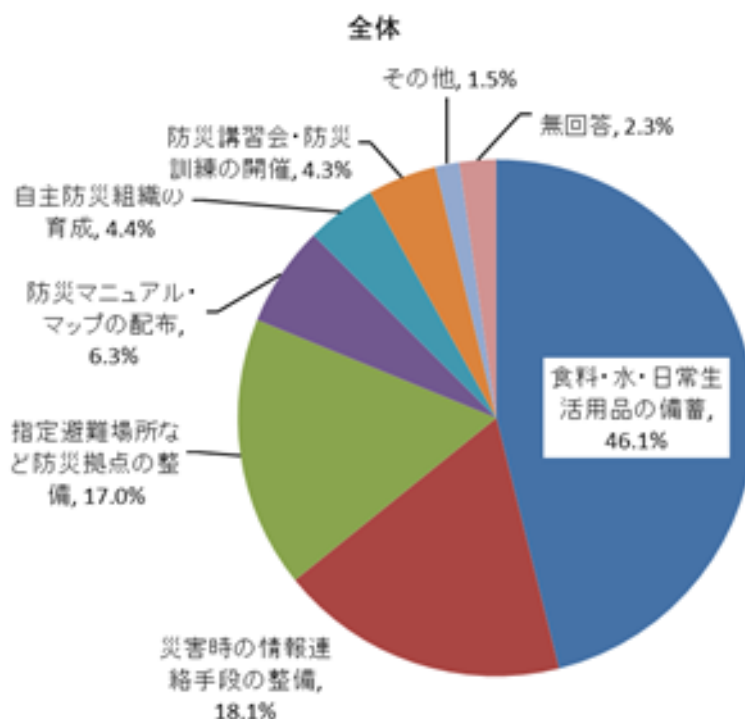
（２）防災対策に関する施策について

①市民全体

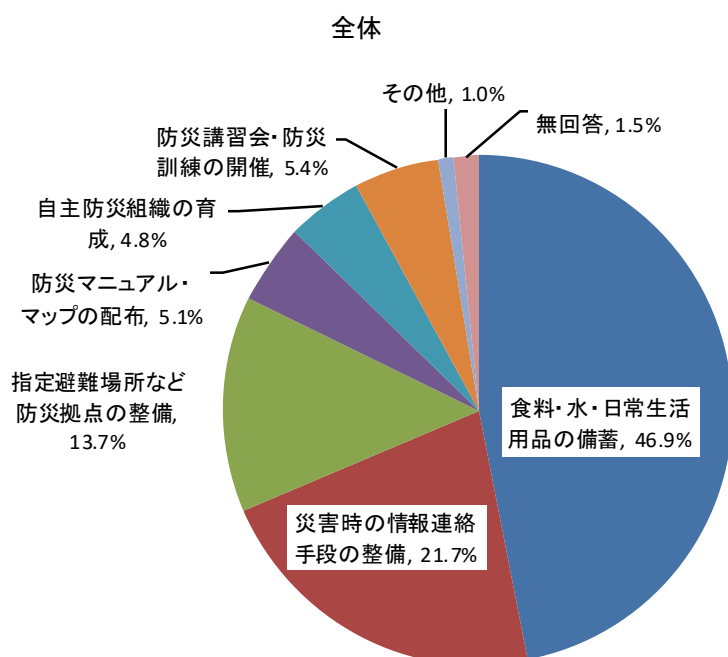
防災・減災対策として重要であると考える項目を１つ回答してもらった結果をみると、最も回答割合が高かった項目は、「食料・水・日常生活用品の備蓄」であり、46.1%を占めた。次いで、「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」の順となっている。

この結果は、昨年度までの調査結果とほぼ同様であった。

<令和２年度調査>

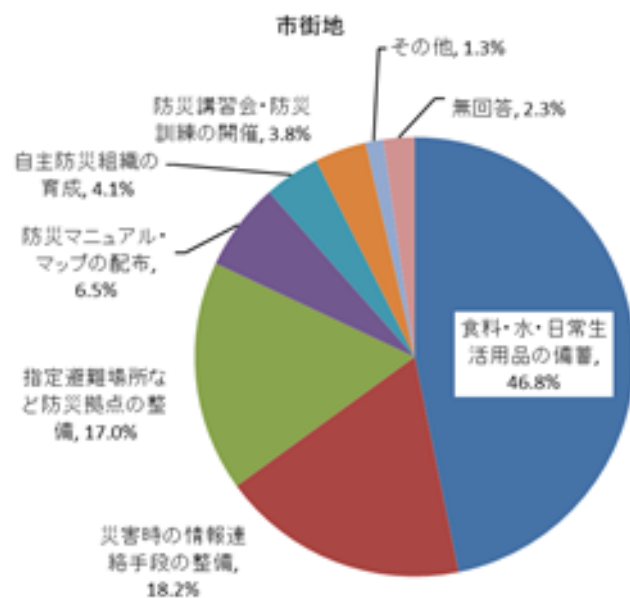


<令和元年度調査>

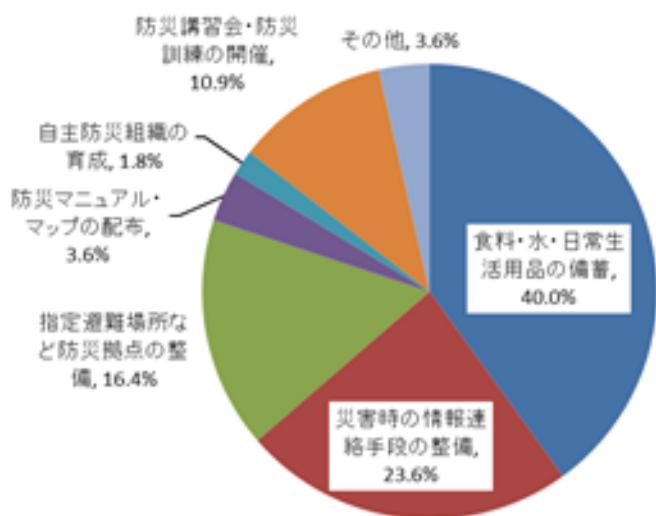


②地区別

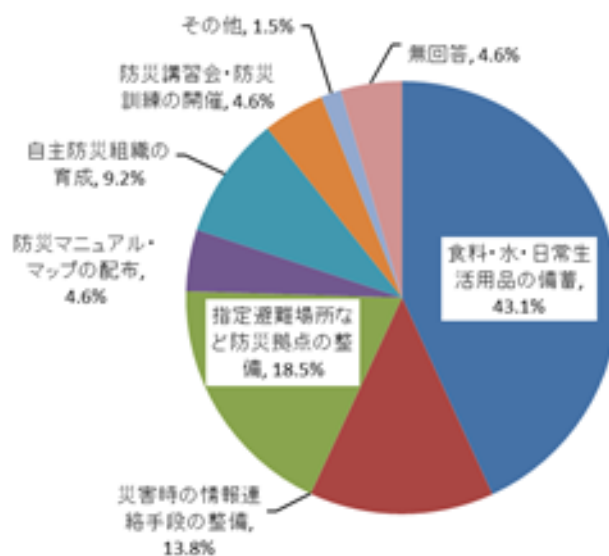
3地区とも「食料・水・日常生活用品の備蓄」が最も多く、これに次いで市街地と西部地区では、「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」の順、東部地区は「指定避難場所など防災拠点の整備」、「災害時の情報連絡手段の整備」の順となっている。



西部地区



東部地区



3. 1 2 学校教育・社会教育について

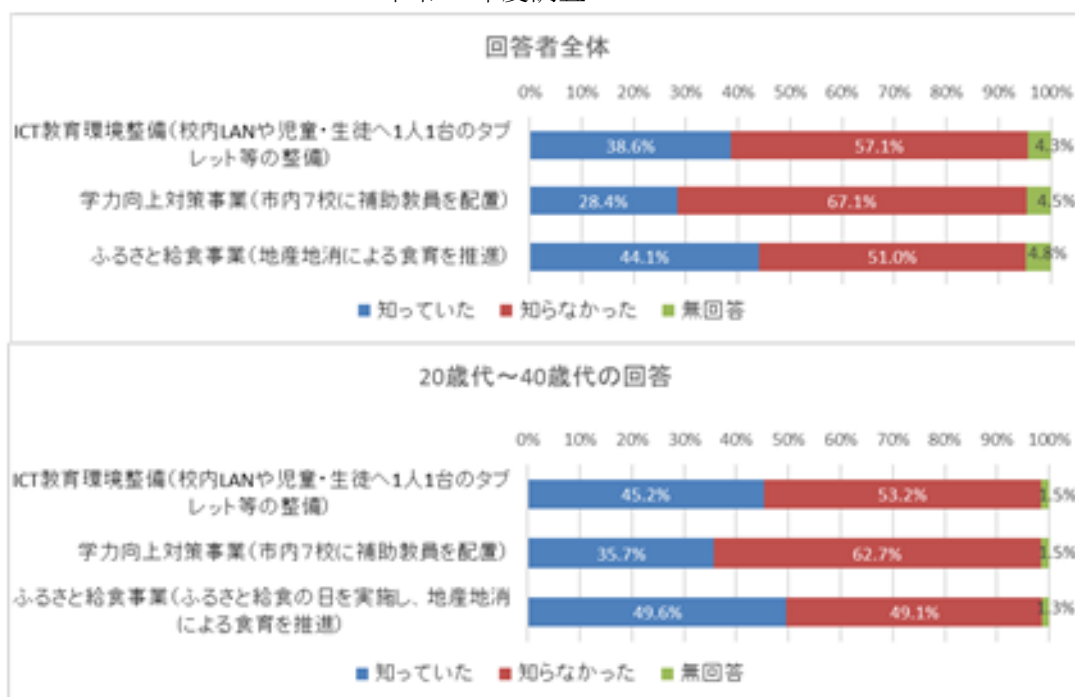
(1) 施策に対する認知度

① 市民全体

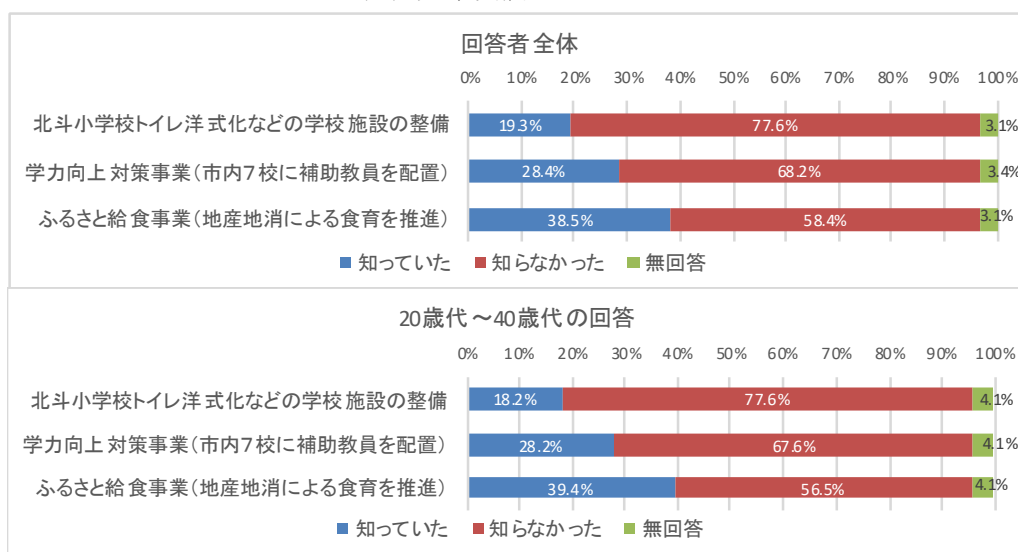
根室市で実施している学校教育に関する主要施策の認知度をみると、「ICT 教育環境整備」については 38.6%であった。また、昨年度の調査対象事業であった「学力向上対策事業」、「ふるさと給食事業」については、それぞれ 28.4%、44.1%となっており、昨年度よりも認知度が向上している。

一方、子育て世代である 20 歳代～40 歳代の回答者についてみると、3つの事業とも市民全体の認知度に比して高くなっているとともに、昨年度に比して認知度が向上している状況が把握された。

< 令和 2 年度調査 >



< 令和元年度調査 >

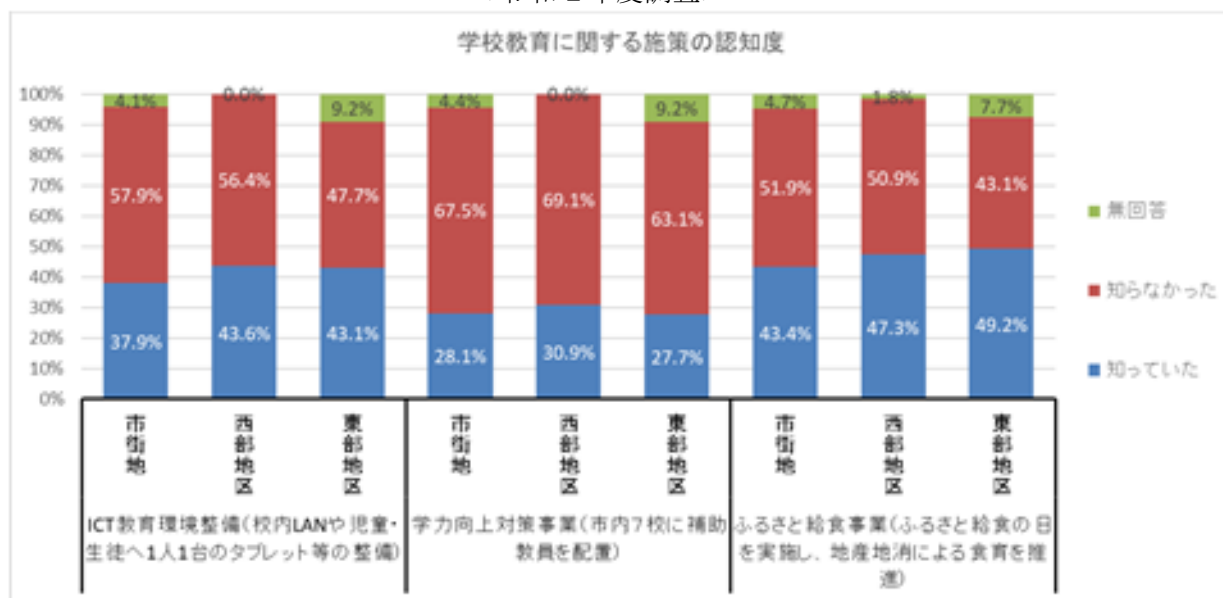


② 地区別

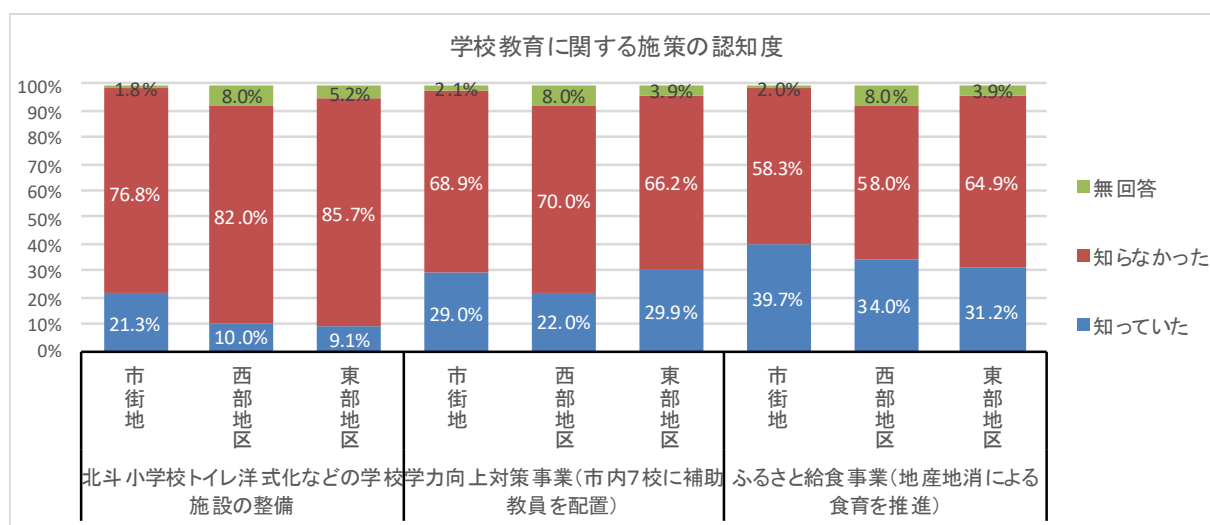
学校教育に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、3事業とも地区での差はほとんどみられていない。

昨年度の調査対象事業であった「学力向上対策事業」については3地区とも昨年度とほぼ同水準であり、「ふるさと給食事業」については3地区とも認知度が向上している。

<令和2年度調査>



<令和元年度調査>



（２）教育施設や教育環境に対する満足度

教育施設や教育環境に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は市民全体で 6.8% となっており、昨年度の調査結果よりもやや向上している。また、「普通」以上とする評価の割合も昨年度までの結果よりも若干高い。

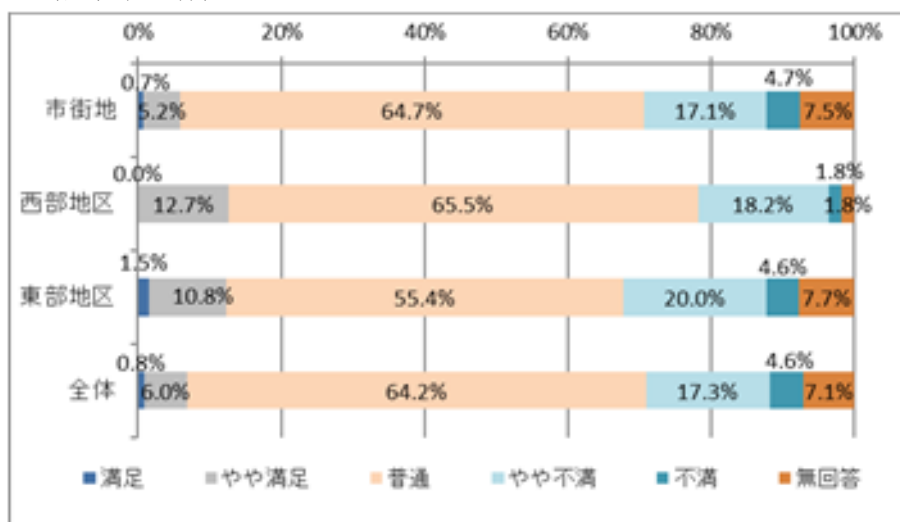
地域別でみると、昨年度調査の結果から、市街地住民の「不満」、「やや不満」の評価はやや低下した。

一方、子育て世代である 20 歳代～40 歳代の回答者の評価は、昨年度調査の結果と同様に、市民全体の評価よりも厳しい評価となっているものの、昨年度の評価から大きな変化はみられていない。

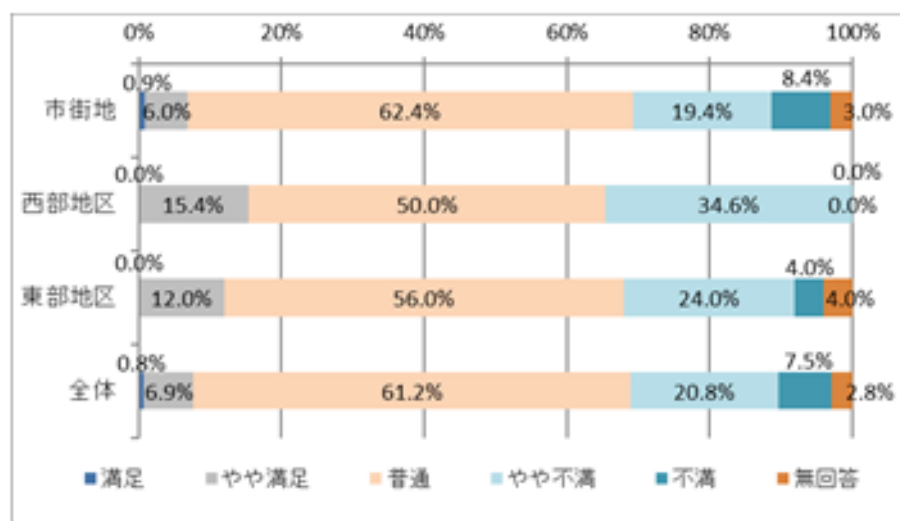
しかし、昨年度調査結果が一昨年度の結果よりも評価が向上している状況を踏まえると、概ね、不満の度合いは低下しつつある状況が伺える。

<令和 2 年度調査>

（回答者全体）

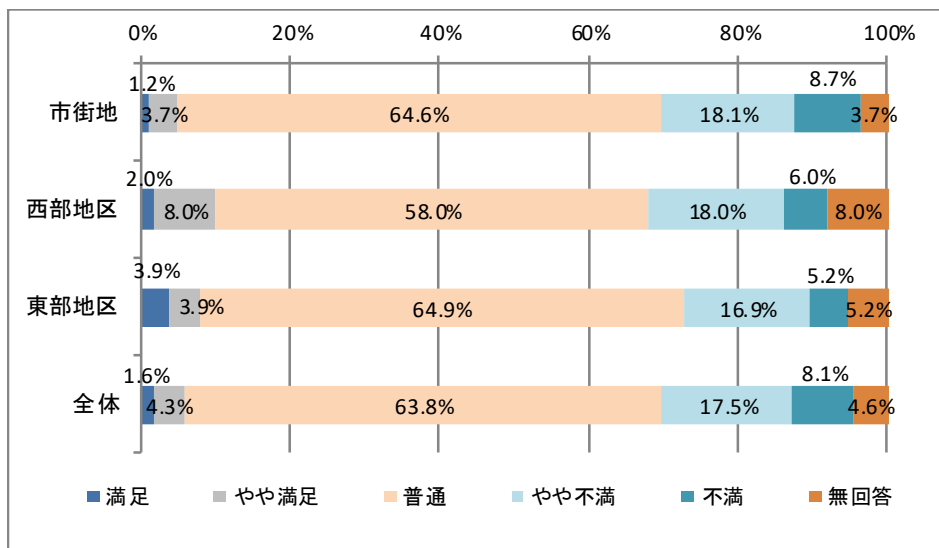


（20 歳代～40 歳代）

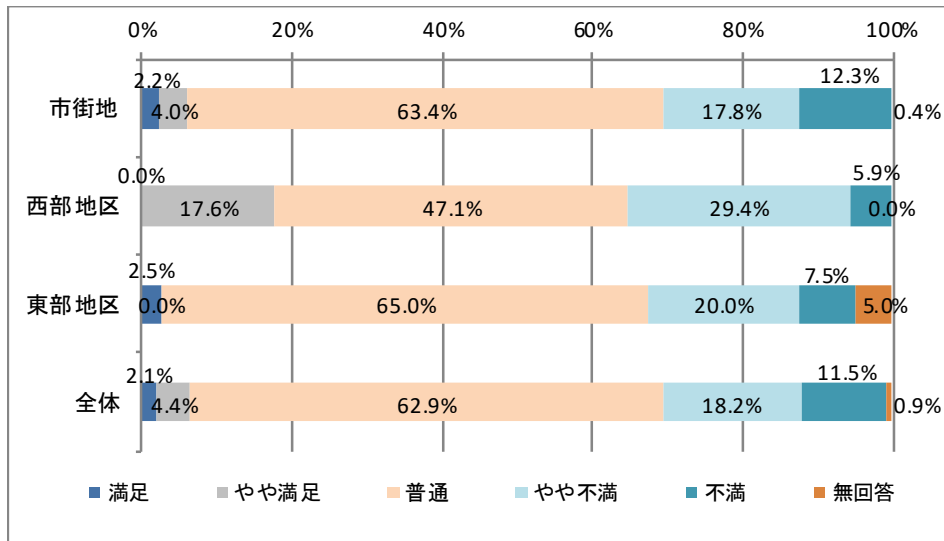


< 令和元年度調査 >

(回答者全体)



(20 歳代～40 歳代)

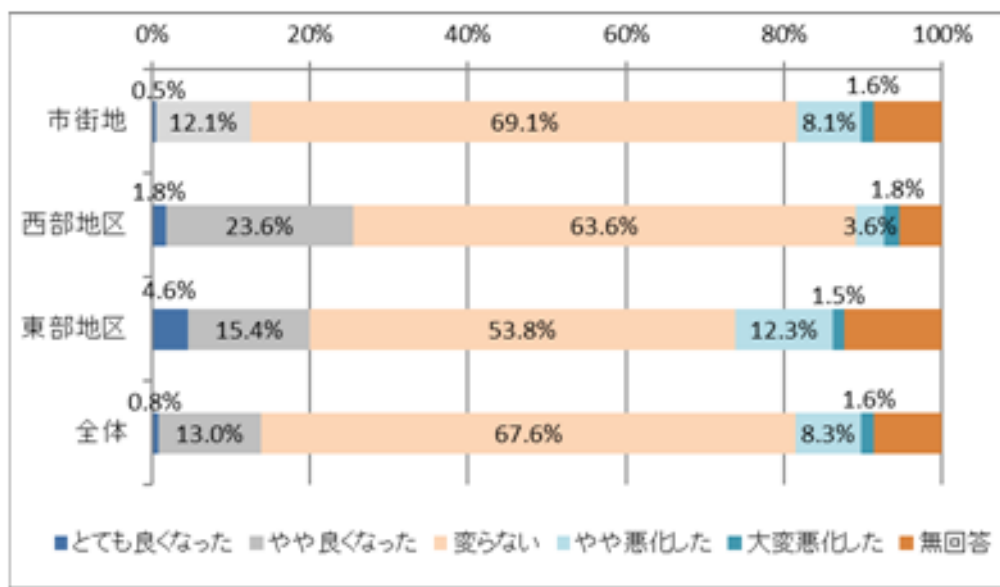


（３）教育環境の５年前との比較

根室市の学校教育、社会教育にかかる教育環境の状況について５年前と比較してもらった結果、市民全体では「変わらない」が最も多く、67.6%を占めた。地区別でも同様の結果となっており、３地区とも「変わらない」とする回答が最も多かった。

一方、「とても良くなった」と「やや良くなった」を合わせた割合は13.8%であり、「大変悪化した」と「やや悪化した」を合わせた割合（9.9%）より高くなっている。

教育環境の５年前との比較



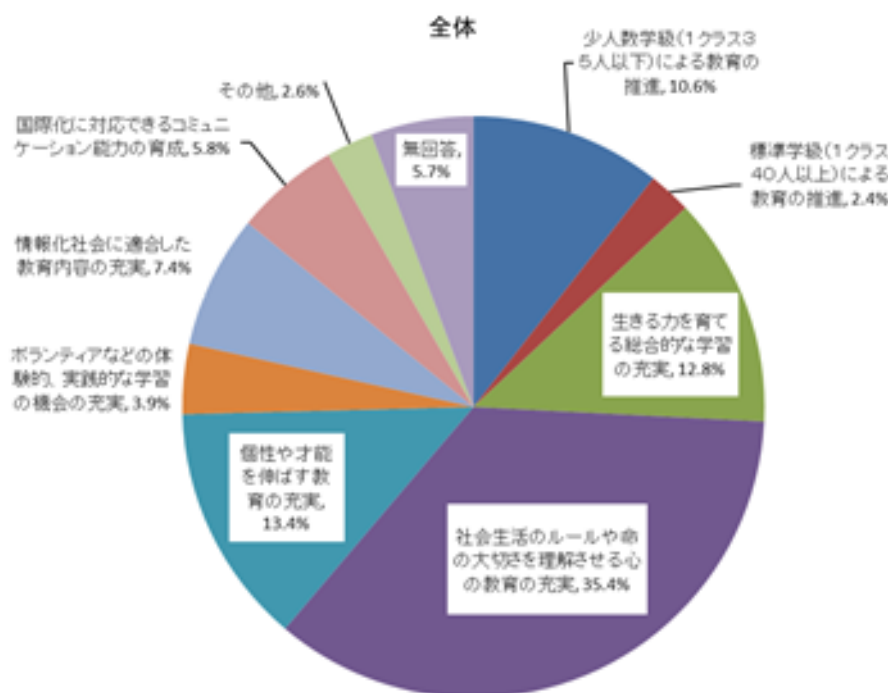
(4) 学校教育に関する施策について

①市民全体

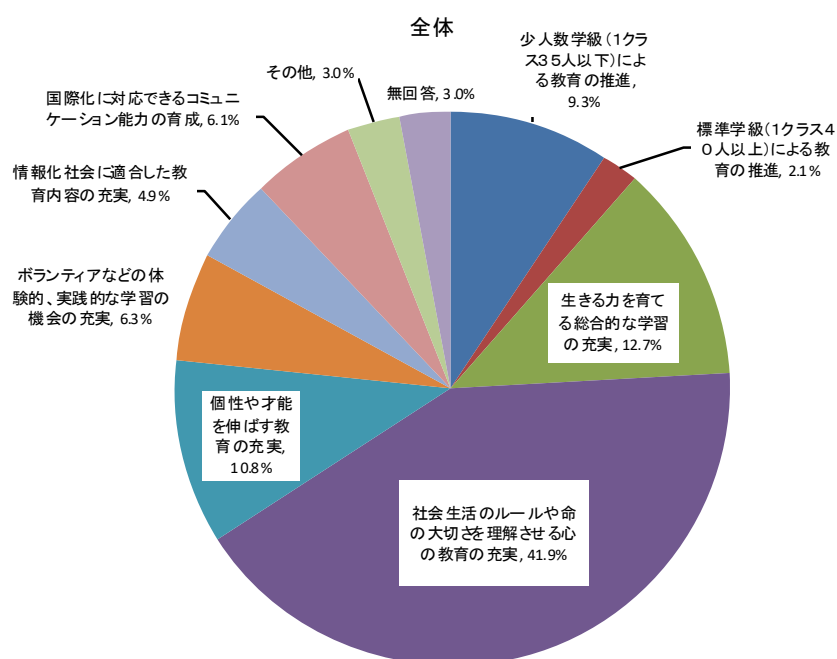
学校教育の充実のために市行政が力を注ぐべきと思う施策を1つ回答してもらった結果をみると、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」が最も多くなっており、次いで、「個性や才能を伸ばす教育の充実」、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「少人数学級（1クラス35人以下）による教育の推進」の順となっている。

昨年度調査と比較すると、上位の逆転がみられるものの、上位にあげられている項目に変化はみられていない。

<令和2年度調査>



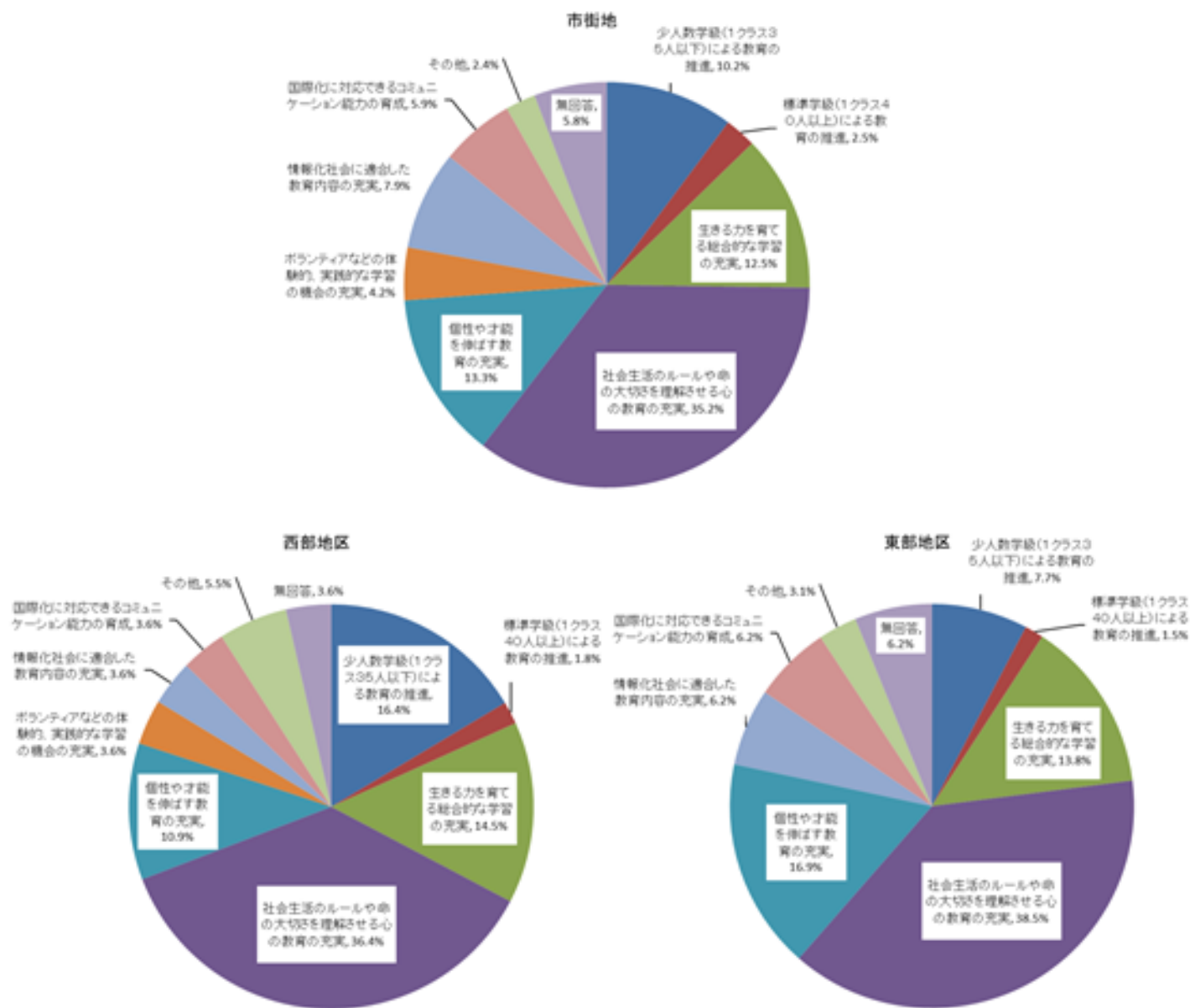
<令和元年度調査>



②地区別

3 地区とも「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」、「少人数学級（1クラス 35 人以下）による教育の推進」の4項目が上位にあげられている。

この傾向は、昨年度までの調査結果とほぼ同様である。



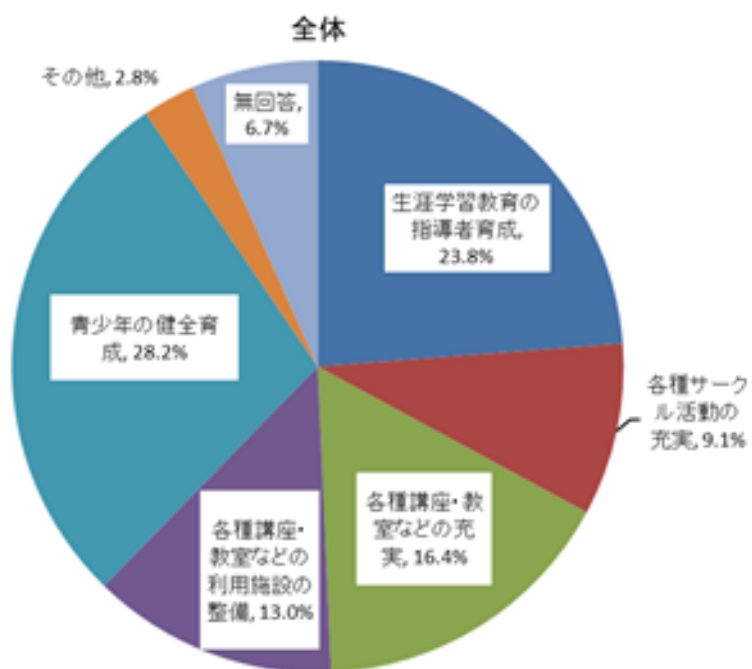
（５）社会教育に関する施策について

①市民全体

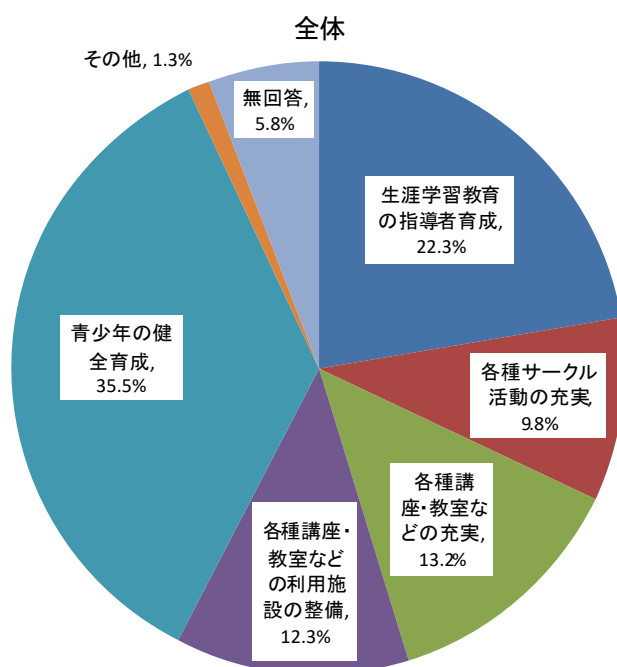
社会教育に関して重要であると考える項目 1 つを回答してもらった結果をみると、「青少年の健全育成」が最も多く、次いで、「生涯学習教育の指導者育成」、「各種講座・教室などの充実」の順となっている。

この結果は、昨年度までの調査結果とほぼ同様となっている。

<令和２年度調査>

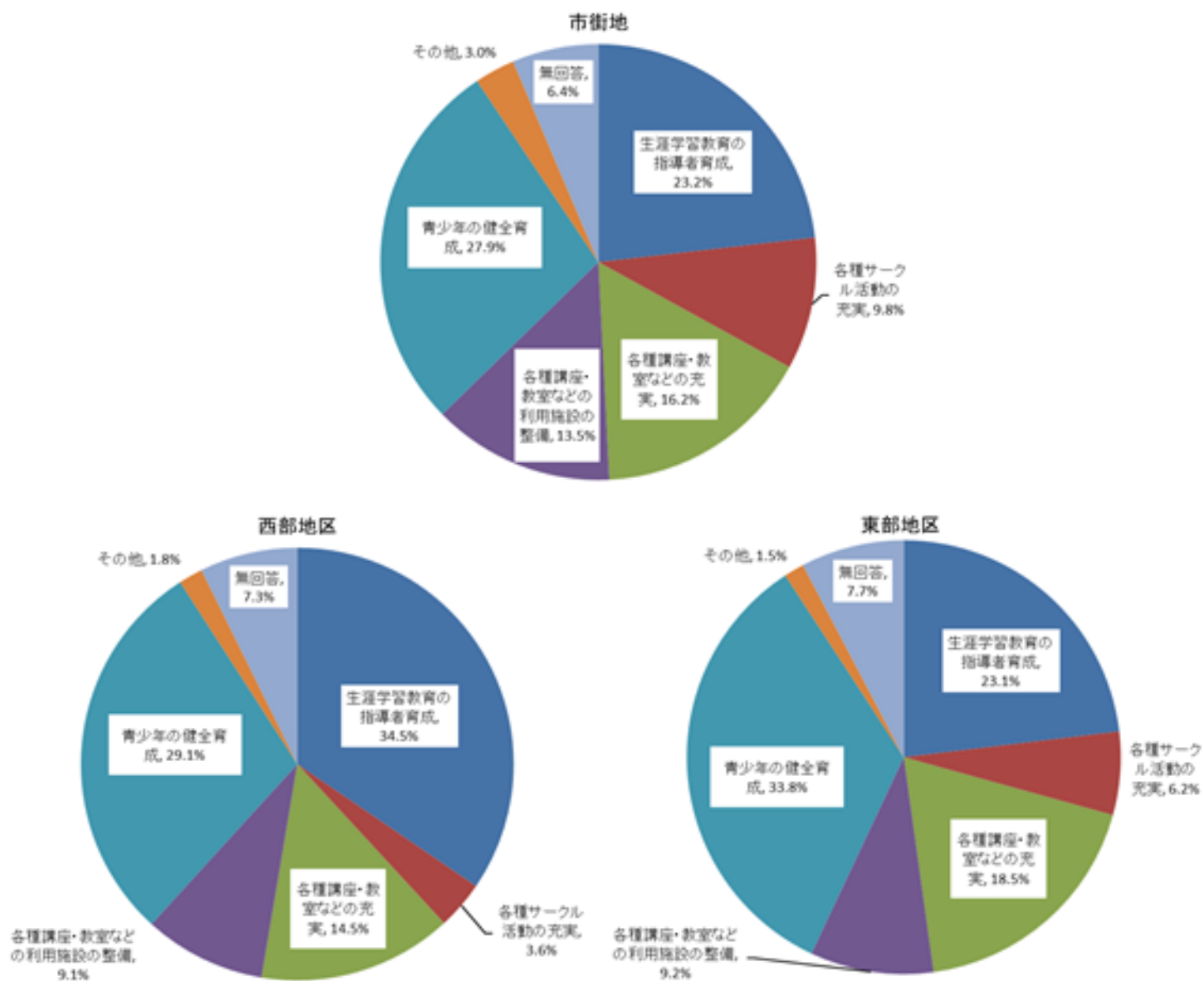


<令和元年度調査>



②地区別

3 地区とも市民全体と同様に順位の違いはみられるものの「青少年の健全育成」、「生涯学習教育の指導者育成」、「各種講座・教室などの充実」の3項目が上位にあげられている。



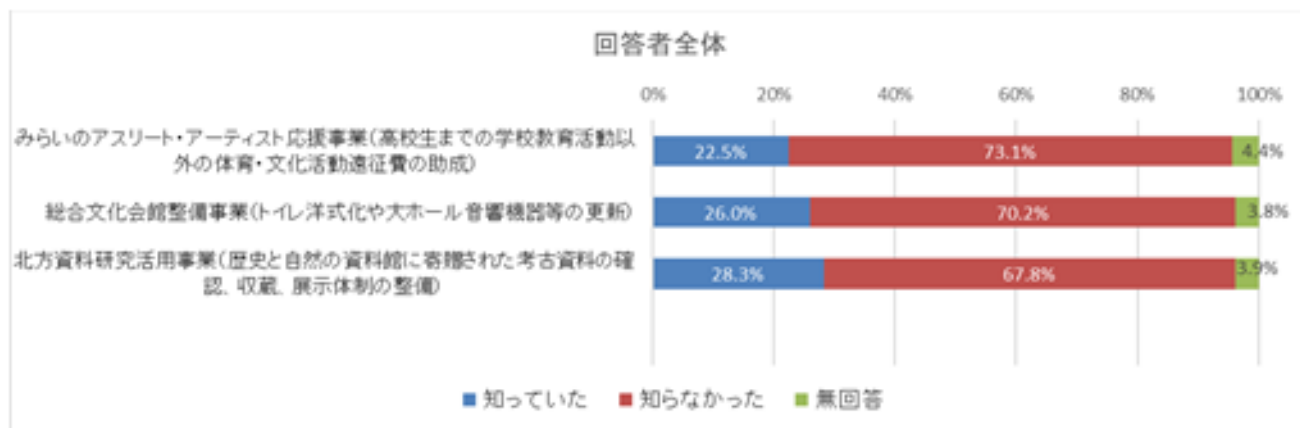
3. 13 スポーツ・レクリエーション・文化について

(1) 施策に対する認知度

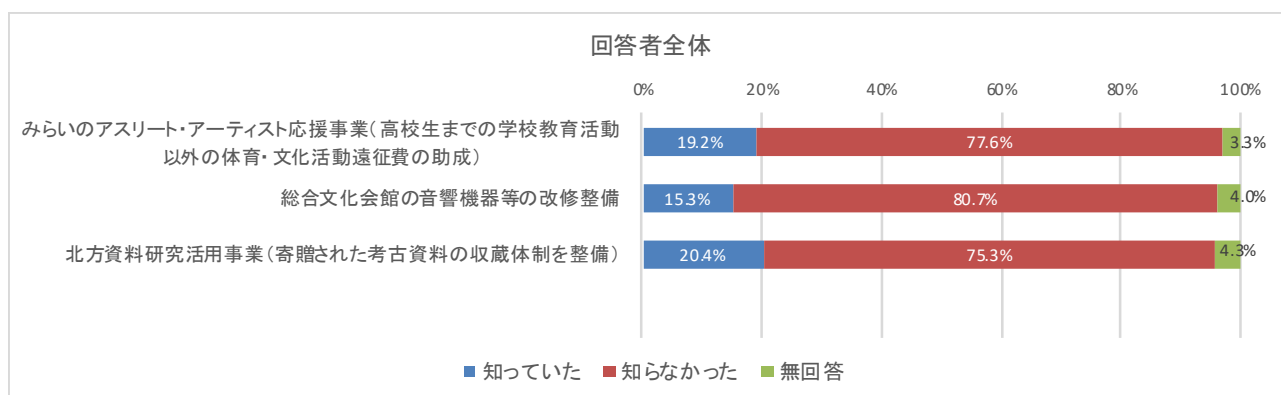
①市民全体

市で実施しているスポーツ・レクリエーション・文化に関する主要3施策についての認知度をみると、いずれの施策も、その認知度は20%台となっており、昨年度調査の認知度を上回っている。

<令和2年度調査>



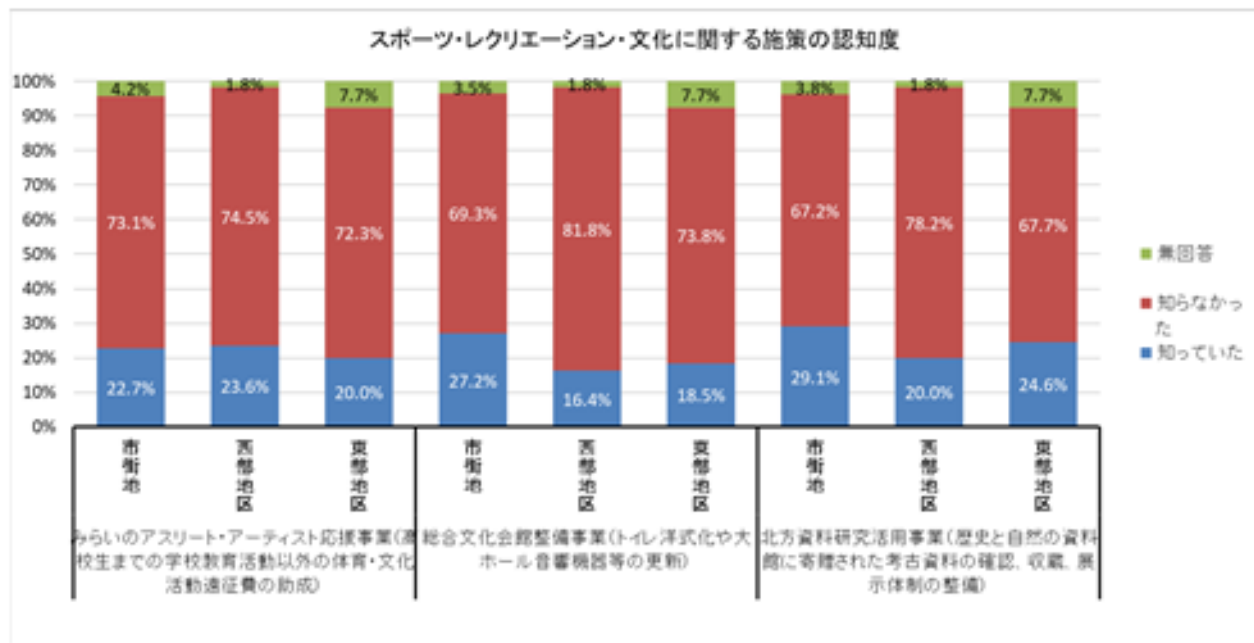
<令和元年度調査>



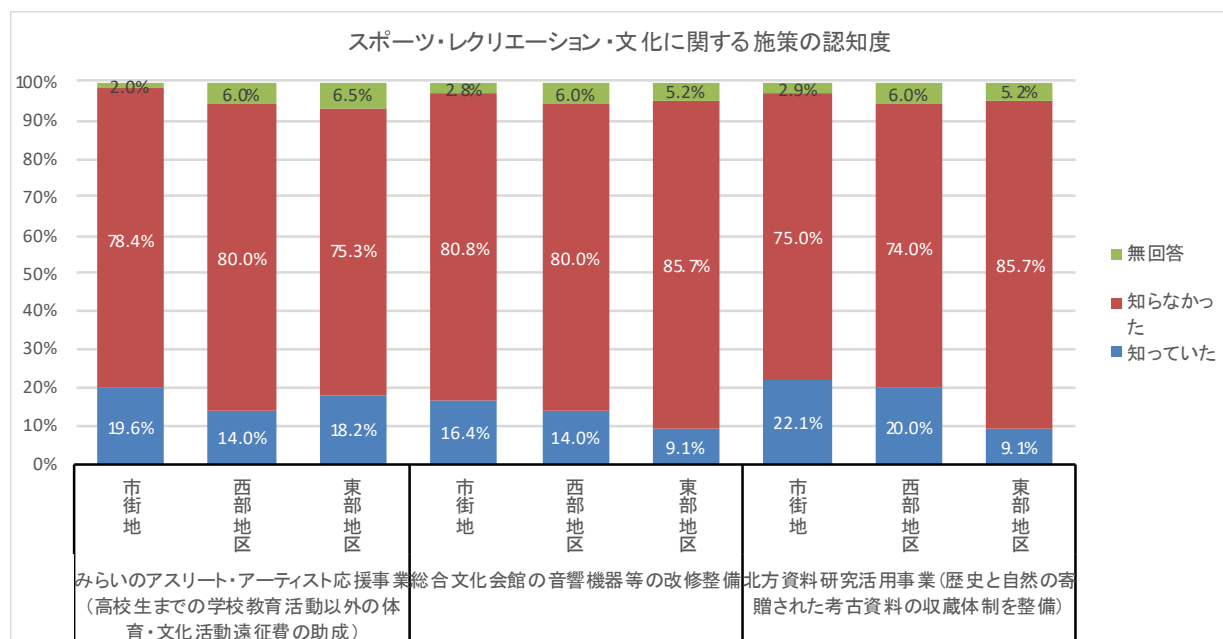
②地区別

スポーツ・レクリエーション・文化に関する主要3施策についての認知度は、3地区とも昨年度調査の結果よりも向上しているが、地区別での特筆すべき差はない。

<令和元年度調査>



<令和元年度調査>



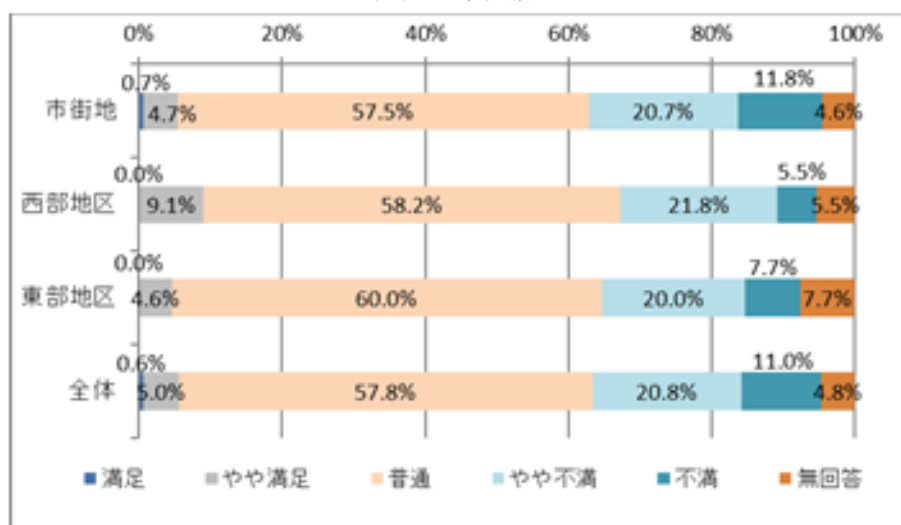
（２）スポーツ施設の状況に対する満足度

スポーツ施設の状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は5.6%となっており、昨年度の調査結果よりもやや向上している。

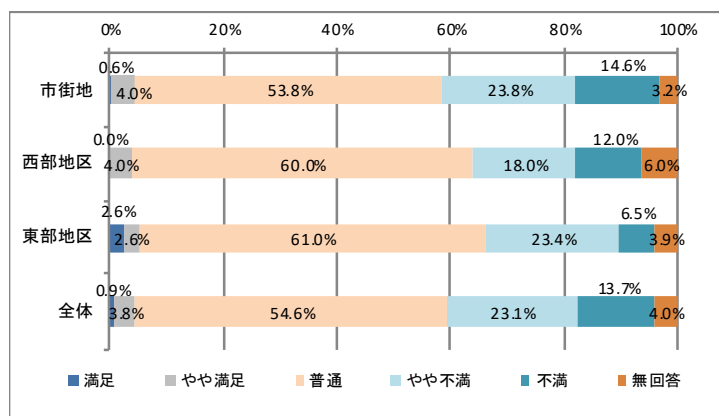
「普通」以上とする評価の割合も昨年度の結果よりも高く、一昨年の平成 30 年調査の結果と比較しても着実に評価が向上している状況が把握される。

地域別でも、いずれの地区とも満足評価、及び「普通」以上とする評価の割合が高まっている状況となっている。

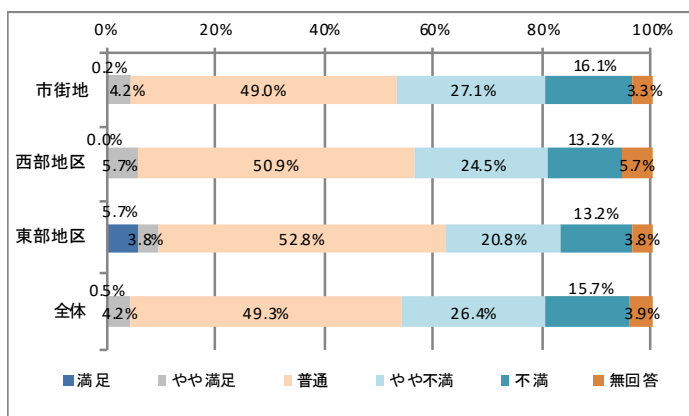
＜令和 2 年度調査＞



＜令和元年度調査＞



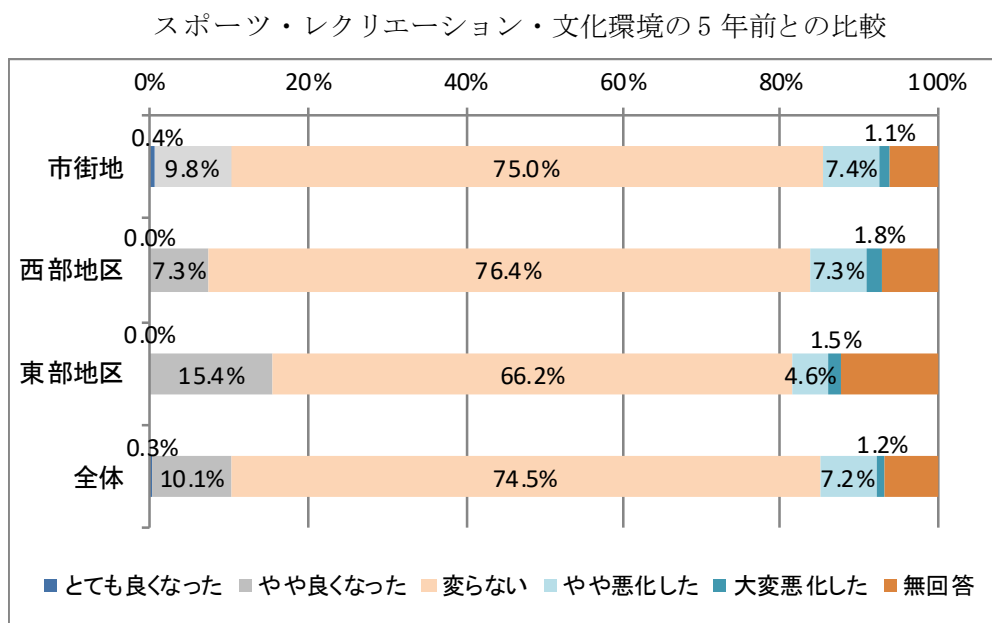
＜平成 30 年度調査＞



(3) スポーツ・レクリエーション・文化環境の5年前との比較

根室市のスポーツ・レクリエーション・文化環境の状況について5年前と比較してもらった結果、市民全体では「変わらない」が最も多く、74.5%を占めた。地区別でも同様の結果となっており、3地区とも「変わらない」とする回答が最も多かった。

「とても良くなった」と「やや良くなった」を合わせた割合は10.4%であり、「大変悪化した」と「やや悪化した」を合わせた割合(8.4%)よりやや高くなっている。



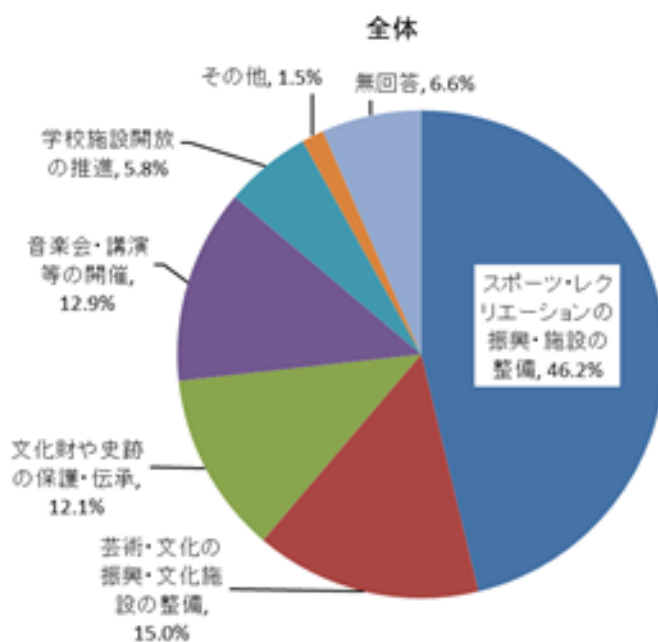
(4) スポーツ・レクリエーション・文化に関する施策について

①市民全体

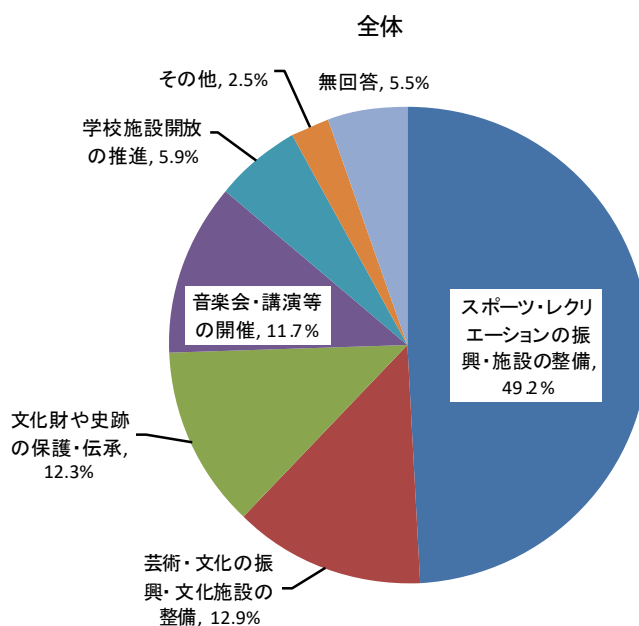
スポーツ・レクリエーション・文化について今後重点的に実施すべきと思う施策を1つ回答してもらった結果をみると、「スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備」が最も多くなっており、次いで、「芸術・文化の振興・文化施設の整備」、「文化財や史跡の保護、伝承」の順となっている。

昨年度の調査結果と比較すると上位にあげられている施策の順位も割合もほぼ同様の結果となっている。

< 令和元年度調査 >



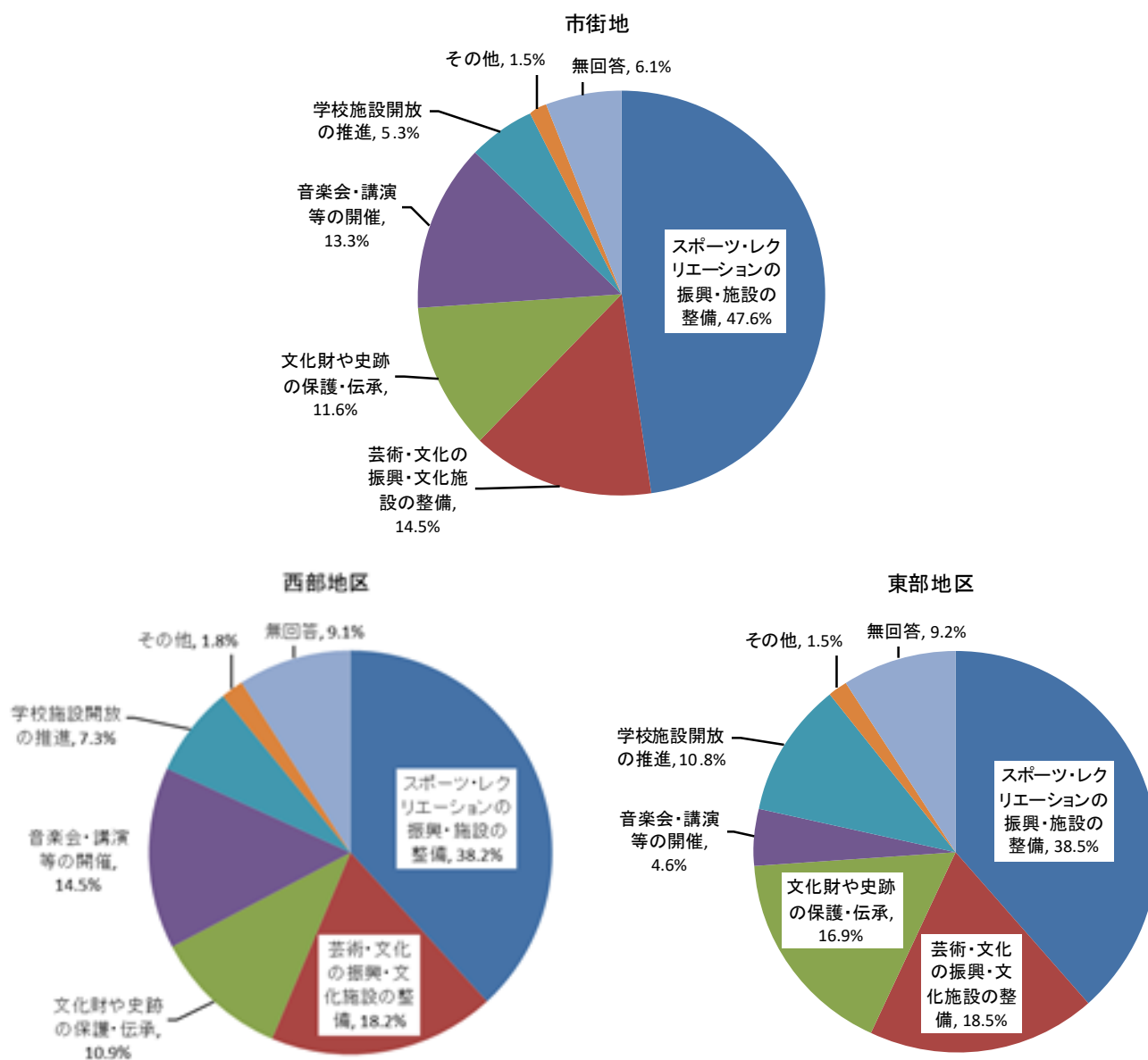
< 平成 30 年度調査 >



②地区別

3 地区とも「スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備」が最も高く、それに次いで、「芸術・文化の振興・文化施設の整備」があがっている。

市街地、西部地区では、これに次いで「音楽会・講演等の開催」となっているが、東部地区では「文化財や史跡の保護・伝承」ほか、他の施策があげられている。



3. 1 4 産業の振興について

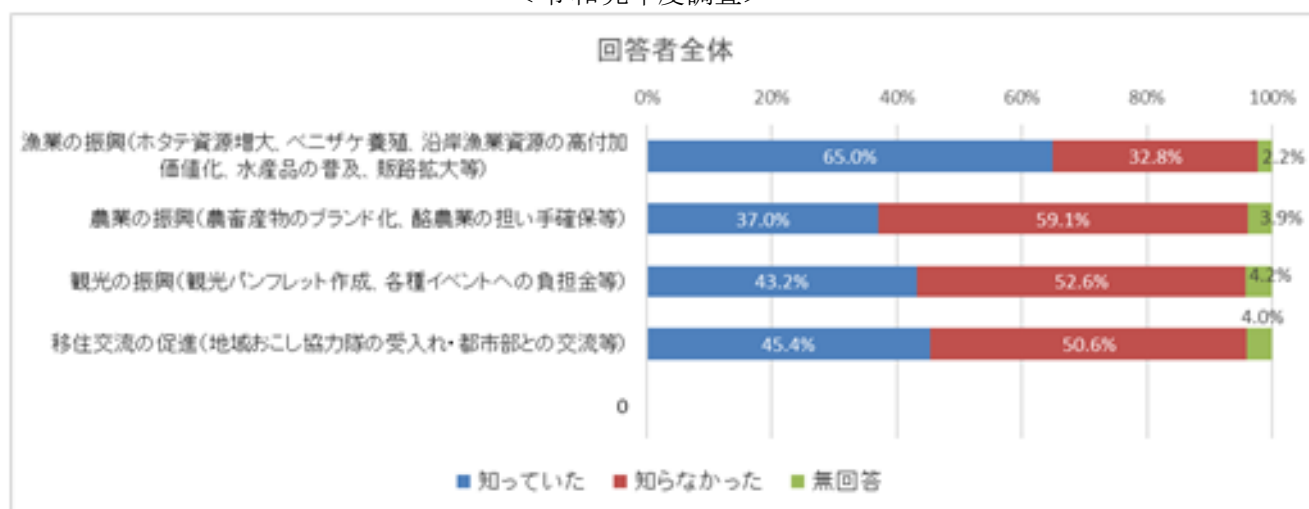
(1) 施策に対する認知度

①市民全体

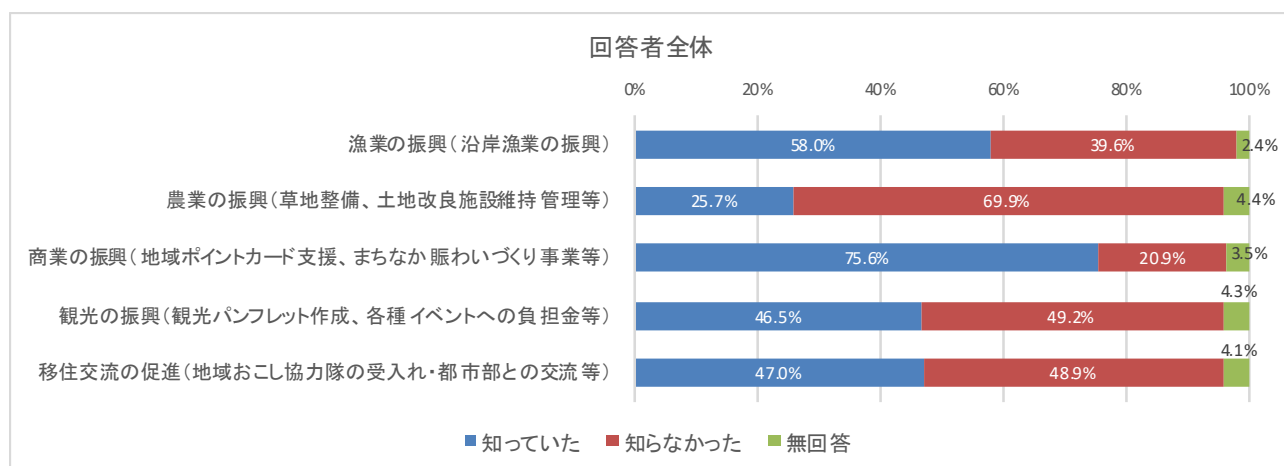
市で実施している産業振興に関する主要施策についての認知度をみると、総じて他の施策よりも認知度が高い傾向がみられ、特に、「漁業の振興」に対する認知度が高くなっている。

今回は商業の振興に関する施策以外の施策を対象として認知度を調査したが、漁業、農業に関する施策の認知度は高まっているが、観光、移住交流に関する施策の認知度はやや低下していた。

<令和元年度調査>



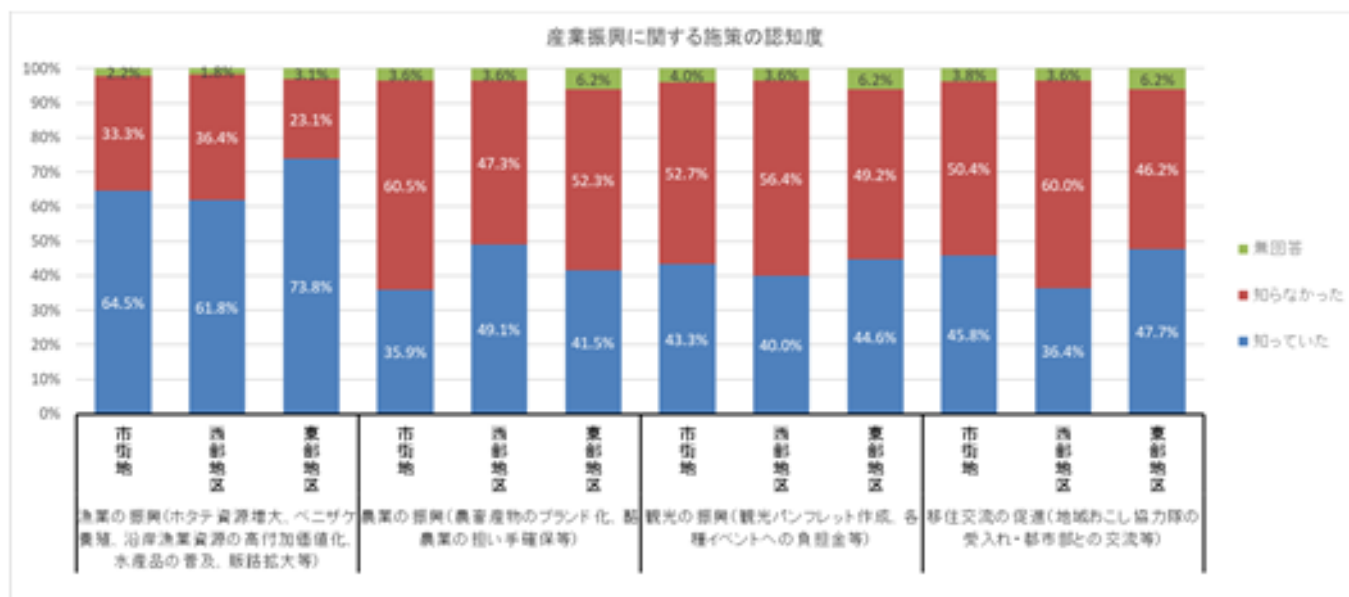
<令和元年度調査>



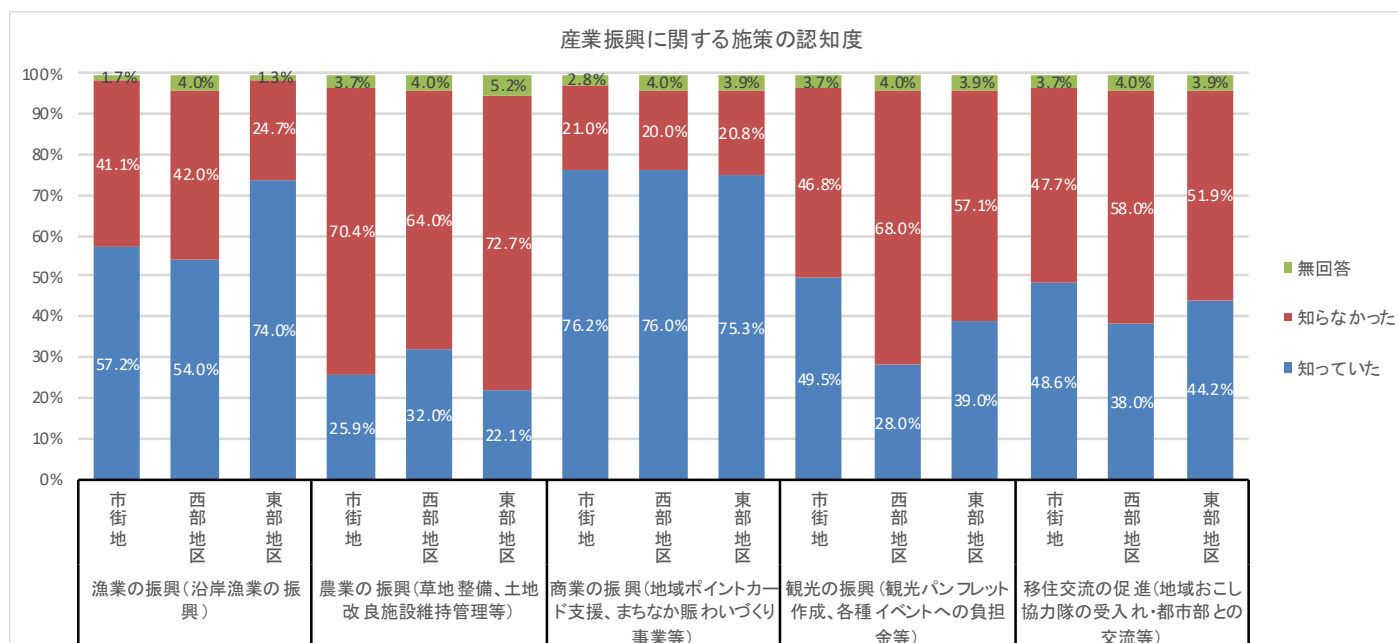
②地区別

産業振興に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、漁業、農業に関する施策では、昨年度調査の結果と比較して、3地区とも認知度が上昇したことに加え、地区による認知度の差が縮小している。

<令和元年度調査>



<令和元年度調査>



（２）産業振興施策について

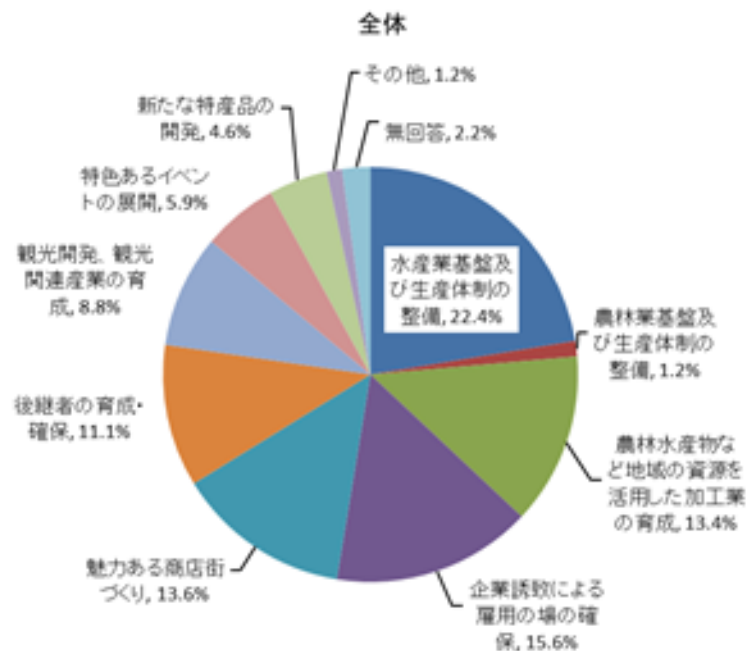
①市民全体

根室市の産業振興について、今後重点的に取り組むべきと思う施策１つを回答してもらった結果、「水産業基盤及び生産体制の整備」をあげる住民の割合が昨年度調査と同様に最も高かった。次いで、「企業誘致による雇用の場の確保」、「魅力ある商店街づくり」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「後継者の育成・確保」の順となっている。

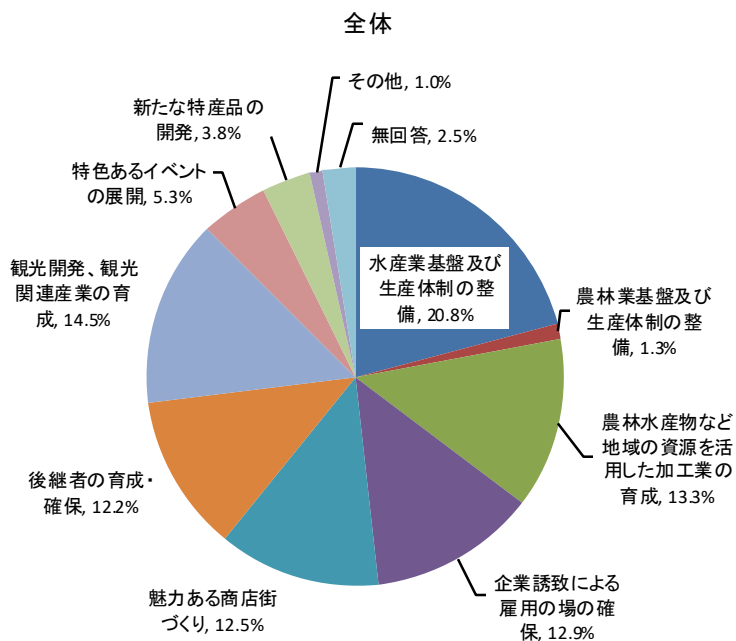
昨年度調査の結果と比較すると、漁業の振興の回答割合がやや高まっているなど、近年の漁業を取り巻く環境変化による漁獲量の減少等による基幹産業への影響に対する不安感の高さが伺える。

また、これに次いで「企業誘致による雇用の場の確保」の回答割合が高くなっており、より即効性の高い産業施策に対する関心が高い状況も伺える。

＜令和２年度調査＞

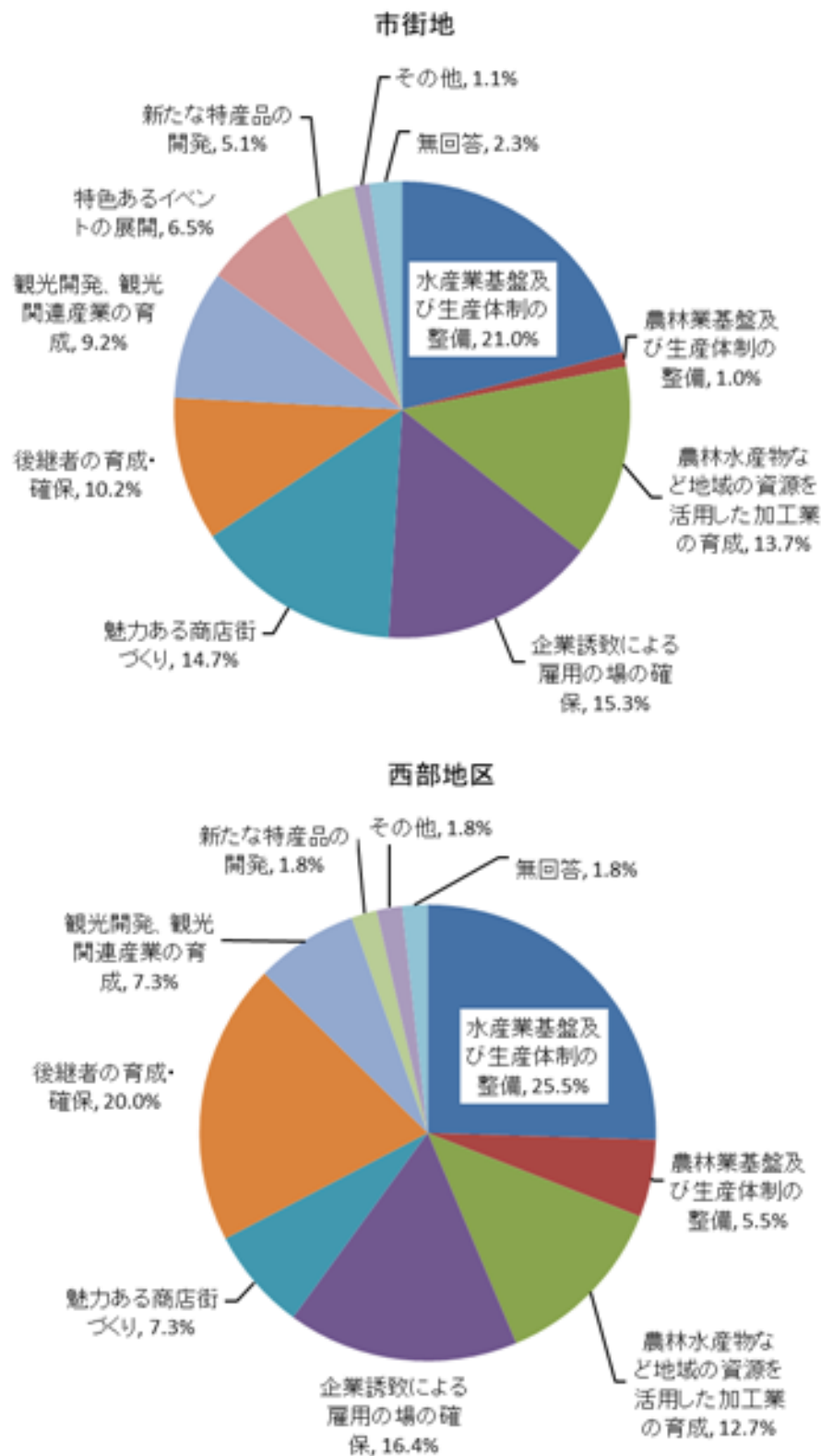


＜令和元年度調査＞

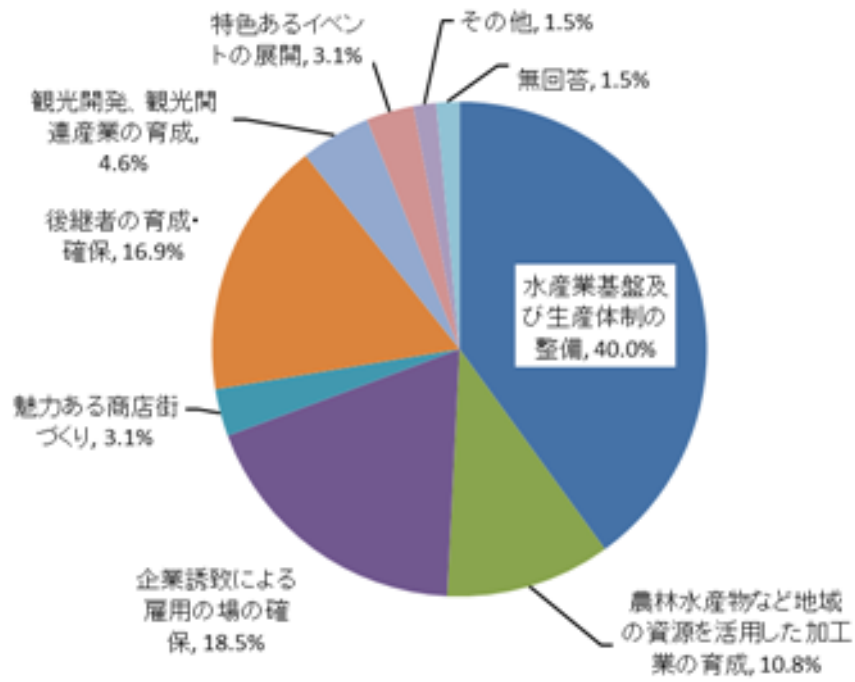


②地区別

地区別でみると、市街地はほぼ市民全体の傾向と同様の傾向を示しているが、東部地区と西部地区では、地区の主たる産業を反映して異なった傾向がみられており、ともに「水産業基盤及び生産体制の整備」が最も多くなっているが、これに次いで西部地区では「後継者の育成・確保」が、東部地区では「企業誘致による雇用の場の確保」が多くなっている。



東部地区



3. 1 5 情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか）

（１）施策の認知度

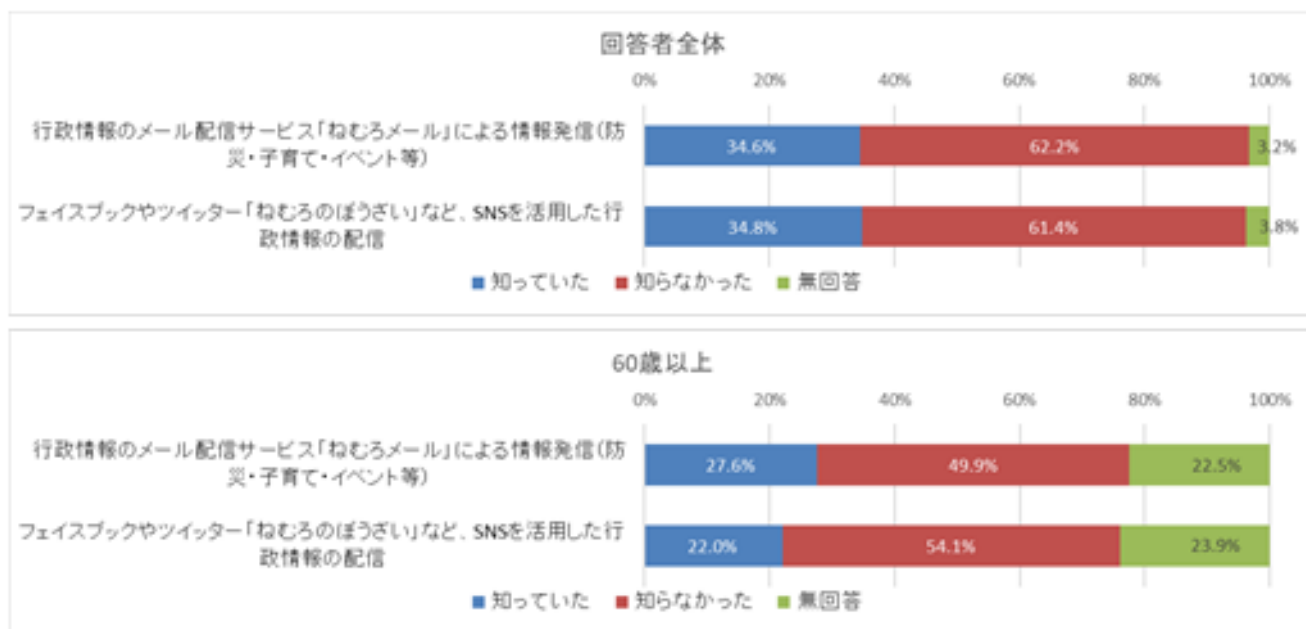
①市民全体

市で実施している情報の共有化に関する主要施策についての認知度をみると、「行政情報のメール配信サービス「ねむろメール」による情報発信」が 34.6%、フェイスブックやツイッター「ねむろのぼうざい」など、SNS を活用した行政情報の配信」の認知度が 34.8%となっている。

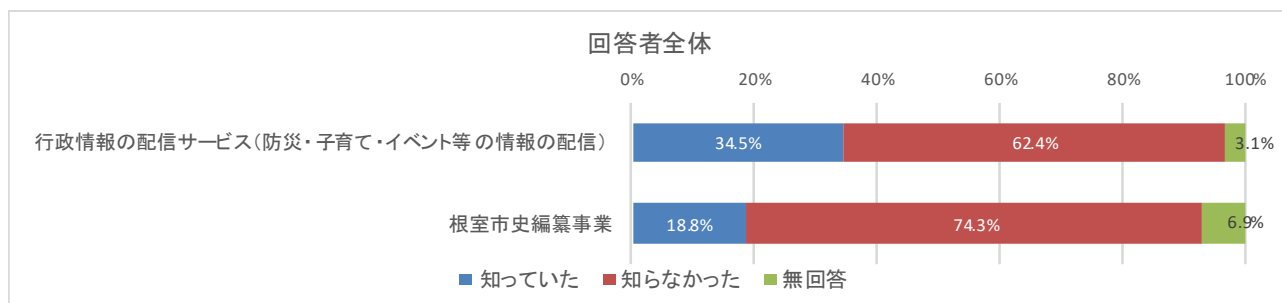
60 歳以上の市民のこれらの情報ツールに対する認知度は、さらに低下していることから、特に、高齢者への P R、普及促進が課題といえよう。

これらの 2 つの施策のうち、行政情報のメール配信サービスについては、昨年度調査でも認知度を調査しているが、今回調査とほぼ同水準であった。

< 令和元年度調査 >



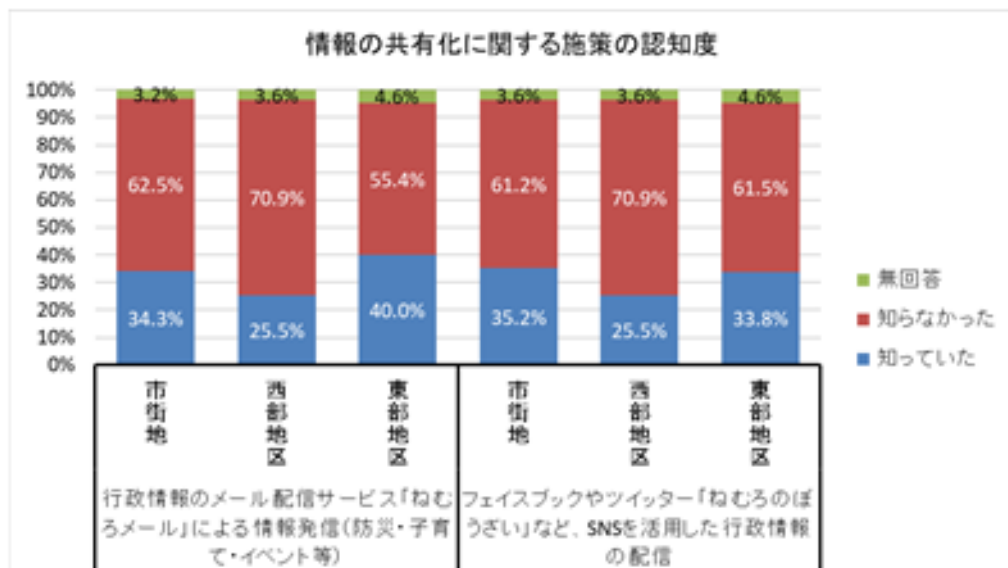
< 令和元年度調査 >



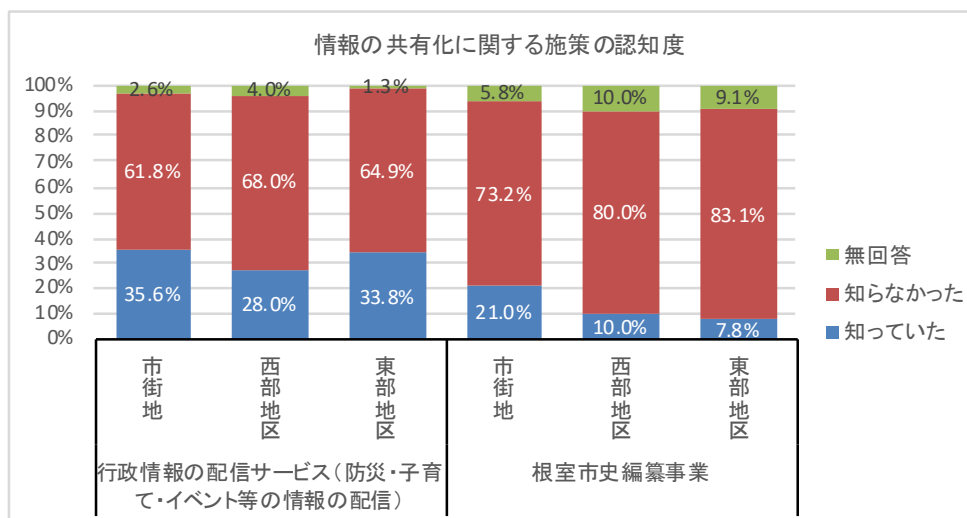
②地区別

情報の共有化に関する主要施策についての認知度は、昨年度調査の結果と同様、地区別での大きな差は見られていない。

<令和2年度調査>



<令和元年度調査>



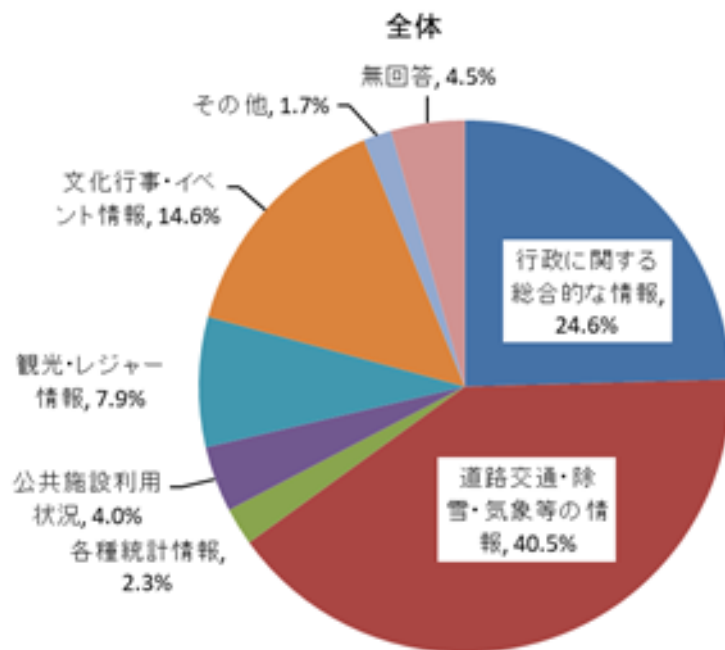
（２）情報の共有化に関する施策について

①市民全体

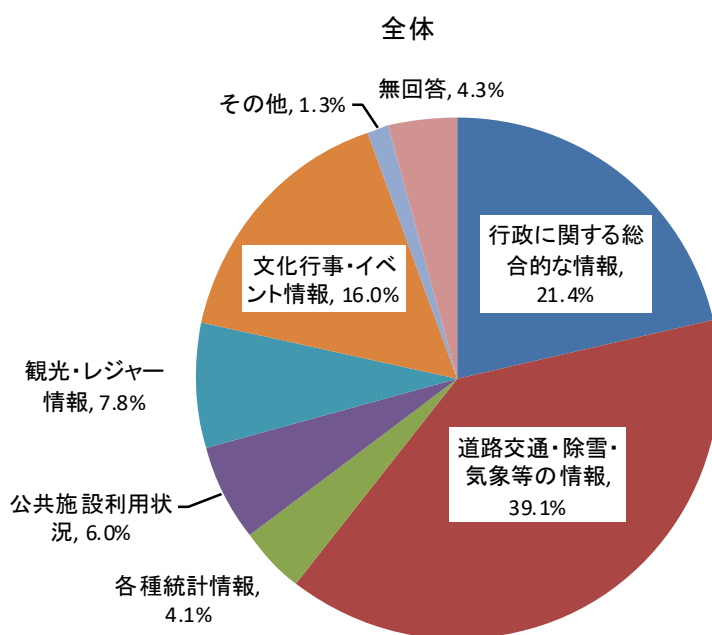
行政からの情報提供に対する要望を１つ回答してもらった結果をみると、「道路交通・除雪・気象等の情報」、「行政に関する総合的な情報」、「文化行事・イベント情報」が高くなっている。

上位にあがっている項目は最近の調査結果とほぼ同様である。

< 令和２年度調査 >



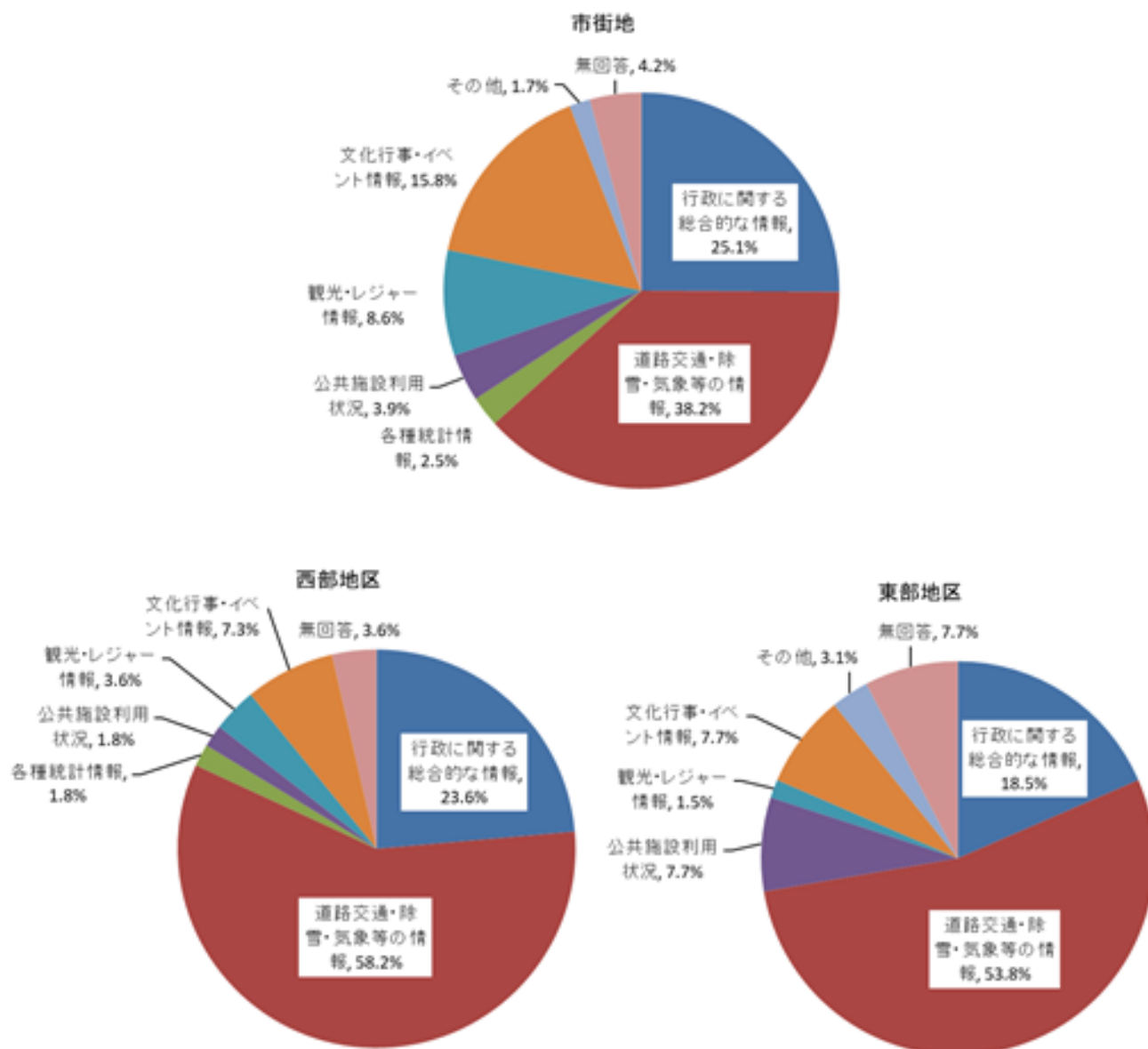
< 令和元年度調査 >



②地区別

地区別に提供を受けたいと希望している情報内容を見ると、3地区とも「道路交通・除雪・気象等の情報」が最も多く、次いで、「行政に関する総合的な情報」となっている。

特に、「道路交通・除雪・気象等の情報」に関しては、西部地区、東部地区ともに50%以上の回答率と際立って高くなっていた。



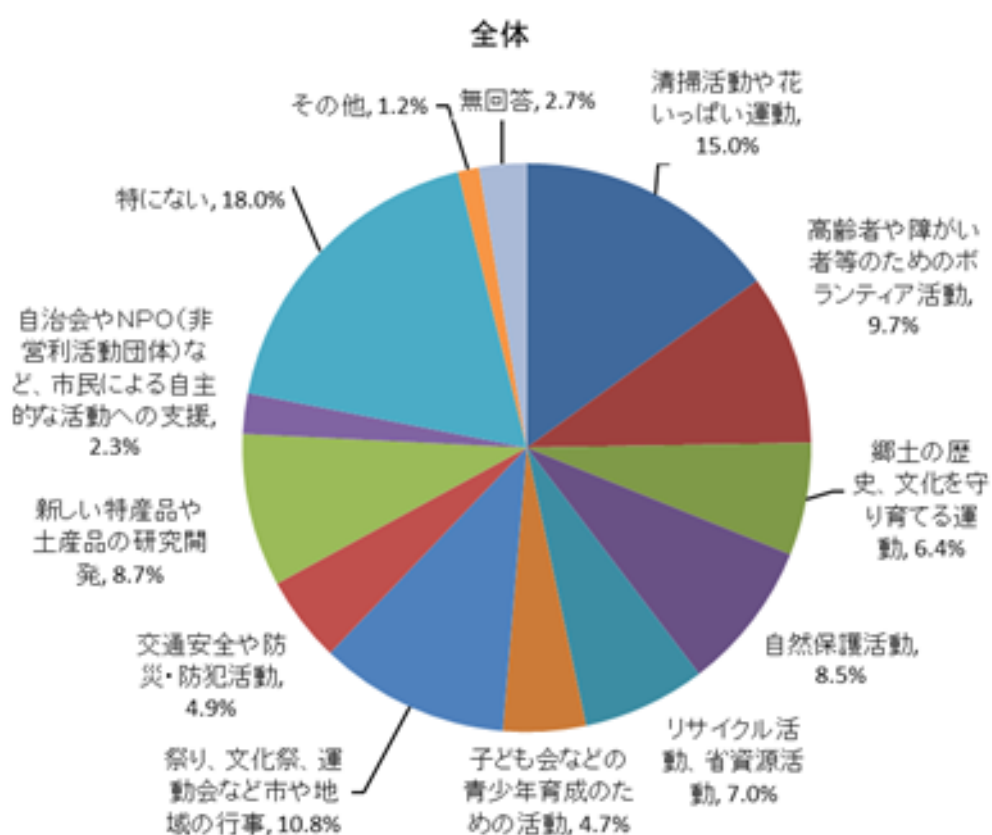
3. 1 6 市民協働について（「誰もが何か1つを受け持つ」とした場合に参加する活動）

（1）市民全体

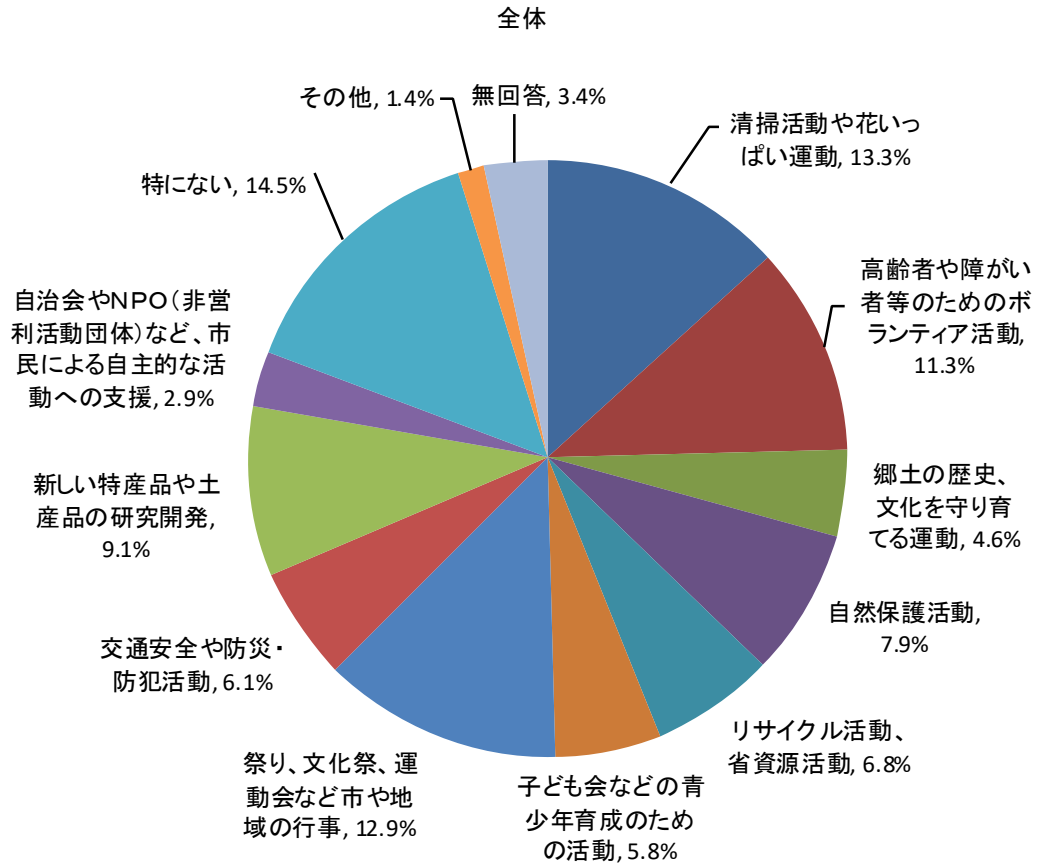
市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に、参加する活動を1つ回答してもらった結果、最も多かった活動は、「清掃活動や花いっぱい運動」であり、次いで、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」、「高齢者や障がい者のためのボランティア活動」の順となっており、この順位は昨年度調査の結果と同様であった。

しかし、「特にない」とする回答割合が18.0%と、昨年度調査の結果同様、最も多い回答割合となっており、この割合がやや高まっている。

<令和2年度調査>



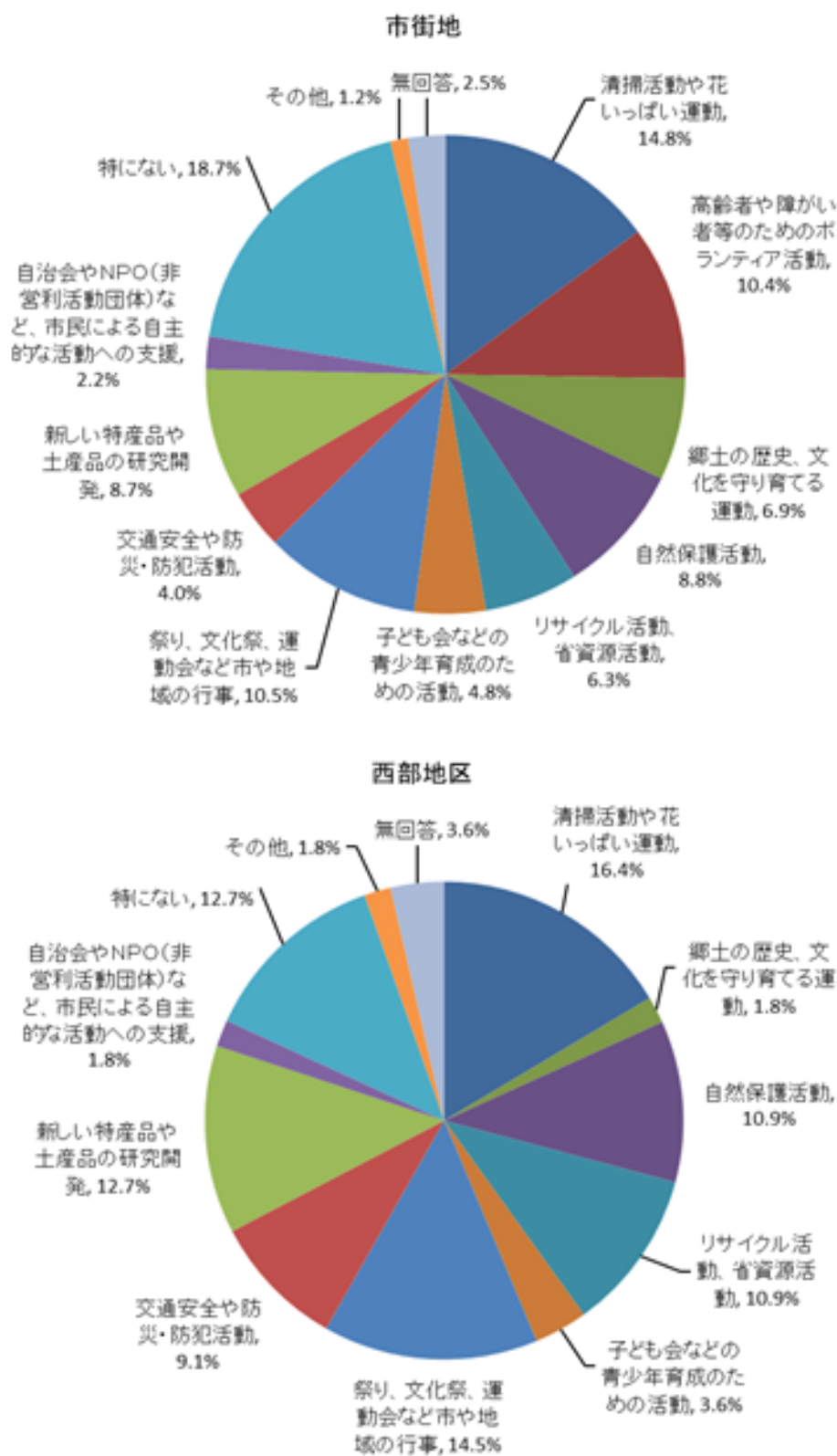
＜令和元年度調査＞

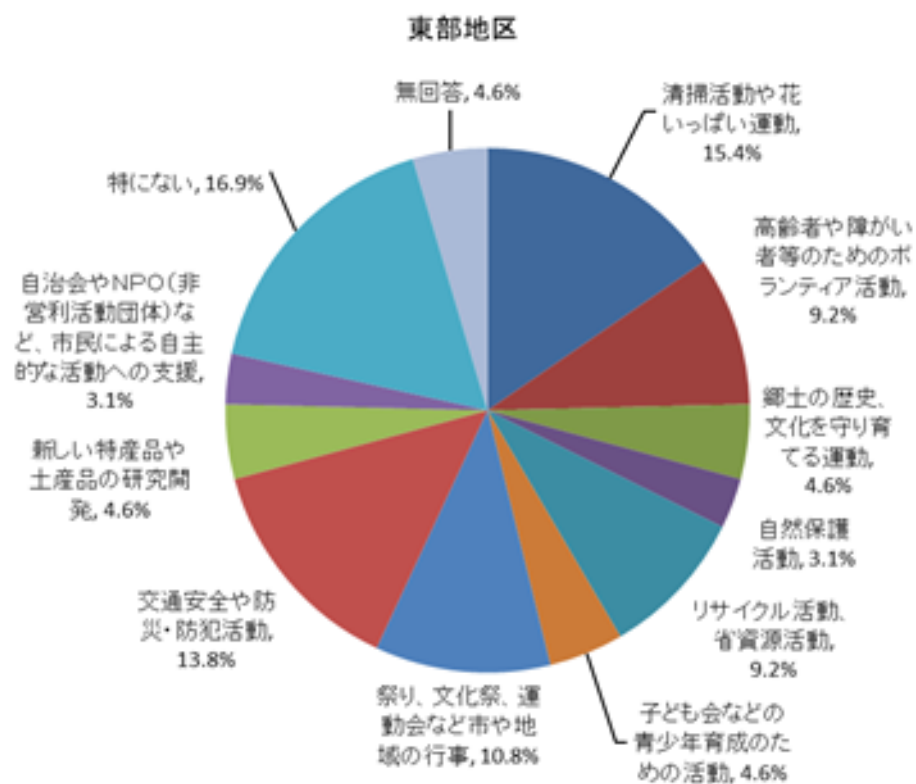


(2) 地区別

参加活動としては、3地区とも「清掃活動や花いっぱい運動」が最も多く、市街地と西部地区では、これに次いで「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」への参加希望率が高くなっており、東部地区では「交通安全や防災・防犯活動」が多くなっている。

しかし、市街地と東部地区では、「特にない」が最も多い回答割合となっている。





3. 17 市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法）

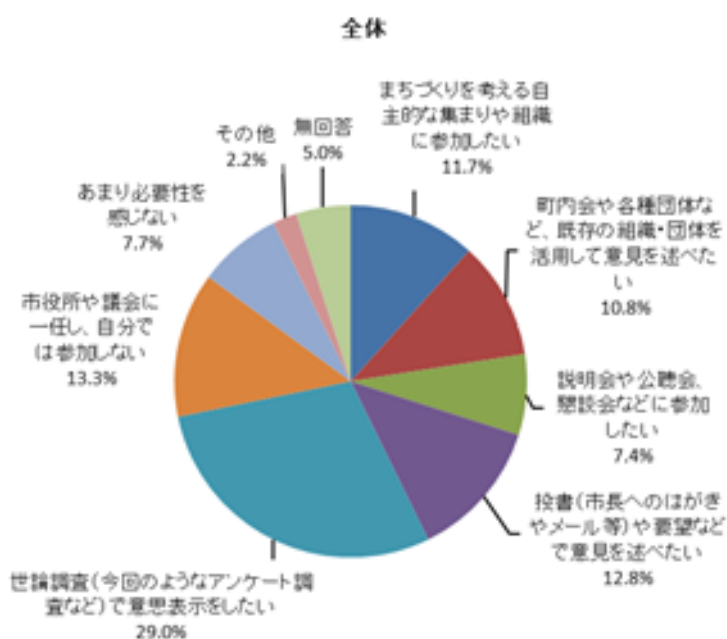
（１）市民全体

まちづくりへの参加方法についてみると、最も多かったのは、今回の調査結果も「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」とする要望であった。

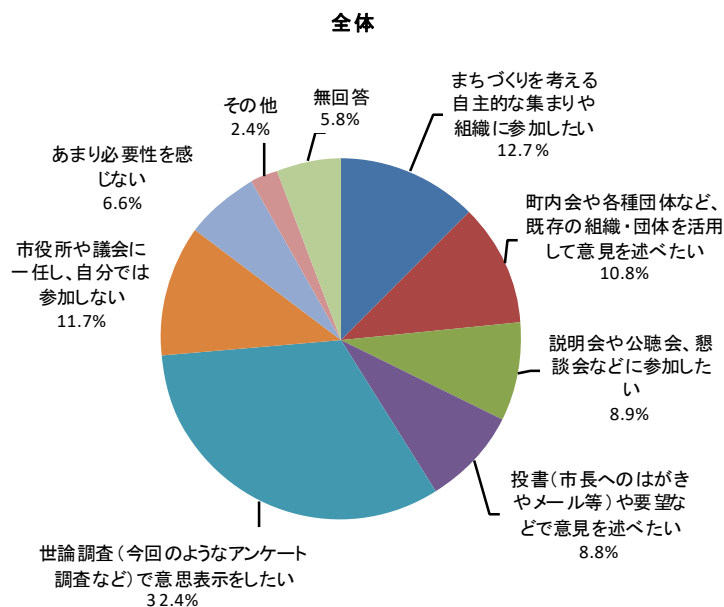
このほか、「投書（市長へのはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい」、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」、といった要望も比較的多かった。一方、「市役所や議会に一任し、自分では参加しない」とする回答割合も比較的多かった。

回答割合の多い項目は、近年、順位の違いはみられるものの、ほぼ同じ項目となっている。

＜令和２年度調査＞

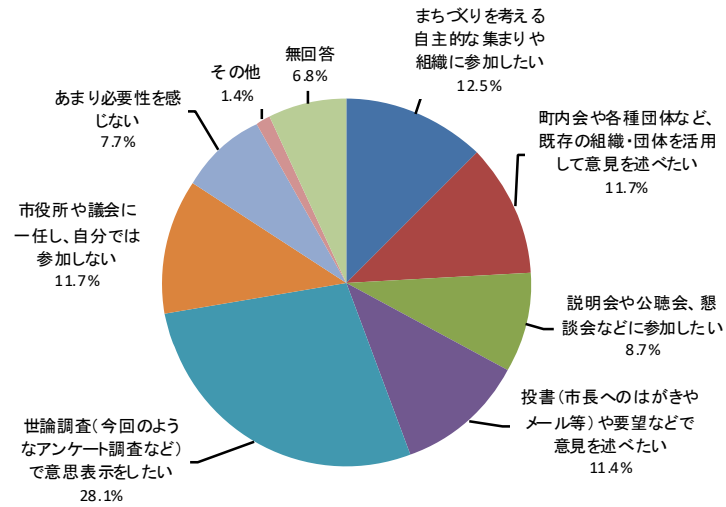


＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞

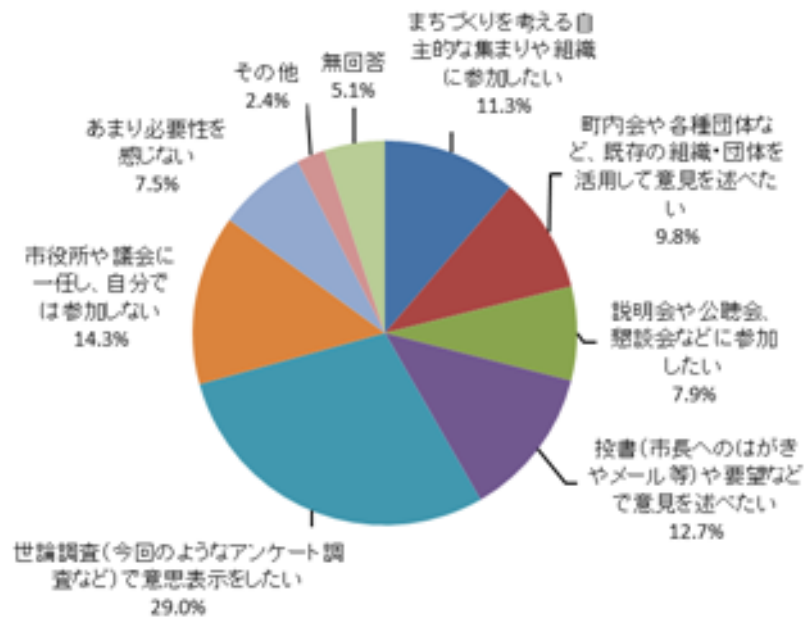
全体



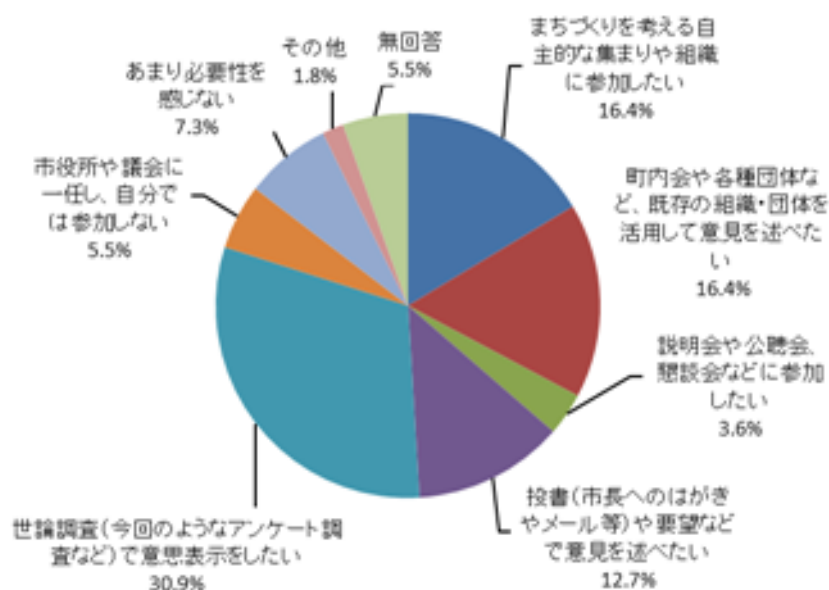
(2) 地区別

地区別にみると、3地区とも、「世論調査(今回のようなアンケート調査など)で意思表示をしたい」が最も多くなっており、これに次いで市街地では、「市役所や議会に一任し、自分では参加しない」、西部地区と東部地区では「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」となっている。

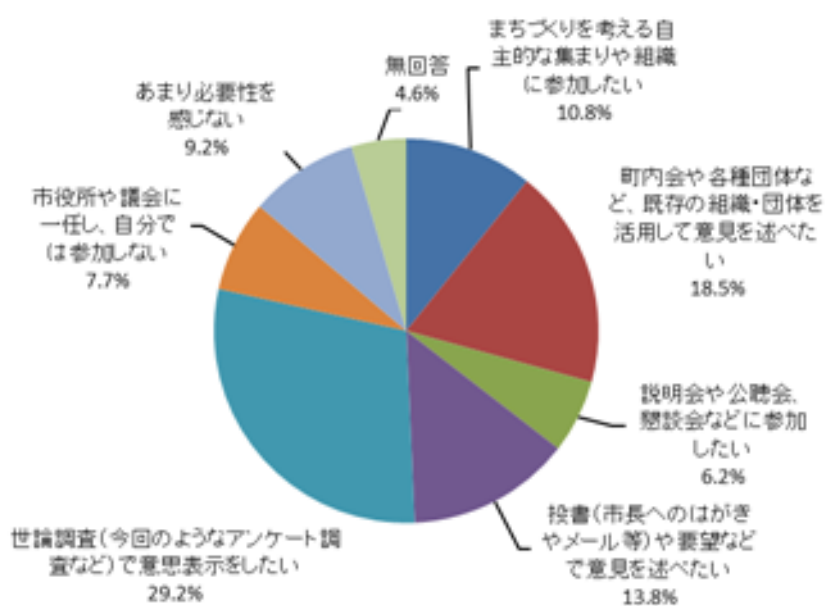
市街地



西部地区



東部地区

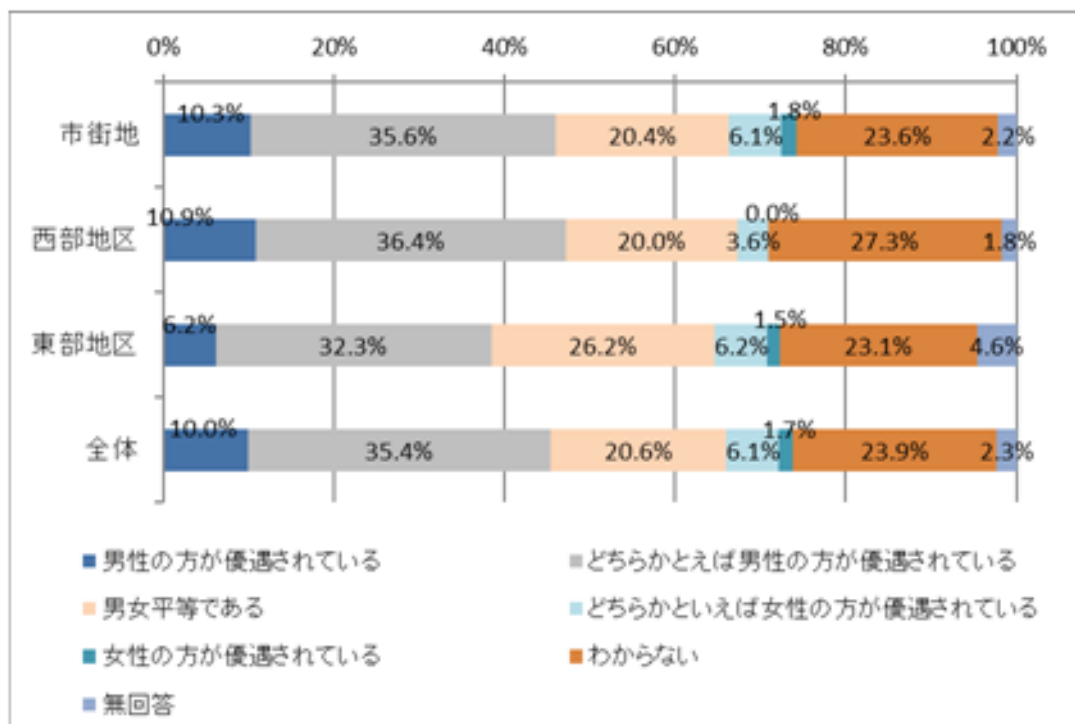


3. 1 8 男女共同参画について

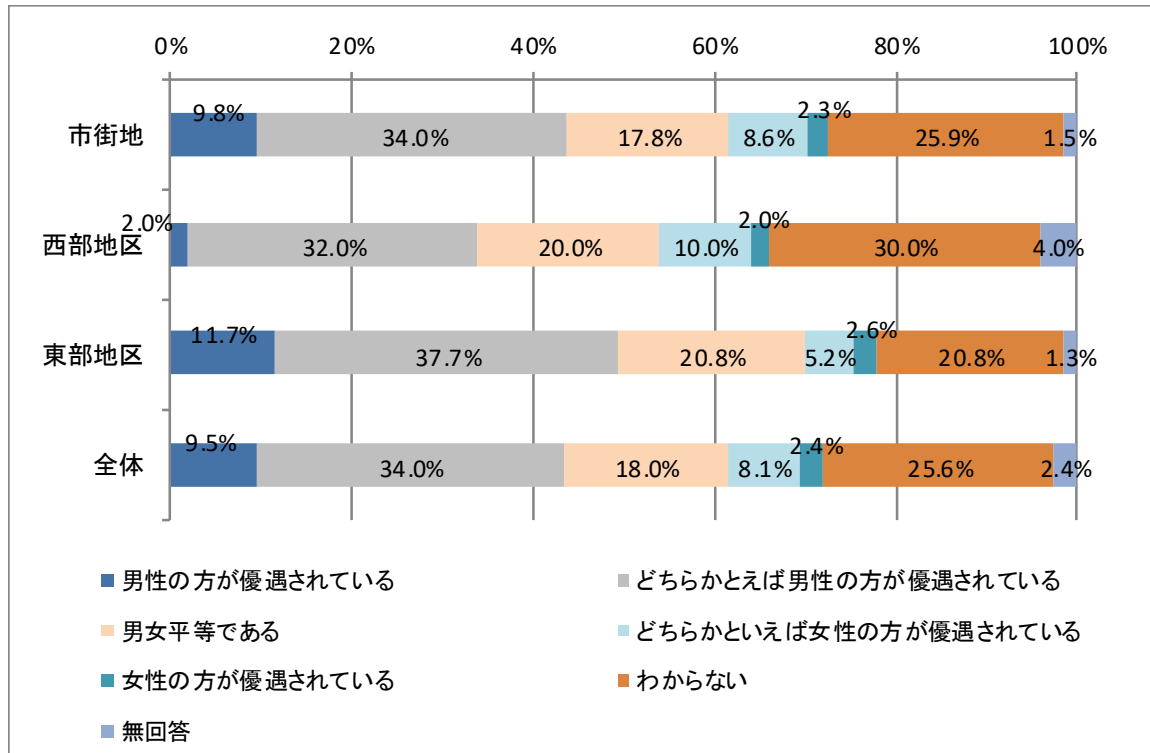
生活全般を通しての男女平等については、市民全体では、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせて45.4%となっており、「男女平等である」は20.6%と、男女平等意識が低い状況となっている。

男性のほうが女性よりも優遇されていると考えている傾向は、ほぼ各地区とも同様となっている。この結果は、平成30年度以降の調査の結果と比較しても大きな変化は見られていない。

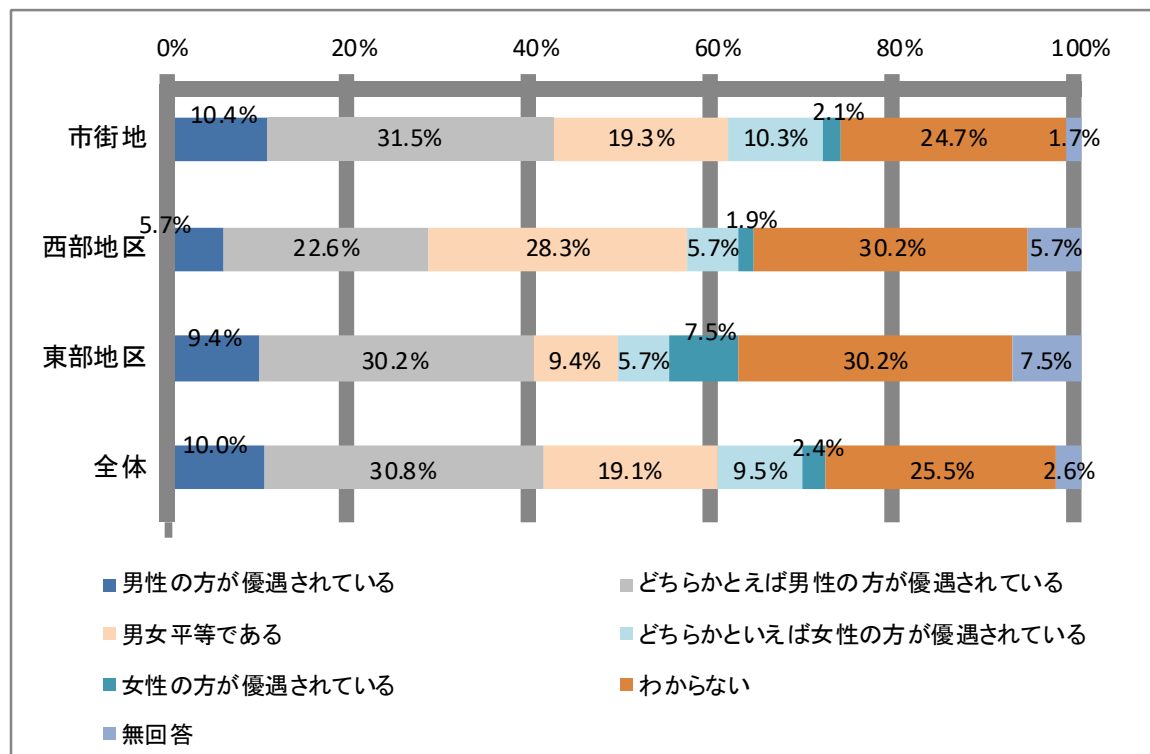
<令和2年度調査>



< 令和元年度調査 >



< 平成 30 年度調査 >

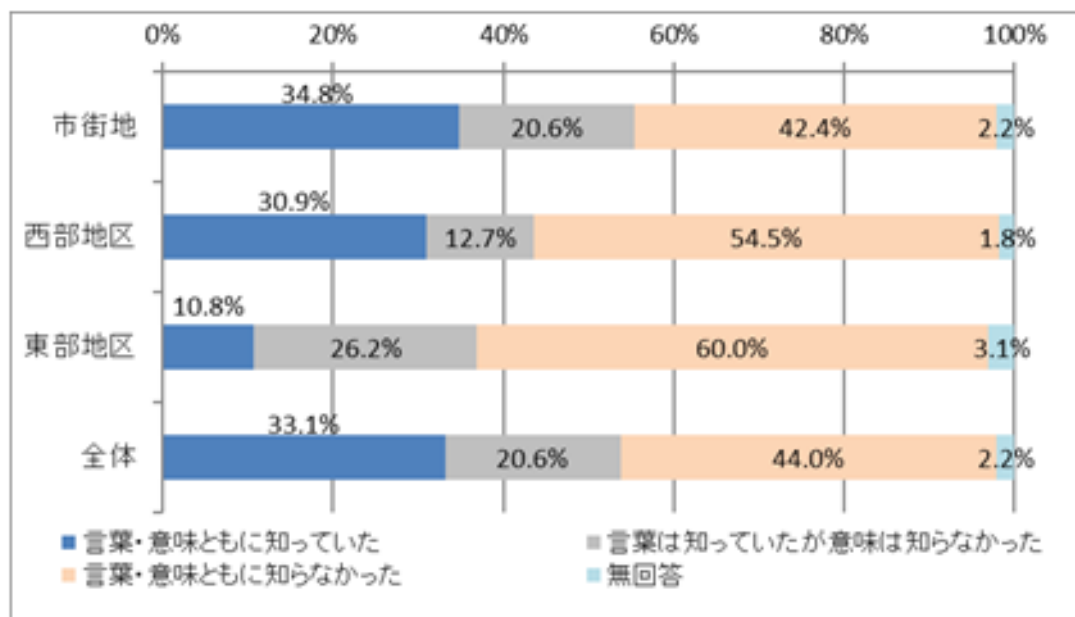


3. 19 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度

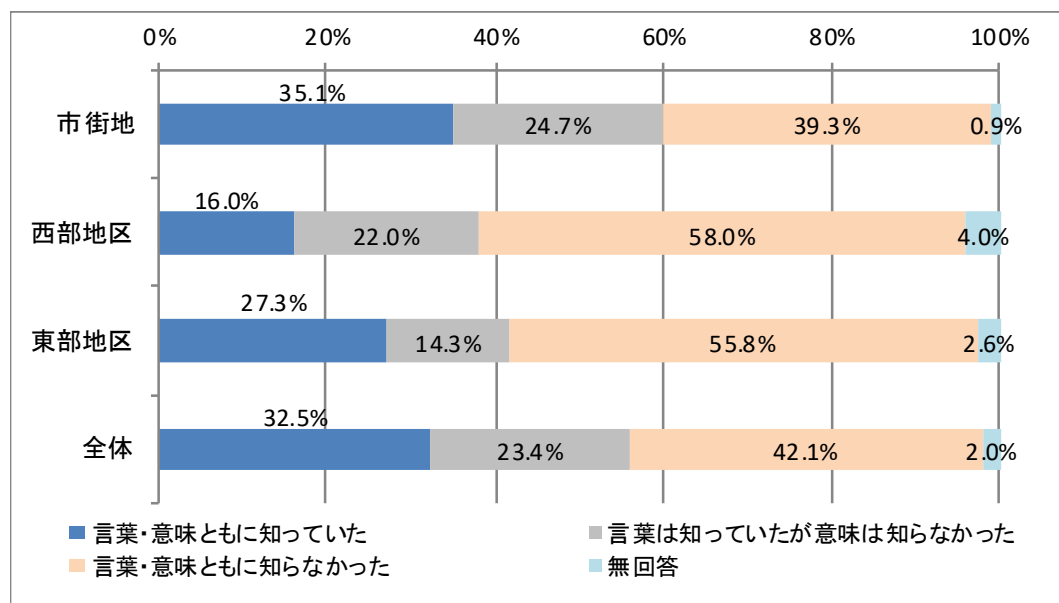
市民の「ワーク・ライフ・バランス」の認知度をみると、市民全体では、「言葉・意味ともに知らなかった」が 44.0%とやや増加している一方で、「言葉・意味ともに知っていた」とする回答割合もやや増加していた。

しかし、平成 30 年度以降の調査結果を比較してみると、認知度は増減を繰り返していることから、ここ数年では大きな変化がないものと推察される。

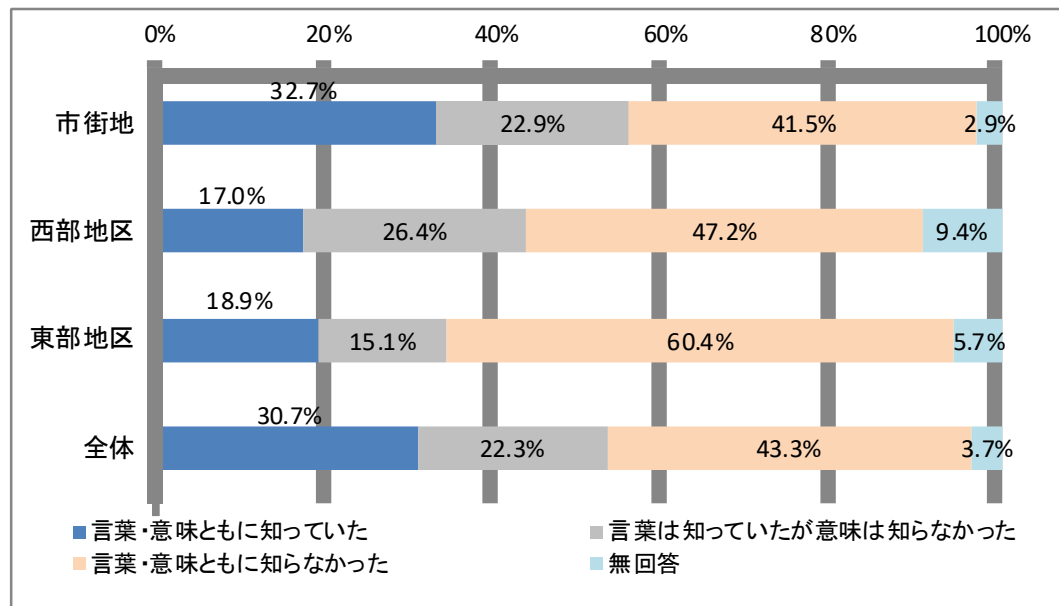
< 令和 2 年度調査 >



< 令和元年度調査 >



< 平成 30 年度調査 >



4. 市民意識調査結果のまとめ

本調査では、現行の第9期根室市総合計画（平成26年度策定）及び根室市創生総合戦略（平成27年度策定）の実施効果を評価するために設定した将来目標値またはKPIのうち、市民意識に関する指標を中心に、平成25年度に実施した市民意識調査との整合性を確保した項目を平成28年度以降の毎年調査において引き続き設定している。

また、平成30年度調査から市政に対する認知度の項目を新たに設けている。これは、市政に対する認知度を把握するだけでなく、市政に関する周知も兼ねている。今回は3回目の調査となり、各種市政の周知効果の評価も可能となっている。

なお、令和2年度調査は、例年6月に実施していたアンケート調査を新型コロナウイルス感染症拡大の時期でもあったため、11月まで遅らせ実施した。

本調査は、平成25年度に実施した市民意識調査実施時から7年経過時点の市民意識の結果であるが、その間にロシア200海里内サケマス流し網漁の禁止やサンマの不漁、さらには今年度の新型コロナウイルス感染拡大等など経済環境も大きく変化しており、市民の不安意識も増長されているなどの状況が生じている。

そのような背景を踏まえ、本市民意識調査の結果を整理すると、概ね以下のとおりとなった。

<回収率>

- ・本調査の有効回収率は31.3%となっており、昨年度の26.2%を上回り、過去最高であった平成28年度の31.4%とほぼ同水準となった。
- ・本調査の結果でも明らかなように、市民の市政への参加方法として本調査のようなアンケート調査で意思を表示したいという意向がこれまでの調査結果と同様に高いことから、積極的に回答いただいた結果となっている。
- ・特に、今年度の調査でも若い世代を含めた各年齢層で回答していただいております、幅広い年齢層の市民の市政に対する関心度合が高まっている状況が把握された。

<根室市のイメージについて>

- ・今年は、根室市の基幹産業である漁業や水産加工業を取り巻く経済環境のさらなる悪化などを背景に、全体的に根室市の否定的なイメージは改善されてはいない。
- ・しかし、根室市のイメージとしては、これまでの結果と同様に「個性（特色）のあるまち」「市民として誇りや郷土愛があるまち」をあげる住民が多く、引き続き市民の愛着の意識が高い状況が把握された。
- ・また、根室市での居住の満足度についてみると、満足意識はこれまでの調査結果の中で最も高くなっていた。
- ・しかし、住みよさを5年前と比較した場合には、住みにくくなったとの評価が、住みやすくなったとの評価を上回っていた。

<定住意識>

- ・市民が抱く根室市のイメージで把握されたように、市民の根室に対する愛着意識の高さは、これまでの調査結果の中で最も高い市民の定住意向（65.3%）に反映されているものと考えられる。

- ・しかし、住みたくないとする市民のその理由をみると、医療・福祉、交通の便、娯楽や余暇活動の場、買い物等の利便性に対する不満があげられており、これまでの調査結果とほぼ同じ結果となっている。このような状況を踏まえると、依然として近年の定住意識の促進に向けた重要課題といえる。

＜保健医療支援・子育て支援・高齢者支援＞

（保険医療支援）

- ・市民の健康管理意識は依然として高く、健康のための運動意識もこれまでの結果とほぼ同様であった。特に 60 歳以上の住民で意識が高くなっている。
- ・少子化・子育て支援に関しては、平成 29 年 4 月から市立根室病院で 11 年ぶりに分娩が再開されたことを 60% 近くの市民が知っていたと回答している。この認知度は 70% を超える認知度を示していた一昨年度調査、70% 近くの認知度を示していた昨年度に比して低下している。
- ・特に、20 歳代～40 歳代の子育て世代での認知度が年々低下してきていることが特筆される。
- ・根室市の医療環境の 5 年前との比較をみると、良くなったとの評価が悪化したとの評価を上回っており、医療環境に対する不満は高いものの、以前と比較すると改善されつつある評価となっている。

（子育て支援）

- ・子育て支援に関する市の施策に対する認知度は、こども医療費給付、第 3 子目以降保育料・給食費無料化などの経済的支援に関しては高いが、人材育成や施設整備等の事業の認知度はそれほど高くはないという結果となっており、昨年度調査とほぼ同様であることが把握された。
- ・しかし、20 歳代～40 歳代の子育て世代での認知度は、経済支援に関する施策に対する認知度であっても 10 ポイント前後も低下しており、周知 PR のあり方が課題としてあげられる。
- ・子育て環境の 5 年前との比較結果をみると、子育て環境に対する不満の度合いが年々低下してきていることを反映し、良くなっているとの評価が悪化しているとの評価を上回る結果となっている。
- ・今後の子育てに関する支援策については、こうした経済的支援に加え、悪天候や冬期の子どもの遊び場所の整備に対する要望が例年と同様に多くなっている。

（高齢者支援）

- ・高齢者のための施設や支援制度に対する満足度は、いずれも不満とする割合の方が満足の割合よりも高くなっているものの、年々、不満とする住民の割合は低下してきている。
- ・また、高齢者の生活環境の 5 年前との比較結果も、良くなっているとの評価が、悪化しているとの評価を上回っている。
- ・市が実施している高齢者支援策のうち、高齢者見守りボランティア事業に関しては市民や高齢者の認知度が比較的高く、緊急通報サービス事業や人材育成事業に関しては認知度が低いという結果は、昨年度調査の結果とほぼ同様であった。
- ・高齢者支援策としては、昨年度までの調査結果と同様、寝たきりの高齢者や独居の高齢者への在宅福祉の充実を望む意見が最も多かった

＜交通・生活環境・防災・減災＞

（交通）

- ・市民の交通インフラに対する満足度は、決して高くはないが、道路交通に関しては8割近く、公共交通機関に関しては6割近くが「普通」以上の満足度であることが把握され、昨年度調査よりも満足度は向上していた。
- ・交通に関する施策に関しては、JR 花咲線の存続が課題となっている現状を背景として、JR 花咲線の維持確保対策に対する認知度が比較的高いものの、昨年度調査の結果よりも低下している。
- ・交通状況の5年前との比較では、良くなったとの評価が悪化したとの評価をやや上回ってはいるが、市街地の道路は整備され満足度も高まってきている一方で、公共交通はじめ郊外の道路など都市間移動のための交通に対する不満も大きいことから、さらなる対策が重要と考えられる。
- ・交通施策に対する要望としては、平成 30 年度までの調査の結果と同様に、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」に対する要望が最も多かったが、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」「身近な生活道路」の整備に対する要望も引き続き高まっている。

（生活環境・防災・減災）

- ・生活環境に対する市民の満足度は、身近な自然、上下水道、公園や広場とも、年々向上してきており、5 年前との比較においても良くなったとする評価が悪化したとの評価を上回っている。
- ・しかし、買い物の利便性に関しては不満とする住民の割合が満足とする住民割合を大きく上回っている。
- ・今後の生活環境に関して要望が多かった施策は、ほぼ昨年度までの調査の結果と同様であり、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」に対する要望が高かった。
- ・また、防災・減災に関しても昨年度までの調査結果とほぼ同様の結果であり、「食料・水・日常生活用品の備蓄」、「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」が重要施策としてあげられている。

＜教育・スポーツ・文化＞

（教育）

- ・市が実施している学校教育、社会教育、スポーツ・文化などの振興に向けた施策に関する認知度は高くはないものの、子育て世代の年代の方の認知度も含め、昨年度よりも向上してきている。
- ・教育施設や教育環境に対する満足度は、例年と同様に不満とする住民の割合が多いものの、5 年前との比較では、良くなったとの評価が悪化したとの評価を上回っている。
- ・学校教育に関して今後に望む施策に関しても、昨年度までの調査結果とほぼ同様に、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」が上位にあげられていた。
- ・社会教育に関して今後に望む施策としては、「青少年の健全育成」、「生涯学習教育の指導者育成」、「各種講座・教室などの充実」が上位にあげられており、昨年度までの調査結果と概ね同様の結果となっている。

（スポーツ・文化）

- ・スポーツ施設の状況に対する市民の満足度は、不満とする住民の割合の方が高いものの、5 年前との比較では、良くなったとの評価が悪化したとの評価を上回っている。

- ・スポーツ・文化に関しては、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」、「音楽会・講演等の開催」、「芸術・文化の振興」が上位にあげられており、昨年度までの調査結果とほぼ同様の結果であった。

<産業>

- ・市で実施している産業振興に関する施策については、近年のさんま、さけの不漁が続くなど、厳しい経済状況下であり、認知度は他の施策よりも高く、特に、昨年度調査の結果と同様に、「漁業の振興」に関する施策の認知度が高い。
- ・産業施策に関しては「水産業基盤及び生産体制の整備」、「企業誘致による雇用の場の確保」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「魅力ある商店街づくり」が上位にあげられている。
- ・特に、「企業誘致による雇用の場の確保」をあげる市民の割合が多くなっており、より即効性の高い施策に対する関心が高い状況がうかがえる。

<行政情報・市民協働・市民参画>

- ・市で実施している行政情報に関する施策の認知度は、行政情報のメール配信サービスに関しては、昨年度とほぼ同水準の3割程度の認知度に留まっていた。
- ・このほか、市ではSNSを活用した情報提供サービスも実施しているが、高齢者での認知度が特に低いことから、高齢者への普及促進が課題といえる。
- ・今後に望む行政情報としては、「道路交通・除雪・気象等の情報」、「文化行事・イベント情報」、「行政に関する総合的な情報」が高く、昨年度までの調査結果と同様であった。
- ・市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に参加する活動を問うた設問に関しては、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」、「清掃活動や花いっぱい運動」が上位であるが、「特にない」との回答も昨年度調査の結果よりさらに多くなっており、市民協働の意識がさらに低下している状況が把握された。
- ・まちづくりへの参加方法に関しては、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」が多くあげられており、例年の調査結果とほぼ同様となっている。
- ・男女平等意識は20%程度と例年と同様に低い水準であった。

5. 総合計画における成果目標及び総合戦略におけるKPIの動向

現行の第9期根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の将来目標値のうち、市民意識に関する指標について、その達成状況を以下に整理する。

ただし、総合計画でも目標値の中には、今回の調査と同様の手法で実施した前回の市民意識調査のほかに、平成23年度に実施された「根室市高齢者実態把握調査」、平成26年度に実施された「根室市健康づくりのためのアンケート」、「子ども・子育て支援アンケート」の結果も用いられており、調査対象者数の違いなどから、直接的に比較することが困難な指標もある。

また、市民意識そのものには、「あいまいさ」という不安定要因が含まれていることから、今回の調査だけではなく、継続的に実施し傾向を把握することで、より適切な評価が可能であることに留意することが必要である。

従って、ここでは今年度調査の結果を含めこれまでの調査結果については前年度調査との比較を避け、第9期根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の将来目標値策定年度との比較を行った。

また、計画策定後、本モニタリング調査は平成28年度調査を第1回目調査と実施して、今回が5年目の調査となるため、平成28年度調査結果との比較も行った。

<上昇指標>

- ・総合計画及び総合戦略策定時の基準となった指標値から今年度調査で上昇が確認された指標は以下のとおりである。

【令和2年度調査において上昇が確認された指標】

- ・健康管理に努めている市民の割合
- ・病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合
- ・子育ての環境や支援に満足している保護者の割合
- ・乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合
- ・健康管理に努めている市民の割合（60歳以上）
- ・上水道の整備におおむね満足している市民の割合
- ・下水道の整備におおむね満足している市民の割合
- ・公園等の利用しやすさに満足している市民の割合
- ・市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合
- ・教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合
- ・スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合
- ・週1回以上スポーツ（運動）をする市民の割合
- ・北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合

- ・市民の健康管理意識、乳幼児や子どものための福祉施設の状況、病院などの医療機関の状況、子育ての環境や支援などへの評価が高くなっている。
- ・病院などの医療機関への状況に関しての満足度は、例年、不満とする住民の割合が高く、今年度調査も不満とする住民の割合が満足とする住民割合を大きく上回っているものの、計画策定時における満足とする住民割合を若干上回っていた。

- ・「おおむね満足している」場合は、「普通」の回答も含めることになるが、一昨年度の調査以降、満足度意識の設問で普通との回答割合が多くなっている。

＜減少指標＞

- ・総合計画及び総合戦略策定時の基準となった指標値から今回低下（１ポイント以上）が確認された指標は以下のとおりである。

【今回低下（１ポイント以上）が確認された指標】

- ・健康状態が良好と感じている市民の割合
- ・趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60 歳以上）
- ・町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60 歳以上）
- ・高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65 歳以上）
- ・住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合
- ・公共交通機関の便利さに満足している市民の割合
- ・郊外の森林景観について満足している市民の割合
- ・日常の買い物の便利さに満足している市民の割合
- ・まちづくりへ参加したいと思う市民の割合

- ・評価指標が計画策定時から低下している項目は、概ね、健康状態、趣味や生きがい、高齢者福祉、公共交通関連、買い物利便性関連となっており、これらの項目については、これまでの調査と同様に複数の設問に対する回答からも不満意識が確認されていることから、より一層の重点的な対応が求められている分野と考えられる。
- ・特に、今回の調査結果の特徴は、子育て関連の指標が概ね高評価であったことに対し、高齢者に関する指標や施策に対する満足度評価が低下していたことである。
- ・ただし、指標値については、本調査で実施した市民意識調査以外の調査結果の値も含まれていることから、今後の継続的な調査から総合的に評価していくことが必要である。

＜平成 28 年度調査との比較＞

- ・5 年前の第 1 回目の調査結果との比較をみると、概ね向上している指標が多く、病院や交通、買い物環境など、今回の調査においても不満と感じている住民割合が多い指標であっても、5 年前の調査時より、不満とする住民割合が減少していることが把握された。
- ・また、高齢者に関する指標は、総合戦略や総合計画立案時の目標値には達していないとともに、5 年前との比較においても満足度指標や健康意識はやや低下しているなど、今後の施策の大きなテーマのひとつとして対策を講じる必要があるものと考えられる。

平成 28 年度調査（5 年前の第 1 回調査時）結果との比較

	指 標
平成 28 年度調査結果より低下した指標	・ 健康状態が良好と感じている市民の割合 ・ 趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60 歳以上） ・ 町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60 歳以上） ・ 健康管理に努めている市民の割合（60 歳以上） ・ 住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合 ・ 週 1 回以上スポーツ（運動）をする市民の割合 ・ 郊外の森林景観について満足している市民の割合 ・ まちづくりへ参加したいと思う市民の割合
平成 28 年度調査結果より向上した指標	・ 健康管理に努めている市民の割合 ・ 病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合 ・ 子育ての環境や支援に満足している保護者の割合 ・ 乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合 ・ 高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65 歳以上） ・ 上水道の整備におおむね満足している市民の割合 ・ 下水道の整備におおむね満足している市民の割合 ・ 公園等の利用しやすさに満足している市民の割合 ・ 公共交通機関の便利さに満足している市民の割合 ・ 市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合 ・ 教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合 ・ スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合 ・ 日常の買い物の便利さに満足している市民の割合 ・ 北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合

現行総合計画及び総合戦略における市民意識に関する指標の増減傾向

指標もしくはK P I		総合 計画	総合 戦略	目標値 (R2)	計画策定時の値		H28 調査	増 減	H30 調 査	増 減	R02 調 査	増 減	R02 H28 か らの増 減
					調査年	値							
1	健康状態が良好と感じている市民の割合	○		45.0%	H26	39.8%	39.3%	▽	36.1%	▼	38.0%	▼	▼
2	健康管理に努めている市民の割合	○		66.0%	H26	66.0%	70.5%	△	70.5%	△	72.4%	△	△
3	病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合	○	○	35.0%	H25	10.3%	6.0%	▼	7.7%	▼	10.6%	△	△
4	子育ての環境や支援に満足している保護者の割合	○	○	30.0%	H25	7.7%	6.3% (注 2)	▼	5.8% (注 2)	▼	10.0% (注 2)	△	△
5	乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合	○	○	30.0%	H25	5.7%	4.0%	▼	7.3%	△	10.3%	△	△
6	趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60 歳以上）	○		65.0%	H26	61.1%	67.1%	△	62.4%	△	56.9%	▼	▼
7	町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60 歳以上）	○		55.0%	H26	52.9%	52.7%	▽	50.6%	▼	48.2%	▼	▼
8	高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65 歳以上）	○		30.0%	H23	21.9%	8.0% (注 3)	▼	10.7% (注 3)	▼	9.5% (注 3)	▼	△
9	健康管理に努めている市民の割合（60 歳以上）	○		75.0%	H26	69.6%	85.6%	△	86.9%	△	82.4%	△	▼
10	上水道の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		88.0%	H25	85.1%	84.0%	▼	85.8%	△	88.2%	△	△
11	下水道の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		83.6%	H25	78.0%	79.3%	△	83.8%	△	85.7%	△	△
12	公園等の利用しやすさに満足している市民の割合	○		44.4%	H25	20.0%	18.0%	▼	15.4%	▼	20.6%	△	△
13	住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合	○		59.7%	H25	36.4%	38.4%	△	30.2%	▼	27.5%	▼	▼
14	公共交通機関の便利さに満足している市民の割合	○		28.0%	H25	9.5%	4.5%	▼	5.8%	▼	6.3%	▼	△
15	市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		74.1%	H25	62.6%	55.6%	▼	66.8%	△	76.7%	△	△
16	教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合	○		60.0%	H25	48.5%	46.4%	▼	65.0%	△	71.0%	△	△
17	スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合	○		60.0%	H25	48.6%	39.8%	▼	54.0%	△	63.4%	△	△
18	週1回以上スポーツ（運動）をする市民の割合	○		45.0%	H26	36.0%	55.4%	△	54.3%	△	51.7%	△	▼
19	郊外の森林景観について満足している市民の割合	○		43.0%	H25	35.9%	37.8%	△	24.1%	▼	23.3%	▼	▼
20	日常の買い物の便利さに満足している市民の割合	○		36.0%	H25	22.5%	13.0%	▼	13.7%	▼	18.9%	▼	△
21	北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合	○		25.0%	H25	20.7%	17.1%	▼	14.0%	▼	22.9%	△	△
22	まちづくりへ参加したいと思う市民の割合	○	○	85.0%	H25	79.4%	79.3%	▽	72.4%	▼	71.7%	▼	▼

注 1：増減の「△」は総合計画・総合戦略策定時から上昇、「▽」は減少、「▼」は1ポイント以上減少を示す。

注 2：分母を20歳代～40歳代の子育て世代の回答。（参考：市民全体ではH28：5.2%、H30：5.8%、R02：9.0%）。

注 3：現状値は65歳以上6,578名の回答に対し、H28調査は275名、H30調査は243名、R02調査は357名。

注 4：網掛けは目標値を達成していることを示す。

6. 根室市創生総合戦略の評価

平成 27 年度に策定された根室市創生総合戦略は、客観的効果検証を行うとともに、社会経済の情勢、市民意向の変化等に的確に対応し、逐次改善していくための P D C A サイクルを構築している。

ここでは、この効果検証の一環として、令和 2 年 11 月～12 月にかけて実施した市民意識調査の結果をもとに、昨年度までの調査結果を踏まえ、市民意識の観点から根室市創生総合戦略の施策実施効果についての評価検討を行うものである。

評価検討の方法は、主として市民意識調査結果から、総合戦略に対する意識に関連する項目や自由意見を抜粋し市民意識を整理した。

なお、根室市創生総合戦略においては、「子どもたちに誇れるまち、ひと、しごと」を戦略理念として、若い女性を始め、次代を担う市民が働き、出会い、結婚し、出産・育児等のライフステージを根室市で過ごすことのできる地域を目指すとともに、移住者の受入など新しい人の流れを創造することを目標として、以下 3 つの基本目標が設定されている。

- (1) 住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。
- (2) 住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込み、安定した雇用、新しい人の流れをつくる。
- (3) みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する。

ここでは、これらの基本目標別に市民の評価の動向を整理する。

6. 1 基本目標別の政策評価の検討

- (1) 基本目標 1 住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

①子育て・少子化対策の推進

根室市では、基本目標の達成に向け以下の政策に関する各種の施策が推進されている。

- a) 出会い、結婚、妊娠、育児に関する機会や相談、支援体制の強化
- b) 子ども医療費助成など子育て世代の経済的な負担の軽減
- c) 保育施設の整備と多様な保育サービスの充実
- d) 家庭と仕事の両立を図り子育てに取り組む環境づくりの推進

1) 子育て・少子化対策に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、これらの子育て・少子化対策に対する市民意識についてみる。

市民の子育て・少子化対策に関連する項目の満足度意識について、昨年度までに実施された計画策定時の市民意識調査の結果と比較してみると、不満と感じている市民が大幅に減少しただけでなく、満足と感じている市民の割合も増加している。これは、昨年度までの結果から、さらに「普通」との回答割合が増え、不満とする回答が減少したためである。

令和元年度までの調査結果と比較すると「乳幼児や子どものための福祉施設の状況」、「子どもの教育施設や教育環境」、子どもの教育施設や教育環境」の3項目すべてで、不満と感じている市民の割合がやや低下し、満足と感じている市民の割合も増加する結果となっている。

子育て・少子化に対する満足意識に関する市民意識調査の結果

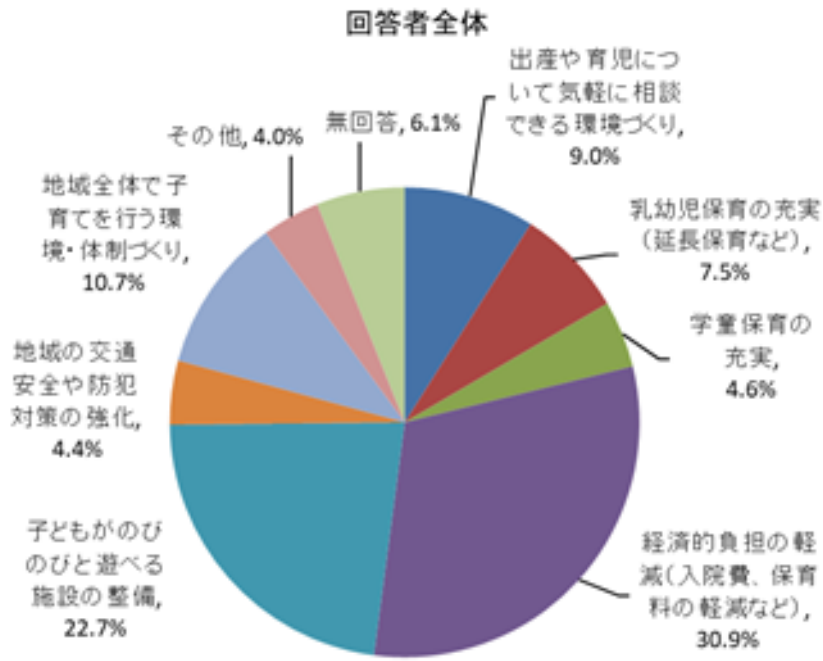
項目	満足								不満足							
	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策 定 時	増減		R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策 定 時	増減	
「乳幼児や子どものための福祉施設の状況」について	10.3%	7.9%	7.3%	4.3%	4.0%	5.8%	△		17.5%	25.8%	28.9%	46.4%	47.7%	45.5%	▼	
「子育ての環境や支援制度の状況」について※	9.0%	6.1%	5.8%	4.9%	5.2%	—	—		20.0%	28.1%	31.1%	42.1%	41.6%	—	—	
「子どもの教育施設や教育環境」について	6.8%	5.9%	4.2%	4.1%	4.7%	5.4%	△		21.9%	25.7%	29.8%	46.6%	42.8%	43.3%	▼	

注：※は平成28年度調査から追加した項目
：増減は、計画策定時に対する増減を示す
：△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する

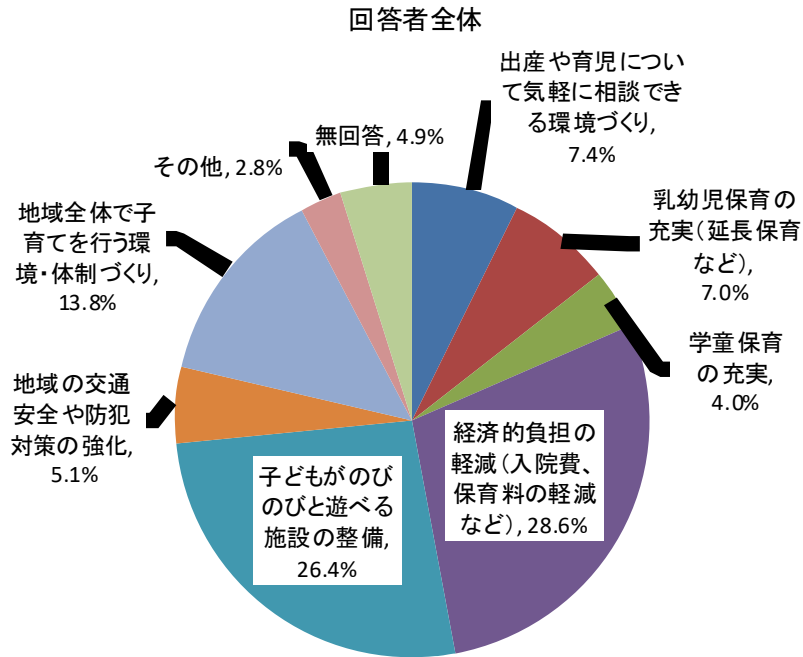
2) 子育て・少子化について重要だと思う施策

次に、子育て・少子化について重要だと思う施策についてみると、大きくは「経済的負担の軽減（保育料の軽減など）」と「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」が特に多く、昨年度までの調査結果と同様であった。

< 令和2年度調査の結果 >



< 令和元年度調査の結果 >



3) 子育て・少子化についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答から具体的意見をみると、託児機能に関すること、子どもの通園、通学環境に関すること、子どもの学力に関すること、子どものための全天候室内施設に関することが多いことが多く、昨年までの経済的支援に対する意見はそれほど多くはなかった。むしろ、市の子育て、少子化対策に対する高評価の意見もみられている。

その中で、全天候型屋内遊戯施設の計画、建設時期を問う意見もみられており、早期の実現が強く望まれている状況が把握された。

また、意見として多かったのは、通園、通学環境としてのスクールバス、除雪、歩道整備に関する要望であった。

< 子育て・少子化対策に関する意見 >

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
30	子育てが不安で、保健師さんは話を聞いてはくれますが、子供の健康に関すること以外のことなど、もっと細かい所を相談できる所があるといいと思います。 ドライブスルーのある店が欲しいです。チャイルドシートから降ろすのが大変だし一回一回起こすことになるので。
20	○学校現場・現状の理解 学力向上以前に保護者対応で、現場は疲弊している。まずは現場の声を聞くべきだ。学校教育に関心がない地域と連携して、学力が向上するはずがない。ICT機器の導入などで学力向上を謳うのは結構だが、教師の健康と地域の理解無くして学力向上などできなのではないだろうか。
30	- 学校給食に児童・生徒・保護者の意見を取り入れて充実したものにして欲しいです。品数や栄養バランスなど他町と比較すると子供が満足しているのか疑問です。 - 子育てに関するサポートとして、保健師からの連絡や健康相談、クルクルなど到大変お世話になっており、安心して子育てができます。雨や雪の日でも遊べる場があると大変助かります。 - 根室の方は優しい方が多く、声をかけて下さいます。住みやすい街だと思います。ありがたいです。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
30	・高齢者に対するサポートばかりでなく、子育て世代へのサポートにも力を入れてほしいです。幼稚園と保育所は違うのは分かっているが保育所に入れず幼稚園に行っているのだから仕事をしていると困ることが多々ある。同じような保育を受けられるようになれば更に働きやすくなると思います。
40	市民のモラルの課題として、学校給食費未納の問題を耳にします。一部の未納は市の財政に大きな負担をかけていると思います。ルールに則った方法で解決し、どの子育て世代にも平等にその恩恵がいきわたるように願っています。
50	他の市の良い面を取り入れ、変わらないといけない。20年前と何も変わっていない。幼児保育、学童保育に全てが表れている。むしろ20年前より悪くなっている。有資格ではなく、無資格者がどんどん入ってきている現状が怖い。子供は将来の人材、それをもっと考えてほしいと思う。
40	・子供を連れて行って遊ばせたいと思える楽しい施設があると良い。屋外でも屋内でも遊べる様な、人が集まりたくなるような場所、市内じゃなくても。
30	・両親共働きで子育てをしています。仕事の時間も長いので、子供の預かり等、学童の始業終了時間の悪さに不便があります。子供の習い事もどの様なものがあるのか等の情報が少ないなど、内容が浅くて困ります。子育てに力を入れてほしい。
30	・根室市役所を建て替えると聞きました。札幌の白石や厚別区役所では乳幼児向けのプレイルームや図書コーナーを小規模だが開設しています。そういう場所が少しでもあるだけでファミリー層からの印象は大きく変わると思います。 ・子供向けの屋内施設を作るそうなので期待している。
40	中・高校生の医療費助成で所得制限をするのをやめてほしい
40	・アレルギーの子供が増えてきているので専門店（小さくて良い）があれば母親は少し助かると思う。
30	・道路などは整備されていて車も走りやすいが、歩道はガタガタの所が多すぎる。ベビーカーなどを押して歩く際に、地面の段差に引っ掛かり危ない。また、小さな子供が歩く際も、でこぼこしていて危険。保育所、保育園やスーパーの周りなどだけでも整備されるとありがたいです。
75	全天候型屋内遊戯施設を早急に建設して頂きたい。
30	・歩道はデコボコしていて、ベビーカーで移動する際にすごく押しづらく、子供もよく躓いて、転倒することがあるのでもう少し整備してほしい。 ・他県では子育て世帯に対して、充実している（中学生まで医療費無料や子ども手当の書類申請の為の所得証明書等は無料）。 ・ひとり親への支援だけではなく、子育て世帯に対して支援してほしい。ひとり親でも両親揃っている所でも子供に対してかかる金は同じだと思う。 ・コロナの際、いち早く給付金を受付して頂いたのはとてもありがたかった。
20	・子供のいる世帯への金銭的援助。児童手当の額が3歳以上で下げる必要があるのか分からない。子供はずっとお金がかかります。
30	・落石保育所0才児から入所できるようにしてほしい。 ・街灯の設置。郡部の防犯カメラ設置
20	・小さい子供がいると買い物するのが不便です。食材、雑貨、日用品の買い物が店を出なくても一度にできるとうれしい。市外に出かけるにも距離が遠すぎて、もっと高規格幹線道路が伸びてほしい。欲しいものがある時、根室市外に出ないとないものが結構あったりするので、根室に貢献できなかったりすることが意外に多い。 ・中標津の道立ゆめの森公園のような小さい子供が土日祝でも遊べる屋内施設があるとうれしいです。自由に遊べる所が無いと、小さい子供と一緒に出掛けられなくて、引きこもりがちになってしまいます。少しでも聞いて頂けると幸いです
30	・子育て支援対策の強化や現場で働く高齢者支援を行う職員に対しては素晴らしく、「今住んでいる根室市民」を大事にしようという取り組みは評価できる。
65-74	子供が遊べるような施設、運動公園に作る話はどうなりましたか。それと、子供しか遊べないのでしょうか。高齢者も孫と一緒に楽しめるような場所を一か所でも中に作ってくれたら嬉しい。冬は危ないから歩かないようにすると、高齢者は運動不足になりがちで人と会うのも少なくなる。すべての事に決定が遅い。
30	・成央、光洋の学校が古すぎて大丈夫かと心配ですし、子供が「廊下に雪が積もる、湿気で滑って怖い、寒すぎて、もはや外」と光洋中学校生が言っています。西高に移ると思っていたので安心していましたが、まだまだあの校舎のようで、これから通う子供たちが心配。 ・小学校も中学校も保育園幼稚園も、これから寒くなり、コロナや感染症が流行すると思うが、密になるのが多

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
	い様で心配。 ・交通の量が多い道路の歩道がすごく狭く、すれ違う人とどちらかが道路へ行かなくてはならないのはどうにかしてほしいです。小さい子供たちの通学路なのに狭すぎます。
30	・待機児童ゼロを目指し、働くママの雇用を確保する。
30	根室市に障害者の子供の学校、施設があれば、他の市町に転出したりする人も少なくなり、その施設に入所するために地方から転入して来る人もいるかも。根室は障がいを持った子供を育てる良い町というイメージを作してほしい。
50	・子供達の学力は上がっているのか？優秀な子は根室には残らないので教育に力をいれてほしい。言い方は悪いが、残る子はそれなりの教育しか受けてないので、就職してもそれなりの仕事しかできず、すぐやめる。教育は大事です。競争は必要です。以前はのんびりした根室の人が好きでしたが今は不安しかないので、子供達と根室の未来の為に、学校・スポーツ施設の拡充をお願いします。
30	・子どもが遊べる屋内施設を早くつくってほしい。 ・市のイベント（子どもが楽しむような）を企画してほしい。
30	・保育園などの子どもをあずける施設を増やす
40	子どもの学力向上をもっと取り組むべき。
40	・仕事をしながら子育てをすることが当たり前になり、負担がとて増えている。根室高校は現在お弁当又は学校でパンの販売を行っているが、子供の栄養面や毎日の負担を考えると、中標津農業高や標津高などのように、給食提供をしてほしい。
30	今の子供たちは、会話が少なくコミュニケーション能力に欠けていると思います。言葉を知らなすぎると思います。やはり「地域で育てる」というのは大事です。おじいちゃん、おばあちゃんから得られる知識もたくさんあると思います。コロナでなかなか人とふれ合う事が難しい世の中になっていますが、これからの世代の子供たちにとって会話やコミュニケーション不足というのは、人格を作るうえでマイナスになるのではないのでしょうか。スマホ、ゲームだけでなく、生身の人間と関わる事が大事だと思います。親同士のコミュニケーションもとても大事です。いざという時に知らない人とでも助け合える根室であって欲しいです。私たちは、色々な人たちに助けられて生活しています。本当にありがたいと、きっとこの先この体験を生かせることができればと常々考えております。
50	・児童教育の強化、学力向上
65-74	・学校を統合して極論的に市内小学校1～2校、中学1校、高校1校として、スクールバスを3～5方向に走行させる。方向によっては大型バスではなく中型を数台走行させる。とにかく生徒の減少で運動会、文化祭などで行いにくそう。もっと生徒の活動の場を広げる。
30	・中学校へのスクールバス（統合された後）配備 ・公共施設（教育機関）の建替え、暖房設備
20	・中標津ゆめの森公園のような施設が根室にもあると天候に左右されず、子どもが安心してのびのび遊べるので是非検討してほしいです。 ・小学校等でベルマークを集計することが難しくなっていると聞きました。学区内の町内会で集まったものをまとめる作業をして各学校に寄付するという考えが浮かんだのですが実現可能でしょうか。もしできれば自分も協力したく、学校で子ども達が必要とする物品購入に繋がるとうれしいと思います。
30	・子どもが遊べる施設をもっと増やしてほしい。特に雪や寒い冬に活動できる場や休日遊べる場（小学校前くらいの子でも） ・厚床にも子どもが集まる場（未就学児）がほしい。保育所やこども園等もっと低年齢から入所できたり、週一親子活動みたいなものがあるとうれしい。
40	啓雲中、光洋中、合併で通学が大変遠くなります。 対象者が少ないせいか、あまり困っている声を聞きませんが、毎日送り迎えが必要になります。我が家にとっては大変負担になります。説明会で質問しましたが、4 km（徒歩で）以上でないとスクールバスも出せないとのことでした。多少有料でもよいので、スクールバス等の提案をさせていただきます。
50	・人口を増やすためには、子供を望んでいるのにできない夫婦に地元で治療ができる様にしてほしい。不妊は女性だけの問題ではなく男性にも問題がある。二人で協力しなければ解決できないもので、決して恥ずかしいものではないので、明るく素敵なイメージをアピールし、治療から出産、育児までトータルサポート体制にしてほしい。根室に来ると子宝にめぐまれる（笑）
30	子育てをしています、これから小、中、高へ行くのがとても不安です。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
	保育日（所）、小学校などもっと連携して子ども達のサポートが必要だと思います。特に今はグレーの子が多いので、どのように授業が進んで行くのか親としては心配です。子どものことを考えて根室を出て高校へ行くことも考えています。新しい役所ができる時にもっと子育て世代が相談しやすく作ってほしいです。
20	支援センターを増やして欲しいです。また、休日も開いている子ども用室内施設を作ってほしいです。雨や雪で、お外遊びが出来ない日や、今はコロナで支援センターの利用人数制限、時間制限があり行くところがなく家にいるしかない親子が沢山います。助けて欲しいです。その様な状況は根室市だけでなく全国的にだと思いますが、コロナで大変だからこそ、根室市はコロナでも子どもたち、親たちの味方なのだと先陣をきってほしいです。“子どもに優しい根室”になれば全国に根室をアピールできるのではないのでしょうか。心より宜しくお願い致します。

②周産期医療と小児医療体制の整備

根室市では、市立根室病院の充実を図るため、分娩の早期再開をはじめ、医師、看護師等の確保、充実に向けた周産期医療及び小児医療体制の整備に向けた対応を図っているところである。

分娩に関しては、平成29年4月に市立根室病院で11年ぶりに経産婦を対象に分娩が再開されている。

a)安心して子どもを産み育てられる周産期医療と小児医療体制の整備

1)周産期医療と小児医療体制に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、これらの周産期医療と小児医療体制に対する市民意識についてみると、満足と回答した市民の割合は計画策定時に対して0.7ポイント増加し、昨年度までの調査結果よりも大きく増加している。

加えて、不満とする市民の割合も昨年度までの結果よりも低下しており、不満意識はさらに緩和している結果となっている。

医療体制に対する満足意識に関する市民意識調査の結果

項目	満足							不満足						
	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策定時	増減	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策定時	増減
「病院などの医療機関の状況」について	10.6%	6.6%	7.7%	7.8%	6.0%	10.3%	△	47.6%	55.1%	55.7%	64.1%	69.5%	61.9%	▼

注：増減は、計画策定時に対する増減を示す

：△は満足度もしくは不満足度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満足度が低下したことを意味する

2)医療環境についての自由意見

今回調査における自由回答をみると、医療体制に対する満足度の向上、不満意識の低下がみられてはいるものの、不妊治療のほか、耳鼻科、小児科、整形外科の充実等診療科目に対する要望や、救急医療体制の充実を望む意見、さらには、市立根室病院における待ち時間の長さや医療関係者の患者に対する対応などへの不満も少なからずみられていた。

また、小児科に関する意見に加え、今回の調査も昨年度結果と同様、高齢者医療の充実に対する意見も多かった。

<周産期医療と小児医療体制ほか、医療環境に関する意見>

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
40	耳鼻科や眼科が少ないので増やして欲しい。災害で国道が通行止めになった場合、生活物資が止まる恐れがあるので、道路等を整備してほしい。
20	○不妊治療への経済的負担の軽減 市の立地上、帯広や札幌に行かねばならず、負担が大きい。北海道の認可がないと市の助成を受けられないのはなぜか。道の助成回数には限りがある。それ以降はどうしたら良いのか。誰しもが思う「子供が欲しい」と言う願いはこの町に住んだらあきらめることになる。改善を願う。
50	高齢化が進んでいる中、救急医療が一番不安です。車で釧路に向かっても2時間もかかっては手遅れになるので、ドクターヘリなどあれば少し安心できます。
40	独居老人や近くに家族がいない高齢者が多く、その人たちを支えるサポートシステムが弱いと感じる。また、病

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
	院、施設数が限られており、在宅でサポートする家族も減る中で自立できていない高齢者をどう支えていかなければならないか考えていかなければならない。
30	・病院など事前にオンライン予約ができるともっと利用しやすい。皮膚科、耳鼻科、眼科の待ち時間が最低でも2時間はかかるので通いづらい。新患でも30分位で受診できるとありがたい。
75	市立病院でなぜ手術をしないのか、釧路に行くと思った顔が多くいる。皆根室では治すことができなかったと言う事。自分もすぐ釧路へ行く。何とかできないか。
30	根室市の医療体制は最悪で今でも他地域で診察を受けています。このまま変わらなければ移住を考えます。看護師の態度、話し方等教育してほしい。
40	市立病院は、整形外科に腕のいい医者がいない。そこで釧路の三慈会病院から派遣してもらってはと考えます。冬は釧路までは路面状態や吹雪などなかなか交通がきつい所もある。月2回でも病院からの派遣を考えてもらいたいです。病院にかかる人も増えると思います。
40	市立病院への支援、医療介護者不足が切実です。
65-74	病院の建物設備など良くなっても、医者・看護師が良くなないとだめだと思う。病院の赤字を無くさないでだめ。
30	子育てや病気の治療など根室では頼りにできないというのが、現実だと思います。それらに関連する優秀な人材の確保と、市内施設の充実が必要だと思います。
50	根室市に夫婦でずっと住みたいと思っていましたが、病気になり介護が必要になりました。病院でも長期で入院は難しく介護施設に入所も出来ず。地方に移ります。病院には理学療法士や作業療法士が少なく在宅介護には全く来てもらえません。福祉や医療を充実しなければ根室を離れる方は多くなると思います。
75	政治に関心がなくなった。年齢だからと言って勉強しなければ。
50	・人口を増やすためには、子供を望んでいるのにできない夫婦に地元で治療ができる様にしてほしい。不妊は女性だけの問題ではなく男性にも問題がある。二人で協力しなければ解決できないもので、決して恥ずかしいものではないので、明るく素敵なイメージをアピールし、治療から出産、育児までトータルサポート体制にしてほしい。根室に来ると子宝にめぐまれる（笑）
75	○医療面について 市立病院への膨大な赤字補填、年間の補填額を見ると公共施設の一つや二つに相当する位の支出になるのではないのでしょうか。市民は質の良い医療を受ける為、市立病院を素通りし、地方に出向かなければならないのか。いずれにしても現行の制度、抜本的に改革し地方病院の安定を図る必要があるのではないですか。
65-74	・現在自分は抗癌剤治療をしています。月に一回釧路までその為に通っています。根室でも高度な医療を安心して受けられる医療体制があればと思います。切実な願いです。

(2) 基本目標2 住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込み、安定した雇用、新しい人の流れをつくる

①経済・雇用対策の推進

根室市では、基本目標達成に向け以下の経済・雇用対策が推進されている。

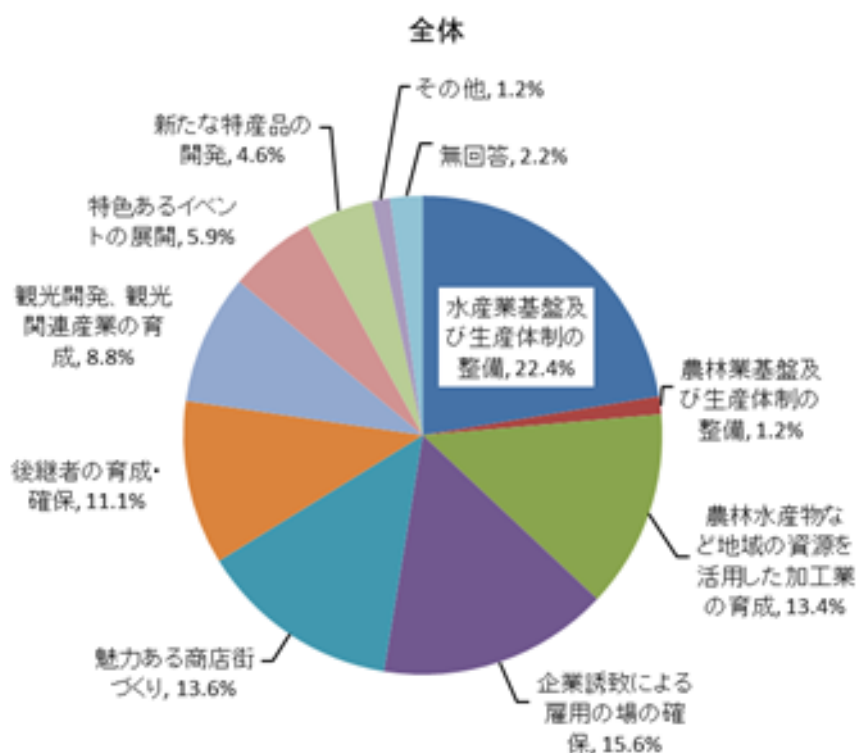
- a)労働力不足解消のための雇用のミスマッチ解消など需給不均衡の改善
- b)U I ターン者向け支援の充実による起業促進と労働力の確保
- c)商工業後継者の不足に伴う事業継承のための支援等の充実
- d)農林漁業の持続的な発展及び担い手対策の推進と若年就業者の定着化促進
- e)産学官金の連携及び農商工連携と6次産業化の促進

1)産業振興について重要だと思う施策

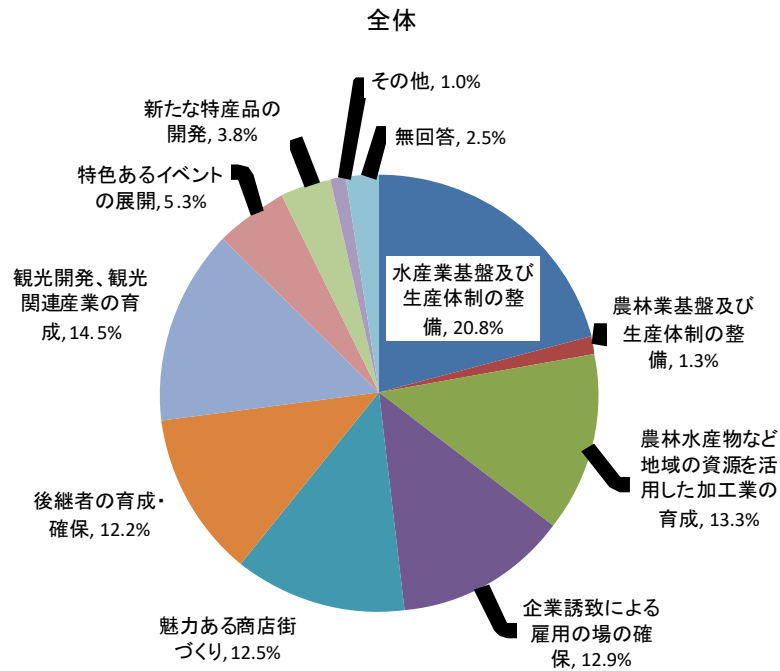
根室市の産業振興について、今回の市民意識調査から今後重点的に取り組むべきと思う施策についてみると、「水産業基盤及び生産体制の整備」をあげる住民の割合が最も高くなっている。この結果は昨年度調査の結果と同様であった。しかし、これに次ぐ施策には「企業誘致による雇用の場の確保」や「魅力ある商店街づくり」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」があげられており、「観光開発、観光関連産業の育成」を上回っていた。

ロシア 200海里内サケマス流し網漁が禁止になったことに加え、サンマ、秋サケ漁の近年の不漁などの影響から、根室の基幹産業に対する不安感がさらに増している状況がうかがえ、「水産業基盤及び生産体制の整備」はもとより、より即効性に高い企業誘致に対する期待が大きくなっている状況が把握される。

<令和2年度調査の結果>



< 令和元年度調査の結果 >



2) 経済・雇用対策についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から経済・雇用対策に関する意見をみると、漁業に関しては、育てる漁業への転換、新たな特産物の開発、企業誘致、飲食店、商店街の活性化、後継者育成に関する意見が多かった。

特に、育てる漁業への転換に関しては、すでに市の政策としても継続的に推進されているところであるが、早期の成果が求められているところである。

このほか、自然エネルギーをきっかけとした新たな産業の創出や、新しい働き方（就労時間の柔軟さ）のあり方などの意見もみられている。

< 経済・雇用対策の推進 >

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
30	若年者の減少が大きな問題だと思います。根室市の将来のためにも、育児、教育環境の充実化、企業誘致などによる労働環境の充実化が大切と考えます。
20	まちづくりの大切さを市民は知っています。基幹産業が栄えてこそ出来る事です。外洋の魚に依存してきた根室です。今、行っている漁業振興を拡大させてください。外洋に頼らない位。
75	基幹産業(納沙布、さんまに依存するのだけでなく)ふるさと創生事業への参画等他、のブランド製品の開発等を考えるべきときが来ていると思う。例えば、大根・人参・ウド・ぜんまい等の野菜類やカレイ、ホタテ、カニ、カキ等の育てる漁業、山菜等に取り組む時期に(遅きに失した感があるが)来ていると思う。
18-19	根室市内の飲食店を対象とした食事券の配布なども実施されたが、地域の経済発展等を促すきっかけを作ることが見込める結果が得られたのであれば、前回の配布のような取組みがあるととても良いと思います。
30	鮭鱒、サンマがだめ。どんどん活気がなくなっていく。観光やスポーツに力を入れようにも宿泊施設が不十分。今は全てにおいて中途半端な状態。コロナで分かった事は、観光客に頼らなくても、街がうるおう方法を考えなければならないということ。大学や専門学校ができるのも良いかも。鮭の稚魚放流、花咲ガニの稚ガニ放流・育成に力を入れるとか。根室で野菜農家は少ないけれど、特産品生み出すのを頑張ってみるとか。根室に来なければ食べられないホームラン焼き、オランダせんべい、甘太郎等広告に力を入れるとか。
75	・ 北方領土(ロシア島民)と1日も早い共同事業の実施を願う。 ・ 根室市独自の水産物、海産物、各種養殖事業の研究を推進

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
	- 根室市の漁獲水産物（幅広い各種）２次、３次加工の推進を研究：例えば、魚は鮭鱒、カレイ、マダラ、エイ、海草は昆布、ワカメ、布海苔、甲殻類はホタテ、ホッキ、アサリ、エビ、カニ、ウニ、軟体物はタコ、イカ、ナマコ、ホヤ、お菓子や野菜や穀物と混合した食材、新しいものが発見されるのではないかな - 働く場所、職場が無ければ人は集まりません。いかに働く場所を作るかが大きな課題だと思う。根室市はいかなる困難であっても水産を無くして語ることは出来ない。その宿命にある。一時的な解決策に惑わず、必ずや水産漁業は回帰します。根室市は住みよい街、市民が団結できる街です
40	大規模な街づくり改革が必要。ショッピングモール等の市としての商業施設に地元企業をタイアップする。
40	水産業の維持と観光への注力、そのための北方領土返還。
20	根室市の主要産業が厳しい状況であり、コロナの影響もあるので明るいことが少ないですが、これからも少しでも良くなるように頑張ってください。私の仕事も同様なので微力ながら力になれるようにしていきます。
50	- 北方領土返還記念シンボル「祈りの火」、現在はガスで一日中と灯していますが、地球温暖化防止の観点からも、できればLED 電気に変えた方が良くと考えます。 今、根室半島周辺、自然エネルギーを増やしています。特に水産業(サケ、サンマ)ははじめ年々厳しい状態なので、総理も 2050 年温室効果ガスゼロ目標にしたこともあり、根室市の新たな産業のきっかけになればいい。
60-64	- 一次産業の活性化→ブランド化による流通改革 - 企業、学校(大学)等の外部からの誘致→人口増、消費拡大 - 緑町商店街の大改革→大型駐車場を設けて、その周りに商業施設を設置→複合商業施設化
75	水産資源が少なくなっているため、養殖を増やすべきではないか。獲るだけでは先が見えている。さらに、加工産業も育てていかなければ先がない。２次３次産業が大きくなれば人も増える。経済も大きくなる。
30	- 漁業はサンマも年々獲れなくなっているのなら、もっと他の魚に手を付けるなどできないのかと思います。ニュースを見ると「獲れない」といっているだけで他の事に挑戦しているようには見えません。 - 別の特産物でもあれば商品開発もあるのではと思いました。
50	光や風を利用した高付加価値商品の開発“アワビやムール貝”や、トマトやレタスなどの野菜・ミニバラ等、光や風を利用したハウスの栽培、アワビの養殖等、高付加価値商品の開発はできないものか？付加価値が高いと送料のネックはなくなる。いつまでも、サンマやカニに頼るばかりでは無く、新しく名物を造り出すくらいでやらなければ、人口も増えはしない。若者がやりがいを持って働ける場を作らなければこの先は無い。真新しい市役所と信金の建物だけが残し、商店の跡地だけが目立つ町になってしまうだろう。
40	- 水産加工場以外で働きたいので、企業誘致してほかの食品工場とかで働きたいです。水産加工場は体力がきついので体がもちません。 - 今日一日仕事を手伝って欲しいとか、一時間だけのアルバイトなど求人情報が、気軽に知れるといいですね。
50	- とにかく人口減少が著しい。働き盛りの30、40代の転出が多い(男) - 安心して正社員として働ける会社が増えほしい。 - 週6日制の会社が多く、週休2日制を推奨してほしい。 - 働き方改革のルールなんてほとんどの会社で無視されている。これは大問題である。(週の労働時間、有給休暇の取得)
60-64	水産業の不漁で大きな影響が出て人口流出に歯止めがかかっていません。育てる漁業など、官民で知恵を絞るしかないのかなと思います。
65-74	まずは、企業誘致や起業の支援など、市営の工場もつくって働く場を確保しないと人口増加は望めません。若い人の労働力があつての街づくりだと思います。
30	高校生の時にやったインターシップの一般向けがほしい（興味のなかった事でも、この仕事やってみたい！につながるかもしれないから）
65-74	厚床地区は、酪農地帯です。後継者問題で今後酪農家が今の半分以上になるのではないかと危惧しています。新規就農の促進、牛乳・肉等の加工研究をして、根室ブランド化を早急に進めてほしい。目に見える農業政策を地域格差の是正をお願いしたい。
60-64	根室には外食産業の数が全く足りません。 いつも昼食・夜食に苦労しています。新規に出店してくる企業がない、競争意識が働かないため、この先高齢化が進み、どんどん店舗が閉店して根室にきた人たちは他地域で食事をする事になると思います。 市としては、新規出店してもらえる様、全国に公募する発信をしてほしいと思います。せっかく「水産の街」として有名なのに他方に目をむけて「食」に対しては、後回ししていると痛感しています。活性化するには、人が集う場所を拡大していくことで、根室の魅力を発信していく事だと思います。

②交流人口の拡大（市民意見）

根室市における交流人口の拡大に向けた施策は以下に示すとおりであり、誘客強化と観光プロモーションの強化となっており、特に、自然環境を活かした国際観光地に向けた取組みが進められている。

- a) 長期滞在者など交流人口の誘客強化と本格移住の促進
b) 世界に誇る自然、歴史、食の魅力を発信する観光プロモーションの強化

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から交流人口の拡大に関する意見についてみると、これまでの調査の結果と同様に観光振興に関する意見は多く、今後の根室市の産業振興として観光に対する期待が大きい状況が把握される。

具体的な内容として、特に意見として多かったのは、道の駅の整備、食メニューの充実、宿泊施設の整備、自然、地理条件（東端）など根室市が有する資源の有効活用である。

特に、道の駅と食メニューの充実に関する意見は、複数件みられており、既存の道の駅に加え、霧多布への設置などによる新たな観光ルートの創出などのアイデアもみられた。

さらに、最近流行の足湯の整備などもあげられている。

また、資源の有効活用の観点からは、野鳥に代表される自然、自然景観、金刀比羅神社例大祭等のイベントなどがあげられていた。

< 交流人口の拡大 >

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
65-74	- 霧多布温泉ゆうゆに続く温泉の泉脈が根室(落石かどこか)にも来ていると聞いたことがあり、摩周湖の道の駅のように足湯に入れて自然もみられる、皆がリラックスできる場所があるといい。 - 車いすで鉄道の旅をする人が「根室駅を降りて一人で入れるホテルがない」と言っていたので、駅と繋がっているホテル、商業施設(カニ食べられる)、文化施設、飲むところがあるといい。
65-74	道の駅について一言、道の駅「スワン44ねむろ」素晴らしい景観ですが残念ながら運営面がだめです。トイレとソフトクリームだけ。リピーターが来るわけない。 仕掛け、進歩、作戦もない。せっかくの道の駅が残念。まずい、メニューの無さ、シェフの腕の無さ、残念。せっかくの玄関口、市で少し考えてみたら。北方領土の地だから、ロシア料理を出すとか、良い広さのホールあるのに、無駄の建物。頑張れ根室。
40	根室市に世界的な美術館、博物館を期待します。あと、街の景観づくりと食へのこだわり。
40	- 漁業に加えて観光で有名にできる地域だと思う。 - 温泉（ホテル）を誘致し、道外からの観光客を集める。花咲線は日常の足としては厳しいと思うので、道路の整備に力を入れるよう国に働き掛ける。 - こんなに海の幸が素晴らしい場所はない。その海産物を食べられる高級ホテル（温泉が掘ればベスト）が一つあればV字で回復すると思う。星野リゾートが来てくれたら…。若い人もそれならここで働きたいと思うのでは。 - 本当にポテンシャルが高いと思うので、まずは外の金を集めてから福祉のことを考えればいいのでは。先にキャッシュを稼がないと、老人も子供も守れなくなると思う。ぜひ、高級ホテルの誘致をよろしくお願いします。
40	水産業の維持と観光への注力、そのための北方領土返還。
50	- 道の駅の近くに宿泊できる所を作る。以前あった根室温泉の復活。日帰り温泉を作る。キャンプ場の復活。第3セクターでホテルの建設。 - アスレチック場に道立ゆめの森公園のような物を作る。 - ノサップマラソンをフルマラソンに変更して大々的に宣伝し、参加者を沢山にする。市役所をゴール、スタート地点にしてフルマラソンウォーキング大会を開催する(納沙布岬折り返し)。 - 北方領土まで歩こう会では歩く距離を今より増やす(色々な距離の設定)。
40	観光客が納沙布まで来ても泊る場所も食べる場所もなくに無いのですぐ帰ってしまう。もう少し気軽に立寄れ

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
	る店があった方が良くと思う。
20	・根室はきれいな景色が多いので観光に力を入れた方が良く思う。「ゴールデンカムイ」に根室の景色が出てい る場面があるので、そこをアピールしてみてもどうか。 ・海産物が本当においしいので観光施設の側に海産物の店、店の半額チケット等を配る等、食べ物に向かう流れ があるといいと思う。観光パンフレットの写真等は色鮮やかですごいいいと思っていました。 ・野鳥がたくさんいることで有名なので、もっとアピールした方が良く思う。バスツアーの内容が「野鳥を見 に行くはずなのにノサップ岬へ行った」と聞いたので、春国岱に行った方がいい。
18	自然などに関するお祭りをさんま祭り位の規模で開いてほしい。漁業はもう全盛期の様にはならないと思うから、観光や自然環境で市を盛り上げていくべきだと思います。
18-19	・観光業に力を入れた方が良く思います。せっかく根室車石他たくさんの魅力ある場所があるのに消極的かと 感じます。
60-64	網走・紋別・函館の港の様に根室港を拠点とした「海岸公園」海岸沿線のプロムナード等、新たな観光を目指し てはどうか
30	・クルーズ船入港検討 ・根室駅と根室市観光インフォメーションセンター(根室市観光協会)を併設した建物にして欲しい。
65-74	根室の金刀比羅神社例大祭が北海道の文化財に指定されたので、大々的にPRして多くの人が根室に来て欲し い。行政としても観光拡大の視点から大局的な観点から応援してほしい。
40	キャンプ場や野営場を作る
40	・準天然温泉はあるものの本格的な温泉がない。 ・水道料金が高い事以外は大きな不満はなく、海産物が特に美味であり、景色、自然の豊かさ、動物の豊富さ、 祭など良いことも多い。また、コロナ対策も素早く、大変良かった。
50	・光や風を利用した高付加価値商品の開発“アワビやムール貝”や、トマトやレタスなどの野菜・ミニバラ等、 光や風を利用したのハウス栽培、アワビの養殖等、高付加価値商品の開発はできないのか？付加価値が高い と送料のネックは無くなる。 ・いつまでも、サンマやカニに頼るばかりでは無く、新しく名物を造り出すくらいでやらなければ、人口も増え はしない。若者がやりがいを持って働ける場を作らなければこの先は無い。真新しい市役所と信金の建物だけ が残り、商店の跡地だけが目立つ町になってしまうだろう。
75	・博物館が是非ほしい。ふるさと納税を使つてはダメか。外来者を招く。花咲線の存続にも役立つと思う。
40	・観光対策をより充実に（観光客は多いはず） ・外から見たときに、たまには行きたい街ぐらいいなれば良い。
60-64	・水産業の不漁で大きな影響が出て人口流出に歯止めがかかっていません。育てる漁業など、官民で知恵を絞る しかないのかなと思います。 ・根室の豊かな自然は他に誇れるものです。野鳥愛好家などが以外と来根しているのかなと思っているところ ですが、自然や景色を活かした滞在型の観光を創意工夫したらよいのではないのでしょうか。そのため交通網の整 備も必要ですが、宿泊施設が不十分です。老朽化し改修も行われていないホテルやエアコンも設置されていな いホテルなど宿泊された方が驚くような状態では、リピーターは望めません。民間のことではありますが、全 市として考えたいものです。
20	・根室市は自然が素晴らしいのでそこを活かしたイベントがあったら嬉しいです。
40	根室市にも温泉があれば良いと思う。温泉が無理ならせめて道の駅に足湯があると運転してきたドライバーの 休息になるのでは・・道の駅が無理ならば、運動公園内などでも、運動した後の休息として市民同士や地方の方 との交流の場にもなると思う。 弟子屈や清里にある道の駅の足湯は、いつも人がいるし、自分も癒された思いがある。
40	「日本最東端のまち」というフレーズをこれまで以上に前面に出していき、観光に力を入れていくといいと思 います。他の市町村（全国）にはない唯一のものなので最大の魅力です。食べ物は大変美味しいので自信を持っ て取り組んでほしい。
40	最東端をコースの一部とする車・バイクの旅行客が、根室市で宿泊することができるような野宿スペースとトイレ、洗面、入浴（できれば温泉）できる設備等を設置することで、お金を根室で使用してもらい通過ポイントに することができるのかなと思います。（つまり、釧路市や中標津町へは次の日に移動という工程をたてる旅行客を 増やす目的）

(3) 基本目標3 みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する

①コミュニティの維持・活性化

根室市の総合戦略においては、基本目標達成に向け以下のコミュニティの維持・活性化が推進されている。

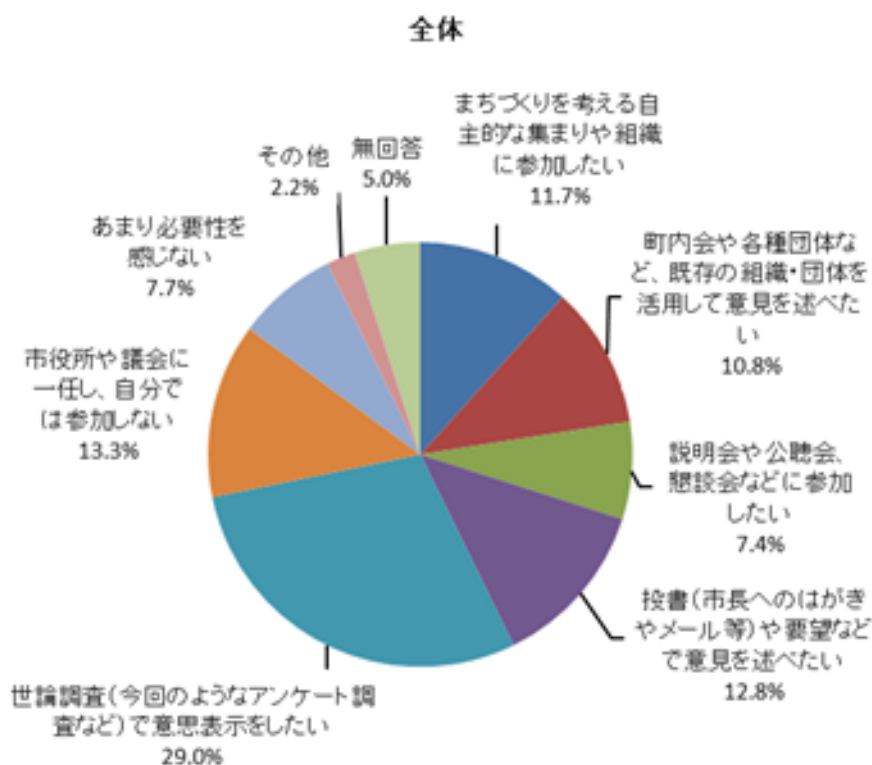
- a) 市民活動団体の育成や市民活動の組織化、ネットワーク化の支援
- b) コミュニティ活動を牽引する「まちづくりコーディネーター」などの育成

1) 市民のまちづくりへの参加意識に関する市民意識

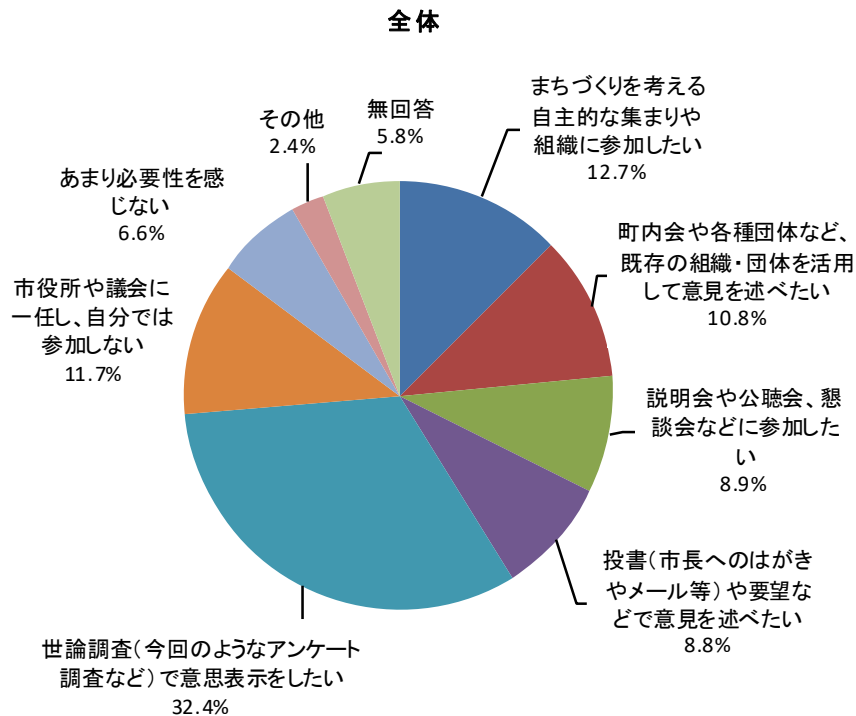
今回実施した市民意識調査の結果からまちづくりへの参加方法についてみると、最も多かったのは、昨年度までの調査結果と同様に「世論調査(今回のようなアンケート調査など)で意思表示をしたい」とする要望である。このほか、「投書(市長へのはがきやメール等)や要望などで意見を述べたい」、や「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」といった要望が多かった。

また、自主的にまちづくりに参加したいとする市民の割合は71.7%となっており、昨年の73.6%、一昨年の72.4%を下回っているほか、平成28年度の調査以降の結果では、最も低い水準となっている。このため、市民の参画意識の醸成はもとより、市民の意見や要望の施策への反映のあり方などを検討することは引き続き重要な課題と考えられる。

<令和2年度調査>



＜令和元年度調査＞



2) コミュニティの維持・活性化に関する意見

今回の市民意識調査における自由意見の中からコミュニティの維持・活性化に関する内容をみると、大きく、行政情報に関する要望、ボランティア活用のあり方、市民参加のまちづくり、地域活性化へのスポーツ振興のあり方に関する意見にまとめられる。

行政情報に関しては、そもそも市が実施している各種政策情報を知る手段についての意見がみられた。今回のアンケートで初めて知ったとの意見のほか、ネット情報や SNS の情報に関しては、高齢者では対応が困難だとする意見もみられている。このほか、災害情報やイベントなどの情報提供に対する要望などがあがっている

ボランティア活動のあり方に関しては、特に、高齢者の生きがいや、市政への参加の観点から清掃や花木の植栽などへ参加する機会の創出に関する意見が見られた。

まちづくりへの市民参加のあり方としては、昨年までの調査結果と同様に、市民意識調査の結果でもみられたようにアンケート等により市民からのアイデアや意見を募集する方法に期待に対する意見がみられている。

また、今回調査においては、子どもと高齢者の触れ合いの場や、スポーツ振興の重要性をあげる意見もみられた。

＜コミュニティの維持・活性化＞

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
65-74	このようなアンケート調査は初めてですがよい事だと思いました。
50	私はスポーツで青少年センターを利用していますが、建物が古く、狭く、使用しているネット、ボール等もボロボロの状態です。高齢者もイキイキとスポーツをしている方も多くいるので、センターの建て替えを希望します。学生の大会をするときも、コートが狭いので、動きづらいし、危険を伴います。皆が利用しやすいスポーツ施設を希望する話をよく耳にします。他から来根する方々のためにも早めに取り組ん

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
	でほしいです。
50	新型コロナ対策としての1人10万円の特別給付金について、他の市町村に先駆けて迅速な対応をとっていただいたことは大変すばらしかったと思います。 同じく根室市出身の学生へのふるさと産品の発送も非常にタイムリーな施策だったと評価しています
30	水道料金が高すぎる。収入を増やすことも大切だが、支出を減らすことも大切。ふるさと納税の財源は上下水道の整備、市民への料金の還元という形でぜひ進めてほしい。
18	もう一度、映画館を建ててほしいです。
65-74	根室の良い点、悪い点を住民が再確認しあい、その事を生かした町づくりのために住民が参加できる事業を行ってほしい。
18-19	根室市内の飲食店を対象とした食事券の配布なども実施されたが、地域の経済発展等を促すきっかけを作ることが見込める結果が得られたのであれば、前回の配布のような取組みがあるととても良いと思います。
60-64	・人口減少の中、いろいろなアイデアや前向きな考え方を進めていく行政の方々には感謝しています。根室だけでなく、日本全体は、この先どうなるのだろうと一年一年、年をとる事に不安感が増えます。特に今年は。 ・豊かになり豊かさの中で育った日本人の子供たち、高齢者とはあまりにも考え方、育ち方が違いすぎる。苦労はしていないけれど考え方はきれいな子供が多い。子供達が森も木もみえる大人になることが願いです。そんな根室の人になってほしい。
20	・「市民の会」など誰でも参加できる交流会やイベントを毎月開催し、チラシやポスター等インターネットを介さずに根室市の情報や催しを全員がしっかりと認識できるようにする（市民だより等の作成、配布）。 ・季節に応じたイベント、例：クリスマスのリース作り、フラワーアレンジメント体験、正月の凧作りなど参加したくなるイベントで市民の交流の場を増やす。 ・根室市民アンケート（バラエティに富んだ内容のもの）を実施し、結果を公開し最終的に根室市のまちづくりに関心を持たせ、現状を踏まえた上で改めて意見や提案を募集する。
65-74	高齢者が増加し、一人暮らしの方も増えている。若い人が進学後に魅力を感じて根室に帰って来たいと思えるような街づくりを期待したいです。仕事が無いと帰って来られないし、生活が出来るだけの収入も欲しいです。
40	・ふるさと納税の皆さんの善意を無駄な事業に税金を投入しないほしい。特定の人や市長とつながりがある人の意見ばかりで市政が動くのには納得がいかない。だから将来の见えない市になる。こんな人口で市とは恥ずかしい。 ・年寄りの意見だけで税金を使うともっと市が腐敗する。きちんと意見が出来る人を重要視してほしい。前に進むためには反対者の意見も柔軟に取り入れるべき。
60-64	今後も市民、行政の協働がますます重要になっていくと思います。行政の一人一人が市民として各種行事等、進んで参加していく事から各自の立場を超えて良い方向に進んで行けると思う。
65-74	根室は生まれた町でとても好きな町です。だから、現在の衰退を見るととても寂しいです。新しい発想、方法、根室を活性化するための市の剛腕を期待します。勇み足 OK です。走りながら修正していけばよいと思います。
40	どうにかしてごみのポイ捨てや不法投棄を無くしたい。目に余る行為をやめさせたい。緑がきれいな街なので。わざわざ人目のつきづらい場所を探すなら、指定の袋に入れて堂々と捨てれば良いのにと日々思ってしまう。何か良い方法はと考えるんですが、個々の気持ちがまとまらないと難しい事です。
20	考えてみると少しずつ市民の事を考えた動きはあったと感じました。実現させる事ができる事と難しい事とある中で、頑張っている人達がいることに感謝しています。アンケートで改めて考える機会を頂けて良かったです。
65-74	・子供が地元にはいないので、わからないことを教えてもらえない。 ・パソコンを使えないのでラジオや新聞でなければ情報がわからない。 ・道路のゴミ拾って集めたいと思うが、そういう時どうすればよいか。 ・道路のゴミ捨てがとても目立つ。注意を喚起するためののぼりや看板等多くしてほしい。
65-74	若者、高齢者が共に練習ができるゴルフ・野球のバッティングセンター、ゴルフの打ちっぱなし場を作っていたきたいです。
40	根室の中もさびれてきました。環境も変わって人間関係も声かけが悪い。明るい根室にしてみたいです。店の店員も口悪いとか愛想が悪い人もいます。その辺の改善してもらいたい。
20	根室市の主要産業が厳しい状況であり、コロナの影響もあるので明るいことが少ないですが、これからも少しでも良くなるように頑張ってください。私の仕事も同様なので微力ながら力になれるようにしていきます。
30	ゴミが落ちているのがそのまま。他の街よりゴミが落ちていると感じる。
20	深夜から朝にかけて働いているので、冬の除雪情報等を SNS で発信してほしい。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
75	町内会に老人が集まる所が無いのです。町内会の行事などはホテルなどで集まっています。このアンケートは根室のこれからの街づくりに大変良い事だと思っています。
20	子どもと家族で楽しめる場所がもっと増えたらよいなと思いました。若者がもっと楽しく居られるような街づくりに励めば根室ももっと若い子が増えてにぎやかな所になるのかなと感じました。
65-74	・情報が行き届いていないせいか知らないことが多すぎました。若者が市に残り、活躍でき、末永く住み続けられる、職場があると良いです。 ・無駄な公共施設には最初からお金をかけるべきではないし、今この時期に市役所の建て替えはどんなものかと思ひますし、他にお金の使い道はあると思ひます。他の街と比べる事もなく、市が率先して節約すべきかとも思ひます。
40	現在、根室に住んでいる若者たちをこれ以上地方に流出しないような魅力ある街づくりが重要です。根室市内で何かやりたいことを見つけた人たちに対し相談支援できる場所があればと思う。実際にやりたいことを見つけた友人が根室では難しいと考え地方へ転居したりしている。子育てや高齢者対策ももちろん大切な事は分かるが、働く世代の事も行政は目を向けては良いのではないかな。子供や老人の事ばかり考えているような取組みでは若い人や 30～40 代が根室に魅力がなくなると思う。私個人の意見ですが、今の根室市の取組みは特定の年代のみ力を入れている気がする。市民全員が根室に住んでいてよかったと思える街づくりをして欲しい。
75	今年はコロナで特別な年でしたが、それでも根室の市長、職員は連休にもかかわらず、ドライブスルー等で給付金を他市よりも早く受けられたり、大学生に食品を送って頂いたり感謝しています。
20	・若者に受け入れられる体制を整備していくべき。まずは防災、減災に努め、安心感を与え、インフラの充実のみならず、Wi-Fi 等通信環境を整えていくべき。 ・基本的な生活環境、福祉、教育、子育て支援の各種サービスの充実は当然であるし、理解もしているが、総じて労働や教育に関する価値観や認識は古いと思う。時代に応じた、時代を見据えた街のモデルの明示や必要な思考、知識の提供を市民の声を基に協力して進めることができなければ、今、市が抱えている諸課題を改善することができると考えます。
60-74	・街の景観の乏しさや路肩のゴミの多さが残念。特に近年ペットの糞を袋に入れて草原に捨てる人等モラルの低さが目立つ。駐車マナー等を含め他者に不快に感じさせる住人が多く、法の後ろ盾により一般市民の日常生活を担保してもらいたいものです。 ・「ワーク・ライフ・バランス」について、市や学校ではずいぶん遅くまで明かりがついているが、生活に負担をかけているのは明確で、指導者が問題視していないのでしょうか。疲弊している状態で良い仕事はできないと案じています。
40	道路にゴミが多い。年に2回位、町内会ボランティア等でゴミ拾いやるなら参加するので募集してほしい。パークゴルフ場からクロネコヤマトまでの道路のゴミのポイ捨てがひどいです。
40	・草刈りボランティア活動を活発にし、ふきや雑草など刈り取る作業に高齢者に参加してもらえるようにしたら良い。防犯、景観上も良い。 ・高齢者が役割を持って生活できるようにしてほしい。「長生きしたくない」と言っています。 ・子供リーダー育成してください。子供会担当が高齢化している。世代育成が難しい。
50	地域スポーツクラブを創設して、部活動を学校から離す仕組みにする。
65-74	市内で運動できる歩くスキーマのコースの整備を望んでいます
50	幅広い世代の意見を聞き、良く考えて実現できれば不満だらけにはならないかと思ひます。「前例に無い事」も少しずつ取り入れて行ける柔軟な対応できる人たちが増えるといいと思ひます。昔あった看護学校を作ったら良い。自宅から通える学校があるというのは大事だと思ひます。そこから高卒者の流出を防ぐことができれば少し元気になるのでは。
20	自分は知的障害で支援就労を受けています。根室は障害者にあまり良い所とは思ひません。遊ぶ所もコミュニティ広場もなく楽しい生活してるとは思ひません。
65-74	子供が遊べるような施設、運動公園を作る話はどうなりましたか。それと、子供しか遊べないのでしょうか。高齢者も孫と一緒に楽しめるような場所を一か所でも中に作ってくれたら嬉しい。冬は危ないから歩かないようにすると、高齢者は運動不足になりがちで人と会うのも少なくなる。すべての事に決定が遅い。
65-74	ふるさと納税はあるが地に足の着いた政策を希望。
40	・以前は町内会でやってくれていた、道路わきの花・木ゾーンだが、もう木はボロボロ、雑草も多い。思い切って整備してほしい。歩道も斜めで車椅子の散歩が危ない。 ・ボランティアも気が向いたときに気軽にできる方法を希望。高齢の方が長年、頑張ってくれていて、頭が下が

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
	るが、敷居が高く一度入ると抜けにくい印象がある。ボランティアも調整できる有給のアドバイザーがいた方がいいと思う。
65-74	・新聞もとってなくて、インターネットもそこそこなので、根室市の情報が入らない。 ・舗道の雑草が気になるなど、きれいな街づくりをすすめるべき。観光客受け入れるには今の根室市の街並みは恥ずかしい。高齢者の方のパートで雑草採りをしてはどうでしょう。漁業がだめです。桜の木を植えませんか、観光に、花の街根室に観光客を。
50	市民の声を聞いていない。税金の無駄遣いだ。市の職員の給料が高い。
65-74	楽しく参加できるイベントがあれば参加したいし、もっと色々取り組めることがあると思います。年寄りの方が元気で若者が今一つ、元気がない気がします。若者がいきいきできる街づくりをして下さい。
65-74	現在、根室市全体で抱えている問題についての情報を、今以上、市民に発信して対策、現在の進行状況等、早期に知らせて、解決に向けていく必要があると思う。高齢化、少子化は現在起きており、早急な対応が必要と考えます。
40	・自然減、社会減への対策、選択と集中、何に選択集中するべきか、住民と市役所で話し合える場(町内会議の市職員の参加でも良いと思う)が欲しいと考える。
40	・市役所全体に、根室の活性化についてあきらめムードを感じる。ふるさと納税を活用し、今いる人材・建物を活用し、やる気のある人をどんどん応援する制度を作してほしい。(有償ボランティア制度も含めて) ・地域づくりに対するアイデアはたくさんあるが、それをどのように活かせばよいかわからず、知り合いの市役所職員に話しても、ふーんで終わる。 ・まずは、今ある制度の充実などできるところから始めてほしい。制度・システムはあるが形がい化しているものが多いと感じる(あるいは、そもそも知られていない)以上を含めて、市役所による行政説明会の頻回な開催を求める。
75	市からの情報誌にあまり目を通していなかった事に反省をしております。
30	・市のイベント(子どもが楽しむような)を企画してほしい。
30	・今年は、コロナ対策という新たな難題に直面した際に、どこよりも早く給付金を支給してくれたり、小学校へのタブレットの手配など市の運用がとても市民に還元されているなど感じ、根室市民として初めて感謝と誇りに思う気持ちを持ちました。
20	・同じ境遇や共通の人達が気軽に集まれる場所があったらいいなと思います。趣味でもいいし、事故や病気、仕事など何でも集まる内容はいいと思うので、一人でも悩んでいる人のために話し合えればいいなと思います。
50	・まずはゴミの無い綺麗な街にしましょう。そして子どもたちが住み続けたいと思える街にしましょう。子どもたちに根室市の現状を伝えましょう。年に600人減っている人口減に歯止めをかけなければいけません。
75	意見・提案・アイデアを考える時に、私達の頭では色々ありこれと言うものが浮かんできません。町づくりに対する今回の様なアンケートを出して頂ければ回答しやすいと思いますが。
60-64	活気がなく淋しい町になっています。公園にもっと木花、ベンチを増やして気が休まる公園にして下さい。市民にやさしくすみやすい町に。
60-64	その人その人によってワークとライフのバランスの比重のかけ方が違うと思います。感じ方も違うと思います。これから根室市も新庁舎を建てられる事ですので、庁舎内にこういう相談に乗ってくれる空間と「ワーク・ライフ・バランス」をしっかりサポートしてくれるスタッフの育成をお願いしたいと思います。若い世代から人生経験した方等、幅広い人材こそその世代に共通した所から、見いだされる事があるように思います。これからの根室市は若者が少ない事から早急に取り組む課題だと思っています。まずは庁舎内で働かれている若い世代の方々から意見などを吸い取ってみてはどうでしょうか？これからは、若者が”根室市”を担っていくのですから。よろしくお願い致します。
30	まちづくりにおいて、市民のマナーも不可欠だと思います。昨今、高齢者の運転・歩行マナーに呆れます。信号機がない横断歩道で子ども達が渡ろうとしているにもかかわらず、止まろうともしない運転高齢者。歩行マナーでは、横断歩道が無い道路で車が来ているにも遮って渡っているのを目撃します。グランドホテル〜「はびはび」間の道路の斜め横断多いです。
20	根室市全体でワーク・ライフ・バランスの整った暮らしをして行く為には、まず市役所からはじめていくべきだと思う。知り合いが市役所勤務だが、根室市に残るべき若い人材程薄給で残業代もつかない残業を遅くまでしている。若い人材が流出しない為にも、市役所のワーク・ライフ・バランスを改善していった方がいいのではないか。
30	今の子供たちは、会話が少なくコミュニケーション能力に欠けていると思います。言葉を知らなすぎだと思います。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
	す。やはり「地域で育てる」というのは大事です。おじいちゃん、おばあちゃんから得られる知識もたくさんあると思います。コロナでなかなか人とふれ合う事が難しい世の中になっていますが、これからの世代の子供たちにとって会話やコミュニケーション不足というのは、人格を作るうえでマイナスになるのではないのでしょうか。スマホ、ゲームだけでなく、生身の人間と関わる事が大事だと思います。親同士のコミュニケーションもとても大事です。いざという時に知らない人とでも助け合える根室であって欲しいです。私たちは、色々な人たちに助けられて生活しています。本当にありがたいと、きっとこの先この体験を生かせることができればと常々考えております。
60-64	室内でお年寄りも子供も親も一緒に過ごせ、遊べるような施設があればよい。中標津のゆめの森の公園のようなものがあれば、いろんな人と交流もできて、年中通して体が動かせていいのではないかな。根室は寒い日が長いのでこういうものが少しでも増えていけばいいのではと思います。
65-74	ものづくり工房を設置してはどうか。3Dプリンター・レーザカッター・木工用機械等を設置して、水産・農業・加工以外の工房づくりで移入人口を誘発するなどの新たな試みが必要ではと思います。（各設備の利用料での運営経費の捻出）。
75	政治に関心がなくなった。年齢だからと言って勉強しなければ。
30	根室市全体が高齢者向けという感じがします。Uターンで根室に就職のため帰ってきてても、結局札幌へ出て行ってしまう知合いや友人がいました。施設やイベントサークル等をもっと充実させて、若い人を引き止められるようなまちづくりが必要な気がします。

②地域環境との共生

根室市の総合戦略においては、基本目標達成に向け以下の地域環境との共生が推進されている。

- | |
|---|
| a)既存公共施設の有効活用による都市機能の充実
b)地方創生の計画的な推進と財政運営 |
|---|

今回の市民意識調査における自由意見において、地域環境との共生に向けた意見としては、スポーツ施設や学校等の教育施設、観光関連施設、市役所などの公共施設の更新、住宅対策、にぎわい・明るいまち創出、空き家・空地対策に関する意見が多かった。

特に、今回の調査で意見として多かったのは、にぎわい・明るいまち創出として、中心商店街のにぎわいの創出、街路灯の整備に対する意見が多かった。

＜地域環境との共生＞

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
50	私はスポーツで青少年センターを利用していますが、建物が古く、狭く、使用しているネット、ボール等もボロボロの状態です。高齢者もイキイキとスポーツをしている方も多くいるので、センターの建て替えを希望します。学生の大会をするときも、コートが狭いので、動きづらいし、危険を伴います。皆が利用しやすいスポーツ施設を希望する話をよく耳にします。他から来根する方々のためにも早めに取り組んでほしいです。
30	・住宅のレベルも古いので住みづらい物件が多く、外から来る人にとっては隔離同然です。
18	もう一度、映画館を建ててほしいです。
40	大規模な街づくり改革が必要。ショッピングモール等の市としての商業施設に地元企業をタイアップする。
20	・住宅リフォームの補助金制度の充実、釧路市はやっている。しかし、根室は補助金制度もない。古いのに賃貸の家賃は高い、新しい物件もない。若い人たちの住めるような市ではない。市の制度を見直すべき ・市民が行きやすいチェーン店のカフェを作るべき。北見は大学生の意見でスターバックスがオープンした。今までは遠くて行かなかった人も、多く来店してとても盛り上がっている。市の人口を見ても近くの店の場所を見ても作って良いと思う。「日本最東端のスタバ」と聞けば観光客も来ると思います。もっと「日本最東端の地」を活かした活動をするべき。スタバで働きたいと思っている人も学生も多いと思います
20	運動公園のところに新しくできる施設が楽しみです
50	・空き家、空き地の整理(宅地としての再利用)。 ・市内移動の際の道路の充実(緑路や沢などで分断されている)。 ・根室の金刀比羅神社の祭りは誇りに感じているのでどんどんPRしていけばどうでしょう。 ・住宅地が郊外へ延びているので通学が大変そう。 ・育てる水産業を進めていかないと根室の中心的な産業なので。
40	・坂道が多いのでロードヒーティングを多くしてあれば良いと思う。 ・ユニクロがないのが残念。 ・一方通行が分かりにくい。
18	若者が遊べる場所を作ってほしい
30	・根室市役所を建て替えると聞きました。札幌の白石や厚別区役所では乳幼児向けのプレイルームや図書コーナーを小規模だが開設しています。そういう場所が少しでもあるだけでファミリー層からの印象は大きく変わると思います。 ・子供向けの屋内施設を作るそうなので期待している。 ・根室は自然環境が大変よく、公園も広く整備されているところが多いので子供が喜んでいる。 ・後は、活気やショッピングの利便性が上がれば最高です。フードコートや大型のゲームセンターのような近代的なスポットがないのでどうしても週末は釧路や中標津に出かけてしまいます。 ・景色の良い街なのでここに越してきた。去年より好きになった
30	・ゴミが落ちているのがそのまま。他の街よりゴミが落ちていると感じる。 ・老朽化した家があるままになっている。壊してきれいにした方が見栄えが良い。 ・ホテルが古い。新規のホテルがあれば良い。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
	・観光施設の再整備、清掃。ネイチャーセンターの窓がハエだらけだった。古くてもせめて清掃が行き届いてないといけない。一方、北方四島交流はとてもきれいでピカピカでした。力を入れている施設とそうでない施設のギャップが激しい。
40	市営住宅に住んでいて、来年より住宅使用料が約2倍になると知らせがあり、大変残念に思います。収入が2倍になった訳ではなく使用料が2倍は厳しいです。家賃だけではなく、今後子供の学費や老後の資金をためていかなければならない。年金だけでは老後暮らしていけません。目先だけではなく今後の生活も考えてほしい。団地の使用料に6万円以上は高く、今後また上がると思うと安心して暮らしていけません。決まりであれば仕方ないですが、なんとかしてほしい。住宅ローンを組める人ばかりではない。
20	・冬期、雪による事故多発場所へのロードヒーティングの整備をお願いしたいです。 ・駐車場が狭く(特に郵便局)路上駐車が目立ち、事故の原因となる可能性が高いため整備をしてほしいです。
75	市中心部に公営住宅や種々の生活基盤施設を集中させコンパクトな市街地形成をさせるべきと考えます。そのことにより街中に賑わいを実現させてほしい。
65-74	緑町を活気のある商店街に、祭り等市民が集まるよう、空地・シャッター開かない店等を少なくしてほしい。観光客を増やしたい。
60-64	・緑町商店街の大改革→大型駐車場を設けて、その周りに商業施設を設置→複合商業施設化
30	・茵舞地区にはまともな公園が一つもない。閉校になった小学校のグラウンドも荒れ果ててひどいです。整備してほしい。せっかくあった遊具もさびて危険な状態です。
75	空家を無くしてほしい。野良猫の糞による花畑への被害があるので、困っている。
20	・古い壊れた家が危ないし気になる。 ・砂利道が多くて高齢者が歩行していると気にかかる。 ・「市民の森」の周辺にゴミが多くて気になる。 ・光洋町の除雪が雑。
20	・シャッターが降りている街並みは少し寂しく思う。高齢者、子供と特定するのではなく、根室市民全ての人に寄り添うことができる温かい市になれば良いと思いました。根室市民一人一人が根室市に対して関心を持っていく方が良いと思います。何となく他人事のような冷ややかな感じがします。 ・色々な政策されているのをこの調査票で知りました。
30	・成央、光洋の学校が古すぎて大丈夫かと心配ですし、子供が「廊下に雪が積もる、湿気で滑って怖い、寒すぎて、もはや外」と光洋中学校生が言っています。西高に移ると思っていたので安心していましたが、まだまだあの校舎のようで、これから通う子供たちが心配。
65-74	目立った建物はいらないが、矛盾しますが、建て替える市役所だけは立派な役所を希望します(利便性も含めて)。市職員の仕事に対するスピード感がない
40	住環境について、根室で暮らしたいと思って、ネットで検索しても物件の少なさにびっくりします。昔からの習慣なのかはわからないが、地元の人をつてで探してもらうといった方法でしか良い物件に出会えない。移住者を募集しても結局住む場所の確保が難しい。また賃料が他の地域と比べて高い。古い家やアパートの改修費などに補助金を増やし、民間企業とも協力しながら、住まいの充実を図り、情報を発信して行ってほしい。
40	・生活しやすい、生きやすいよう、もっと考えて市で対策してほしい。 ・せっかく公園があるのになぜ遊具を無くしてしまうのか。 ・空き家、空き住宅を低家賃で貸すことはできないのか。
65-74	駅前が寂しい。真ん中あたりに桜の木をたくさん植えてほしいです。根室市はどんどん悪くなっています。魚も野菜も高い。みんな大変だと思います。
20	鹿が出やすい所に少しでもいいから街灯を増やして住みやすくしてほしい。 道路わきの草刈りをもう少し早めに始めてほしい。道路の修理もお願いしたい。遊ぶ所が欲しい。
30	街全体の街灯が少なく、切れていたりして暗い道が多く、子供や女性が夜に歩くのは危なく感じるので点検や見直しをして欲しい。
50	簡易舗装の道路が多く、うねりや穴が開いた道路がとても多い。生活道路の整備も重要と考えます
50	落石全体が暗いです。特に東は街灯が少なく要望しても全く動いてくれません。街灯がだめなら、電灯を明るくしてくれるだけでいいのです。市内はLEDに変えるといっていますが、落石は入っていないのでしょうか。落石スタンドと落石自工の間の森の所、落石中学教員住宅の入口入った所、根室フットパス通り道、落石駅の道路に電灯希望する。
65-74	1週間に1回青少年センターを利用しておりますが、センターの老朽化を感じております。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
50	・老朽化した青少年センターの建替は進んでいるのか？（計画） ・市役所はかなり古いので防災上新しくするのは良いと思うが、優先順位をきちんと考えてほしい。
20	・道路（住宅街など）が凸凹で段差が気になります。穴を直しても除雪などで削られて、また直しの繰り返しなので全部平にしてきれいに舗装して欲しいです。 ・砂利道もなるべくアスファルトにして欲しいです。穴を埋めても雨や雪ですぐに穴が目立ってきてしまうので・・・仕方ないことなのですが、少しでも改善して頂きたいです。
40	○月岡町の街灯について 私はパークゴルフ場周辺に住んでいます。ここ数年新しく家を建てる人が増え、子育て世代が多い様に感じます。ただ、パークゴルフ場の前は1つも街灯がないため満月の日以外は真っ暗で冬は特に暗くなるのが早いで、人が歩いていてもわかりません。また、野生の動物（鹿やキツネ）がよくいるので、車を降りて家に入るまでバツタリ遭遇して驚くことも多いです。街灯があればとても助かるので、検討していただけたら幸いです。
65-74	努力です。実行です。人です。
60-64	活気がなく淋しい町になっています。公園にもっと木花、ベンチを増やして気が休まる公園にして下さい。市民にやさしくすみやすい町に。
40	・月岡町方面など、住宅がどんどん増えているのに街路灯や防災灯が少なく、夜になると真っ暗で冬期間は夕方になると子供だけで歩かせることに不安があります。大人でも歩きたくない状態です。町内会の方に相談したこともあります。何も改善されません。市の対応をお願いしたいです。
65-74	・道路が良くなって近隣の町村に行く為の時短が少しできました。 ・市内各所にある市が整備してきたものの中には、修理、整備がなされず放置の形で残っているものも多く残念です。例をあげると、高規格道路側のキャンプ地跡、バンガロー古めかしく情けない表情です。又、明治公園内アスレチックあとの山野の整備、足の踏み入れる方法も見つかりません。小さな池もあって昔ながらの小川・散歩道影も形ありません。せめて歩道側の草を刈るなどの整備が必要と・・・。新しい物をどんどん作るのもどうかと思うし、子供達、若者達が活動できるように。
20	商業施設、遊べる環境をもっと増やしてほしい。
30	駐車場が少ないと思います。
30	・中学校へのスクールバス（統合された後）配備 ・公共施設（教育機関）の建替え、暖房設備 ・商業施設・飲食店の充実（チェーン店）
30	・緑町商店街にもっともっと活気があればいいなと思います。駐車場も多く人が集まる場所がほしい。 ・ペットと一緒に過ごせる施設がほしい。
50	空き店舗を有効活用したり、公共施設を誰でも利用しやすい所に作ったり、わかりやすくしてほしい。

6. 2 まとめ

平成 27 年度に策定された根室市創生総合戦略は、少子高齢化や人口減対策として、若い女性をはじめとした次世代の若者、子育て世代が安心して働くことができ、結婚し、出産し、子育てしていけるまちづくりを目指すとともに、もって移住者等の新しい人の流れを創り出すことを目的とした計画である。

このため、戦略の目標は、結婚支援、出産・子育て支援であったり、産業の活性化・雇用の創出、観光客等の交流人口の創出であったり、コミュニティの確保と市民協働のまちづくりによる市民サービスの充実等であり、高齢者や障がい者等の社会福祉、教育、交通・生活インフラ、環境、北方領土対策等を含めた根室市総合計画の一部を重点的に戦略化したものである。

この総合戦略に基づく各種の施策の現時点での実施効果を把握するために、主として根室市総合計画に対する市民意識の変化を把握するためのアンケート調査結果から、総合戦略に対する意識調査に関連する項目や自由意見を抜粋し、市民意識を整理した。

今年度の調査では、現在、市で実施している施策の認知度の把握についても昨年度調査に引き続き行った。その結果、総じて、子育て、医療関連、水産業の振興に関する施策については、比較的認知度が高かったものの、生活環境、教育・文化関連、行政情報などに関する施策に対する認知度は低いことが把握されていることから、施策効果を把握するためには、こうした各種施策の周知を図ることが重要と考えられる。

ただし、自由意見の中には、この調査を通じて市で実施している施策を知ったという意見もみられていることから、周知のあり方を見直すことも重要と考えられる。

（１）住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。（基本目標１）

- ・ 今回の調査結果の特徴としては、子育て・少子化対策に関しては、市の政策に対する評価がみられ、総じて満足度の向上、不満意識の低下が、過去の調査よりも顕著に結果として現れていた。
- ・ 特に、経済的支援に関しての要望は少なくなっており、今後の課題としては、託児機能の充実と子どもの通園、通学環境に集約されていた。
- ・ 一方、医療環境に関しては、満足度の向上、不満意識の低下はみられているものの、診療科目の充実、救急医療、医療スタッフの充実に対する不安や要望は多く、引き続き、さらなる医療体制の充実に向けた対応が求められている状況にある。
- ・ 一方、全天候型の施設に関しては、今年度調査でも多くあがっており、引き続き、早期整備への対応が求められている状況にある。

（２）住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込み、安定した雇用、新しい人の流れをつくる。

（基本目標２）

- ・ 現在、根室市の課題は、人口減少、少子高齢化、雇用の場の確保などがあげられるが、最大の課題は、根室市の基幹産業である漁業や水産加工業の低迷にある。平成 28 年から禁止となったロシア 200 海里内サケマス流し網漁に加え、近年続くさんまや秋サケの不漁の影響が、根室市経済に大きな影響を与えているだけでなく、市民生活の不安を助長している。
- ・ こうした課題に対して、漁業に関しては育てる漁業（養殖事業）の推進、水産加工品の高付加価値化、ブランド化、新規産業の創出、商店街の活性化など、取り組み課題は多い。

- ・とりわけ、育てる漁業に関しては根室市でもホタテ漁場造成事業などが進められているが、早期の具体的成果が求められている。
- ・一方、ここ数年続く水産業の低迷を背景として、より、即効性の高い企業誘致に対する期待が高まっている状況が把握された。もちろん、新たな特産物の開発や観光振興など、継続して取り組まなければならない課題に対する認識は高いものの、産業振興、経済対策が、より喫緊の課題となっている状況が把握される。
- ・観光振興に対する市民の期待は依然として大きく、特に、自然・景観、文化等の資源の有効活用と食メニューの展開、さらには、道の駅の充実、宿泊施設整備が市民の意見として多くあげられており、引き続き、受入体制強化に向けた関係者、市民を含めた一体的検討を進めることが重要と考えられる。

（３）みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する。

（基本目標３）

- ・市民意識調査の自由回答から市民協働、市民参加、地域コミュニティ、地域環境との共生等に関する意見をみると、行政情報に関する要望、ボランティア活用のあり方、市民参加のまちづくり、地域活性化へのスポーツ振興のあり方に関する内容が多かった。
- ・その中で、市政情報をこのアンケート調査で初めて知ったとの意見もみられ、さらには、様々な施策を実施していることを知ることによって市政を改めて評価するといった状況もみられることから、広報やSNSをはじめとする市政情報の提供のあり方が課題として浮彫となった。
- ・まちづくりへの参加方法のひとつでもあるボランティア活動に関しては、特に、高齢者の生きがいやまちづくりへの参加の観点から重要との意見も多かった。
- ・一方、地域環境との共生に向けた意見は多くはなかったが、空家や空き地等の有効活用等に関する意見は、今年度調査においてもあげられているほか、特に、公共施設の更新、中心商店街のにぎわいの創出、街路灯の整備に対する要望が多かったことが特筆される。

資 料 編

資料 1. 市民意識調査自由回答

年齢	問 22 意見・提案
65-74	このようなアンケート調査は初めてですがよい事だと思いました。
65-74	根室らしさを全道、または全国に発信する様なことをして欲しい。 ちょっとびっくりする様な事でも良い。まじめくさっていれば何も変わらないと思う。
50	私はスポーツで青少年センターを利用していますが、建物が古く、狭く、使用しているネット、ボール等もボロボロの状態です。高齢者もイキイキとスポーツをしている方も多くいるので、センターの建て替えを希望します。 学生の大会をするときも、コートが狭いので、動きづらいし、危険を伴います。 皆が利用しやすいスポーツ施設を希望する話をよく耳にします。他から来根する方々のためにも早めに取り組んでほしいです。
30	若年者の減少が大きな問題だと思います。根室市の将来のためにも、育児、教育環境の充実化、企業誘致などによる労働環境の充実化が大切を考えます。
40	根室は野良猫が多すぎる。ふるさと納税で野良猫に去勢手術等を行うことにより人間と猫との共存。とにかく野良猫が多すぎる。汚い街
50	・高齢者と子供のドローン教室 ・せっかくある自然を利用したアウトドア教室
75	啓雲中学校横の明治公園池に降りる短い坂道の水の流れに足が悪いのでいつも不自由をしておりました。久しぶりに先日行った所、すっかり水の流れを止め足元のぐしゃぐしゃが無くなっているのに感動しました。ありがとうございます。できれば細くて良いのですが斜面に1mの手すりがあれば最高です。
50	新型コロナ対策としての1人10万円の特別給付金について、他の市町村に先駆けて迅速な対応をとっていただいたことは大変すばらしかったと思います。 同じく根室市出身の学生へのふるさと産品の発送も非常にタイムリーな施策だったと評価しています
20	まちづくりの大切さを市民は知っています。基幹産業が栄えてこそ出来る事です。 外洋の魚に依存してきた根室です。今、行っている漁業振興を拡大させてください。外洋に頼らない位。
40	・もっと緑と花を増やしてほしい。 ・食品を購入できる大型スーパーを建設してほしいです。 ・根室駅周辺を活気ある風景にして欲しい。 ・漁業が不漁なので漁師の方などにも何か保障や待遇をして欲しいです。
18	気軽に食事できるようなファミレスなどがあったら良いと思います。
18-19	家具や雑貨など購入するのに、釧路まで行かなければならないので、ニトリなどの施設があれば有り難いです。
75	基幹産業(納沙布、さんまに依存するのだけでなく)ふるさと創生事業への参画等、他のブランド製品の開発等を考えるべきときが来ていると思う。例えば、大根・人参・ウド・ぜんまい等の野菜類やカレー、ホタテ、カニ、カキ等の育てる漁業、山菜等に取り組む時期に(遅きに失した感があるが)来ていると思う。
30	市外から遊びに来たいような街ではないけれどこの街が好きでずっと住んでいるので、何か新しい物というよりは、今ある歩道、生活道路などの整備や、医師の確保など、現状の改善に全力で取り組むべき。漁業も漁獲量の減少から市内関連企業なども売り上げを落とす中、活気ある街づくりを考えるなら魚がいっぱい獲れるよう環境を整えていくのが良いのではないかなと思う。
30	子育てが不安で、保健師さんは話を聞いてはくれますが、子供の健康に関すること以外のことなど、もっと細かい所を相談できる所があるといいと思います。 ドライブスルーのある店が欲しいです。チャイルドシートから降ろすのが大変だし一回一回起こすことになるので。
65-74	・霧多布温泉ゆうゆに続く温泉の泉脈が根室(落石かどこか)にも来ていると聞いたことがあり、摩周湖の道の駅のように足湯に入れて自然もみられる、皆がリラクセスできる場所があるといい。 ・車いすで鉄道の旅をする人が「根室駅を降りて一人で入れるホテルがない」と言っていたので、駅と繋がっているホテル、商業施設(カニ食べられる)、文化施設、飲むところがあるといい。 ・夢の駅+温泉付きホテル(CABINホテルのような石を使った)+スポーツジム。屋上にはヘリポートがあり、北方領土に行ける。 ・障害者のためにダストレスチョークの工場をつくって欲しい
20	ある程度働いたら、根室から離れるつもりです。根室で子供を産み育てることは念頭にありません。老後も住み続けたいとは思っていません。
75	バス路線の不便さを感じます

年齢	問 22 意見・提案
30	・ 3 年前に千歳市から転勤してきましたが、街自体はきれいで海鮮も美味しくてとても良い所だと思います。ただ、地元の人のプロ意識の低さに驚き、あまり外食したり買い物に行こうという気持ちになりません。外食をしても、この量と味でこんなに高いのか、家で食べようとなります。先日もステーキを食べに行った所で一緒に注文したライスを 20 分後にだされてうんざりしました。 ・ 買物していて何か聞いても対応が不快だったりして、きっと根室以外で暮らしていないので、ここの人は普通なのだと思います。もっと商業施設を外から呼んでチェーン店を増やし、外からの転勤者を増やしていき、接客のレベルの違いを根室の人に学んでもらいたいです。 ・ 住宅のレベルも古いので住みづらい物件が多く、外から来る人にとっては隔離同然です。子ども達も多い様に感じますが、成人して地元で働きたくても働く場所も限られていると感じますし、せっかくの素晴らしい自然と海産物があっても活気も人の往来も無ければすたれる一方だと思います。 ・ もっと観光に力を入れるべく、ホテルや商業の誘致と新しい住宅(賃貸)の建設に力を入れるべきだと思います。
65-74	道の駅について一言、道の駅「スワン 44 ねむろ」素晴らしい景観ですが残念ながら運営面がだめです。トイレとソフトクリームだけ。リピーターが来るわけない。 仕掛け、進歩、作戦もない。せっかくの道の駅が残念。まずい、メニューの無さ、シェフの腕の無さ、残念。せっかくの玄関口、市で少し考えてみたら。北方領土の地だから、ロシア料理を出すとか、良い広さのホールあるのに、無駄の建物。頑張れ根室。
30	水道料金が高すぎる。収入を増やすことも大切だが、支出を減らすことも大切。ふるさと納税の財源は上下水道の整備、市民への料金の還元という形でぜひ進めてほしい。
18	もう一度、映画館を建ててほしいです。
65-74	根室の良い点、悪い点を住民が再確認しあい、その事を生かした町づくりのために住民が参加できる事業を行ってほしい。
75	大規模地震の発生が予想されています。それが現実となった時の対応を心にとめておいてください。
18-19	根室市内の飲食店を対象とした食事券の配布なども実施されたが、地域の経済発展等を促すきっかけを作ることが見込める結果が得られたのであれば、前回の配布のような取組みがあるととても良いと思います。
40	・ 貴重な財源の使い方について、遊具設備など市民生活(一部の)のために使うのではなく、外から資金を継続して呼び込むものに使うべきである。内部の充実が必要ではあるものの、人口増加や経済の循環に結びつきにくい。それよりも街の魅力を高め、外資を稼ぐことで雇用増加や一人あたりの所得増加、市としての収入アップにつなげるべき。街の魅力は他者との違いにあり差別化や個性となる。 ・ 個性発揮により、世界から人々を呼び込んで経済活性化したのがスペインのバスク地方にあるサン・セバスチャン市である。非常に交通の便は悪いが、目的達成のために建設した美術館の名画と美食(食べ歩き、街並みも良い)のために世界中から人々が集まり、20〜30 年で豊かな街となった(当初、名画購入で市民から大反対あったが、数年で借金返済した) ・ 根室市に世界的な美術館、博物館を期待します。あと、街の景観づくりと食へのこだわり。
30	このアンケートについても、独身者や子供がいない人の事を考えられていないものになっている。どの世帯も高齢者や子供がいる家庭ばかりではない。独身や子供いない人や家族がないがしろにされていると感じる。どのような形であっても暮らしていける町を目指したらどうでしょうか？このアンケートを有意義なものとは思えませんでした。
40	耳鼻科や眼科が少ないので増やして欲しい。災害で国道が通行止めになった場合、生活物資が止まる恐れがあるので、道路等を整備してほしい。
30	人口が少なくなっているのに市役所の人数が少なくなっていないのがおかしい。人数が多いからと言って行政サービスが充実しているかと言ったらそうでもない。
60-64	・ 人口減少の中、いろいろなアイデアや前向きな考え方を進めていく行政の方々には感謝しています。根室だけでなく、日本全体は、この先どうなるのだろうと一年一年、年をとる事に不安感が増えます。特に今年は。 ・ 豊かになり豊かさの中で育った日本人の子供たち、高齢者とはあまりにも考え方、育ち方が違いすぎる。苦労はしていないけれど考え方はきれいな子供が多い。子供達が森も木もみえる大人になることが願いです。そんな根室の人になってほしい。
30	鮭鱒、サンマがだめ。どんどん活気がなくなっていく。観光やスポーツに力を入れようにも宿泊施設が不十分。今は全てにおいて中途半端な状態。コロナで分かった事は、観光客に頼らなくても、街がうるおう方法を考えなければならないということ。大学や専門学校ができるのも良いかも。鮭の稚魚放流、花咲ガニの稚ガニ放流・育成に力を入れるとか。根室で野菜農家は少ないけれど、特産品生み出すのを頑張ってみるとか。根室に來なけれ

年齢	問 22 意見・提案
	ば食べられないホームラン焼き、オランダせんべい、甘太郎等広告に力を入れるとか。
20	根室市の政策について知らないものが多く、私自身、情報を集め、地域に対しての理解を深める必要があると感じました。ただ、その中で住んでみて感じたこととして以下の点があります。 ○不妊治療への経済的負担の軽減 市の立地上、帯広や札幌に行かねばならず、負担が大きい、北海道の認可がないと市の助成を受けられないのはなぜか。道の助成回数には限りがある。それ以降はどうしたら良いのか。誰しもが思う「子供が欲しい」と言う願いはこの町に住んだらあきらめることになる。改善を願う。 ○学校現場・現状の理解 学力向上以前に保護者対応で、現場は疲弊している。まずは現場の声を聞くべきだ。学校教育に関心がない地域と連携して、学力が向上するはずがない。ICT 機器の導入などで学力向上を謳うのは結構だが、教師の健康と地域の理解無くして学力向上などできないのではないだろうか。
75	・ 北方領土（ロシア島民）と 1 日も早い共同事業の実施を願う。 ・ 根室市独自の水産物、海産物、各種養殖事業の研究を推進 ・ 根室市の漁獲水産物（幅広い各種）2 次、3 次加工の推進を研究：例えば、魚は鮭鱒、カレイ、マダラ、エイ、海草は昆布、ワカメ、布海苔、甲殻類はホタテ、ホッキ、アサリ、エビ、カニ、ウニ、軟体物はタコ、イカ、ナマコ、ホヤ、お菓子や野菜や穀物と混合した食材、新しいものが発見されるのでは無いか ・ 働く場所、職場が無ければ人は集まりません。いかに働く場所を作るかが大きな課題だと思う。根室市はいかなる困難であっても水産を無くして語ることは出来ない。その宿命にある。一時的な解決策に惑わず、必ずや水産漁業は回帰します。根室市は住みよい街、市民が団結できる街です
30	・ 学校給食に児童・生徒・保護者の意見を取り入れて充実したものにして欲しいです。品数や栄養バランスなど他町と比較すると子供が満足しているのか疑問です。 ・ 子育てに関するサポートとして、保健師からの連絡や健康相談、クルクルなど大変お世話になっており、安心して子育てができます。雨や雪の日でも遊べる場があると大変助かります。 ・ 根室の方は優しい方が多く、声をかけて下さいます。住みやすい街だと思います。ありがたいです
40	・ 漁業に加えて観光で有名にできる地域だと思う。 ・ 温泉（ホテル）を誘致し、道外からの観光客を集める。花咲線は日常の足としては厳しいと思うので、道路の整備に力を入れるよう国に働き掛ける。 ・ こんなに海の幸が素晴らしい場所はない。その海産物を食べられる高級ホテル（温泉が掘ればベスト）が一つあれば V 字で回復すると思う。星野リゾートが来てくれたら…。若い人もそれならここで働きたいと思うのでは。 ・ 本当にポテンシャルが高いと思うので、まずは外の金を集めてから福祉のことを考えれば良いのでは。先にキャッシュを稼がないと、老人も子供も守れなくなると思う。ぜひ、高級ホテルの誘致をよろしくお願いします。
20	・ 「市民の会」など誰でも参加できる交流会やイベントを毎月開催し、チラシやポスター等インターネットを介さずに根室市の情報や催しを全員がしっかりと認識できるようにする（市民だより等の作成、配布）。 ・ 季節に応じたイベント、例：クリスマスのリース作り、フラワーアレンジメント体験、正月の凧作りなど参加したくなるイベントで市民の交流の場を増やす。 ・ 根室市民アンケート（パリエティに富んだ内容のもの）を実施し、結果を公開し最終的に根室市のまちづくりに関心を持たせ、現状を踏まえた上で改めて意見や提案を募集する。
40	・ 釧路～根室間の J R について不満を持っています。椅子が古くて疲れる。本数が少ない。時間がかかる。J R の車両を新しく更新するか、廃止してバス転換を検討してほしい。 ・ 札幌～根室間の高速バスの本数を増やして欲しい。（現在は夜行しかないが昼の便があれば利用が増えるような気がします）
65-74	高齢者が増加し、一人暮らしの方も増えている。若い人が進学後に魅力を感じて根室に帰って来たいと思えるような街づくりを期待したいです。仕事が無いと帰って来られないし、生活が出来るだけの収入も欲しいです。
30	・ 本調査について、教育や学、スポーツ、レクリエーション面の設問があるなら、対象を 16 歳以上に限定するのではなく、更に若い世代の声も聞いた方が良くと思います。今後、より活気溢れる街にしていく取り組みの一つとして、若い世代が住みやすい街を意識されるのが良いのではないのでしょうか。 ・ 高齢者への支援も必要ですが、根室市は若者が生き生きとできる場所が少な過ぎるように思います。最近、ネット社会が普及しすぎているが故に得られている部分も多いですが、失われている部分も多くあります。例えば、個人的には市内の若者が屋外でスポーツをしている様子を見たことがありません。冬季でも運動できる

年齢	問 22 意見・提案
	大型体育館やトレーニング施設を建てられるのも一つ手段ではないでしょうか。 ・就職等で市を離れる若者が多くいる中、今の若者が「根室市」に残りたいと思える何らかの変化が生まれることを望みます。
40	大規模な街づくり改革が必要。ショッピングモール等の市としての商業施設に地元企業をタイアップする。
60-64	・移住交流についてですが、今現在行っている事はとりあえず他地域から人を移住させる事ばかり進めているように思います。とりあえず事業を行っているという感じがします。 ・そんな事より根室に現在住んでいる若者をどうしたら他地域に出なくても済むようになるか、一時期、根室で分娩ができなくなった時、結構な人数が根室を出ていきました。最近は定年退職した人たちが出ていくように感じます(特に元市役所職員) ・これからは地方の時代と言われています。もっと若者の仕事(特に大学卒業してからでも働けるような会社等の誘致、何よりも根室の賃金の安さの解消(他地域から比べたら、全般的に安い)が重要だと思います。
30	・子どもが学校等を休まなくても病院にかかることができる医療体制になってほしい。高齢者に対するサポートばかりでなく、子育て世代へのサポートにも力を入れてほしいです。幼稚園と保育所は違うのは分かっているが保育所に入れず幼稚園に行っているのの仕事をしていると困ることが多々ある。同じような保育を受けられるようになれば更に働きやすくなると思います。 ・大人も楽しめるボルダリングジムを作してほしいです。花咲小学校が無くなったら体育館でできないでしょうか？冬でもできるので、根室にぴったりだと思います。
40	・ふるさと納税の皆さんの善意を無駄な事業に税金を投入しないでほしい。特定の人や市長とつながりがある人の意見ばかりで市政が動くのには納得がいかない。だから将来の見えない市になる。こんな人口で市とは恥ずかしい。 ・年寄りの意見だけで税金を使うともっと市が腐敗する。きちんと意見が出来る人を重要視してほしい。前に進むためには反対者の意見も柔軟に取り入れるべき。
75	年齢的に、もう活動してないので、答えられないところが多くて失礼します
40	飲食店がもう少しあれば、良いと思う(チェーン店；マック、ミスド、ケンタッキー等)
40	根室にも専門学校とかがあれば人口流出も少なくなりそうだけど。人がどんどん減ったらまちづくりを考える前に根室が無くなってしまいそう。
60-64	今後も市民、行政の協働がますます重要になっていくと思います。行政の一人一人が市民として各種行事等、進んで参加していく事から各自の立場を超えて良い方向に進んで行けると思う。
75	・若者が定着しやすい街づくり、特に職場、職業。 ・子どもを産み育てやすい街づくり、特に女性。
30	資源や財源等には限りがあることは重々承知していますが、5年、10年、20年先を見据えた政策の実行を願っています。未来を担う子どもたちが現在においてより活発に充実感をもって学びを行える施策や環境整備、地元の基幹産業を維持、強化していける施策など、大変でしょうが、行政の方の活躍を願っています。一市民としてできる事はしていきたいと思っています。
40	・屋内施設が建設されようとしているが、これから成長する子どもにとっては良いが、現役の学生たちにとっては使用する機会がないと思われる。子供の人数を考えても今の学生の方が多く、使用回数を考えれば青少年センターを建設した方がこれから成長する子供にとっても良いと思う。スポーツ大会の多くは別海、中標津で開催されることが多く、外のスポーツも市の運動公園よりも広く評判が全然違う。駐車場も広く使いやすい。市外へ行くことが多いのでバス代、車のガソリン代の負担も多いが、市は何の負担もなく現在の学生たちの事は考えていないと思う。センターの広さ、障害者が観戦できるセンターを早く建設すべきである。大人になってもスポーツができるので良いと思う。 ・市役所の建設も大きくする必要は無く、人口が減っていく中で、職員が増えていくのは考えられないため、経費減を考えてほしい。市民の駐車スペースは今よりも広い方が良いが、職員の方には公共交通機関や徒歩等をすすめる車通勤を減らし職員の駐車スペースは減らすべきである。 ・奨学金制度も幅広くすべきで市に必要な人材を増やして欲しい。国家資格の者には制度利用ができるようにしてほしいです。
50	根室市役所の職員から率先して変わってほしい。変わって行動に移して市民へのPRをして欲しい。
30	納税について：国保や市民税の支払いを、月払いでも可能にしてほしい。納付相談に行った時も簡単には認められない等、窓口の対応、態度にすごく嫌な思いをしました。市役所は市民のためにあるのでは。頭ごなしにダメと言わないでほしい。

年齢	問 22 意見・提案
75	・ 児童館の建設が年内着工の情報があつたが、全然音沙汰なし。どうなっているのか ・ 明治公園のスポーツ施設(大規模運動施設)はどうなったか いずれも掛け声だけはあつたがすべて実行はなし。金無し、実行無し、行政力無し
40	根室市で4月から単身赴任しています。豊かな自然環境で生活することに満足しています。厳しい財政の中、コロナ禍対策の給付金のいち早い支給には感謝しています。 市民のモラルの課題として、学校給食費未納の問題を耳にします。一部の未納は市の財政に大きな負担をかけていると思います。ルールに則った方法で解決し、どの子育て世代にも平等にその恩恵がいきわたるように願っています。
65-74	根室は生まれた町でとても好きな町です。だから、現在の衰退を見るととても寂しいです。新しい発想、方法、根室を活性化するための市の剛腕を期待します。勇み足 OK です。走りながら修正していけばよいと思います。
18	遊ぶ場所がない。
60-64	子供たちにお金を使ってください。
65-74	・ 人口の流出に歯止めをかける政策を充実してほしい。 ・ 若者が定住できる魅力的な街づくり実現してほしい。
50	他の市の良い面を取り入れ、変わらないといけない。20年前と何も変わっていない。幼児保育、学童保育に全てが表れている。むしろ20年前より悪くなっている。有資格者ではなく、無資格者がどんどん入ってきている現状が怖い。子供は将来の人材、それをもっと考えてほしいと思う。
50	高齢化が進んでいる中、救急医療が一番不安です。車で釧路に向かっても2時間もかかれば手遅れになるので、ドクターヘリなどあれば少し安心できます。
50	歩きたばこ等、罰金性にしても良いと思います。 ゴミも平気でポイ捨てする。横断歩道でも車が優先のように止まってくれない。本当に住みづらい。路上駐車も普通、コンビニ駐車はエンジンかけっぱなし、警察も厳しくしてほしい。
60-64	人口は毎年減っていくばかり、経済でも、ベトナム人しか使えない会社ばかり、学生はどんどん札幌や東京に出ていくばかり、人材確保できない状態。
65-74	①子供の為の施設を作るのであれば高齢者も体力づくりに使用でき、なおかつ市役所と併合して、子供、高齢者共々体力づくり共有できれば良いと思います。 ②上下水道を早めに直して頂きたい。茶色の水を解消して下さい。根室に住まわせていただき水に苦労しました。
40	どうにかしてごみのポイ捨てや不法投棄を無くしたい。目に余る行為をやめさせたい。緑がきれいな街なので、わざわざ人目のつきづらい場所を探すなら、指定の袋に入れて堂々と捨てれば良いのにと日々思ってしまう。何か良い方法はと考えるんですが、個々の気持ちがまとまらないと難しい事ですね。
40	・ 子供を連れて行って遊ばせたいと思える楽しい施設があると良い。屋外でも屋内でも遊べる様な、人が集まりたくなるような場所、市内じゃなくても。 ・ 郡部にも老人ホームのような施設があると良いと思う。皆、バスで時間かけて通っているので、そうしたら働く人も増える。
40	水産業の維持と観光への注力、そのための北方領土返還。
20	子育てしている人達をもっと行きやすい所を作してほしい。道路がガタガタのところを直してほしい。
20	長く根室に住んでいないのですが、考えてみると少しずつ市民の事を考えた動きはあると感じました。実現させる事ができる事と難しい事とある中で、頑張っている人達がいることに感謝しています。アンケートで改めて考える機会を頂けて良かったです。
30	・ 両親共働きで子育てをしています。仕事の時間も長いので、子供の預かり等、学童の始業終了時間の悪さに不便があります。子供の習い事もどの様なものがあるのか等の情報が少ないなど、内容が浅くて困ります。子育てに力を入れてほしい。 ・ 高齢者も独居が多く、施設等が不十分です。老人になったら入る施設や、入院したらその後どうするのか等市全体で対策を考えた方が良いでしょう。
20	・ 住宅リフォームの補助金制度の充実、釧路市はやっている。しかし、根室は補助金制度もない。古いのに賃貸の家賃は高い、新しい物件もない。若い人たちの住めるような市ではない。市の制度を見直すべき ・ 市民が行きやすいチェーン店のカフェを作るべき。北見は大学生の意見でスターバックスがオープンした。今までは遠くで行かなかつた人も、多く来店してとても盛り上がりつつある。市の人口を見ても近くの店の場所を見ても作って良いと思う。「日本最東端のスタバ」と聞けば観光客も来ると思います。もっと「日本最東端の地」を活かした活動をするべき。スタバで働きたいと思っている人も学生も多いと思います

年齢	問 22 意見・提案
20	運動公園のところに新しくできる施設が楽しみです
50	・空家、空地の整理(宅地としての再利用)。 ・市内移動の際の道路の充実(緑路や沢などで分断されている)。 ・根室の金刀比羅神社の祭りは誇りに感じているのでどんどんPRしていけばどうでしょう。 ・住宅地が郊外へ延びているので通学が大変そう。 ・育てる水産業を進めていかないと根室の中心的な産業なので。
40	・坂道が多いのでロードヒーティングを多くしてあれば良いと思う。 ・ユニクロがないのが残念。 ・一方通行が分かりにくい。
18	若者が遊べる場所を作してほしい
30	・根室市役所を建て替えると聞きました。札幌の白石や厚別区役所では乳幼児向けのプレイルームや図書コーナーを小規模だが開設しています。そういう場所が少しでもあるだけでファミリー層からの印象は大きく変わると思います。 ・子供向けの屋内施設を作るそうなので期待している。 ・根室は自然環境が大変よく、公園も広く整備されているところが多いので子供が喜んでいる。 ・後は、活気やショッピングの利便性が上がれば最高です。フードコートや大型のゲームセンターのような近代的なスポットがないのでどうしても週末は釧路や中標津に出かけてしまいます。 ・景色の良い街なのでここに越してきた。去年より好きになった
65-74	・子供が地元にはないので、わからないことを教えてもらえない。 ・パソコンを使えないのでラジオや新聞でなければ情報がわからない。 ・道路のゴミ拾って集めたいと思うが、そういう時どうすればよいか。 ・根室の大切な魚類に思う。エビの時期、SSのエビが売られているが、小さいうちに獲らないで、限りあるものをもう少し大きく育ててほしい。 ・道路のゴミ捨てがとても目立つ。注意を喚起するためののぼりや看板等多くしてほしい。
65-74	若者、高齢者が共に練習ができるゴルフ・野球のバッティングセンター、ゴルフの打ちっぱなし場を作っていたきたいです。
65-74	街中が寂しい感じ、魅力ある明るい街になれば願う。外部から来た人は何も無いという。都会のいつもの言葉
40	根室の中もさびれてきました。環境も変わって人間関係も声かけが悪いです。明るい根室にしてみたいです。店の店員も口悪いとか愛想が悪い人もいます。その辺の改善してもらいたい。
20	根室市の主要産業が厳しい状況であり、コロナの影響もあるので明るいことが少ないですが、これからも少しでも良くなるように頑張ってください。私の仕事も同様なので微力ながら力になれるようにしていきます。
75	このアンケートで、市で実施している事業と福祉施設、教育環境等があるが、高齢者は回答するのが困難である。「わからない」を設けるべきである。市で実施している事業がどれだけの市民(高齢者)が理解しているか疑問であり、設問には十分配慮しなければならないと思います。もっと身近な生活の設問と「これからの根室市」を発展するためにはアンケートを実施して頂きたい。
75	四島帰らなければ根室発展はない。四島返してもらいましょう。
50	・道の駅の近くに宿泊できる所を作る。以前あった根室温泉の復活。日帰り温泉を作る。キャンプ場の復活。第3セクターでホテルの建設。 ・アスレチック場に道立ゆめの森公園のような物を作る。 ・ふるさと納税で集まった資金で市営球場を新しく作る。同じく青少年センターに代わる体育館を作る。 ・根室総合運動公園に足湯を作る。 ・市立高校を作る(水産科等)。 ・歯舞方面に刑務所を作る。 ・ノサップマラソンをフルマラソンに変更して大々的に宣伝し、参加者を沢山にする。市役所をゴール、スタート地点にしてフルマラソンウォーキング大会を開催する(納沙布岬折り返し)。 ・北方領土まで歩こう会では歩く距離を今より増やす(色々な距離の設定)。
30	・ゴミが落ちているのがそのまま。他の街よりゴミが落ちていると感じる。 ・老朽化した家がそのままになっている。壊してきれいにした方が見栄えが良い。 ・ホテルが古い。新規のホテルがあれば良い。 ・観光施設の再整備、清掃。ネイチャーセンターの窓がハエだらけだった。古くてもせめて清掃が行き届いてな

年齢	問 22 意見・提案
	いといけない。一方、北方四島交流はとてもきれいでピカピカでした。力を入れている施設とそうでない施設のギャップが激しい。 ・ 大学、専門学校を置くなど若者が増えると良い。ふるさと納税に頼るだけでは将来が不安です。 ・ 自然にはとても満足している。
75	町内会に老人が集まる所が無いのです。町内会の行事などはホテルなどで集まっています。このアンケートは根室のこれからの街づくりに大変良い事だと思っています。
40	独居老人や近くに家族がいない高齢者が多く、その人たちを支えるサポートシステムが弱いと感じる。また、病院、施設数が限られており、在宅でサポートする家族も減る中で自立できていない高齢者をどう支えていかなければならないか考えていかなければならない。
20	子どもと家族で楽しめる場所がもっと増えたらよいなと思いました。若者がもっと楽しく居られるような街づくりに励めば根室ももっと若い子が増えてにぎやかな所になるのかなと感じました。
65-74	・ 情報が行き届いていないせいか知らないことが多すぎました。若者が市に残り、活躍でき、末永く住み続けられる、職場があると良いです。 ・ 無駄な公共施設には最初からお金をかけるべきではないし、今この時期に市役所の建て替えはどんなものかと思ひますし、他にお金の使い道はあると思ひます。他の街と比べる事もなく、市が率先して節約すべきかとも思ひます。
65-74	1. 防災対策と意識づけ 2. 子育て支援と施設。 3. 水産業の基盤整備。 4. 歴史と文化の資料館。 5. ふるさと納税の拡充と生かした使い方
30	・ 土日でも市役所で各種手続き、証明書の発行ができるようになってほしい。 ・ 買物の物価が高い。出会いがない。街コンやってほしい。
30	新しいものを受け入れ継続させる力がないと感じています。初めは良いが流行りすたれもあるが、必要なものであれば大切に残していく必要があると考えます。
40	中・高校生の医療費助成で所得制限をするのをやめてほしい
40	市営住宅に住んでいて、来年より住宅使用料が約2倍になると知らせがあり、大変残念に思ひます。収入が2倍になった訳ではなく使用料が2倍は厳しいです。家賃だけではなく、今後子供の学費や老後の資金をためていかなければならない。年金だけでは老後暮らしていけません。目先だけではなく今後の生活も考えてほしい。団地の使用料に6万円以上は高く、今後また上がると思うと安心して暮らしていけません。決まりであれば仕方ないですが、なんとかしてほしい。住宅ローンを組める人ばかりではない。
50	・ 市立病院、看護師が足りないため患者から目が離れ死亡する確率が高い。 ・ 娘が保育師の免許を7年前に取り、根室で就職しようと思ひても受け入れてくれなかった。 ・ 歯舞方面、シカが多いのでどうにかしてほしいです。もう少し駆除しないと大変な事になります。狐も衛生的に悪いので対策をお願いします。 ・ 根室で税金を払い、買い物もしている。 ・ ただ、コロナ時の特別給付金は早かった。
50	大学進学への助成金など
65-74	高齢者にとって根室は暑さ、寒さの点でも暮らしやすい街と思ひます。水産・酪農の街はもちろんですが、福祉の街として考えてはどうでしょうか。 根室から出る人が増え、人口減少につながっています。核家族化(子供の働く場所がない、帰ってこない等)も進み、一人暮らしや高齢世帯が増え他人事ではありません。高齢者が安心して住み続けられる根室独自の街づくりも必要ではないでしょうか。今回、根室市の施策を知らないことが多く反省しました。
50	災害に強い新庁舎、備蓄品が十分に収容できる
60-64	私はまだ行った事は無いですが「だて歴史の杜食育センター」のような所も根室市でぜひ参考にして下さい。
75	・ 国の一律10万円支給、プレミアム券の発売等、官民一体となって連携し公正迅速でわかりやすく丁寧な対応に心より敬意を表します。 ・ 若い人が根室に住んで生きがいを実感できる施策をどんどん取り入れて下さい ・ 最近の市の行政全般の成果を高く評価する。
20	・ 冬期、雪による事故多発場所へのロードヒーティングの整備をお願いしたいです。

年齢	問 22 意見・提案
	・ 駐車場が狭く(特に郵便局)路上駐車が目立ち、事故の原因となる可能性が高いため整備をしてほしいです。
40	・ 観光客が納沙布まで来ても泊る場所も食べる場所もろくに無いのですぐ帰ってしまう。もう少し気軽に立寄れる店があった方が良くと思う。 ・ アレルギーの子供が増えてきているので専門店(小さくて良い)があれば母親は少し助かると思う。
30	・ 道路などは整備されていて車も走りやすいが、歩道はガタガタの所が多すぎる。ベビーカーなどを押して歩く際に、地面の段差に引っ掛かり危ない。また、小さな子供が歩く際も、でこぼこしていて危険。保育所、保育園やスーパーの周りなどだけでも整備されるとありがたいです。 ・ 病院など事前にオンライン予約ができるともっと利用しやすい。皮膚科、耳鼻科、眼科の待ち時間が最低でも2時間はかかるので通いづらい。新患でも30分位で受診できるとありがたい。
75	市中心部に公営住宅や種々の生活基盤施設を集中させコンパクトな市街地形成をさせるべきと考えます。そのことにより街中に賑わいを実現させてほしい。
40	現在、根室に住んでいる若者たちをこれ以上地方に流出しないような魅力ある街づくりが重要です。根室市内で何かやりたいことを見つけた人たちに対し相談支援できる場所があればと思う。実際にやりたいことを見つけた友人が根室では難しいと考え地方へ転居したりしている。子育てや高齢者対策ももちろん大切な事は分かるが、働く世代の事も行政は目を向けては良いのではないかな。子供や老人の事ばかり考えているような取組みでは若い人や30～40代が根室に魅力がなくなると思う。私個人の意見ですが、今の根室市の取組みは特定の年代のみ力を入れている気がする。市民全員が根室に住んでいてよかったと思える街づくりをして欲しい。
20	深夜から朝にかけて働いているので、冬の除雪情報等をSNSで発信してほしい。
20	少子高齢化の影響をもろに受けた市であり、老人の娯楽はあるかもしれないが、青少年の目が死んでおり未来の無い街に近づいていると思うので、若者を増やす努力をした方が良くと思う。網走などを参考にするとともに、チェーン店を呼び込むなど若者が生活しやすい街づくりを心掛けると未来があると思います。市民の今の雰囲気はコロナを除けば穏やかに見えるので維持できる街づくりをして欲しいです。
50	子育ても終え、根室での老後を楽しもうと思っていますが、なかなか楽しめずにいます。人口減少や教育問題等々懸案はあると思いますが、これから老後を迎える私たちにとってもより良い街づくりを願います。
30	・ 釧路からの高速道路が伸びてくれればよいと思います。道路自体は広いのに、どこに行っても片側一車線(根室～釧路間)。不便です。 ・ 学校以外の体育館や児童館など室内で身体を動かせる場所がない(一年を通して寒いので夏しか外で遊べない)。
75	全天候型屋内遊戯施設を早急に建設して頂きたい。
30	・ 歩道はデコボコしていて、ベビーカーで移動する際にすごく押しづらく、子供もよく躓いて、転倒することがあるのでもう少し整備してほしい。 ・ 他県では子育て世帯に対して、充実している(中学生まで医療費無料や子ども手当の書類申請の為の所得証明書等は無料) ・ ひとり親への支援だけではなく、子育て世帯に対して支援してほしい。ひとり親でも両親揃っている所でも子供に対してかかる金は同じだと思う。 ・ コロナの際、いち早く給付金を受付して頂いたのはとてもありがたかった。
75	市立病院でなぜ手術をしないのか、釧路に行くと思った顔が多くいる。皆根室では治すことができなかったと言う事。自分もすぐ釧路へ行く。何とかできないか。
60-64	夜道が暗く(市街地など)動物の飛び出しが心配です。もう少し明るい道にして欲しいです。
75	今年はコロナで特別な年でしたが、それでも根室の市長、職員は連休にもかかわらず、ドライブスルー等で給付金を他市よりも早く受けられたり、大学生に食品を送って頂いたり感謝しています。
30	根室市の医療体制は最悪で今でも他地域で診察を受けています。このまま変わらなければ移住を考えます。看護師の態度、話し方等教育してほしい。
65-74	住宅地なのに産廃物の置き場となっているので、指導してください(西浜町)。
20	・ 若者に受け入れられる体制を整備していくべき。まずは防災、減災に努め、安心感を与え、インフラの充実のみならず、Wi-Fi等通信環境を整えていくべき。 ・ 基本的な生活環境、福祉、教育、子育て支援の各種サービスの充実は当然であるし、理解もしているが、総じて労働や教育に関する価値観や認識は古いと思う。時代に応じたり、時代を見据えた街のモデルの明示や必要な思考、知識の提供を市民の声を基に協力して進めることができなければ、今、市が抱えている諸課題を改善することができると考えます。

年齢	問 22 意見・提案
40	親が根室に來た際に特段連れて行きたい場所がなかった。「根室に來たらここに連れて行きたい」という場所を設けてほしい。
75	公衆トイレは、夏期はとても便利で清潔で良いと他町村からの來客には喜ばれますが、冬期間、閉まっていますは何のための公衆トイレかとの意見あります。凍結等の問題もあるでしょうが一考を希望します。
20	・ 釧路などや遠くに行かなくても買い物できる環境。 ・ 子供のいる世帯への金銭の援助。児童手当の額が3歳以上で下げる必要があるのか分からない。子供はずっとお金がかかります。
30	・ 落石保育所0才児から入所できるようにしてほしい。 ・ 街灯の設置。郡部の防犯カメラ設置
50	・ 西浜町内の公園の草刈りなどとてもきれいに Rowe、整備されているので感謝申し上げます。 ・ 街灯がLEDとなり、夜道も歩きやすくなり助かっています。
60-74	・ 街の景観の乏しさや路肩のゴミの多さが残念。特に近年ペットの糞を袋に入れて草原に捨てる人等モラルの低さが目立つ。駐車マナー等を含め他者に不快に感じさせる住人が多く、法の後ろ盾により一般市民の日常生活を担保してもらいたいものです。 ・ 「ワーク・ライフ・バランス」について、市や学校ではずいぶん遅くまで明かりがついているが、生活に負担をかけているのは明確で、指導者が問題視していないのでしょうか。疲弊している状態で良い仕事はできないと案じています。
65-74	意識調査自体が行政よりの思い込みになっているのでは。
40	道路にゴミが多い。年に2回位、町内会ボランティア等でゴミ拾いやるなら参加するので募集してほしい。パークゴルフ場からクロネコヤマトまでの道路のゴミのポイ捨てがひどいです。
40	・ 草刈りボランティア活動を活発にし、ふきや雑草など刈り取る作業に高齢者に参加してもらえるようにしたら良い。防犯、景観上も良い。 ・ 高齢者が役割を持って生活できるようにしてほしい。「長生きしたくない」と言っています。 ・ 子供リーダー育成してください。子供会担当が高齢化している。世代育成が難しい。
65-74	緑町を活気のある商店街に、祭り等市民が集まるよう、空地・シャッター開かない店等を少なくしてほしい。観光客を増やしたい。
50	・ 北方領土返還記念シンボル「祈りの火」、現在はガスで一日中と灯していますが、地球温暖化防止の観点からも、できればLED電氣に変えた方が良くと考えます。 ・ 今、根室半島周辺、自然エネルギーを増やしています。特に水産業(サケ、サンマ)はじめ年々厳しい状態なので、総理も2050年温室効果ガスゼロ目標にしたこともあり、根室市の新たな産業のきかけになればいい。
20	・ 根室はきれいな景色が多いので観光に力を入れた方が良くと思う。「ゴールデンカムイ」に根室の景色が出ている場面があるので、そこをアピールしてみてもどうか。 ・ 海産物が本当においしいので観光施設の側に海産物の店、店の半額チケット等を配る等、食べ物に向かう流れがあるといいと思う。観光パンフレットの写真等は色鮮やかですごくいいと思っていました。 ・ 野鳥がたくさんいることで有名なので、もっとアピールした方が良くと思う。バスツアーの内容が「野鳥を見に行くはずなのにノサップ岬へ行った」と聞いたので、春国岱に行った方がいい。
40	市役所の窓口の対応が、とても無愛想。地方から根室に引っ越ししてきた人が、対応がとても悪かったと聞いた。私もそう感じる事はよくあります。役所の人達の意識を変えるべき思います。本当に根室を住みやすい町にしたいなら、この意識調査、意味がないと思う。
20	・ 小さい子供がいると買い物するのが不便です。食材、雑貨、日用品の買い物が店を出なくても一度にできるとうれしい。市外に出かけるにも距離が遠すぎて、もっと高規格幹線道路が伸びてほしい。欲しいものがある時、根室市外に出ないとないものが結構あったりするので、根室に貢献できなかったりすることが意外に多い。 ・ 中標津の道立ゆめの森公園のような小さい子供が土日祝でも遊べる屋内施設があるとうれしいです。自由に遊べる所が無いと、小さい子供と一緒に出掛けられなくて、引きこもりがちになってしまいます。少しでも聞いて頂けると幸いです
50	緑町を活性化してほしい
60-64	・ 一次産業の活性化→ブランド化による流通改革 ・ 企業、学校(大学)等の外部からの誘致→人口増、消費拡大 ・ 緑町商店街の大改革→大型駐車場を設けて、その周りに商業施設を設置→複合商業施設化
30	・ スマホを持つ年齢が下がってきたためか学力の低下がひどいので、そこから離れる様な活動をしてもらえると

年齢	問 22 意見・提案
	学力アップにつながるかと思う。公園等、外で遊ぶ施設が充実していたら、子供たちも体を動かすことが楽しくなって体力もアップすると思います。 ・ 歯舞地区にはまともな公園が一つもない。閉校になった小学校のグラウンドも荒れ果ててひどいです。整備してほしい。せっかくあった遊具もさびて危険な状態です。
50	地域スポーツクラブを創設して、部活動を学校から離す仕組みにする。
50	市議会議員が多すぎる
65-74	市内で運動できる歩く スキーのコースの整備を望んでいます
50	幅広い世代の意見を聞き、良く考えて実現できれば不満だらけにはならないかと思います。「前例に無い事」も少しずつ取り入れて行ける柔軟な対応できる人たちが増えると良いと思います。昔あった看護学校を作ったら良い。自宅から通える学校があるというのは大事だと思います。そこから高卒者の流出を防ぐことができれば少し元気になるのでは。
40	明治公園にキャンプ場を作ってください。
75	空家を無くしてほしい。野良猫の糞による花畑への被害があるので、困っている。
18	・ 根室に高校が一つしかありませんが、市全体としてその存在をもっとサポートできないのか、例えば一人に 1 台タブレットかパソコンを配布 ・ 教育施設への暖房設備の充実 ・ 光洋団地までの周辺歩道の整備(道幅が人一人分) ・ イベントの広告、呼びかけを積極的に発信 ・ 大規模地震への対策 ・ 若者の娯楽施設の充実 ・ 花火大会を盛大に ・ 市民同士でのあいさつを習慣化、呼びかけ ・ 商業施設の充実
30	・ 子育て支援対策の強化や現場で働く高齢者支援を行う職員に対しては素晴らしく、「今住んでいる根室市民」を大事にしようという取り組みは評価できる。 ・ 人口を増やすには「根室に移住したい」と思わせる政策が弱く、強化が必要だと思います。「わが町の魅力発信」という観点では他市町村よりも抜き出ると思いますので、プラス「移住」もテーマに加えて同時に取り組んで頂きたいと思います。
18	自然などに関するお祭りをさんま祭り位の規模で開いてほしい。漁業はもう全盛期の様にはならないと思うから、観光や自然環境で市を盛り上げていくべきだと思います。
18-19	もう少し、市役所の人達の対応を良くしてほしいです。4 月に市外から引っ越してきましたが、あまり良いうわさを聞きませんし、実際対応も良くない気がします。「黙って地元で働いていた方が良かったんじゃない」等耳にしたこともあり、市外から来たものとしては良い気持ちになりませんし、住みたくないと思ってしまいます。
20	・ 古い壊れた家が危ないし気になる。 ・ 砂利道が多くて高齢者が歩行していると気にかかる。 ・ 「市民の森」の周辺にゴミが多くて気になる。 ・ 光洋町の除雪が雑。 ・ 観光客が増えて嬉しいが、敷地内に勝手に入ってくられると少し怖い(自宅外にあった籠に登って海の写真をとっていた) ・ 市内の花壇がきれい。 ・ プレミアム商品券は良かった。 ・ 楽しいイベントを増やして欲しい
40	市立病院は、整形外科に腕のいい医者がいない。そこで釧路の三慈会病院から派遣してもらってはと考える。冬は釧路までは路面状態や吹雪などなかなか交通がきつい所もある。月 2 回でも病院からの派遣を考えてもらいたいです。病院にかかる人も増えると思います。
20	自分は知的障害で支援就労を受けています。根室は障害者にあまり良い所とは思いません。遊ぶ所もコミュニティ広場もなく楽しい生活しているとは思いません。
65-74	子供が遊べるような施設、運動公園に作る話はどうなりましたか。それと、子供しか遊べないのでしょうか。高齢者も孫と一緒に楽しめるような場所を一か所でも中に作ってくれたら嬉しい。冬は危ないから歩かないようにすると、高齢者は運動不足になりがちで人と会うのも少なくなる。すべての事に決定が遅い。
65-74	ふるさと納税はあるが地に足の着いた政策を希望。
20	・ シャッターが降りている街並みは少し寂しく思う。高齢者、子供と特定するのではなく、根室市民全ての人に寄り添うことができる温かい市になれば良いと思いました。根室市民一人一人が根室市に対して関心を持って

年齢	問 22 意見・提案
	いく方が良いと思います。何となく他人事のような冷ややかな感じがします。 ・色々な政策されているのをこの調査票で知りました。
30	コロナ感染に関すること色々頑張ってもらいたい。
18-19	・観光業に力を入れた方が良いと思います。せっかく根室車石他たくさんの魅力ある場所があるのに消極的かと感じます。 ・若者がもっと充実できるような施設が欲しいです。この状況なので難しいとは思いますが気軽に行けるような場所があれば楽しいと思います。 ・コンビニが多すぎると思います。似たような場所、近くに同じコンビニがあると逆に不便に感じます。ローソンやファミリーマートなどの根室に無いコンビニが増えるのは良いと思うのですが、セブンイレブンばかりなので減らすか、根室に無いコンビニを誘致するなどしてほしいです。
60-64	網走・紋別・函館の港の様に根室港を拠点とした「海岸公園」海岸沿線のプロムナード等、新たな観光を目指してはどうか
40	・以前は町内会でやってくれていた、道路わきの花・木ゾーンだが、もう木はボロボロ、雑草も多い。思い切って整備してほしい。歩道も斜めで車椅子の散歩が危ない。 ・ボランティアも気が向いたときに気軽にできる方法を希望。高齢の方が長年、頑張ってくれていて、頭が下がるが、敷居が高く一度入ると抜けにくい印象がある。ボランティアも調整できる有給のアドバイザーがいた方がいと思う。 ・高齢者への支援も大切だが、納税は義務だけど、働き世代にも希望を。 ・市立病院への支援、医療介護者不足が切実です。
40	根室の町は、人口が減り、子供も少なくなっています。子供の未来のため、スポーツで頑張っている子供たちをもっと色々な人に知ってもらえるように、都会と違い才能があつたり活躍しても目にとめてもらえない現状がたくさんあるので、色々な形で発信したり、スポーツその他の事で頑張っている子供達のためにもっと根室市でスポーツ施設の充実や助成に力を入れてもらいたいと思います。
65-74	・新聞もとってなくて、インターネットもそこそこなので、根室市の情報が入らない。 ・舗道の雑草が気になるなど、きれいな街づくりをすすめるべき。観光客受け入れるには今の根室市の街並みは恥ずかしい。高齢者の方のパートで雑草採りをしてほしい。漁業がだめです。桜の木を植えませんか、観光に、花の街根室に観光客を。
40	生活保護の受給者への調査を厳格にしてほしい。働けるのに権利だと勘違いしているものがいる。
75	根室市の街づくりに若い人たちが進んで参加できるように考えるべきだと思う。
30	・ドローン等を使い、SNSを通してもっと根室の魅力を発信してほしい。ガスがかかる所をドローンで上空からラフした動画を見たことがあるが神秘的だった。 ・手書きのアンケートは古い、QRコード等でスマホからアンケートできるようにしてほしい。
40	もうすぐ根室を離れる障害者です。全国、全道を渡り歩いてきました。内からと外から見える視線は違うのがわかりますが、根室のあらゆる場所で傷つきながら過ごしてきました。同じ言葉一つでも違いがあると思います。一番傷ついた場所が市役所でした。人口減少の歯止めにも、子供が笑顔で育つ場所にも、年老いた両親が安心して暮らせる根室であるように祈ります。
30	・成央、光洋の学校が古すぎて大丈夫かと心配ですし、子供が「廊下に雪が積もる、湿気で滑って怖い、寒すぎて、もはや外」と光洋中学校生が言っています。西高に移ると思っていたので安心していましたが、まだまだあの校舎のようで、これから通う子供たちが心配。 ・小学校も中学校も保育園幼稚園も、これから寒くなり、コロナや感染症が流行すると思うが、密になるのが多い様で心配。 ・交通の量が多い道路の歩道がすごく狭く、すれ違う人とどちらかが道路へ行かなくてはならないのはどうにかしてほしいです。小さい子供たちの通学路なのに狭すぎます。 ・漁獲量が減っていて経済が厳しくなりました。漁業を離れる人が多くなると思います。
40	人材と働く場がうまくいくように、働けるといい。働く時間、内容、時給など、東川町のような例で。障害児等を受け入れる対策を充実して、人材育成確保をして欲しい。地域で育てる社会になるように。
75	水産資源が少なくなっているため、養殖を増やすべきではないか。獲るだけでは先が見えている。加工もして1次2次3次産業として育てていかなければ先がない。2次3次産業が大きくなれば人も増える。経済も大きくなる。
40	不景気でも、休みがなければストレス解消のため外に出る。子供を連れて旅行、美味しいものを食べたいなど。

年齢	問 22 意見・提案
	根室は海鮮、牛、自然、広い土地があるのに活かされていない、もったいない。休みに根室の人も釧路、中標津に行き、金を使っているのを止めることが大切。ユニクロ、マック、ゲームセンター、アスレチック、キャンプ場、インターネットカフェ等人が来る店を誘致し商店街と一体化させるといい。人がいなければ、金が入ってこない。人が来れば、ワンコインバル街みたいにチケットで販売、いろんな店を気軽に使えるシステム、店を知る、リピート、とにかく安く美味しい物を高齢者と家族が利用する街づくりした方が発展する。
65-74	目立った建物はいないが、矛盾しますが、建て替える市役所だけは立派な役所を希望します(利便性も含めて)。市職員の仕事に対するスピード感がない
40	住環境について、根室で暮らしたいと思って、ネットで検索しても物件の少なさにびっくりします。昔からの習慣なのかはわからないが、地元の人をつてで探してもらうといった方法でしか良い物件に出会えない。移住者を募集しても結局住む場所の確保が難しい。また賃料が他の地域と比べて高い。古い家やアパートの改修費などに補助金を増やし、民間企業とも協力しながら、住まいの充実を図り、情報を発信して欲しい。
40	・生活しやすい、生きやすいよう、もっと考えて市で対策してほしい。 ・せっかく公園があるのになぜ遊具を無くしてしまうのか。 ・空き家、空き住宅を低家賃で貸すことはできないのか。 ・昔から職員の対応が悪いといわれているのに改善しないのか。 ・ふるさと納税は何に使われているのか。もっと市民に伝えないと納税額が高順位でもうれしくないし、全世代に還元できることをしてほしい。ひとり親世帯の生活は苦しいまま、全く改善されていないと感じる。結局他人事にしか思われていないと思う。具体的な対策をして欲しい。これでは若い世代が根室を出たいと思うのは当たり前である。
30	道路の整備、除雪車を増やす、除雪車が通る道を増やす、公共交通機関の充実、商業施設の増加
40	人口流出の歯止め、都市からの移住者及び根室出身者のＵターン等の人口拡大措置に重点を置いていかなければならないと思う。人口増加においては若者がこの街に残りたいと思わせるような街づくりをしなければならぬと感じている。人口の増加=税収の増加。ふるさと納税という活力剤で息を吹き返した財政だが、今のうちに次なる一手を打つ事が重要だと思います。
30	・クルーズ船入港検討 ・企業だけでなく、大学や専門学校(看護や福祉)の誘致 ・千葉県松戸市の「すぐやる課」のような機能を根室市にも導入し、住民サービスの向上を図る。 ・待機児童ゼロを目指し、働くママの雇用を確保する。 ・根室駅と根室市観光インフォメーションセンター(根室市観光協会)を併設した建物にして欲しい。
20	食事券によって家族で食事に行けたのが良かった。
65-74	駅前が寂しい。真ん中あたりに桜の木をたくさん植えてほしいです。根室市はどんどん悪くなっています。魚も野菜も高い。みんな大変だと思います。
40	・地方から来て思う事は、各施設の職員の対応が他市町村よりレベルが低すぎです。挨拶しない、間違えても謝罪もない、分からなくて問い合わせても「わかりません」といわれ、専門性もない。市民がいても窓口に出てこない時もある。 ・病院は職員の私語、情報漏洩ひどすぎ、各科窓口もおかしいと思う事が多い。
30	根室市に障害者の子供の学校、施設があれば、他の市町に転出したりする人も少なくなり、その施設に入所するために地方から転入して来る人もいるかも。根室は障がいを持った子供を育てる良い町というイメージを作ってほしい。
20	鹿が出やすい所に少しでいいから街灯を増やして住みやすくしてほしい。 道路わきの草刈りをもう少し早めに始めてほしい。道路の修理もお願いしたい。遊ぶ所が欲しい。
30	道路が整備されたり、子供のための施設がつくられたり、観光の方でもＪＲ花咲線が注目を集め、少しずつ楽しいことが増えています。イベント等が増えるのはとても嬉しいです。コロナの流行で制限されているものもありますが、これからの根室市に期待しています。人口が増えますように。
60-64	今の根室市は暗くて活気がありません。よく根室の町はどこですかと聞かれますが、どこを教えて言いかわかりません。大変淋しい町になってしまいました。 明るい根室にしたいです。
30	若い人がもっと外出したくなるような街になれば自然と全体的に活気が出てきて金も人も根室という街に回ると思う。
65-74	根室の金刀比羅神社例大祭が北海道の文化財に指定されたので、大々的にＰＲして多くの人が根室に来て欲しい

年齢	問 22 意見・提案
	い。行政としても観光拡大の視点から大局的な観点から応援してほしい。
30	街全体の街灯が少なく、切れていたりして暗い道が多く、子供や女性が夜に歩くのは危なく感じるので点検や見直しをして欲しい。
50	市民の声を聞いていない。税金の無駄遣いだ。市の職員の給料が高い。
30	・ 明治公園や根室市市民の森を散歩するにあたり、階段が急なので高齢者が大変そうでした。最近ではウォーキングする人も増えたのでコースの整備をしてほしい。 ・ 漁業はサンマも年々獲れなくなっているのなら、もっと他の魚に手を付けるなどできないのかと思います。ニュースを見ると「獲れない」といっているだけで他の事に挑戦しているようには見えません。 ・ 別の特産物でもあれば商品開発もあるのではと思いました。
65-74	このアンケートは5年以上住んでいる人を対象にした方が良いでしょう。
65-74	楽しく参加できるイベントがあれば参加したいし、もっと色々取り組めることがあると思います。年寄りの方が元気で若者が今一つ、元気がない気がします。若者がいきいきできる街づくりをして下さい。
40	キャンプ場や野営場を作る
30	他の地域から移動してきた身としては路上駐車が多いと感じた。駐車スペースが不足しているかどうかは不明だが、何らかの対策をすべきではないだろうか
50	簡易舗装の道路が多く、うねりや穴が開いた道路がとて多い。生活道路の整備も重要と考えます
65-74	現在、根室市全体で抱えている問題についての情報を、今以上、市民に発信して対策、現在の進行状況等、早期に知らせ、解決に向けていく必要があると思う。高齢化、少子化は現在起きており、早急な対応が必要と考えます。
40	・ 準天然温泉はあるものの本格的な温泉がない。 ・ 水道料金が高い事以外は大きな不満はなく、海産物が特に美味であり、景色、自然の豊かさ、動物の豊富さ、祭など良いことも多い。また、コロナ対策も素早く、大変良かった。 ・ 今後さらに、進行することが予想される少子高齢化について、限られた財源にメリハリをつけ、重点的に行う事と、切り捨てることも明確にしてほしいと感じる。 ・ 自然減、社会減への対策、選択と集中、何に選択集中するべきか、住民と市役所で話し合える場(町内会議の市職員の参加でも良いと思う)が欲しいと考える。
18-19	教育にもっと力を入れる
65-74	水道料金を安くしてほしい。
50	落石全体が暗いです。特に東は街灯が少なく要望しても全く動いてくれません。街灯がだめなら、伝統を明るくしてくれるだけでいいのです。市内はLEDに変えるといっていますが、落石は入っていないのでしょうか。 秋は日が暮れる時間が早く部活動から帰る5時に真っ暗です。この時期はイカ漁で迎えに行けない時がある、道路が暗いので怖がる。 落石スタンドと落石自工の間の森の所、落石中学教員住宅の入口入った所、根室フットパス通り道、落石駅の道路に電灯希望する。
65-74	病院の建物設備など良くなっても、医者・看護師が良くなないとだめだと思う。病院の赤字を無くしないとだめ。
40	高齢者が多いため、高齢者が住みよい街づくり。人口減少に歯止めをかけ、活気ある街づくり。安心した医療を受けられる街、施設が良いだけではだめ。
40	外を知ることによって内がわかる
65-74	1週間に1回青少年センターを利用しておりますが、センターの老朽化を感じております。
65-74	漁業の街なので、変化について行けない。 もっと先を見た意見等がなければ、やって行かなくなる。 変化していく漁業環境だが、ますます若者の働く場がなくなっていく。
40	・ 市役所全体に、根室の活性化についてあきらめムードを感じる。ふるさと納税を活用し、今いる人材・建物を活用し、やる気のある人をどんどん応援する制度を作してほしい。(有償ボランティア制度も含めて) ・ 地域づくりに対するアイデアはたくさんあるが、それをどのように活かせばよいかかわからず、知り合いの市役所職員に話しても、ふーんで終わる。 ・ まずは、今ある制度の充実などできるところから始めてほしい。制度・システムはあるが形がよい化しているものが多いと感じる(あるいは、そもそも知られていない)以上を含めて、市役所による行政説明会の頻回な開催を求める。

年齢	問 22 意見・提案
50	市役所の方々、頑張っている様ですが、コロナ・魚がとれない・観光客が来ない・・・・などなど暗い気持ちになります。今後私達は年を重ねこの根室市でどのような生活ができるのか、少々不安です。買い物、病院、介護など・・・
50	・老朽化した青少年センターの建替は進んでいるのか？（計画） ・市役所はかなり古いので防災上新しくするのは良いと思うが、優先順位をきちんと考えてほしい。 ・町全体に活気がなく、外を歩いている人もあまりいないので、さみしい印象。ずっと住みたいとは思わない。税金も高いので。 ・子供達の学力は上がっているのか？優秀な子は根室には残らないので教育に力をいれてほしい。言い方は悪いが、残る子はそれなりの教育しか受けてないので、就職してもそれなりの仕事しかできず、すぐやめる。教育は大事です。競争は必要です。以前はのんびりした根室の人が好きでしたが今は不安しかないので、子供達と根室の未来の為に、学校・スポーツ施設の拡充をお願いします。
50	・光や風を利用した高付加価値商品の開発“アワビやムール貝”や、トマトやレタスなどの野菜・ミニバラ等、光や風を利用してのハウス栽培、アワビの養殖等、高付加価値商品の開発はできないものか？付加価値が高いと送料のネックは無くなる。いつまでも、サンマやカニに頼るばかりでは無く、新しく名物を造り出すくらいでやらなければ、人口も増えはしない。若者がやりがいを持って働ける場を作らなければこの先は無い。真新しい市役所と信金の建物だけが残ри、商店の跡地だけが目立つ町になってしまうだろう。
50	除雪が下手。年寄や幼児に優しく。バスのルートが悪い。市立病院への通院の便が悪い。
65-74	・人口減にあっても主力産業の漁業の変化に対応できる、縮小した財源に合わせた市のあり方、展望 ・必要・不必要への線引、既得権、従来主義の予算配分の見直しにより、適切で将来に役立つ予算使用。 ・将来有意となる産業やシステムへの投資的予算の配分等、コンパクト化するであろう市の今後の青写真を作り、それに対応すべき問題点、利点等を洗い出すことにより、今後の態様変化に早く、また適切な市の運営が対応できるのではないかと思います。
65-74	上下水道料金を安くしてほしいです。私は3人家族ですけど、毎月1万3千円から1万4千円払っています。
60-64	北方領土に近いことから、勉強したり、何かを生かしたいと思います。子供達の未来の為に、みんなでいろいろと考えていけたらと思います。
75	根室がここまで衰退するとは思いませんでした。 思いきった事を計画しないと何も出来ないでしょう。 私は昭和29年に根室に居住しました。 一次産業の水産そして農業、観光など付加価値に力を入れ拡大し、企業を誘致、働く人の場を造り若い人達が安心して生活出来るような街。根室の自然を知ってもらえるように、出来ることからコツコツやるしかないでしょう。私は北方領土が返還したらと思うことがありますが、もしあるとしたら前進は無理でしょう（大変なことです）
75	市からの情報誌にあまり目を通していなかった事に反省をしております。
65-74	・公共施設の整備 ・子ども用施設の新設 ・商店街づくりと駐車場の確保
30	・子どもが遊べる屋内施設を早くつくってほしい。 ・市のイベント（子どもが楽しむような）を企画してほしい。
30	・今年は、コロナ対策という新たな難題に直面した際に、どこよりも早く給付金を支給してくれたり、小学校へのタブレットの手配など市の運用がとても市民に還元されているなど感じ、根室市民として初めて感謝と誇りに思う気持ちを持ちました。 ・急に必要なものを（衣服など）買う場所がない、どこへ行くにも遠いなどと不満ばかりで過ごしていましたが、子供の教育の面でも時代に遅れをとらない準備（北斗小の先生たちはとても熱心）ができていていると感じ、これからの時代、ネット環境さえ整っていれば根室のような端っこに居ても安心できる気がしてきました。 ・釧路間の道路の整備も追い越し車線が増えて、事故防止の観点からも少し安心できました。
30	・高齢で働いている人への支援 ・保育園などの子どもをあずける施設を増やす ・水産業をよりあげること。
20	・道路（住宅街など）が凸凹で段差が気になります。穴を直しても除雪などで削られて、また直しの繰り返しなので全部平にしていきたいに舗装して欲しいです。

年齢	問 22 意見・提案
	・砂利道もなるべくアスファルトにして欲しいです。穴を埋めても雨や雪ですぐに穴が目立ってきてしまうので・・・仕方ないことなのですが、少しでも改善して頂きたいです。 ・同じ境遇や共通の人達が気軽に集まれる場所があったらいいと思います。趣味でもいいし、事故や病気、仕事など何でも集まる内容はいいと思うので、一人でも悩んでいる人のために話し合えればいいと思います。
20	更なるふるさと納税を通じた情報発信
65-74	人口がどんどん減っていますね。大変心配しています。新しい産業の誘致をしてほしいです。でも核関係の施設はいらないです。市の職員の数も多いと思いますが。
65-74	退職して 10 年あまり宝林町の町はずれに暮らしていますが、車で市街地へ出かけなければならないなど、世間にうとくなっているため、間違った意見を言ってしまうているかも知れん。
40	・冬の災害に耐えられる強い避難所を整備して下さい。ソーラーで電気を作って停電の時使えるようにとか、各避難所に発電機と燃料を確保し、暖房器具を使えたり、必要最低限の明かりを確保したり、冬の寒さに耐えられる寝袋を 1 人 1 個当たるように、市でお金をだすのは大変なので、各自自費で購入しそれぞれの避難場所にしまっておくとよいのでは。 ・水産加工場以外で働きたいので、企業誘致してほかの食品工場とかで働きたいです。水産加工場は体力がきついので体がもちません。 ・今日一日仕事を手伝って欲しいとか、一時間だけのアルバイトなど求人情報が、気軽に知れるといいですね。 ・交通機関が便利になればいいですね。人手不足なので仕方がないですけど不便です。
50	・とにかく人口減少が著しい。働き盛りの 30、40 代の転出が多い(男) ・安心して正社員として働ける会社をもっとほしい。 ・週 6 日制の会社が多く、週休 2 日制を推奨してほしい。 ・働き方改革のルールなんてほとんどの会社で無視されている。これは大問題である。(週の労働時間、有給休暇の取得) ・砂利道が多くまちの景観が悪い。道路の整備が必要。 ・喫煙者が多すぎる。特に女性。健康の問題もあるがマナーも悪く不快になる。市として禁煙を推奨してみてもどうでしょう。
50	・まずはゴミの無い綺麗な街にしましょう。そして子どもたちが住み続けたいと思える街にしましょう。子どもたちに根室市の現状を伝えましょう。年に 600 人減っている人口減に歯止めをかけなければいけません。 ・岬の方に空港を作って交通の便を良くしましょう。 ・水道代で 2 億円の黒字出して、何に使っているのですか？高いと思っていましたが 2 億円の黒字って。
30	まちづくりを考えるうえでは、まず何が強みか弱みかをハッキリさせることが大切だと思います。根室市の強みは豊富な水資源や世界にも誇れる自然が魅力の街だと考えます。これらを最大限活かしているのが、ふるさと納税で毎年上位にランクする理由だと分析しています。一方、弱みとしては、特長的な何かがあるとは思えないところ、地理的にも閉鎖的なイメージが強いことだと思います。そのため教育をはじめ、子育てや病気の治療など根室では頼りにできないというのが、現実だと思います。積極的に外部からの企業誘致など、市民だけではできない発想や外の力が必要な時期にあると思います。10 年、20 年後には人口も減少することが想定されており、道央圏や道外に居住を希望する若者が増えることも必然的になります。今のうちから人口を増やす、他の地域からの人口の取入を行うためにも、教育や子育て支援、それらに関連する優秀な人材の確保と、市内施設の充実が必要だと思います。
50	・運動公園等、施設を作ってもその後のメンテナンスがなっていない。 ・資源ゴミの袋が町内会に入っていると 2 袋で市役所に取りに行く場合は 1 枚なのはなぜか。町内会に入っていないという理由だけなのはおかしい。
40	○月岡町の街灯について 私はパークゴルフ場周辺に住んでいます。ここ数年新しく家を建てる人が増え、子育て世代が多い様に感じます。ただ、パークゴルフ場の前は 1 つも街灯がないため満月の日以外は真っ暗で冬は特に暗くなるのが早いで、人が歩いていてもわかりません。また、野生の動物（鹿やキツネ）がよくいるので、車を降りて家に入るまでバツリ遭遇して驚くことも多いです。街灯があればとても助かるので、検討していただけたら幸いです。
65-74	努力です。実行です。人です。
75	市内緑町の活性化に力を合わせて元気を付けてほしいです。
75	・老人の足の買い物時の（バス、車（共同ハイヤー利用）） ・免許返納者の足の確保の車、ハイヤー券を 5 年位いただきたい。

年齢	問 22 意見・提案
	・市として、老健施設の設置がほしい。入院3か月で退院は現実の実態にそぐわない。泣いている人が多い。 ・博物館が是非ほしい。ふるさと納税を使ってはダメか。外来者を招く。花咲線の存続にも役立つと思う。
40	子どもの学力向上をもっと取り組むべき。
75	意見・提案・アイデアを考える時に、私達の頭では色々ありこれと言うものが浮かんでできません。町づくりに対する今回の様なアンケートを出して頂ければ回答しやすいと思いますが。
40	・観光対策をより充実に（観光客は多いはず） ・外から見たときに、たまには行きたい街ぐらいになれば良い。
60-64	活気がなく淋しい町になっています。公園にもっと木花、ベンチを増やして気が休まる公園にしてください。市民にやさしくすみやすい町に。
40	・仕事をしながら子育てをすることが当たり前になり、負担がとて増えている。根室高校は現在お弁当又は学校でパンの販売を行っているが、子供の栄養面や毎日の負担を考えると、中標津農業高や標津高などのように、給食提供をしてほしい。 ・月岡町方面など、住宅がどんどん増えているのに街路灯や防災灯が少なく、夜になると真っ暗で冬期間は夕方になると子供だけで歩かせることに不安があります。大人でも歩きたくない状態です。町内会の方に相談したこともあります。何も改善されません。市の対応をお願いしたいです。
50	国保税が高い。働けば働いた分とんと上がって来る。税金貧乏です。税金の為に働いているように感じる。何とかならないものか・・・せつないです。
60-64	その人その人によってワークとライフのバランスの比重のかけ方が違うと思います。感じ方も違うと思います。これから根室市も新庁舎を建てられる事ですので、庁舎内にこういう相談に乗ってくれる空間と「ワーク・ライフ・バランス」をしっかりとサポートしてくれるスタッフの育成をお願いしたいと思います。若い世代から人生経験した方等、幅広い人材こそその世代に共通した所から、見いだされる事があるように思います。これからの根室市は若者が少ない事から早急に取り組む課題だと思っています。まずは庁舎内で働かされている若い世代の方々から意見などを吸い取ってみてはどうでしょうか？これからは、若者が”根室市”を担っていくのですから。よろしくお願い致します。
30	まちづくりにおいて、市民のマナーも不可欠だと思います。昨今、高齢者の運転・歩行マナーに呆れます。信号機がない横断歩道で子ども達が渡ろうとしているにもかかわらず、止まろうともしない運転高齢者。歩行マナーでは、横断歩道が無い道路で車が来ているにも遮って渡っているのを目撃します。グランドホテル～「はびはび」間の道路の斜め横断多いです。
30	釧路までの高速道路、何十年もかけないで速やかに。
20	・アパート・マンションがせまい。2LDK以上のところを増やしてほしい。 ・子供が遊べるところがほしい。ゲームセンターとかを作してほしい。 ・買い物できる所を増やしてほしい。 ・成央小学校の裏の道路を直してほしい。（車で送り迎えするところ）
65-74	不安に思う事。地震・津波に対する対策。
65-74	・道路が良くなって近隣の町村に行く為の時短が少しできました。 ・市内各所にある市が整備してきたものの中には、修理、整備がなされず放置の形で残っているものも多く残念です。例をあげると、高規格道路側のキャンプ地跡、バンガロー古めかしく情けない表情です。又、明治公園内アスレチックあとの山野の整備、足の踏み入れる方法も見つかりません。小さな池もあって昔ながらの小川・散歩道影も形ありません。せめて歩道側の草を刈るなどの整備が必要と・・・。新しい物をどんどん作るのもどうかと思うし、子供達、若者達が活動できるように。
20	根室市全体でワーク・ライフ・バランスの整った暮らしをして行く為には、まず市役所からはじめていくべきだと思う。知り合いが市役所勤務だが、根室市に残るべき若い人材程薄給で残業代もつかない残業を遅くまでしている。若い人材が流出しない為にも、市役所のワーク・ライフ・バランスを改善していった方がいいのではないか。
65-74	北海道の市町村は何処も同じではないかと思うが、とにかく人口の減少が進み寂しく感じる。水産業も衰退して来て本当に根室の街がどうなるかと思うと心が痛む。なかなか難しい問題だと思うが、何とか人口を増やす名案が無いのか若い人に意見を聞きたい。
65-74	漁獲量によって景気が決まる市としては、人口が年々減り不漁の年が続いているなか大変ですが、住みよい街づくりのために、頑張ってもらいたいと願っております。今度から広報ねむろをもっとキチンと読みます。
20	市役所ときわ台公園の間の道路にロードヒーティングを整備して欲しいです。子供の医療費を3歳過ぎても無

年齢	問 22 意見・提案
	料にして欲しいです。(義務教育終了まで)
20	商業施設、遊べる環境をもっと増やしてほしい。
30	今の子供たちは、会話が少なくコミュニケーション能力に欠けていると思います。言葉を知らなすぎると思います。やはり「地域で育てる」というのは大事です。おじいちゃん、おばあちゃんから得られる知識もたくさんあると思います。コロナでなかなか人とふれ合う事が難しい世の中になっていますが、これからの世代の子供たちにとって会話やコミュニケーション不足というのは、人格を作るうえでマイナスになるのではないのでしょうか。スマホ、ゲームだけでなく、生身の人間と関わる事が大事だと思います。親同士のコミュニケーションもとても大事です。いざという時に知らない人とでも助け合える根室であって欲しいです。私たちは、色々な人たちに助けられて生活しています。本当にありがたいと、きっとこの先この体験を生かせることができればと常々考えております。
65-74	まちづくりは人づくりから
20	・ 風力発電や太陽光パネルの必要性も理解しておりますが、最近、歯舞側や厚床側などで急激に増加しており、景観面が気になります。 ・ 10 万円給付金の際はとても早く準備をしていただいて大変助かりました。
30	冬でも運転しやすい道路作りをしてほしい。 細い道路、学校の近くの道路などとても走りづらく、毎年気をつけて走っていますが、スピードを出して走っている車がいるなどとても怖く感じます。
65-74	人口減が続いている。刑務所あるいは厚生施設等の設置・誘致を要望すべきである。
50	・ 児童教育の強化、学力向上 ・ 環境問題への市民の学習機会 ・ 1 人 1 人が希望を持って暮らせるまちづくり
60-64	・ 水産業の不漁で大きな影響が出て人口流出に歯止めがかかっていません。育てる漁業など、官民で知恵を絞るしかないのかなと思います。 ・ 学校教育の充実も図られていると思いますが、市内校はもともと老朽であったものを補修で更新しつづけ教育環境の基本の基の点でどうかならないものかと思っています。 ・ 根室の豊かな自然は他に誇れるものです。野鳥愛好家などが以外と来根しているのかなと思っているところですが、自然や景色を活かした滞在型の観光を創意工夫したらよいのではないのでしょうか。そのため交通網の整備も必要ですが、宿泊施設が不十分です。老朽化し改修も行われていないホテルやエアコンも設置されていないホテルなど宿泊された方が驚くような状態では、リピーターは望めません。民間のことではありますが、全市として考えたいものです。
20	・ 国民健康保険が高く、稼いでも生活が厳しい。 ・ 税金のわりにその恩恵を感じられない。 ・ 子どもや高齢者の支援は大切だと思うが、働き世代の人たちへの補助金や税金の免除などの支援にも力を入れてほしい ・ お祭りなどの地域活性化のイベントなどの取り組みはがんばっているなど感じる ・ スポーツが気楽にできる環境は他よりも整っていると感じる ・ 漁業を根室市の推しとして進めていくことは良いことだと思うが、それを支えている人たち（漁師など）に行政は優しくないと感じているため、そこの部分も忘れずに考えてほしい。
50	コロナ禍で、多様な対策、対応が求められる中、迅速にご対応いただきありがとうございます。また、子どもたちの生きる力育成にご尽力いただき感謝申し上げます。今後とも、教育環境の整備等よろしくお願いいたします。
50	・ 移住しやすい環境整備や子供や高齢者が安全に楽しく暮らせるような設備を整えてほしい。(例：スクールバス、巡回バスなど) ・ 都市部への人口流出はまぬがれないが、優秀な人材を確保して市のクオリティを上げてほしい。
50	根室市に夫婦ですと住みたいと思っていましたが、病気になり介護が必要になりました。病院でも長期で入院は難しく介護施設に入所も出来ず。地方に移ります。病院には理学療法士や作業療法士が少なく在宅介護には全く来てもらえません。福祉や医療を充実しなければ根室を離れる方は多くなると思います。
40	・ 新しいレジャー施設や市役所の建て替えより、各保育施設（既存の）の安全確保（柵や駐車場の整備）、小中学校の校舎建て替え整備を行ったほうが良いと思います。市内を運転していても子どもがすぐに出てきそうな幼稚園、見通しの悪い駐車場などが気になり、いつ事故が起きてもおかしくないと思います。子どもが通っている施設でも遊び場と車が通る場所に柵がありません。

年齢	問 22 意見・提案
	・また、防犯上からも SNS に市役所が勝手に子どもの写真を載せるのはおかしいと思います。削除してください。 ・日頃から指摘したいことがあったら匿名で個人が特定できないように意見を言える場が欲しい。
40	高速道路の整備
65-74	・根室～温根沼間の新道路は必要だったのか。 ・根室～厚床間の追い越し車線ができたのはありがたい。 ・遠方から子供家族が来ても皆で遊べる施設がないのが悲しい。 ・漁獲も少なくなり、生活への不安、希望が見えにくい ・若い方々が安心して働ける明るい根室になります様願っています。
20	・釧路や中標津のように衣類（若者向け）を購入しているお店が欲しい。 ・また、スターバックスやドトールなど気軽に行けるお店が欲しい。 ・根室市は自然が素晴らしいのでそこを活かしたイベントがあったら嬉しいです。
40	根室市にも温泉があれば良いと思う。温泉が無理ならせめて道の駅に足湯があると運転してきたドライバーの休息になるのでは・・道の駅が無理ならば、運動公園内などでも、運動した後の休息として市民同士や地方の方との交流の場にもなると思う。 弟子屈や清里にある道の駅の足湯は、いつも人がいるし、自分も癒された思いがある。又側にはドックランもあった。後、みんな話しているのがコンビニのローソンがなぜ根室に来ないのか？鬼滅グッズをわざわざ中標津や釧路のローソンに沢山の人が買いに出かけている。今、ブームなのもあると思うが、検討してほしい。
65-74	・学校を統合して極論的に市内小学校 1～2 校、中学 1 校、高校 1 校として、スクールバスを 3～5 方向に走行させる。方向によっては大型バスではなく中型を数台走行させる。とにかく生徒の減少で運動会、文化祭などで行いにくそう。もっと生徒の活動の場を広げる。 ・市内の交通網について高齢化で年配者が多いので、バス利用させるために民間との協力で大型バスでなく中型又は小型バスを 1 時間前後の間隔での走行を希望する。 ・市役所建替えについて庁舎前にロータリーをつくりバス路線の駐停車場を設置して庁内に市民が集まれるように期待したい。展望食堂も出来る予定もあるのでぜひ。住んでまだ 1 年 5 か月です。
40	根室市は服を買ったりする店が少なすぎます。根室になれば近いところで中標津に行ったりします。もっとそういう所に力を入れてほしい。
30	駐車場が少ないと思います。
60-64	室内でお年寄りも子供も親も一緒に過ごせ、遊べるような施設があればよい。中標津のゆめの森の公園のようなものがあれば、いろんな人と交流もできて、年中通して体が動かせていいのではないかな。根室は寒い日が長いのでこういうものが少しでも増えていけばいいのではと思います。
30	・中学校へのスクールバス（統合された後）配備 ・公共施設（教育機関）の建替え、暖房設備 ・商業施設・飲食店の充実（チェーン店）
20	・住んでいる所を通る幹線道路は街灯が少なく、夜歩く時少し怖く感じます。電灯をもう少し明るいものに変えるか、街灯を増やしてもらえたら嬉しいです。 ・中標津ゆめの森公園のような施設が根室にもあると天候に左右されず、子どもが安心してのびのび遊べるので是非検討してほしいです。 ・小学校等でベルマークを集計することが難しくなっていると聞きました。学区内の町内会で集まったものをまとめる作業をして各学校に寄付するという考えが浮かんだのですが実現可能でしょうか。もしできれば自分も協力したく、学校で子ども達が必要とする物品購入に繋がるとういなと思います。
20	・自分だけが感じている事かもしれないが、若者に対しての娯楽が少ない。この御時世であり大きな事は言いたくないけど、カラオケやゲームセンター等が 1 軒しかなかったり、小規模であつたりと、もう 1、2 軒は増やして欲しいかと。 ・観光業や農林水産業、既存の店舗を維持しつつ娯楽を追加すれば、多少は今より住みやすくなるかと自分は思っています。とはいえ、新店舗の維持や人材確保など難しい問題点が多すぎて何ともいえませんが。
40	スケートリンクを夏場 400mトラックとして使えるよう、400mのラインをひいてほしい（ボランティアで手伝います）
40	学校付近にはもっと信号を設置するべき。事故が起きてからでは遅い。
65-74	ものづくり工房設置を設置してはどうか。3Dプリンター・レーザカッター・木工用機械等を設置して、水産・農業・加工以外の工房づくりで移入人口を誘発するなどの新たな試みが必要ではと思います。（各設備の利用料で

年齢	問 22 意見・提案
	の運営経費の捻出)。
30	・子どもが遊べる施設をもっと増やしてほしい。特に雪や寒い冬に活動できる場や休日遊べる場（小学校前くらいの子でも） ・厚床にも子どもが集まる場（未就学児）がほしい。保育所やこども園などもっと低年齢から入所できたり、週一親子活動みたいなものがあるとうれしい。
40	「日本最東端のまち」というフレーズをこれまで以上に前面に出していき、観光に力を入れていくといいと思います。他の市町村（全国）にはない唯一のもののなので最大の魅力です。食べ物は大変美味しいので自信を持って取り組んでいってほしい。
75	根室市の人口を減らさないでほしい。
40	啓雲中、光洋中、合併で通学が大変遠くなります。 対象者が少ないせいか、あまり困っている声を聞きませんが、毎日送り迎えが必要になります。我が家にとっては大変負担になります。説明会で質問しましたが、4 km（徒歩で）以上でないとスクールバスも出せないとのことでした。多少有料でもよいので、スクールバス等の提案をさせていただきます。
75	政治に関心がなくなった。年齢だからと言って勉強しなければ。
40	最東端をコースの一部とする車・バイクの旅行客が、根室市で宿泊することができるような野宿スペースとトイレ、洗面、入浴（できれば温泉）できる設備等を設置することで、お金を根室で使用してもらう通過ポイントにすることができるのかなと思います。（つまり、釧路市や中標津町へは次の日に移動という工程をたてる旅行客を増やす目的）
50	・人口を増やすためには、子供を望んでいるのにできない夫婦に地元で治療ができる様にしてほしい。不妊は女性だけの問題ではなく男性にも問題がある。二人で協力しなければ解決できないもので、決して恥ずかしいものではないので、明るく素敵なイメージをアピールし、治療から出産、育児までトータルサポート体制にしてほしい。根室に来ると子宝にめぐまれる（笑） ・大学設立を希望
75	80 才も過ぎた老人にこのような調査は無理ではないですか。若い人が沢山居ます。その人方の意見の方が良いのではないかと思います。記入できないところがたくさんありました。
65-74	まずは、企業誘致や起業の支援など、市営の工場もつくって働く場を確保しないと人口増加は望めません。若い人の労働力があっての街づくりだと思います。
75	○医療面について 市立病院への膨大な赤字補填、年間の補填額を見ると公共施設の一つや二つに相当する位の支出になるのではないのでしょうか。市民は質の良い医療を受ける為、市立病院を素通りし、地方に出向かなければならないのか。いずれにしても現行の制度、抜本的に改革し地方病院の安定を図る必要があるのではないですか。 ○文化面について 博物館建設絶えて久しく、最近では話題にもならないのでは。一日も早く立ち上げられるよう、最大の努力を求めます。 ○対ロシア問題 解決策につなげるロシアとの人脈の構築、まずは領事館への表敬訪問を検討してみたいかがですか。
30	子育てをしています、これから小、中、高へ行くのがとても不安です。 保育日（所）、小学校などもっと連携して子ども達のサポートが必要だと思います。特に今はグレーの子が多いので、どのように授業が進んで行くのか親としては心配です。子どものことを考えて根室を出て高校へ行くことも考えています。新しい役所ができる時にもっと子育て世代が相談しやすく作ってほしいです。
65-74	高齢化が加速する中、健康寿命が続くことが大切だと思います。福祉と保健事業が合体した施策が展開できるよう早期の保健センター（複合型）が出来る事を望みます。
30	・緑町商店街にもっともっと活気があればいいなと思います。駐車場も多く人が集まる場所がほしい。 ・ペットと一緒に過ごせる施設がほしい。 ・屋内施設（中標津の夢の森公園みたいなところ） ・高校生の時にやったインターシップの一般向けがほしい（興味のなかった事でも、この仕事やってみたい！につながるかもしれないから）
50	空き店舗を有効活用したり、公共施設を誰でも利用しやすい所に作ったり、わかりやすくしてほしい。
20	支援センターを増やして欲しいです。また、休日も開いている子ども用室内施設を作ってほしいです。雨や雪で、お外遊びが出来ない日や、今はコロナで支援センターの利用人数制限、時間制限があり行くところがなく家にい

年齢	問 22 意見・提案
	るしかない親子が沢山います。助けて欲しいです。その様な状況は根室市だけでなく全国的にだと思いますが、コロナで大変だからこそ、根室市はコロナでも子どもたち、親たちの味方なのだと先陣をきってほしいです。“子どもに優しい根室”になれば全国に根室をアピールできるのではないのでしょうか。心より宜しくお願い致します。
30	根室市全体が高齢者向けという感じがします。U ターンで根室に就職のため帰ってきて、結局札幌へ出て行ってしまう知合いや友人がいました。施設やイベントサークル等をもっと充実させて、若い人を引き止められるようなまちづくりが必要な気がします。
30	提案ではないですが、光洋団地付近の除雪が遅く、毎年子ども達が車道を歩いているのを毎日見えています。歩くところが除雪されてなく、道路を歩くしかないのは危険です。仕方ないのかもしれませんが、なるべく早く除雪してあげてほしいです。車道を歩いていて、見えずに事故にもなりかねません。よろしくお願い致します。
30	道の駅を納沙布につくる。現状はスワンのみで中心部に道の駅利用者が来ないこともあるため。
75	・農道の修理・補修 石をたくさんひいて下さい。 ・交通安全道路標識案内板など切り替えなど(旧道から新道へ建ててほしい)道だ、市だと言わないで。新しい道路が切り替わってから何十年もたつのに。
65-74	・水産業の不振にともない、働く場所も少なくなり人口の減るのが加速している事に不安を感じます。若い人達がこの街に残り希望をもって住み続けていく事が出来る産業の振興があればと思います。 ・現在自分は抗癌剤治療をしています。月に一回釧路までその為に通っています。根室でも高度な医療を安心して受けられる医療体制があればと思います。切実な願いです。
65-74	厚床地区は、酪農地帯です。後継者問題で今後酪農家が今の半分以上になるのではないかと危惧しています。新規就農の促進、牛乳・肉等の加工研究をして、根室ブランド化を早急に進めてほしい。目に見える農業政策を地域格差の是正をお願いしたい。
50	まちづくりに対する意見ではないですが。もう少し職員の仕事に対する意欲というか姿勢というか何とかならないのでしょうか。あくびをしながら、対応する職員でどうなんですかね。活気ある街づくりを目指そうにも、無理がありませんか？一部の職員の行為が役所全体の品位を落としてしまいますね。
75	魚のまちなのに、牛糞臭いのやめてくれ。地元の人が臭いのには観光客ならたえられない。
65-74	私たちが40代の頃は、沢山の仕事がありました。また町も活気があり大勢の人々がいました。今水産の町根室が泣いています。早くしないと町が消えてしまいそうです。問題は育てる漁業と言いながら、あまり進んでいない感がありますが、また、環境の変化に追い付けないのが現実ではないか。気が付いたら根室が大変な不景気。でも負けてはいけない。
30	人口減少に歯止めをかけて、若者が住みたい市に重点を置いて力をいれてほしい。
30	医療・看護・介護・障害福祉にもっと力を入れて取り組まないと、根室にいたいという人間は、いなくなってしまうと思います。 他の地域から比べても、根室の人間は全ての支援が不足しています。他地域ではごくあたり前に受けられるサービスも、根室では受けられない→帰ってきたくても帰ってこられない、居続けられない、こんな状況では先が見えません。もっと地域の現場の声に耳を傾けて、未来に向けた案を恐れず発してとりくんで頂きたいです。
60-64	根室には外食産業の数が全く足りません。 いつも昼食・夜食に苦労しています。新規に出店してくる企業がない、競争意識が働かないため、この先高齢化が進み、どんどん店舗が閉店して根室に来た人たちは他地域で食事をする事になると思います。 市としては、新規出店してもらえる様、全国に公募する発信をしてほしいと思います。せっかく「水産の街」として有名なのに他方に目をむけて「食」に対しては、後回ししていると痛感しています。活性化するには、人が集う場所を拡大していくことで、根室の魅力を発信していく事だと思います。
75	日本一の「カニ釣りセンター」づくりを、市をあげて考えるべきです。 ぜひ「流水小包」は市長さんはじめ市役所の方にサンプルを見て頂きたいと思いました。
75	春・夏・秋期には、市内でランニング・ウォーキングしている高齢者が多い。しかし、スリップ・転倒等の不安により冬期間は減少する。屋内で手軽に運動できる施設の整備が必要と思う。
30	北海道人として残念です。食が道民として自慢できない味です。 チェーン店でもクオリティが低すぎに感じます。長く住むなら食と医療は必須です。自分は子供がいないけど、子供に自慢出来る町ではないです。人の外面は良いのに、恐さを感じます。どこで食・医療を支援出来なくなったかはわかりませんが、そこを突き詰めていけば答えは出ると思います。
65-74	地球温暖、海水の温度上昇による魚群の変化のかと期と思われる。
30	最近、公園の整備や子供の為の活動が目に入るのでとてもうれしく思っています。その他に、高齢者の車道への

年齢	問 22 意見・提案
	とび出しや路側帯の歩行などが危険だと感じる事がとても多く、市内のバスの増便やタクシー補助・歩道の整備などの対策をして頂けるとうれしいです。 健康の為に歩かれているとは思いますが・・・ これから雪道もふえるとさらに危険な場面が見受けられる事が増えるのでお願いしたいです。

市民意識調査

「市民意識調査」へのご協力をお願い

根室市は、平成 26 年度に「第 9 期根室市総合計画」を、翌平成 27 年度には「根室市創生総合戦略」をそれぞれ策定し、将来のまちづくりの目標や将来像を定め、豊かで活力のある市民生活の実現を図るための施策を推進しているところです。

これらの計画を実現していくためには、市民みなさんのご理解と参画をいただきながら推進していくことが不可欠です。

本調査は、市民のみなさんのまちづくりに関する率直なご意見をお伺いし、市政に反映していくことを目的として毎年実施しているもので、これまでに産業振興施策、市内分岐の再開、保育施設の整備などの医療、子育て環境施策などの具体施策に取り組んできております。

今回の調査は、市内の 16 歳以上の住民の方々の中から、無作為に 3,000 名を抽出した結果、あなたが調査の対象となったものです。

また、この調査は無記名となっておりますことから、個人の意見が直接発表されることや、ご迷惑をおかけすることは決してありませんので、ご協力をお願いいたします。

令和 2 年 11 月

根室市総合政策部

「市民意識調査」記載要領

1. あて名のご本人がお答え下さい。
2. お答えは、あてはまる項目の番号を○で囲んで下さい。
3. 「その他」などを選ばれた場合は、() 内にその内容や理由をできるだけ具体的に記入して下さい。
4. ご記入が終わりましたら、お手数ですが同封の返信封筒に調査票を入れて、令和 2 年 12 月 7 日(月)までに切手を貼らずにご投函をお願いします。
5. この調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

■根室市総合政策部

TEL: 0153-23-6111 (内線 2255)

FAX: 0153-24-8692

E-mail: sog_seisaku@city.nemuro.hokkaido.jp

調 査 票

問1. 最初に、あなた自身のことについてお伺いします。(1)～(5)の各項目について、該当する番号1つに○印をつけて下さい。

(1) 年齢

- | | | | | |
|----------|-----------|-----------|----------|---------|
| 1. 18歳未満 | 2. 18～19歳 | 3. 20歳代 | 4. 30歳代 | 5. 40歳代 |
| 6. 50歳代 | 7. 60～64歳 | 8. 65～74歳 | 9. 75歳以上 | |

(2) 職業（その他の方は、具体的に記入してください）

- | | | | |
|----------------|--------------|------------|---------------------------------|
| 1. 農業・林業 | 2. 漁業 | 3. 製造業・建設業 | 4. 商業・金融・サービス業 |
| 5. 公務員・教育・団体職員 | 6. パート・アルバイト | 7. 主婦（専業） | |
| 8. 学生 | 9. 年金受給者 | 10. 無職 | 11. その他（ ） |

(3) 根室市での居住年数（通算でお答えください）

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5～9年 | 3. 10～19年 | 4. 20～29年 |
| 5. 30～39年 | 6. 40年以上 | | |

(4) 居住地域

- | | | | | |
|---------|---------|----------|----------|---------|
| 1. 北浜町 | 2. 琴平町 | 3. 弁天町 | 4. 駒場町 | 5. 汐見町 |
| 6. 海岸町 | 7. 千島町 | 8. 栄 町 | 9. 月見町 | 10. 明治町 |
| 11. 曙 町 | 12. 宝 町 | 13. 有磯町 | 14. 朝日町 | 15. 鳴海町 |
| 16. 本 町 | 17. 花咲町 | 18. 松ヶ枝町 | 19. 弥栄町 | 20. 幸 町 |
| 21. 大正町 | 22. 常盤町 | 23. 緑 町 | 24. 梅ヶ枝町 | 25. 弥生町 |
| 26. 清隆町 | 27. 光和町 | 28. 北斗町 | 29. 平内町 | 30. 峠 町 |
| 31. 定基町 | 32. 松本町 | 33. 敷島町 | 34. 花園町 | 35. 西浜町 |
| 36. 月岡町 | 37. 宝林町 | 38. 昭和町 | 39. 光洋町 | 40. 牧の内 |
| 41. 桂 木 | 42. 花咲港 | 43. 穂 香 | 44. 幌茂尻 | 45. 温根沼 |
| 46. 東 梅 | 47. 酪 陽 | 48. 東和田 | 49. 西和田 | 50. 長 節 |
| 51. 浜 松 | 52. 昆布盛 | 53. 落石東 | 54. 落石西 | 55. 別当賀 |
| 56. 初田牛 | 57. 東厚床 | 58. 厚 床 | 59. 西厚床 | 60. 明 郷 |
| 61. 湖 南 | 62. 川 口 | 63. 槍 替 | 64. 友 知 | 65. 双 沖 |
| 66. 齒 舞 | 67. 瑤瑤瑤 | 68. 納沙布 | 69. 温根元 | 70. 豊 里 |

《根室市の印象について》

問2. 根室市の印象（イメージ）についてお尋ねします。

次の中から該当する番号を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 明るいまち |
| 2. 清潔なまち |
| 3. 活気のあるまち |
| 4. 個性（特色）のあるまち |
| 5. ふれあいや連帯感のあるまち |
| 6. 市民として誇りや郷土愛があるまち |
| 7. その他（具体的に： ） |

《居住の満足度について》

問3. あなたにとって根室市は、住みよいまちだとお考えですか。

(1) 次の中から該当する番号を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. とても住みよい
- 2. 住みよい
- 3. 普通
- 4. 住みにくい(理由:)
- 5. とても住みにくい(理由:)

(2) 5年前と比べて住みよくなったと思いますか。根室に住み始めて5年に満たない方は住み始めた当時と比較してお答えください。また、その理由について特に変わったと思うことを記入してください。

- 1. とても住みよくなった
- 2. 住みよくなった
- 3. 変わらない
- 4. 住みにくくなった
- 5. とても住みにくくなった



特に変わったと思うこと:

《定住度について》

問4. あなたは、今後も根室市に住み続けたいと思いますか。

次の中から該当する番号を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. ずっと住み続けたい
 - 2. できれば住み続けたい
 - 3. できれば住みたくない
 - 4. 住みたくない
- } ⇒問6へ
- } ⇒問5へ

問5. 問4で、「3. できれば住みたくない」、「4. 住みたくない」とお答えされた方にお尋ねします。

そう思われた主な理由は何でしょうか。次の中から該当する番号を3つまで選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 自分にあう職業がない
- 2. 商売や事業経営に不利
- 3. 交通の便が悪い
- 4. 買い物などの生活の利便が悪い
- 5. 物価が高い
- 6. 進学などの教育上の問題
- 7. 医療・福祉面が不安
- 8. 娯楽や余暇活動の場が少ない
- 9. 自然が厳しい
- 10. その他(具体的に:)

《保健医療について》

問6. あなたの健康状態と根室市の保健医療についてお尋ねします。

(1) あなたの現在の健康状態はいかがですか。

1. きわめて良好 2. 良好 3. 普通 4. 悪い 5. きわめて悪い

(2) あなたは日頃の健康管理に努めていますか。

1. 努めている 2. 努めていない

(3) あなたは1日30分以上の運動をどの程度行っていますか。

1. 毎日している 2. 週に2日以上している 3. 週に1日程度している
4. 月に2～3日している 5. 月に1日している 6. ほとんどしていない

(4) あなたは、平成29年4月1日から経産婦の方を対象に市立根室病院にて分娩が再開されていることをご存知でしたか。(※経産婦：出産経験のある女性)

1. 知っていた 2. 知らなかった

(5) あなたは、市で実施している(実施した)以下の事業をご存知でしたか。

①人材確保対策(医師及び医療従事者として働くことを希望する学生等への月々の修学資金貸付)	1. はい 2. いいえ
②新生児聴覚検査費助成(新生児の聴覚障害の早期発見及び早期療養につなげるため、検査費用を助成し保護者負担を軽減)	1. はい 2. いいえ
③母子手帳アプリ「すくすくねむろ by 母子モ」の導入(妊娠・子育て期の方に向けた多様な情報発信と母子手帳のサポート機能)	1. はい 2. いいえ

(6) 市内の病院などの医療機関の状況についてお伺いします。

①あなたは、市内の病院などの医療機関の状況についてどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

②5年前と比べて医療環境は良くなったと思いますか。根室に住み始めて5年に満たない方は住み始めた当時と比較してお答えください。

1. 大変良くなった 2. やや良くなった 3. 変わらない 4. やや悪化した 5. 大変悪化した

(7) 根室市の保健医療について、財源に限りがある中で、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 高齢者の医療の充実
2. 乳幼児・母子等医療の充実
3. 保健(健康づくり)対策の推進
4. 健康診断や予防対策の充実
5. 休日夜間などの救急医療対策
6. 人材確保対策
7. その他(具体的に：)

《少子化・子育て支援について》

問7. 「少子化対策」、「地域の子育て支援」についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している(実施した)以下の事業をご存知でしたか。

①こども医療費給付の拡充(通院・入院に対する助成範囲を高校生、または18歳以下で保護者の扶養を受けている方まで拡充)	1. はい 2. いいえ
②人材確保対策(保育士・幼稚園教諭として働くことを希望する学生への月々の修学資金の貸付)	1. はい 2. いいえ
③保育所等における給食費(副食)及び第3子目以降の保育料・学校給食費の無料化(子育て世帯の経済的負担軽減)	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは、乳幼児や子どものための福祉施設の状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(3) あなたは、子育てのための環境や支援にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(4) 5年前と比べて子育て環境は良くなったと思いますか。根室に住み始めて5年に満たない方は住み始めた当時と比較してお答えください。

1. 大変良くなった	2. やや良くなった	3. 変わらない	4. やや悪化した	5. 大変悪化した
------------	------------	----------	-----------	-----------

(5) あなたは、「少子化対策」、「地域の子育て支援」として、さらに、どのような施策が重要だと思いますか。次の中から特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 出産や育児について気軽に相談できる環境づくり
2. 乳幼児保育の充実(延長保育など)
3. 学童保育の充実
4. 経済的負担の軽減(入院費、保育料の軽減など)
5. 子どもがのびのびと遊べる施設の整備
6. 地域の交通安全や防犯対策の強化
7. 地域全体で子育てを行う環境・体制づくり
8. その他(具体的に: _____)

《高齢者支援について》

問8. 根室市の高齢者支援の現状についてお伺いします。

(1) あなたは、趣味や楽しみ、生きがいになることがありますか。

1. ある	2. 以前はあったが今はない	3. 以前からない
-------	----------------	-----------

(2) あなたは、町会等の行事、サークル活動、地域イベントに出かけたりしていますか。

1. よく出かける	2. たまに出かける	3. あまり出かけない
-----------	------------	-------------

《交通について》

問10. 根室市内の交通状況についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している(実施した)下記の事業をご存知でしたか。

①市内乗合バス路線、中標津空港連絡バス、JR 標津線廃止に伴う代替バスへの財政支援	1. はい	2. いいえ
②JR 花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み(花咲線存続に向けたブランド再構築や魅力の情報発信)	1. はい	2. いいえ
③街路灯LED化事業(街路灯の長寿命化や消費電力の縮減を図るためLED化を実施)	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、市内の幹線道路の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(3) あなたは、市外へ通じる道路の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(4) あなたは、公共交通機関の利便性にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(5) 5年前と比べて根室市の交通状況は総じて良くなったと思いますか。根室に住み始めて5年に満たない方は住み始めた当時と比較してお答えください。

1. 大変良くなった	2. やや良くなった	3. 変わらない	4. やや悪化した	5. 大変悪化した
------------	------------	----------	-----------	-----------

(6) 根室市の交通について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備
2. 鉄道便の確保
3. バス便の確保
4. 身近な生活道路の整備
5. 高齢者や障がい者等に配慮した安全な歩道の整備
6. 除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実
7. 街路灯・防犯灯や案内板の整備
8. 信号・ガードレールなどの安全対策
9. 駐車場や駐輪場の整備
10. その他(具体的に:)

《生活環境について》

問11. 根室市内の生活環境についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している(実施した)以下の事業をご存知でしたか。

①公園の遊具等更新(既設遊具の定期点検・維持補修等整備)	1. はい	2. いいえ
②市営住宅整備事業(市営住宅(光洋団地)の建替を実施)	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、郊外の森林景観にどの程度満足されていますか。

1. 滿足 2. 也也滿足 3. 普通 4. 也也不滿 5. 不滿

(3) あなたの住んでいる地域の緑の豊かさにどの程度満足されていますか。

1. 滿足 2. 也也滿足 3. 普通 4. 也也不滿 5. 不滿

(4) あなたは、上水道の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 滿足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(5) あなたは、下水道の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 滿足 2. 也也滿足 3. 普通 4. 也也不滿 5. 不滿

(6) あなたは、公園や広場の利用しやすさにどの程度満足されていますか。

1. 滿足 2. 也也滿足 3. 普通 4. 也也不滿 5. 不滿

(7) 5年前と比べて根室市の生活環境は総じて良くなったと思いますか。根室に住み始めて5年に満たない方は住み始めた当時と比較してお答えください。

1. 大変良くなった 2. やや良くなった 3. 変わらない 4. やや悪化した 5. 大変悪化した

(8) あなたは、買い物の利便性にどの程度満足されていますか。

1. 滿足 2. 也也滿足 3. 普通 4. 也也不滿 5. 不滿

(9) 根室市の生活環境について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 公営住宅の整備
2. 宅地の供給
3. 水道や下水道の整備
4. ゴミの減量化、再利用の促進
5. 公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備
6. 防犯対策の充実
7. 美しい景観（まちなみ）の創出
8. その他（具体的に：

《防災・減災対策について》

問12. 防災・減災対策についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①根室港海岸高潮対策事業（防災・安全）（根室港区岬町地区護岸（延長60m）を整備）	1. はい 2. いいえ
②デジタル防災行政無線整備事業（津波情報や避難情報などの緊急情報を屋外一斉放送する設備の整備）	1. はい 2. いいえ
③防雪柵設置事業（牧の内3号線（青少年センター付近）に視程障害対策として防雪柵（154.0m）を整備）	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは「防災対策」として何が重要だと考えますか。重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 食料・水・日常生活用品の備蓄
2. 災害時の情報連絡手段の整備
3. 指定避難所など防災拠点の整備
4. 防災マニュアル・マップの配布
5. 自主防災組織の育成
6. 防災講習会・防災訓練の開催
7. その他（具体的に： _____）

《学校教育・社会教育全般について》

問13. 学校教育についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

① ICT教育環境整備事業（校内 LAN や児童・生徒へ1人1台のタブレット等の整備）	1. はい	2. いいえ
② 学力向上対策事業（きめ細かな指導のため、市内7校に授業をサポートする補助教員を配置等）	1. はい	2. いいえ
③ ふるさと給食事業（ふるさと給食の日を実施し、地産地消による食育を推進）	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、子どもの教育施設や教育環境にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(3) 5年前と比べて根室市の子どもの教育環境は総じて良くなったと思いますか。根室に住み始めて5年に満たない方は住み始めた当時と比較してお答えください。

1. 大変良くなった 2. やや良くなった 3. 変わらない 4. やや悪化した 5. 大変悪化した

(4) あなたは、「学校教育」を充実させるために、市がどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 少人数学級（1クラス35人以下）による教育の推進
2. 標準学級（1クラス40人）による教育の推進
3. 生きる力を育てる総合的な学習の充実
4. 社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実
5. 個性や才能を伸ばす教育の充実
6. ボランティアなどの体験的、実践的な学習の機会の充実
7. 情報化社会に適合した教育内容の充実
8. 国際化に対応できるコミュニケーション能力の育成
9. その他（具体的に： _____）

問14. 根室市の社会教育について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 生涯学習教育の指導者育成
2. 各種サークル活動の充実
3. 各種講座・教室などの充実
4. 各種講座・教室などの利用施設の整備
5. 青少年の健全育成
6. その他（具体的に： _____）

問15. 根室市のスポーツ・レクリエーション・文化についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している(実施した)以下の事業をご存知でしたか。

①みらいのアスリート・アーティスト応援事業(高校生までの学校教育活動以外の体育・文化活動遠征費の助成)	1. はい 2. いいえ
②総合文化会館整備事業(トイレ洋式化や大ホール音響機器等の更新)	1. はい 2. いいえ
③北方資料研究活用事業(歴史と自然の資料館に寄贈された考古資料の確認、収蔵、展示体制の整備)	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは、スポーツ施設の状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(3) 5年前と比べて根室市のスポーツ・レクリエーション・文化環境は総じて良くなったと思いますか。根室に住み始めて5年に満たない方は住み始めた当時と比較してお答えください。

1. 大変良くなった 2. やや良くなった 3. 変わらない 4. やや悪化した 5. 大変悪化した

(4) 根室市のスポーツ・レクリエーション・文化について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備
2. 芸術・文化の振興・文化施設の整備
3. 文化財や史跡の保護・伝承
4. 音楽会・講演等の開催
5. 学校施設開放の推進
6. その他(具体的に:)

《産業・地域の振興について》

問16. 根室市の産業・地域振興についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している(実施した)以下の事業をご存知でしたか。

①漁業の振興(ホタテ資源増大、ベニザケ養殖、沿岸漁業資源の高付加価値化、水産品の普及、販路拡大等)	1. はい 2. いいえ
②農業の振興(根室産農畜産物のブランド化、酪農業担い手確保等)	1. はい 2. いいえ
③観光の振興(観光パンフレット作成、各種イベントへの負担金等)	1. はい 2. いいえ
④移住交流の促進(地域おこし協力隊の受入れ、都市部との交流等)	1. はい 2. いいえ

(2) 根室市の産業・地域振興について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 水産業基盤及び生産体制の整備
2. 農林業基盤及び生産体制の整備
3. 農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成
4. 企業誘致による雇用の場の確保
5. 魅力ある商店街づくり
6. 後継者の育成・確保
7. 観光開発、観光関連産業の育成
8. 特色あるイベントの展開
9. 新たな特産品の開発
10. その他(具体的に:)

《情報の共有化について》

問17. 市政情報等の共有化についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している(実施した)以下の事業をご存知でしたか。

①行政情報のメール配信サービス「ねむろメール」による情報発信(防災・子育て・イベント等)	1. はい 2. いいえ
②フェイスブックやツイッター「ねむろのぼうさい」など、SNSを活用した行政情報の配信	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは、行政からの情報提供において、どのような情報を受けたいと考えていますか。特に、受けたいと思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 行政に関する総合的な情報
2. 道路交通・除雪・気象等の情報
3. 各種統計情報
4. 公共施設利用状況
5. 観光・レジャー情報
6. 文化行事・イベント情報
7. その他(具体的に:)

《市民協働について》

問18. まちづくりには、市民のみなさんの主体的な活動が不可欠です。市民みなさんの一人ひとりが「誰もが何か1つを受け持つ」とすれば、あなたは、どのような活動に参加しますか。次の中から該当する番号を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 清掃活動や花いっぱい運動
2. 高齢者や障がい者等のためのボランティア活動
3. 郷土の歴史、文化を守り育てる活動
4. 自然保護活動
5. リサイクル活動、省資源活動
6. 子ども会などの青少年育成のための活動
7. 祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事
8. 交通安全や防災・防犯活動
9. 新しい特産品や土産品の研究開発
10. 自治会やNPO(非営利活動団体)など、市民による自主的な活動への支援
11. 特にない
12. その他(具体的に:)

《市民参画の方法について》

問19. これからのまちづくりには、市民のみなさんの参加が必要ですが、あなたは、どのような形で参加したいと思いますか。次の中から該当する番号を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい
2. 町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい
3. 説明会や公聴会、懇談会などに参加したい
4. 投書(市長のはがきやメール等)や要望などで意見を述べたい
5. 世論調査(今回のようなアンケート調査など)で意思表示をしたい
6. 市役所や議会に一任し、自分では参加しない
7. あまり必要性を感じない(理由:)
8. その他(具体的に:)

《男女共同参画について》

問20. あなたは生活全般を通して男女は平等になっていると思いますか。次の中から該当する番号を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 男性の方が優遇されている
2. どちらかといえば男性のほうに優遇されている
3. 男女平等である
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
5. 女性の方が優遇されている
6. わからない

問21. あなたは「ワーク・ライフ・バランス」の言葉や意味を知っていましたか。次の中から該当する番号を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 言葉・意味ともに知っていた。
2. 言葉は知っていたが意味は知らなかった
3. 言葉・意味ともに知らなかった

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは

「ワーク・ライフ・バランス」とは、仕事と私生活との調和をとり、その両方が充実していることをいいます。

現実の社会には、安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない、仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩むなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます。これらが、働く人々の将来への不安や豊かさが実感できない大きな要因となっており、社会の活力の低下や少子化・人口減少という現象にまで繋がっていると言えます。それを解決する取組が、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現です。（内閣府ホームページより引用）

《新たな提案について》

問22. 根室市のまちづくりについて、ご意見・ご提案やアイデアがあれば、自由にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

* 記入済みの調査票は、同封の封筒に入れ、12月 7日（月）までに、投函してください。